

令和4年度

江戸川区民世論調査

<第35回>

江戸川区

目 次

I 調査の概要	1
II 結果のあらまし	15
III 結果と分析	23
1. 居住年数・永住意向について	25
(1) 居住年数	25
(2) 永住意向	28
(3) 区への親近感や愛着	33
2. 江戸川区の現況について	37
(1) 各項目の満足度	37
(2) 区の現況への満足度	92
3. 江戸川区のイメージについて	97
(1) 区のイメージ	97
4. 江戸川区のお勧めスポットについて	101
(1) 区のお勧めスポット	101
5. 広報と情報化について	103
(1) 区の情報の入手手段	103
(2) インターネットの利用状況	106
6. SDGsについて	109
(1) 「SDGs」についての認知度	109
(2) 「SDGsえどがわ 10 の行動」の中で取り組んでいる行動	111
7. スポーツについて	114
(1) 1年間に行った運動やスポーツ	114
(2) 1年間に運動やスポーツを行った頻度	117
(3) 1年間に運動やスポーツを行わなかった理由	121
8. 睡眠について	123
(1) 1日の平均睡眠時間	123
(2) 睡眠の妨げとなっていること	125
(3) 1か月間の睡眠の質	127
9. キャッシュレス化の推進について	129
(1) キャッシュレス決済の利用状況	129
(2) キャッシュレス決済を利用していない理由	137
10. 区内共通商品券まつりについて	139
(1) 区内共通商品券まつりの利用状況	139
(2) 区内共通商品券まつりを利用しなかった理由	142

11. 民生委員・児童委員について	145
(1) 民生委員・児童委員の認知度	145
(2) 民生委員・児童委員と接する機会の有無	148
12. 障害者理解について	151
(1) 障害のある人への差別・偏見があると思う場面	151
13. 人権について	153
(1) 関心のある人権課題	153
14. 災害に強い安全安心なまちづくりについて	156
(1) 安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度	156
15. 道路について	196
(1) 区内の道路への印象	196
(2) 都市計画道路の機能と役割の中で重要だと思うこと	211
16. 江戸川区職員の接遇について	214
(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度	214
17. 区政への要望について	216
(1) 今後推進してほしい施策	216
18. 自由記述	221
(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと	221
IV 調査票	237

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

満 18 歳以上の区民 4,000 人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期間

令和4年 10 月 24 日(月)～11 月 13 日(日)<21 日間>

4. 内容

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について | (10) 区内共通商品券まつりについて |
| (2) 江戸川区の現況について | (11) 民生委員・児童委員について |
| (3) 江戸川区のイメージについて | (12) 障害者理解について |
| (4) 江戸川区のお勧めスポットについて | (13) 人権について |
| (5) 広報と情報化について | (14) 災害に強い安全安心なまちづくりについて |
| (6) SDGsについて | (15) 道路について |
| (7) スポーツについて | (16) 江戸川区職員の接遇について |
| (8) 睡眠について | (17) 区政への要望について |
| (9) キャッシュレス化の推進について | (18) 自由記述 |

5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収とWEB回収の併用。

【回収結果】

・標本数 4,000 件

・有効回収数 1,767 件 有効回収率 44.2%

(内、郵送は 1,105 件、62.5% Web 回収は 662 件、37.5%)

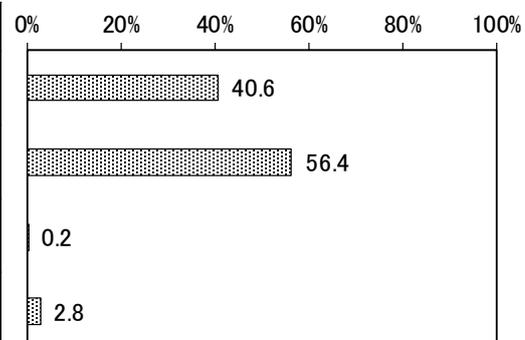
(人口は、令和4年 11 月 1 日現在)

18 歳以上の人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
587,879	4,000	1,767	44.2

6. 回答者の属性

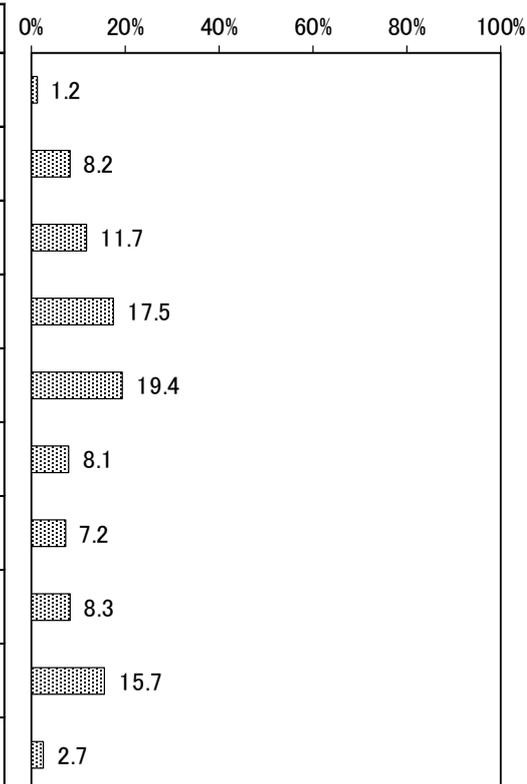
(1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	717	40.6
2 女性	997	56.4
3 その他	4	0.2
(無回答)	49	2.8
全体	1,767	100.0



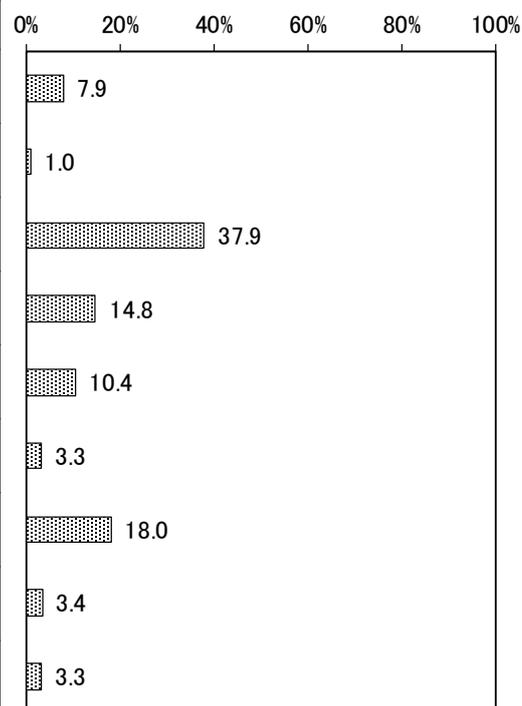
(2) F2 年齢

	基数	構成比
1 18・19歳	21	1.2
2 20～29歳	145	8.2
3 30～39歳	207	11.7
4 40～49歳	310	17.5
5 50～59歳	343	19.4
6 60～64歳	143	8.1
7 65～69歳	128	7.2
8 70～74歳	146	8.3
9 75歳以上	277	15.7
(無回答)	47	2.7
全体	1,767	100.0



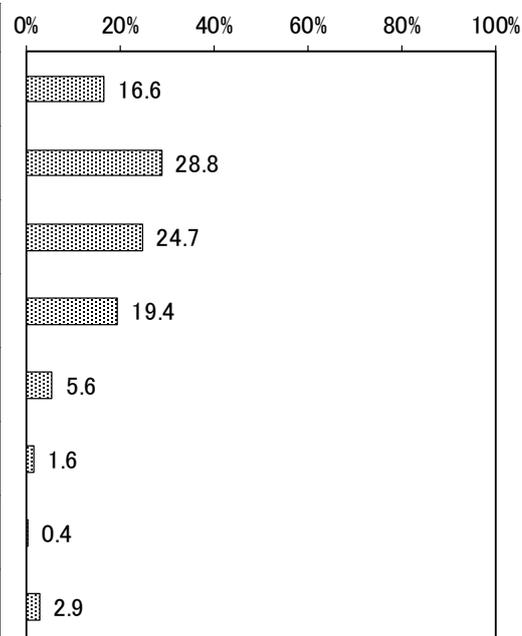
(3) F3 職業

	基数	構成比
1 自営業者	140	7.9
2 家族従業(家事手伝い)	17	1.0
3 勤め(フルタイム)	670	37.9
4 勤め(パートタイム)	262	14.8
5 家事専業	184	10.4
6 学生	58	3.3
7 無職	318	18.0
8 その他	60	3.4
(無回答)	58	3.3
全体	1,767	100.0

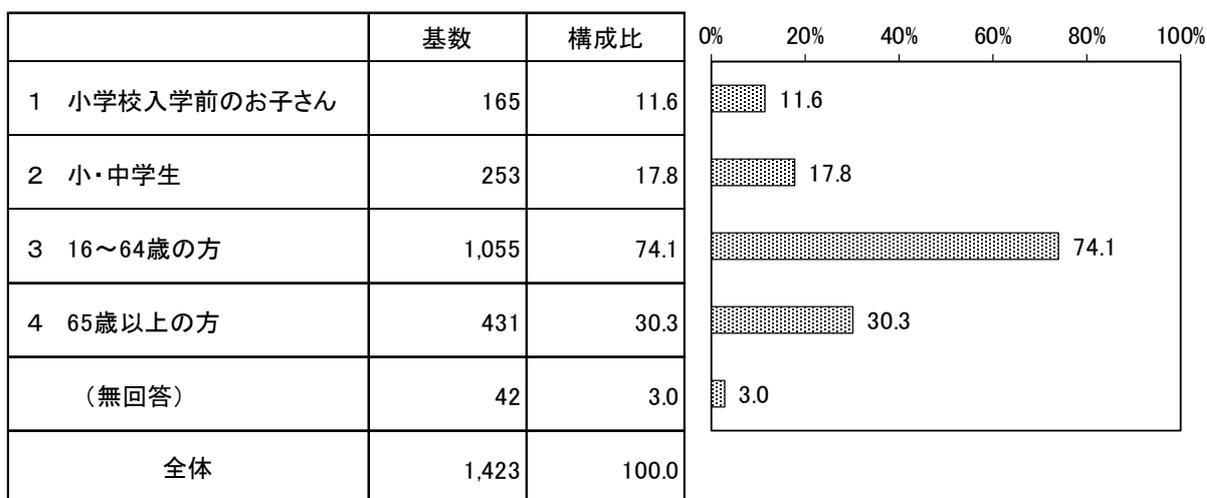


(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1 1人	293	16.6
2 2人	510	28.8
3 3人	437	24.7
4 4人	342	19.4
5 5人	99	5.6
6 6人	28	1.6
7 7人以上	7	0.4
(無回答)	51	2.9
全体	1,767	100.0

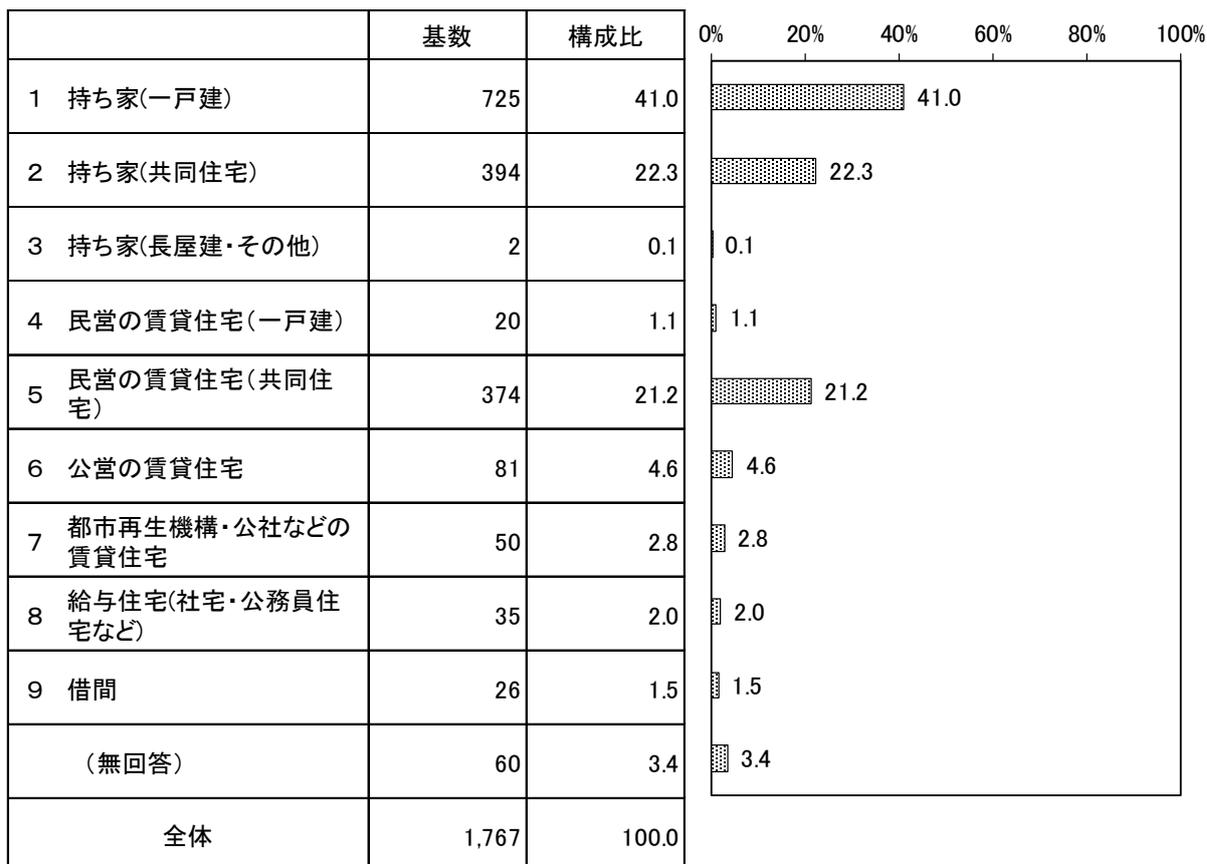


(5) F4-1 同居者

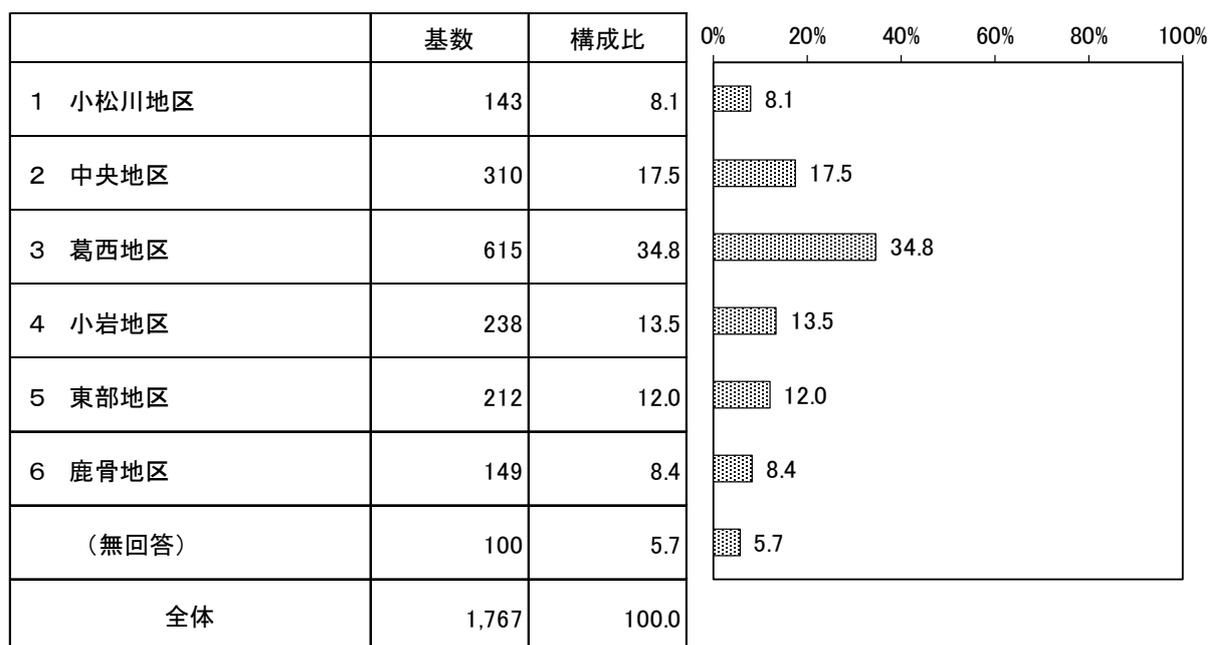


※複数回答の設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

(6) F5 住居形態



(7) F6 居住地区



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

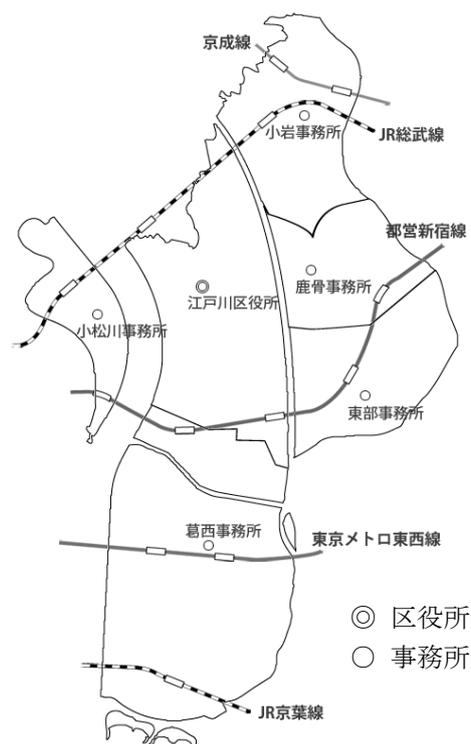
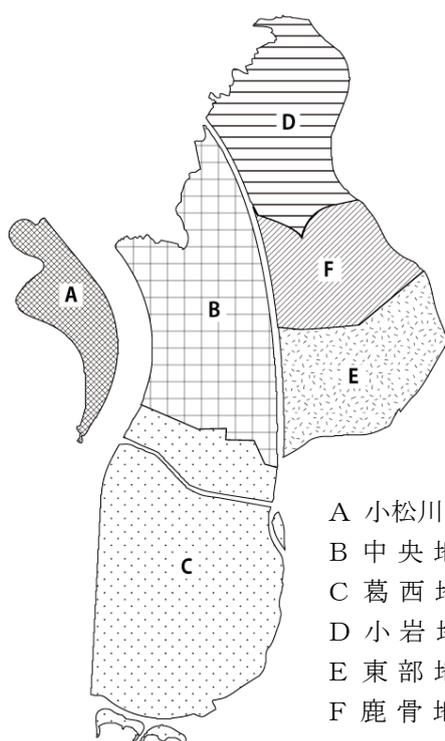
- 図表の中のnとは回答者総数(または該当質問の該当者数)を表している。
- 回答の比率(%)は、その設問の回答者を基数(n)とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。単一回答については、各回答の割合の合計が 100.0%となるよう、小数点第1位の数値を調整している場合がある。
- 1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの(n)の合計が全体と一致しない場合がある。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが 30 未満の場合は注意を要する。したがって、nが 30 を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

【管轄別区域表】

管轄名	管轄内町丁名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川 1~4 丁目、平井 1~7 丁目
区 民 課 (中央地区)	中央 1~4 丁目、松島 1~4 丁目、松江 1~7 丁目、東小松川 1~4 丁目、西小松川町、大杉 1~5 丁目、西一之江 1~4 丁目、春江町 4 丁目、上一色 1~3 丁目、本一色 1~3 丁目、一之江 1~8 丁目、西瑞江 4 丁目 1~2・10~27、江戸川 4 丁目 15~25、松本 1・2 丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町 5 丁目、西瑞江 5 丁目、江戸川 5・6 丁目、一之江町、二之江町、船堀 1~7 丁目、宇喜田町、東葛西 1~9 丁目、西葛西 1~8 丁目、中葛西 1~8 丁目、南葛西 1~7 丁目、北葛西 1~5 丁目、清新町 1・2 丁目、臨海町 1~6 丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩 1~6 丁目、西小岩 1~5 丁目、南小岩 1~8 丁目、北小岩 1~8 丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町 2・3 丁目、東瑞江 1~3 丁目、西瑞江 3 丁目・4 丁目 5~9、江戸川 1~3 丁目・4 丁目 1~14、谷河内 2 丁目、下篠崎町、篠崎町 3~6 丁目、南篠崎町 1~5 丁目、東篠崎 1・2 丁目、瑞江 1~4 丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀 1・2 丁目、春江町 1 丁目、谷河内 1 丁目、鹿骨町、鹿骨 1~6 丁目、上篠崎 1~4 丁目、篠崎町 1・2・7・8 丁目、西篠崎 1・2 丁目、北篠崎 1・2 丁目、東松本 1・2 丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

【地区別区分図】



○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2\sqrt{P(1-P)/n} \quad P = \text{回答比率}(\%)$$

$$n = \text{回答者数}$$

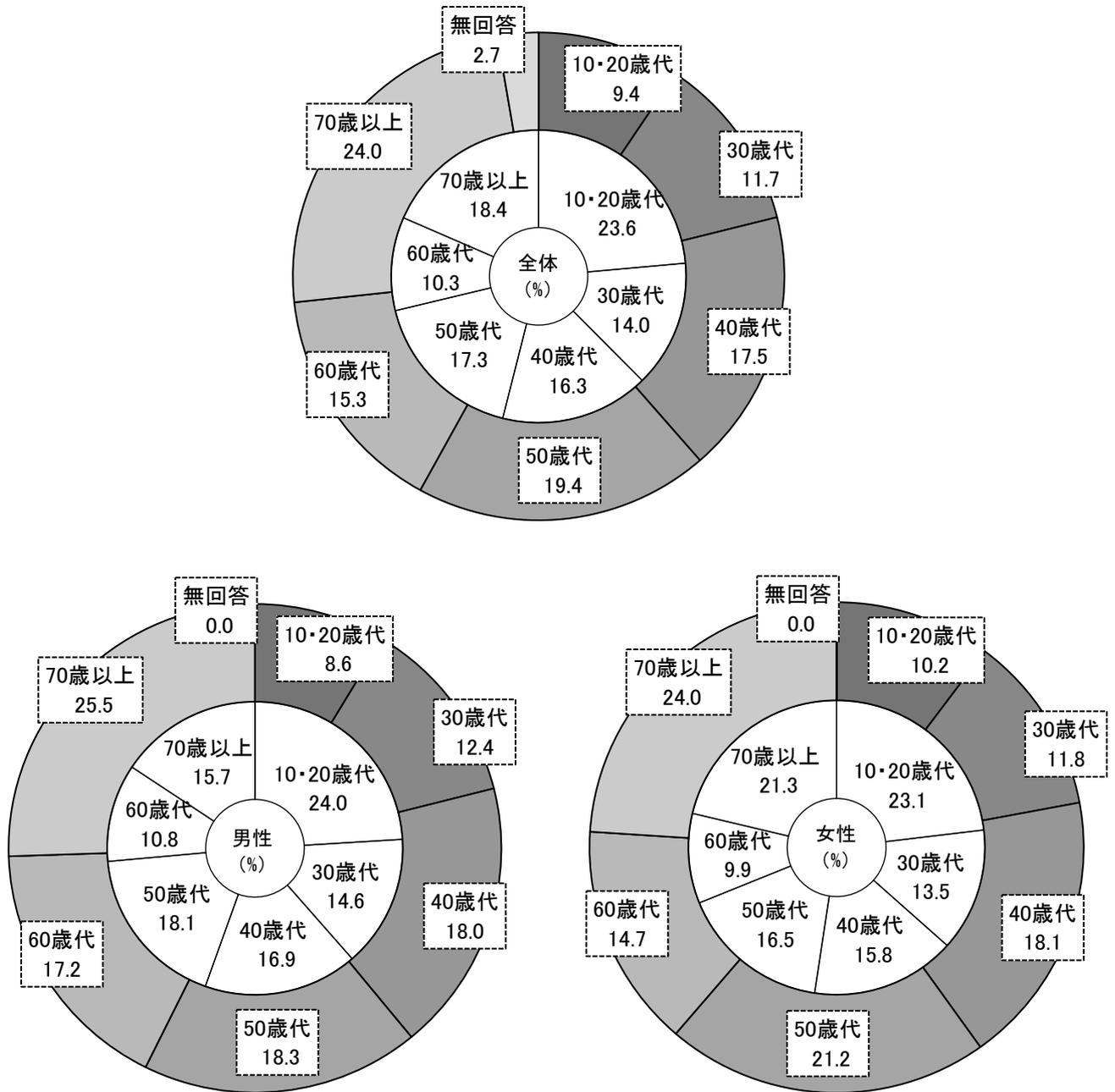
今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答率(p) 回答者数(n)	90% または 10%程度	80% または 20%程度	70% または 30%程度	60% または 40%程度	50%程度
1,767	±1.40	±1.86	±2.13	±2.28	±2.33
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

(注/この表の見方)

標本誤差とは、今回のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,767であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.28%以内(57.72~62.28%)である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果(母集団との比較)



※内円は母集団 18 歳以上の人口 (N=587,879) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,767) の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。

9. 過去の世論調査の概要(主要項目)

回数 (時期)	第1回 (S51.1)	第2回 (S52.1)	第3回 (S53.1)	第4回 (S54.1)	第5回 (S55.1)	第6回 (S56.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%	
主な調査内容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・ 医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への 関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の 実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回数 (時期)	第7回 (S57.1)	第8回 (S58.1)	第9回 (S59.1)	第10回 (S60.1)	第11回 (S61.1)	第12回 (S62.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%	
主な調査内容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・ 医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への 信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への 関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の 健康状態	ボランティア活 動の参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の 健康状態	
	街の美観 について	区民の悩み事 の実態	区内の バス交通	地域情報の 媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回数 (時期)	第13回 (S63.2)	第14回 (H元.1)	第15回 (H2.1)	第16回 (H3.1)	第17回 (H4.1)	第18回 (H5.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%	
主な調査内容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への 関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の 健康状態	区民の いきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア 活動の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの 評価	地元商店街の 印象	広報紙 閲読状況	

回数 (時期)	第19回 (H6.1)	第20回 (H7.1)	第21回 (H8.1)	第22回 (H8.10)	第23回 (H10.10)	第24回 (H12.7)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%	
主な調査内容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・ 駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—	—
	区政への 関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—	—
その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の 魅力	災害時への 備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の 魅力	江戸川区の 将来像	
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの 満足度	生活環境 満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回数 (時期)	第25回 (H14.4)	第26回 (H16.6)	第27回 (H18.6)	第28回 (H20.5)	第29回 (H22.5)	第30回 (H24.5)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%	
主な調査内容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	64.5%	63.4%
その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの 状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・ 健(検)診	喫煙について	

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回数 (時期)	第31回 (H26.5)	第32回 (H29.5)	第33回 (R2.11)	第34回 (R3.11)	第35回 (R4.10)	
標本数	2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	
回収数 (回収率)	1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	1,836 45.9%	1,767 44.2%	
主な調査内容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%	76.3%	86.9%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%	7.7%	3.2%
	施設への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	施策への 要望(※) (上位3つ)	震災	震災	水害	水害	水害
		防犯	防犯	震災	震災	震災
		水害	水害	防犯対策	防犯対策	防犯対策
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	—
その他の 調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レンタ サイクルにつ いて	スポーツの 実践について	災害対策に ついて	SDGs について	災害に強い 安全安心な まちづくり	

Ⅱ 結果のあらし

II 結果のあらまし

1. 居住年数・永住意向について (25～36 ページ)

【問1(25 ページ)】

江戸川区での居住年数は、『長期の居住者』(「21～30年」+「31年以上」)(63.8%)、『中期の居住者』(「6～10年」+「11～20年」)(23.2%)、『短期の居住者』(「1年未満」+「1～5年」)(12.5%)の順に高くなっている。選択肢の中では「31年以上」が48.5%と特に高くなっている。

【問2(28 ページ)】

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「ずっと住み続けたい」が47.4%、「当分の間は住み続けたい」が39.5%で、『永住意向』(「ずっと住み続けたい」+「当分の間は住み続けたい」)は86.9%となっている。一方で、『転出意向』(「区外に転出したい」)は3.2%とわずかしは見られない。

【問3(33 ページ)】

江戸川区に愛着や親しみを感じているか尋ねたところ、「感じている」が55.8%、「やや感じている」が33.8%、「あまり感じていない」が8.1%、「感じていない」が1.8%となっている。

2. 江戸川区の現況について (37～96 ページ)

【問4(37 ページ)】

江戸川区の18項目の満足度について尋ねたところ、「満足」は【① 買い物の便】(35.4%)、【④ 公園・水辺の整備】(34.3%)、【⑤ 緑化の推進】(31.7%)が3割を超えて高くなっている。「不満」は【⑩ 地域の治安・安全性】7.1%と最も高くなっているが、いずれも1割未満となっている。

【問5(92 ページ)】

江戸川区の現況への満足度について尋ねたところ、「やや満足」(43.6%)、「ふつう」(29.1%)、「満足」(17.4%)の順に高くなっている。一方、「やや不満」は7.8%、「不満」は1.0%とわずかしは見られない。

3. 江戸川区のイメージについて (97～100 ページ)

【問6(97 ページ)】

区のイメージとして挙げられた単語の上位30項目を見ると、「多い」(561件)、「公園」(332件)、「子育て」(304件)が300件を超えて特に多くなっている。次いで、「緑」(231件)も多くなっている。

4. 江戸川区のお勧めスポットについて (101～102 ページ)

【問7(101 ページ)】

区のお勧めスポットとして挙げられた場所の上位30項目を見ると、「葛西臨海公園(海浜公園)」(839件)が特に多くなっている。次いで、「タワーホール船堀」(236件)と「行船公園(平成庭園、源心庵)」(235件)が多くなっている。

5. 広報と情報化について（103～108 ページ）

【問8(103 ページ)】

江戸川区の情報の入手手段について尋ねたところ、「広報誌(広報えどがわ)」が56.0%と最も高く、次いで「区公式ホームページ」が30.6%、「町内・自治会回覧などの資料」(23.5%)と「くらしの便利帳」(23.0%)と「友人、知人に聞く」(21.4%)が2割を超えて高くなっている。

【問9(106 ページ)】

インターネットの利用状況について尋ねたところ、インターネットを利用している方の回答を見ると、「スマートフォン・タブレット」が75.6%、「パソコン」が42.8%、「フィーチャーフォン(携帯電話)」が5.2%と続いている。

インターネットを利用していない方の回答を見ると、「今後も利用しない」が12.1%、「今後は利用したい」が3.3%となっている。

6. SDGsについて（109～113 ページ）

【問10(109 ページ)】

「SDGs」についての認知度について尋ねたところ、「名前も内容も知っている」(42.5%)、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(35.4%)、「まったく知らない」(20.4%)の順に高くなっている。

【問11(111 ページ)】

「SDGsえどがわ10の行動」の中で取り組んでいる行動について尋ねたところ、「【行動1】食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買っている」が68.6%と最も高く、「【行動4】電気も水も大切に使っている」が65.3%、「【行動2】健康的な食事をし、運動を心がけ、十分な睡眠をとっている」が44.8%、「【行動8】とにかくりサイクルをしている」が34.9%、「【行動9】みどりを大切にし、プラごみを減らして豊かな自然を守っている」が31.1%と続いている。一方、「何もしていない」は7.0%見られる。

7. スポーツについて（114～122 ページ）

【問12(114 ページ)】

1年間に行った運動やスポーツについて尋ねたところ、「ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む)」が72.5%と最も高く、「自転車(BMX含む)、サイクリング」が24.4%、「体操」が17.4%、「トレーニング」が12.3%、「ランニング(ジョギング)」(11.2%)と続いている。一方で、「運動やスポーツは行っていない」は11.5%と1割を超えている。

【問 13(117 ページ)】

1年間に運動やスポーツを行った頻度について尋ねたところ、1年間に運動やスポーツを行った頻度は「週に3日以上(年151日以上)」が 21.6%と最も高く、「運動やスポーツを実施していない」が 18.8%、「月に1～3日(年12日～50日)」が 14.5%、「週に1日(年51日～100日)」が 14.4%、「週に2日(年101日～150日)」が 14.1%と続いている。

1年間に運動やスポーツを行った頻度(汗をかく運動を30分以上実施)は「運動やスポーツを実施していない」が 23.3%と最も高く、「週に1日(年51日～100日)」が 13.5%、「月に1～3日(年12日～50日)」が 12.7%、「週に3日以上(年151日以上)」が 11.6%、「週に2日(年101日～150日)」が 11.1%と続いている。

【問 14(121 ページ)】

問 13 で「月に1～3日(年12日～50日)」～「運動やスポーツを実施していない」(週に1日未満)と答えた方に1年間に運動やスポーツを行わなかった理由について尋ねたところ、「仕事や家事が忙しいから」が 50.8%と最も高く、「機会がなかったから」が 22.5%、「年をとったから」が 22.3%、「面倒だから」が 20.2%と2割を超えて高くなっている。

8. 睡眠について (123～128 ページ)**【問 15(123 ページ)】**

1日の平均睡眠時間について尋ねたところ、「6時間以上7時間未満」(31.0%)、「5時間以上6時間未満」(30.4%)の順に高くなっている。また、「5時間未満」(10.2%)は1割を超えている。

【問 16(125 ページ)】

睡眠の妨げとなっていることについて尋ねたところ、「仕事」が 25.7%、次いで「家事」が 17.5%、「就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること」が 15.9%、「健康状態」が 12.9%と続いている。一方、「特に困っていない」が 34.4%と最も高くなっている。

【問 17(127 ページ)】

1か月間の睡眠の質について尋ねたところ、「日中、眠気を感じた」が 39.0%と最も高く、次いで「夜中、睡眠途中に目が覚めて困った」が 32.0%、「睡眠全体の質に満足できなかった」が 26.8%、「睡眠時間が足りなかった」が 24.7%、「起きようとする時刻よりも早く目が覚め、それ以上眠れなかった」が 21.1%と続いている。一方、「上記のようなことはなかった」が 22.8%となっている。

9. キャッシュレス化の推進について (129～138 ページ)**【問 18(129 ページ)】**

キャッシュレス決済の利用状況について尋ねたところ、「頻繁に利用している」は【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)】(38.7%)、【① クレジットカード】(38.6%)の順に高くなっている。一方、「利用していない」は【③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など)】(50.1%)、【④ 二次元コード/バーコード決済(PayPay、楽天ペイなど)】(47.8%)の順に高くなっている。

【問 19(137 ページ)】

問 18 のいずれかで「利用していない」と答えた方にキャッシュレス決済を利用していない理由について尋ねたところ、「現金が使いなれている」が 39.5%と最も高く、次いで「設定に手間がかかる」が 22.7%、「セキュリティに不安がある」が 20.9%、「利用方法がわからない」が 20.8%の順に高くなっている。一方、「利用できる店舗が少ない」は 6.6%と1割未満となっている。

10. 区内共通商品券まつりについて (139~144 ページ)

【問 20(139 ページ)】

江戸川区内共通商品券まつりの利用状況について尋ねたところ、「利用したことはない」が 74.1%と最も高く、次いで「利用したことがある」が 21.5%、「毎年利用している」が 3.5%となっている。

【問 21(142 ページ)】

問 20 で「利用したい店舗がないから」または「商品券を販売所に買いに行くのが大変だから(並びたくないから、時間がないから)」と答えた方に江戸川区内共通商品券まつりを利用しなかった理由について尋ねたところ、「知らなかったから」が 43.0%と最も高く、次いで「商品券を販売所に買いに行くのが大変だから(並びたくないから、時間がないから)」が 41.3%、「利用したい店舗がないから」が 24.3%となっている。

11. 民生委員・児童委員について (145~150 ページ)

【問 22(145 ページ)】

民生委員・児童委員の認知度について尋ねたところ、「民生委員・児童委員という名称は知っているが、どんな活動をしているのかは知らない」が 33.2%と最も高く、次いで「まったく知らない」が 32.1%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員は知らないが、どんな活動をしているのか知っている」が 19.6%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っているが、どんな活動をしているのかは知らない」が 7.0%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていて、どんな活動をしているか知っている」が 6.8%となっている。

【問 23(148 ページ)】

民生委員・児童委員と接する機会の有無について尋ねたところ、「介護や在宅福祉サービス等、熟年者や障害者に関する相談をした」が 3.1%、次いで「調査や安否確認、歳末激励金配布等による民生委員・児童委員の訪問を受けた」が 2.9%、「会議またはイベント等で会った」が 2.3%、「子育てや教育等、子どもに関する相談をした」と「生活保護や生活福祉資金貸付、日常的な生活の支援等、生活に関する相談をした」が 1.6%となっている。一方、「まったく接する機会はなかった」が 83.9%と最も高くなっている。

12. 障害者理解について（151～152 ページ）

【問 24(151 ページ)】

障害のある人への差別・偏見があると思う場面について尋ねたところ、「バス、電車などの公共交通機関」が 20.3%、次いで「幼稚園、保育園、学校」が 12.1%、「職場等」が 9.0%、「レストラン等飲食店」が 7.6%となっている。一方、「特に感じない」が 62.0%と最も高くなっている。

13. 人権について（153～155 ページ）

【問 25(153 ページ)】

関心のある人権課題について尋ねたところ、「障害者」が 33.8%と最も高く、次いで「高齢者」が 32.5%、「女性」が 30.6%、「インターネットによる人権侵害」が 29.1%、「子ども」が 27.8%、「北朝鮮当局によって拉致された被害者など」が 21.2%と2割を超え高くなっている。一方、「特にない」は 19.4%となっている。

14. 災害に強い安全安心なまちづくりについて（156～195 ページ）

【問 26(156 ページ)】

安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度について尋ねたところ、「知っている」は【⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。】(56.2%)、【④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。】(48.4%)、【⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。】(45.6%)の順に高くなっている。

「知らない」は【⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は 23 区で1位となっている。】(84.6%)、【⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。】(80.3%)が8割を超えて高くなっている。

15. 道路について（196～213 ページ）

【問 27(196 ページ)】

江戸川区内の道路への印象について尋ねたところ、「思う」は【③ 路面がきれいで通行しやすい】(24.8%)、【⑤ 全体的に道路の見通しが良い】(21.6%)、【① 渋滞が少ない】(20.4%)の順に高くなっている。

「思わない」は【④ 歩道が広くて歩きやすい】(37.0%)、【② 幅が広くて通行しやすい】(30.4%)が3割を超えて高くなっている。

【③ 路面がきれいで通行しやすい】のみ「思う」が「思わない」を上回っている。

【問 28(211 ページ)】

都市計画道路の機能と役割の中で重要だと思うことについて尋ねたところ、「災害時の避難路を確保し、火災の延焼を防止すること」が 62.0%、「自動車がスムーズに通行でき、人や物資が円滑に移動できること」が 61.3%、「電線類の地中化や街路樹の整備などにより、快適な環境を生み出すこと」が 58.0%、「上下水道などの生活を支えるインフラ施設を地下に埋め、歩行者が歩きやすい空間をつくり出すこと」が 54.5%となっている。一方、「わからない、特になし」が 7.1%となっている。

16. 江戸川区職員の接遇について (214～215 ページ)

【問 29(214 ページ)】

江戸川区職員の接遇に対する満足度について尋ねたところ、「ふつう」が 37.0%と最も高く、次いで「やや満足」が 17.2%、「満足」が 16.0%、「やや不満」が 4.1%となっている。一方、「わからない」が 21.8%となっている。

17. 区政への要望について (216～220 ページ)

【問 30(216 ページ)】

江戸川区政への要望についてについて尋ねたところ、「水害対策」が 46.7%と最も高く、次いで「震災対策」(32.8%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(32.6%)が3割を超えて高くなっている。

18. 自由記述 (221～236 ページ)

【問 31(221 ページ)】

江戸川区ならではの良さ、改善してほしいことについて尋ねたところ、江戸川区の「良さ」または「改善してほしいこと」について、自由回答形式で求めた。

江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「都市基盤整備(道路など)」(15.2%)、「環境保全・リサイクル」(9.4%)、「子育て支援」(9.1%)の順に高くなっている。

「良さ」では、「都市基盤整備(道路など)」(17.8%)、「環境保全・リサイクル」(13.4%)、「子育て支援」(13.3%)の順に高くなっている。

「改善してほしいこと」では、「都市基盤整備(道路など)」(12.5%)、「交通網整備」(9.5%)、「中小企業振興」(6.6%)の順に高くなっている。

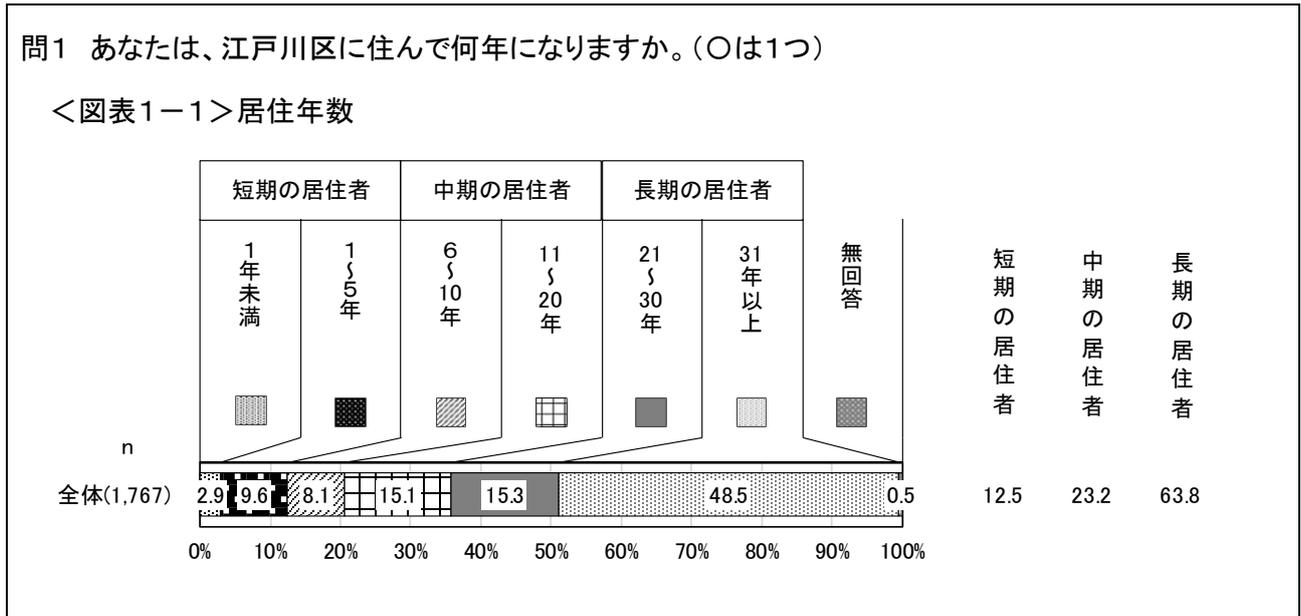
Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇『長期の居住者』が63.8%を占める。



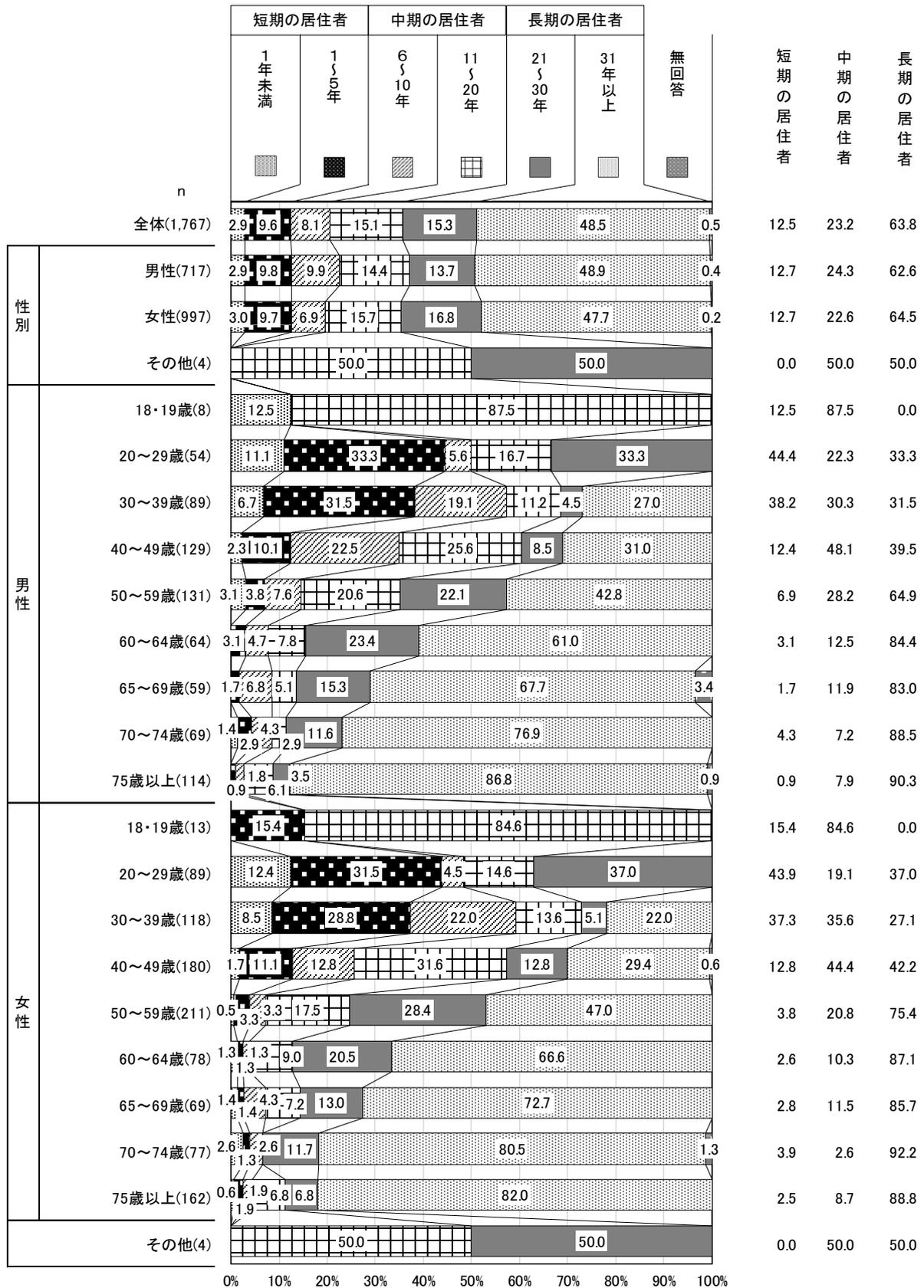
『長期の居住者』(「21～30年」+「31年以上」)(63.8%)、『中期の居住者』(「6～10年」+「11～20年」)(23.2%)、『短期の居住者』(「1年未満」+「1～5年」)(12.5%)の順に高くなっている。選択肢の中では「31年以上」が48.5%と特に高くなっている。(図表1-1)

【性・年齢別】

男性・女性ともに20～29歳で『短期の居住者』が最も高くなっている。

男性・女性ともに60～64歳以上で『長期の居住者』が8割を超え高くなっている。(図表1-2)

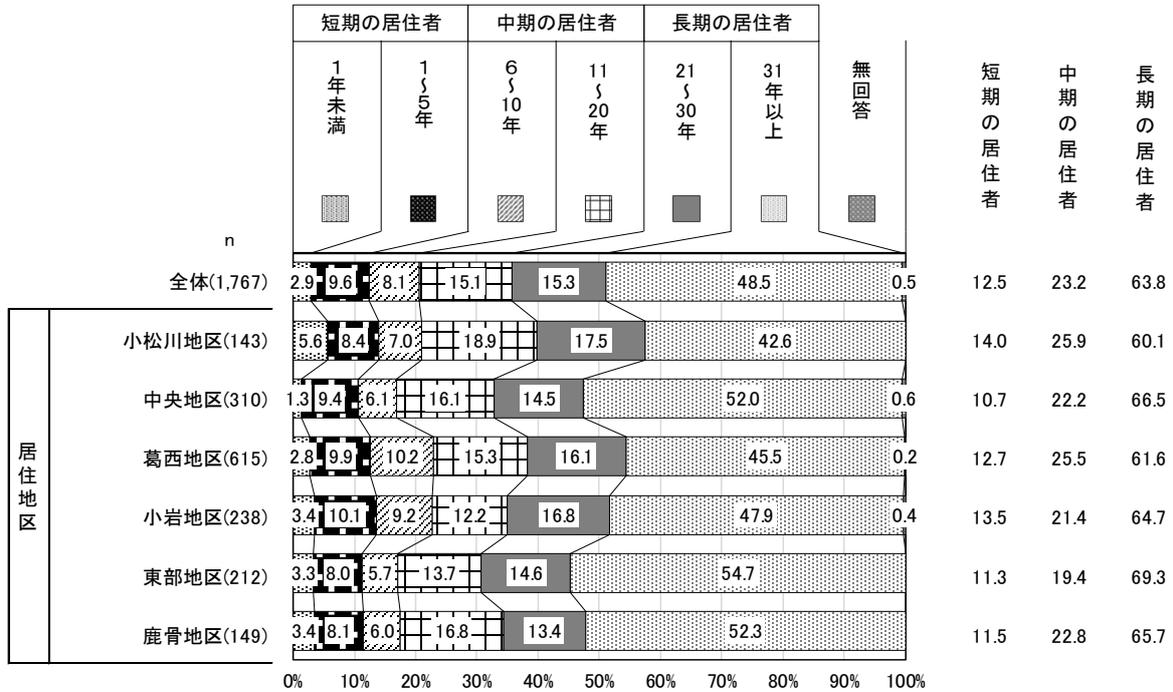
<図表1-2>居住年数/性・年齢別



【居住地区別】

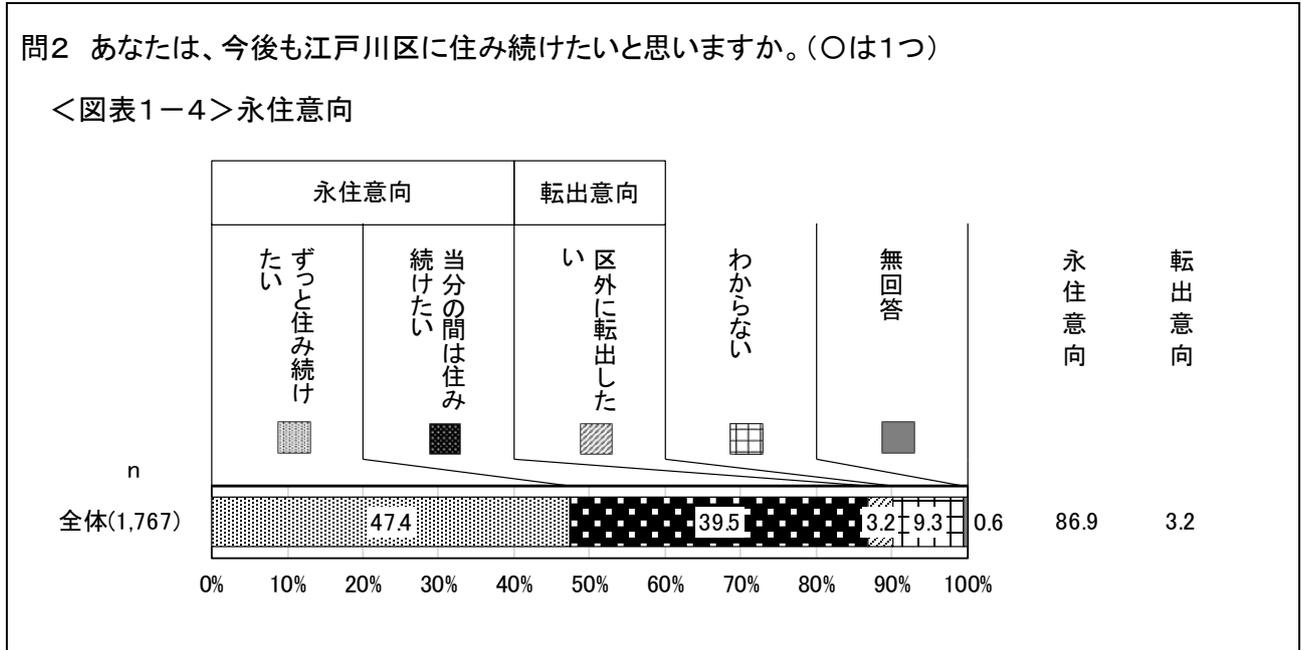
全ての居住地区で『長期の居住者』が6割を超えており、特に東部地区が 69.3%と高くなっている。一方で、『短期の居住者』は小松川地区が 14.0%と最も高くなっている。(図表1-3)

＜図表1-3＞居住年数／居住地区別



(2) 永住意向

◇『永住意向』は86.9%を占める。

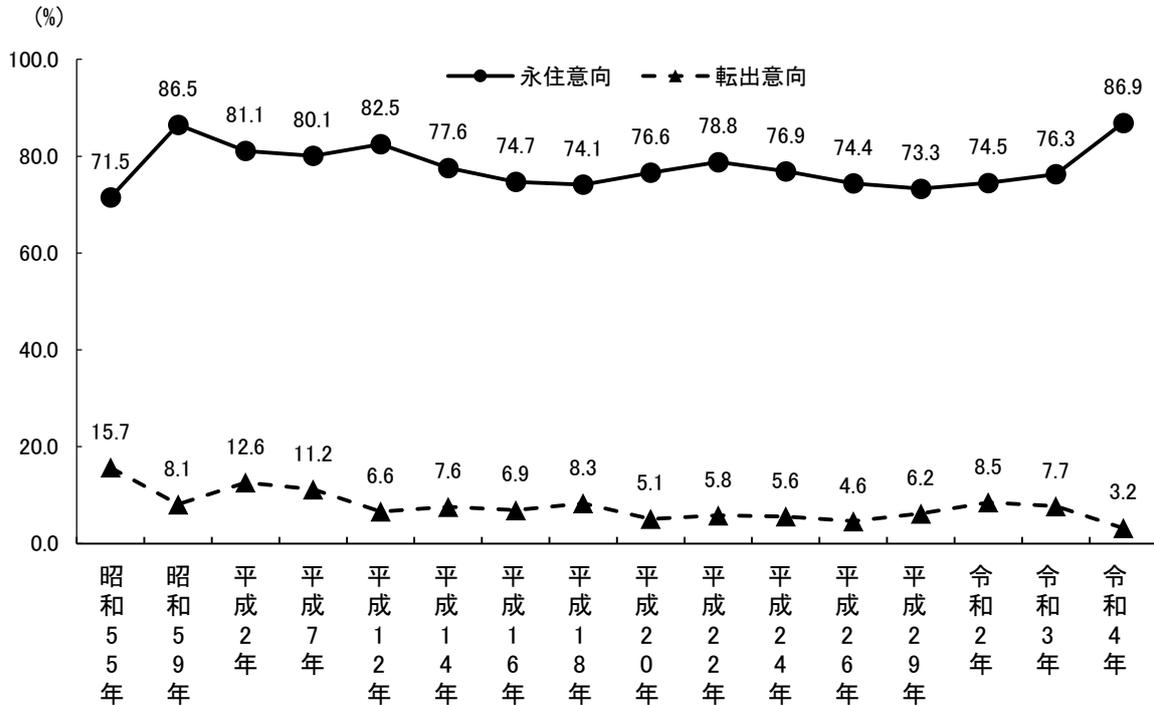


「ずっと住み続けたい」が47.4%、「当分の間は住み続けたい」が39.5%で、『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」）は86.9%となっている。一方で、『転出意向』（「区外に転出したい」）は3.2%とわずかしかが見られない。（図表1-4）

【時系列比較】

『永住意向』は前回の令和3年よりも 10.6 ポイント増加している。一方、『転出意向』は 4.5 ポイント減少している。(図表1-5)

＜図表1-5＞永住意向／時系列比較

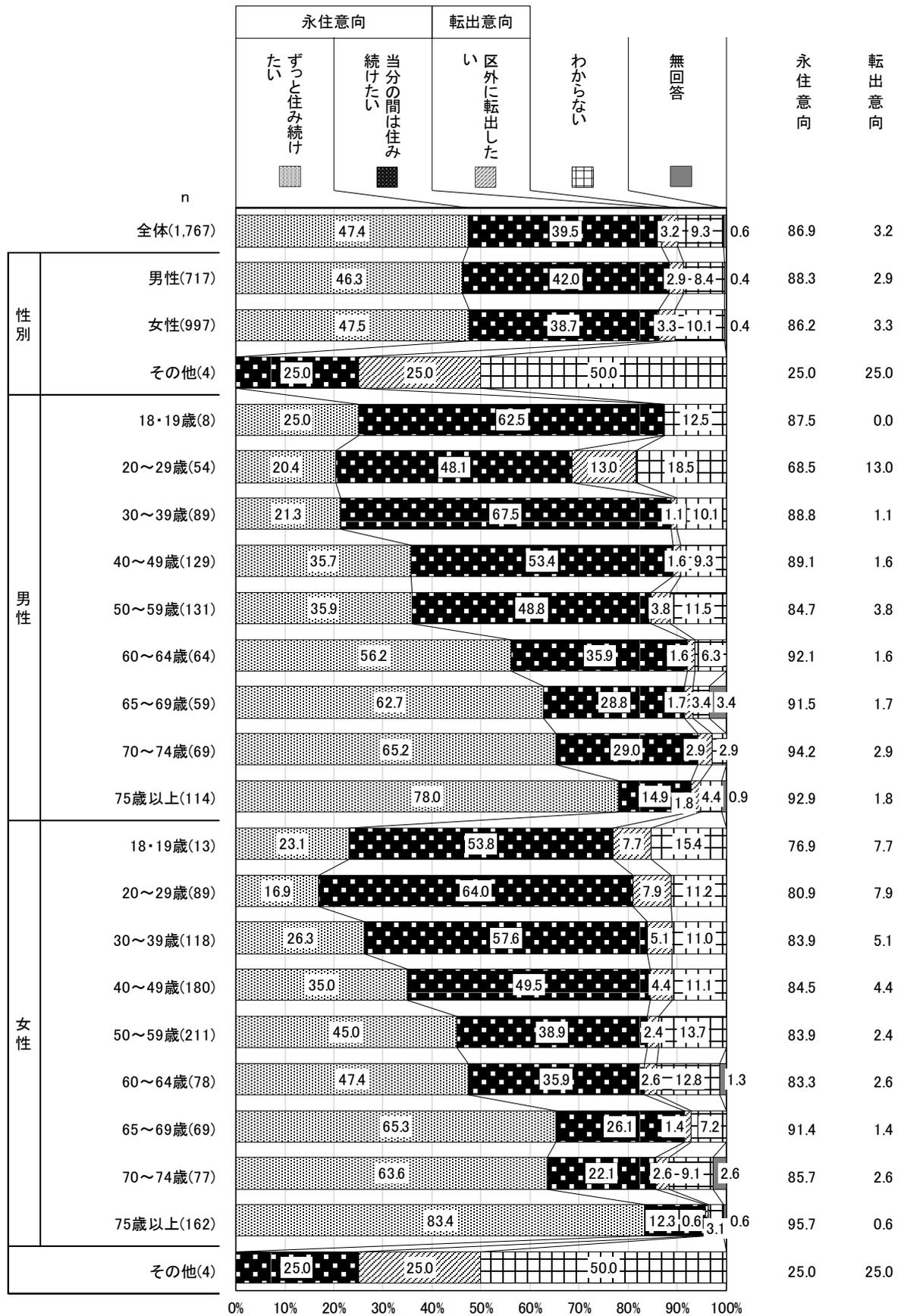


※令和3年までは『永住意向』（「住み続けたい」＋「できれば住み続けたい」）、『転出意向』（「できれば区外へ移りたい」＋「区外へ移るつもり」）としていたため、令和4年度と選択肢が異なる。

【性・年齢別】

『永住意向』は女性-20～29歳が 80.9%と、男性-20～29歳(68.5%)を 12.4 ポイント上回っている。また、男性-60～64歳以上が9割を超えて高くなっている。(図表1-6)

<図表1-6>永住意向／性・年齢別

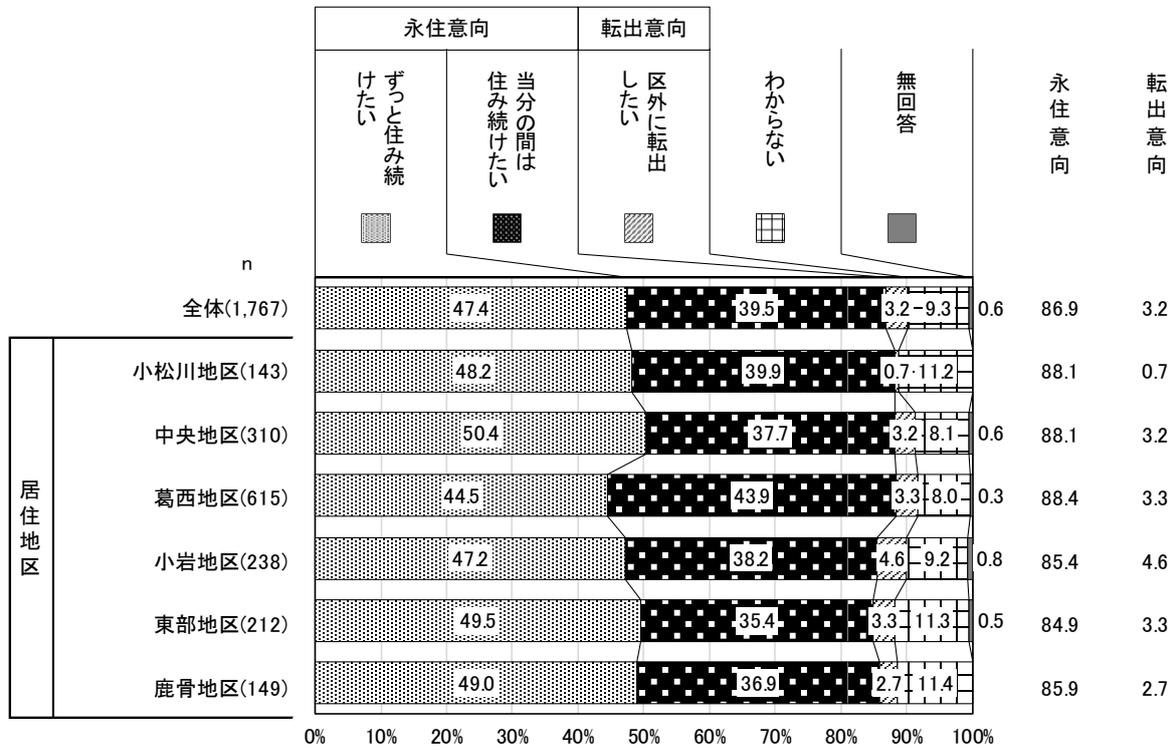


【居住地区別】

『永住意向』は全ての地区で8割を超えている。

『転出意向』は小松川地区で0.7%と特に低くなっている。(図表1-7)

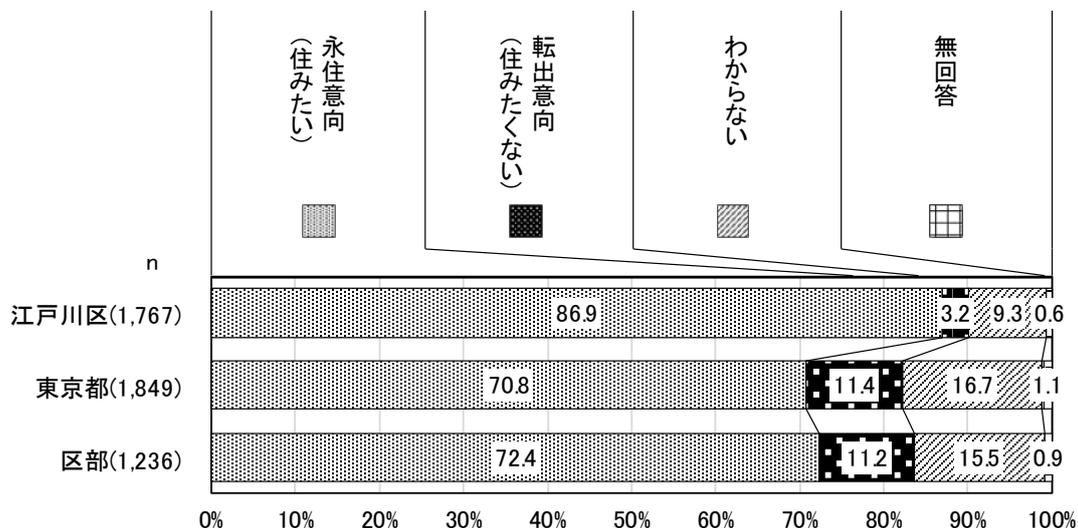
＜図表1-7＞永住意向／居住地区別



【東京都・区部との比較】

江戸川区の『住みたい』（「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」）が 86.9%に対して、東京都が 70.8%、区部が 72.4%と江戸川区が高くなっている。一方、江戸川区の『住みたくない』（「区外に転出したい」）は 3.2%に対して、東京都と区部は1割を超えて高くなっている。（図表1－8）

＜図表1－8＞永住意向／東京都・区部との比較



(注1) 東京都と区部は東京定住意向の調査結果

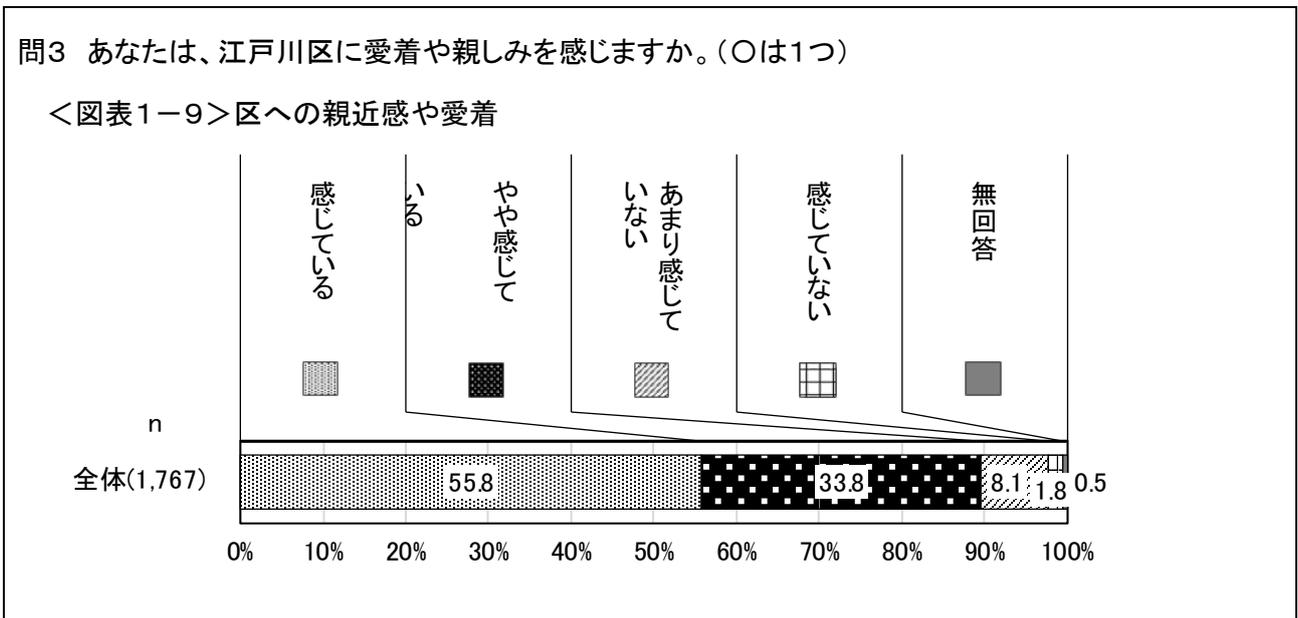
(注2) 表頭の()内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所: 東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和3年9月調査)

(注3) 江戸川区調査と東京都調査で選択肢に違いがあるため、江戸川区の「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」を合計した数値と、東京都の「住みたい」の数値を比較している。同様に、江戸川区の「区外に転出したい」の数値と、東京都の「住みたくない」の数値を比較している。

(3) 区への親近感や愛着

◇「感じている」が55.8%を占める。

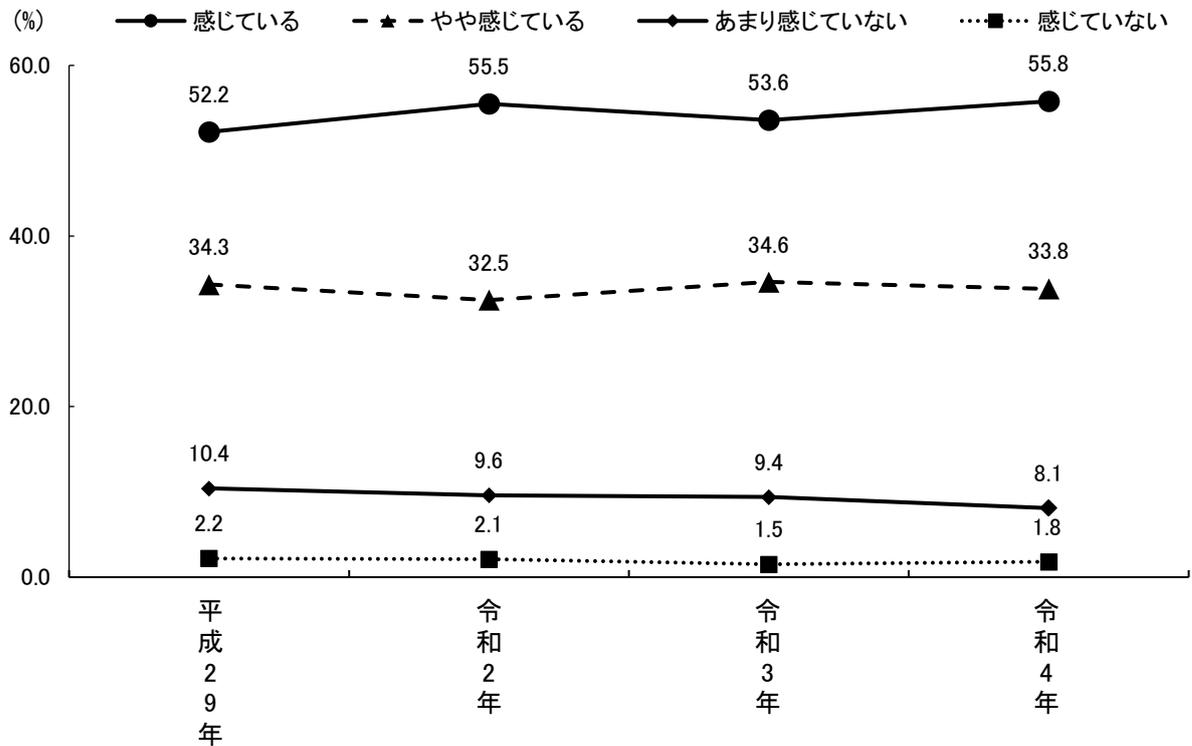


「感じている」が 55.8%、「やや感じている」が 33.8%、「あまり感じていない」が 8.1%、「感じていない」が 1.8%となっている。(図表1-9)

【時系列比較】

「感じている」は前回の令和3年よりも 2.2 ポイント増加している。一方、「あまり感じていない」は 1.3 ポイント減少している。(図表1-10)

＜図表1-10＞区への親近感や愛着／時系列比較

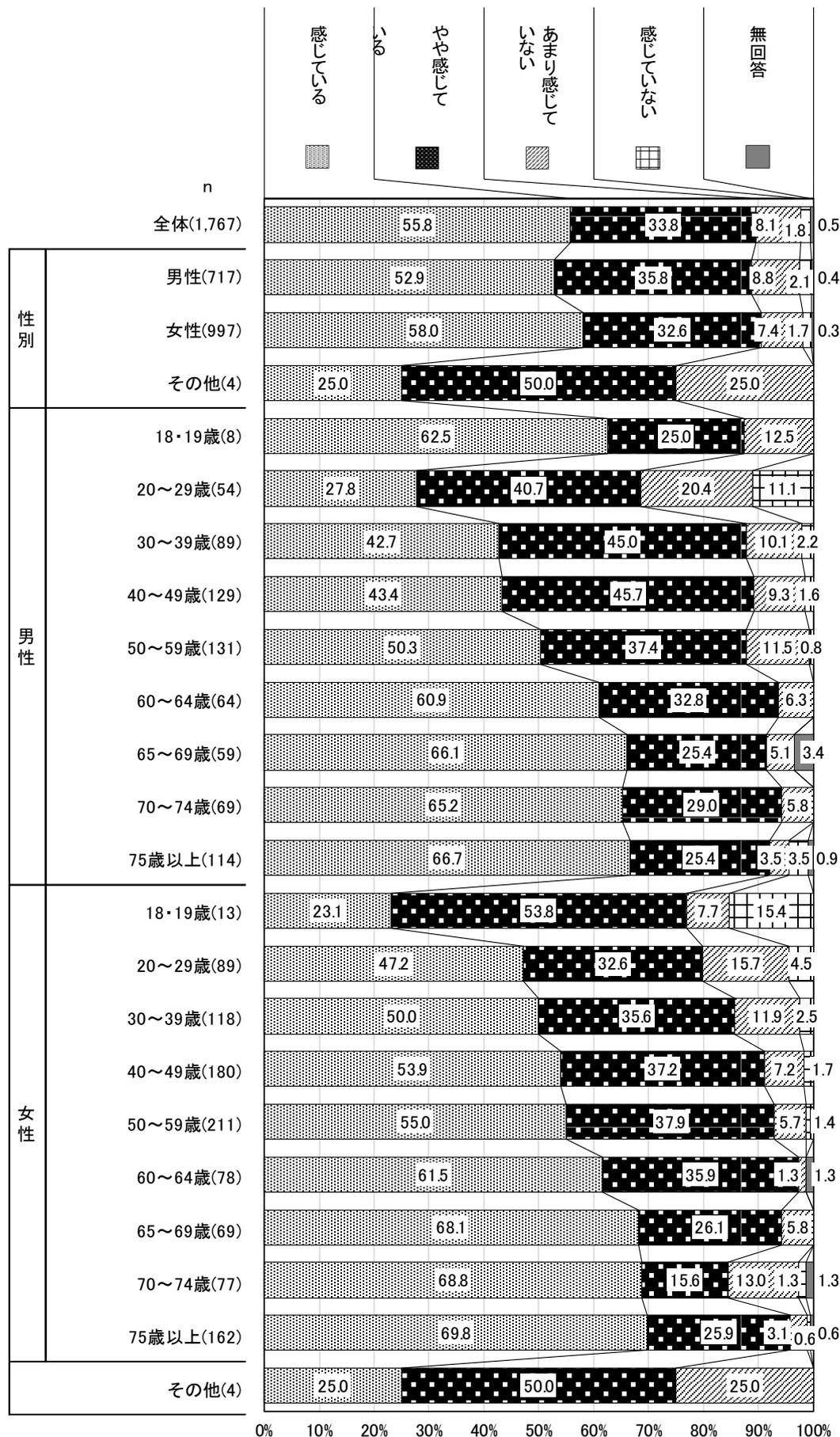


【性・年齢別】

「感じている」は女性が 58.0%と、男性(52.9%)を 5.1 ポイント上回っている。また、女性-20～29 歳は 47.2%と、男性-20～29 歳(27.8%)を 19.4 ポイント上回っている。

男性・女性ともに、年齢が上がると「感じている」の割合が高くなる傾向にある。(図表1-11)

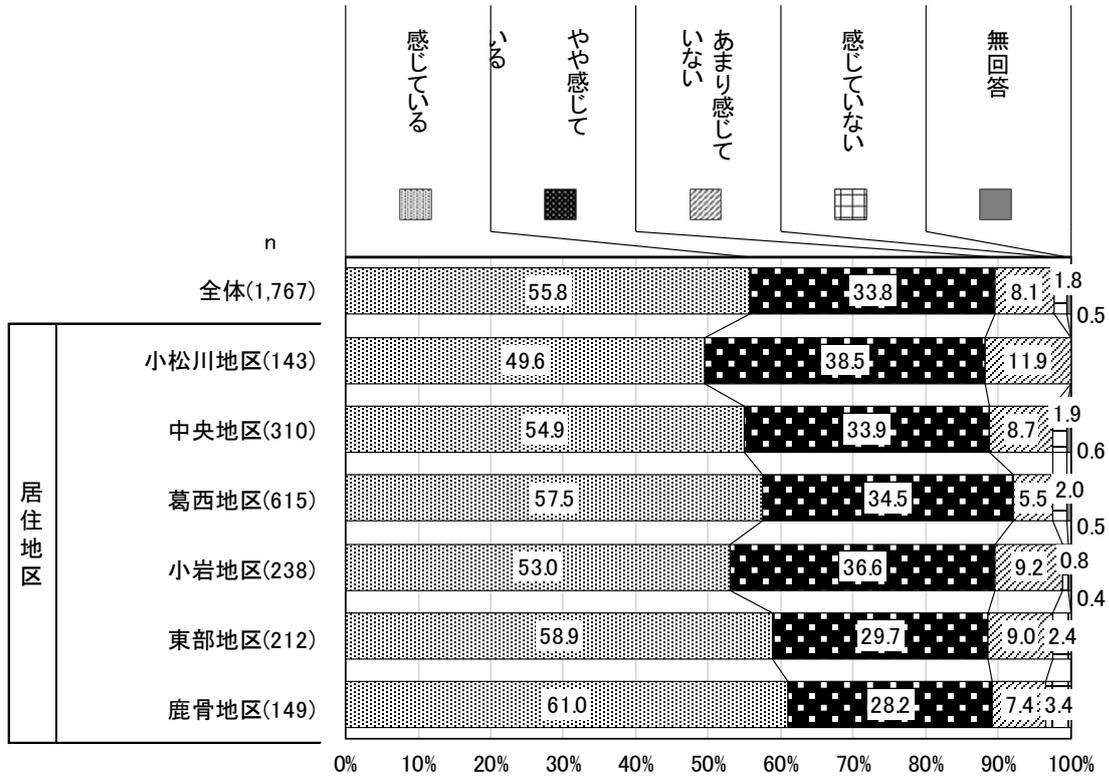
<図表1-11> 区への親近感や愛着／性・年齢別



【居住地区別】

「感じている」は鹿骨地区(61.0%)のみが6割を超えて高くなっている。(図表1-12)

＜図表1-12＞区への親近感や愛着／居住地区別



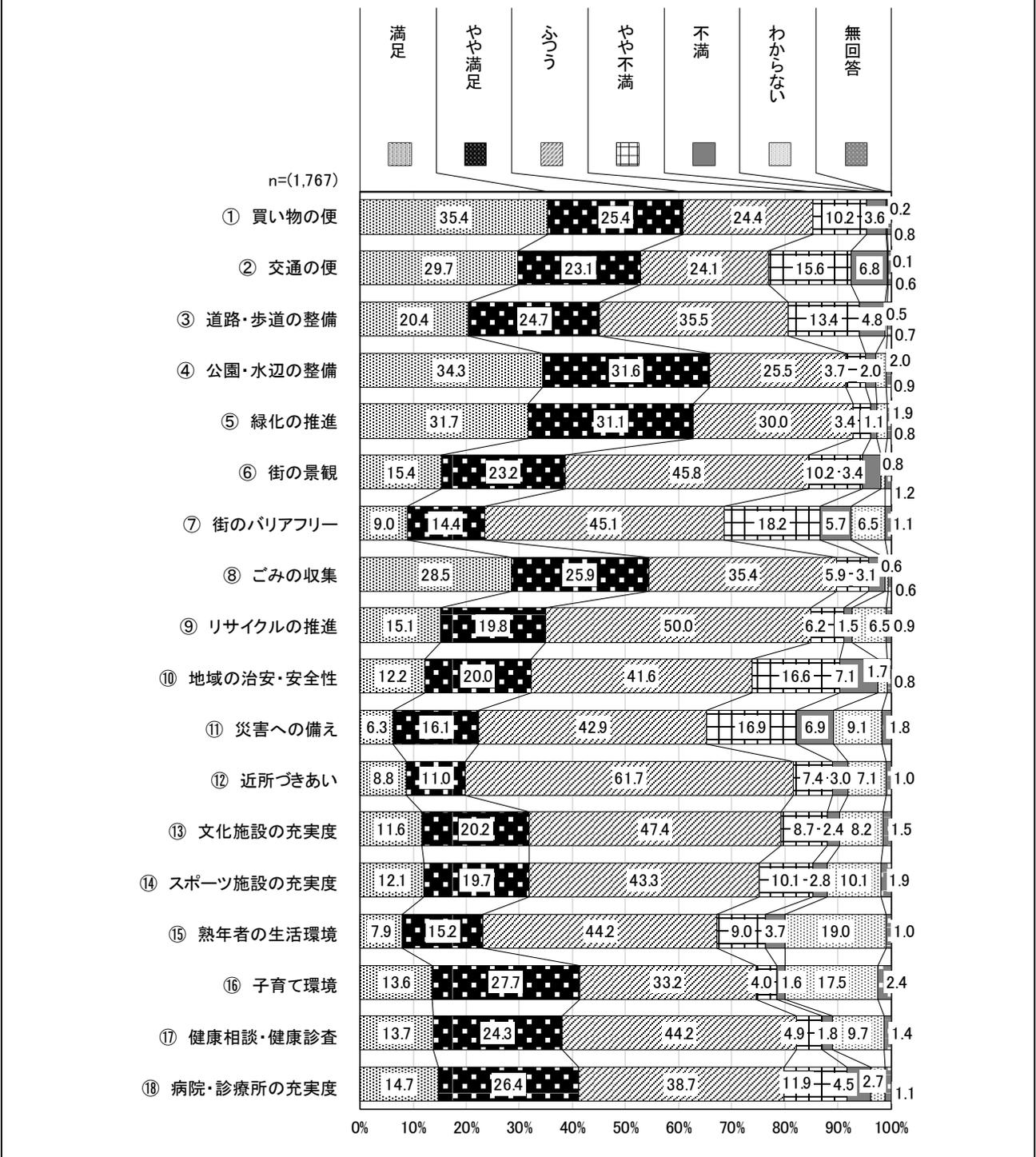
2. 江戸川区の現況について

(1) 各項目の満足度

◇ 【① 買い物の便】、【④ 公園・水辺の整備】、【⑤ 緑化の推進】の「満足」が3割台。

問4 ①～⑱の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表2-1>各項目の満足度



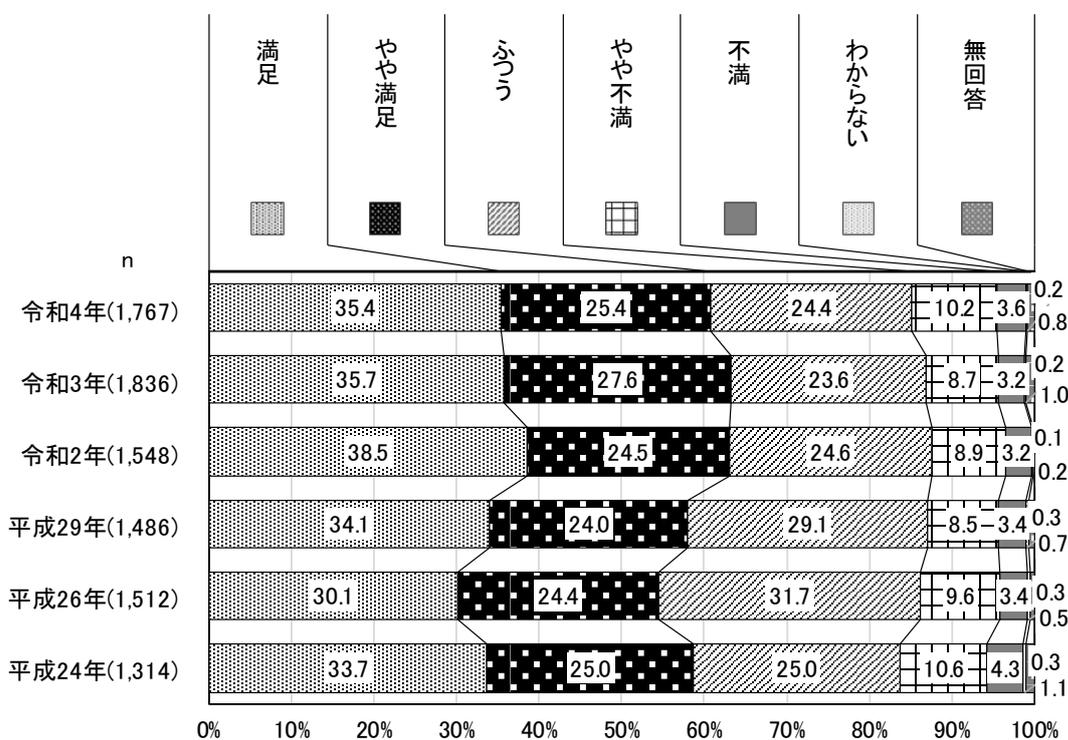
「満足」は【① 買い物の便】(35.4%)、【④ 公園・水辺の整備】(34.3%)、【⑤ 緑化の推進】(31.7%)が3割を超えて高くなっている。「不満」は【⑩ 地域の治安・安全性】7.1%と最も高くなっているが、いずれも1割未満となっている。(図表2-1)

【① 買い物の便／時系列比較】

令和3年と比較すると「やや満足」が2.2ポイント減少し、「やや不満」は1.5ポイント増加している。

(図表2-2)

<図表2-2>① 買い物の便／時系列比較

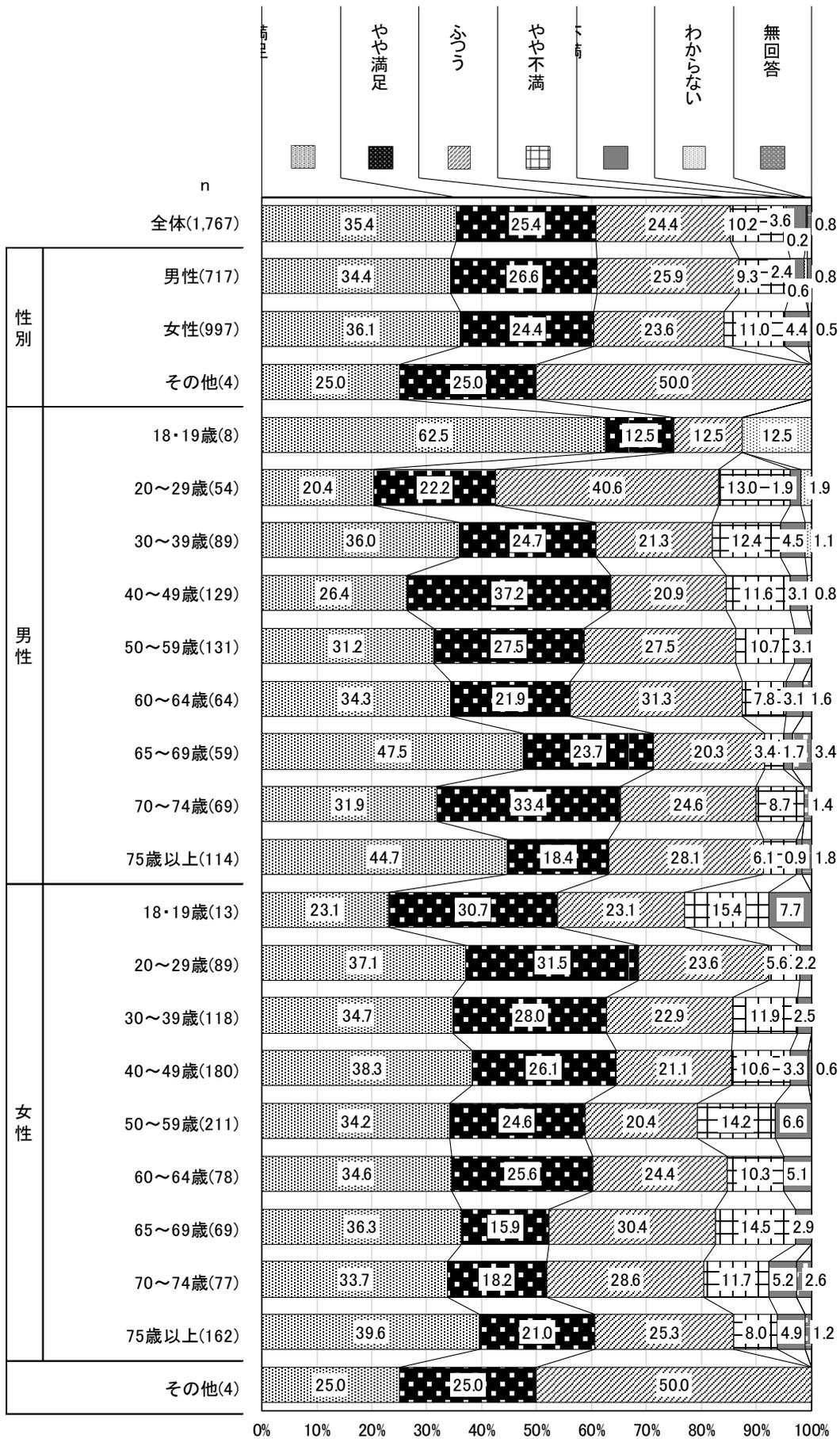


【① 買い物の便／性・年齢別】

「やや満足」は男性が26.6%と、女性(24.4%)を2.2ポイント上回っている。

「満足」は男性-65～69歳(47.5%)と男性-75歳以上(44.7%)が4割を超えて高くなっている。一方、男性-20～29歳は20.4%と最も低くなっている。また、女性は20～29歳から75歳以上でいずれも「満足」が3割を超えて高くなっている。(図表2-3)

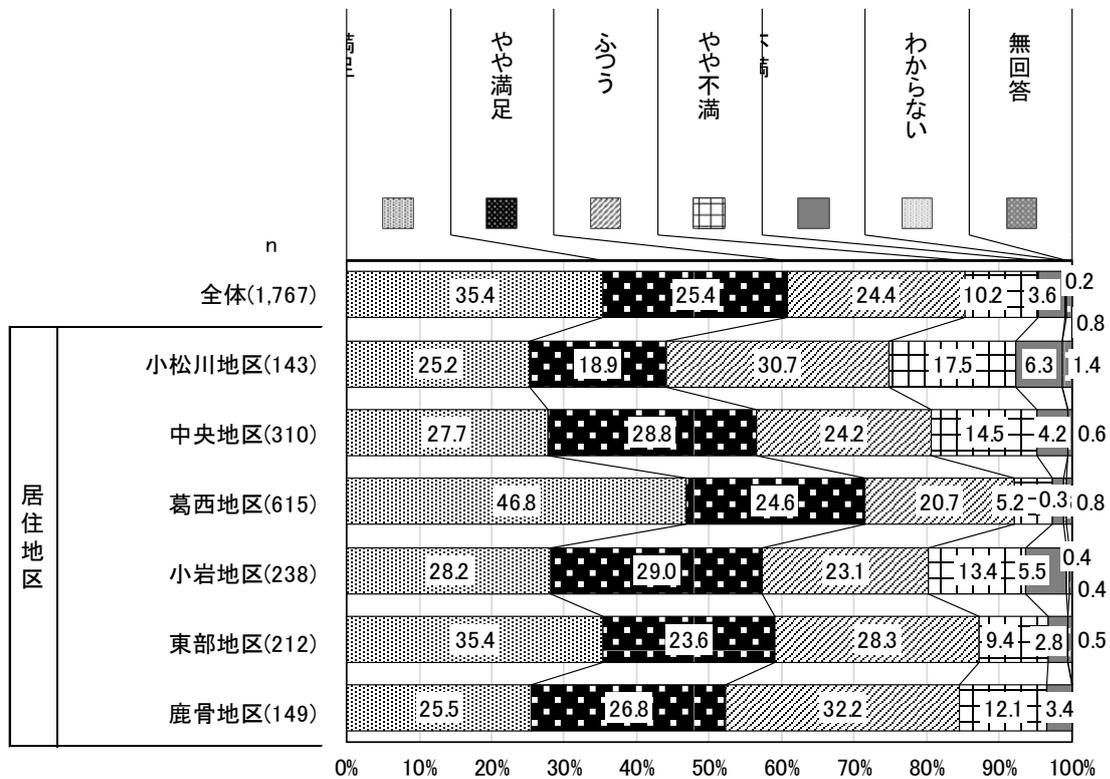
<図表2-3>① 買い物の便／性・年齢別



【① 買い物の便／居住地区別】

「満足」は葛西地区(46.8%)のみが4割を超えて高くなっている。一方で、小松川地区(25.2%)、中央地区(27.7%)、小岩地区(28.2%)、鹿骨地区(25.5%)はいずれも2割台と低くなっている。(図表2-4)

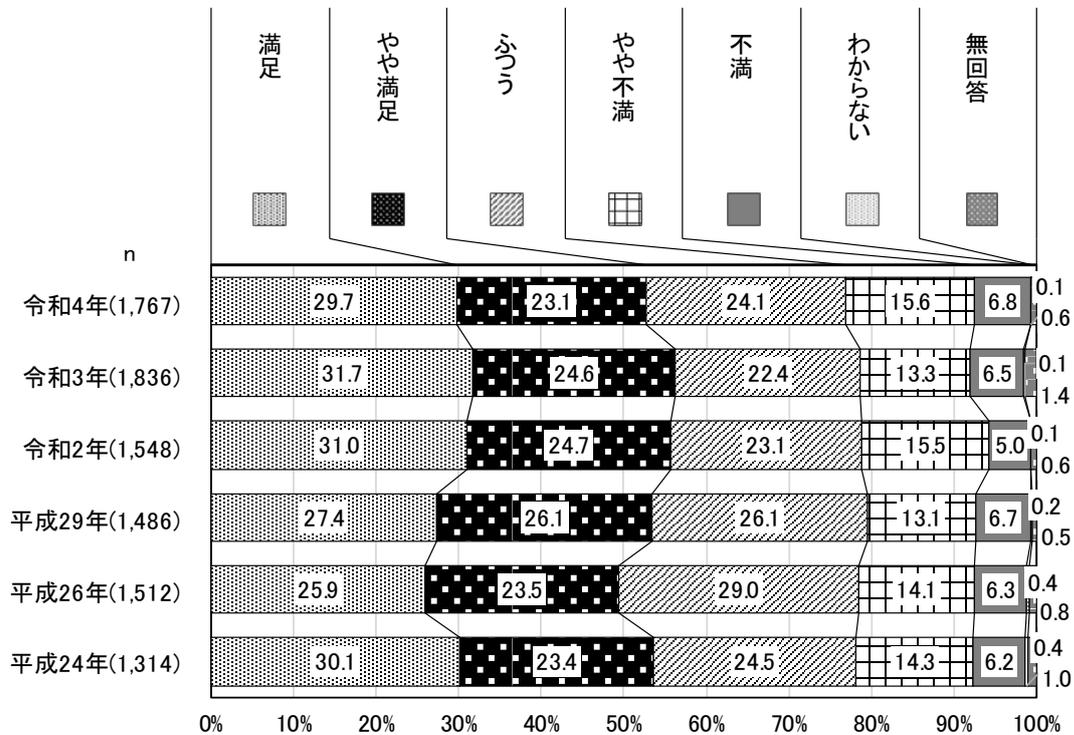
<図表2-4>① 買い物の便／居住地区別



【② 交通の便／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が2.0ポイント減少し、「やや満足」は1.5ポイント減少している。(図表2-5)

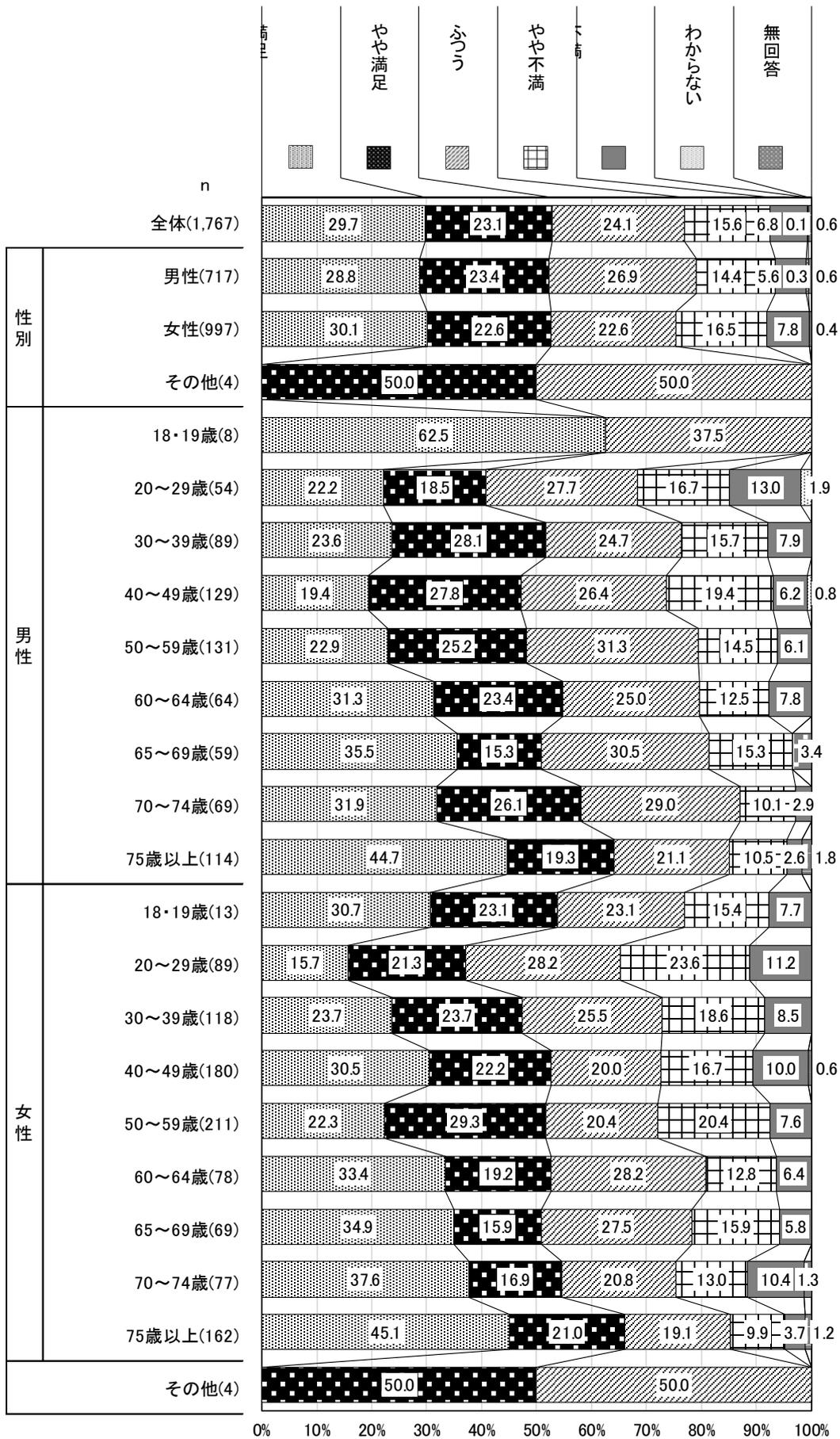
<図表2-5>② 交通の便／時系列比較



【② 交通の便／性・年齢別】

「満足」は男性・女性ともに75歳以上が4割を超えて高くなっている。一方で、男性-40～49歳(19.4%)と女性-20～29歳(15.7%)は1割台と低くなっている。(図表2-6)

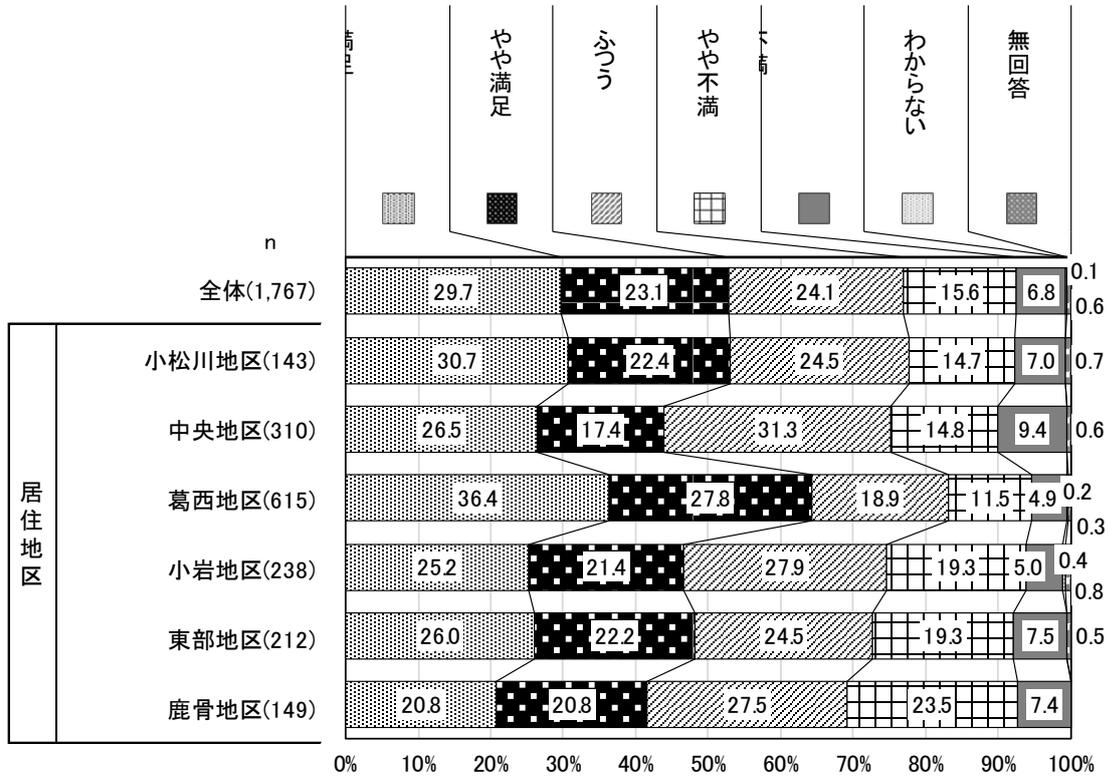
<図表2-6>② 交通の便／性・年齢別



【② 交通の便／居住地区別】

「満足」は小松川地区(30.7%)と葛西地区(36.4%)が3割を超えて高くなっている。(図表2-7)

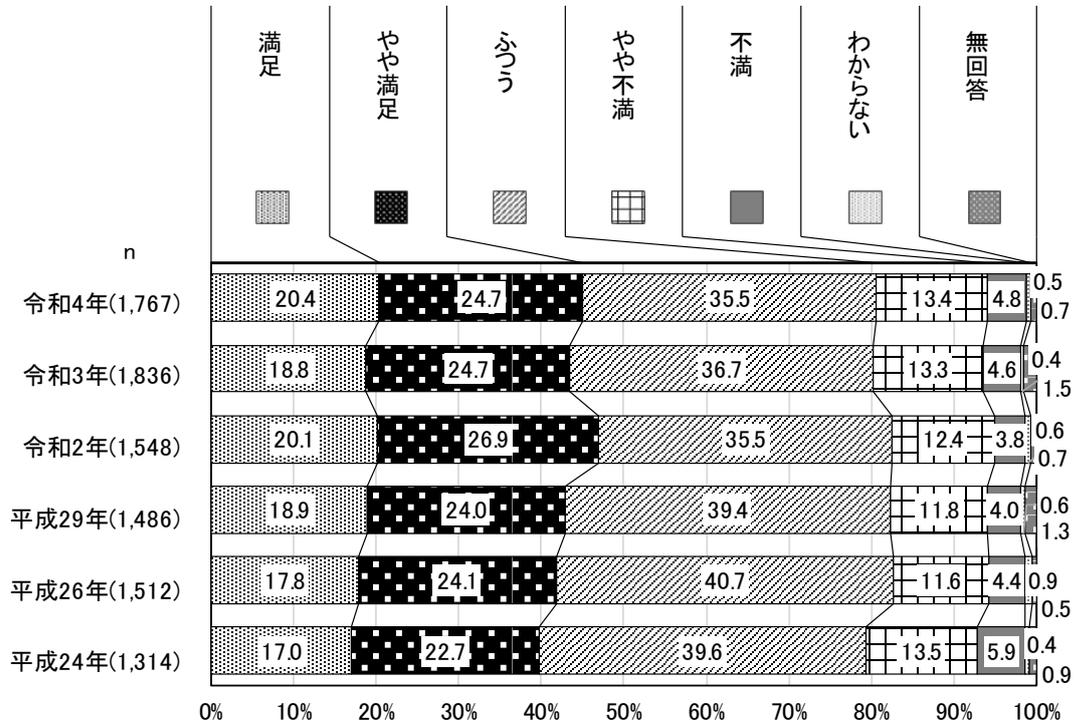
<図表2-7>② 交通の便／居住地区別



【③ 道路・歩道の整備／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が1.6ポイント増加し、「ふつう」は1.2ポイント減少している。(図表2-8)

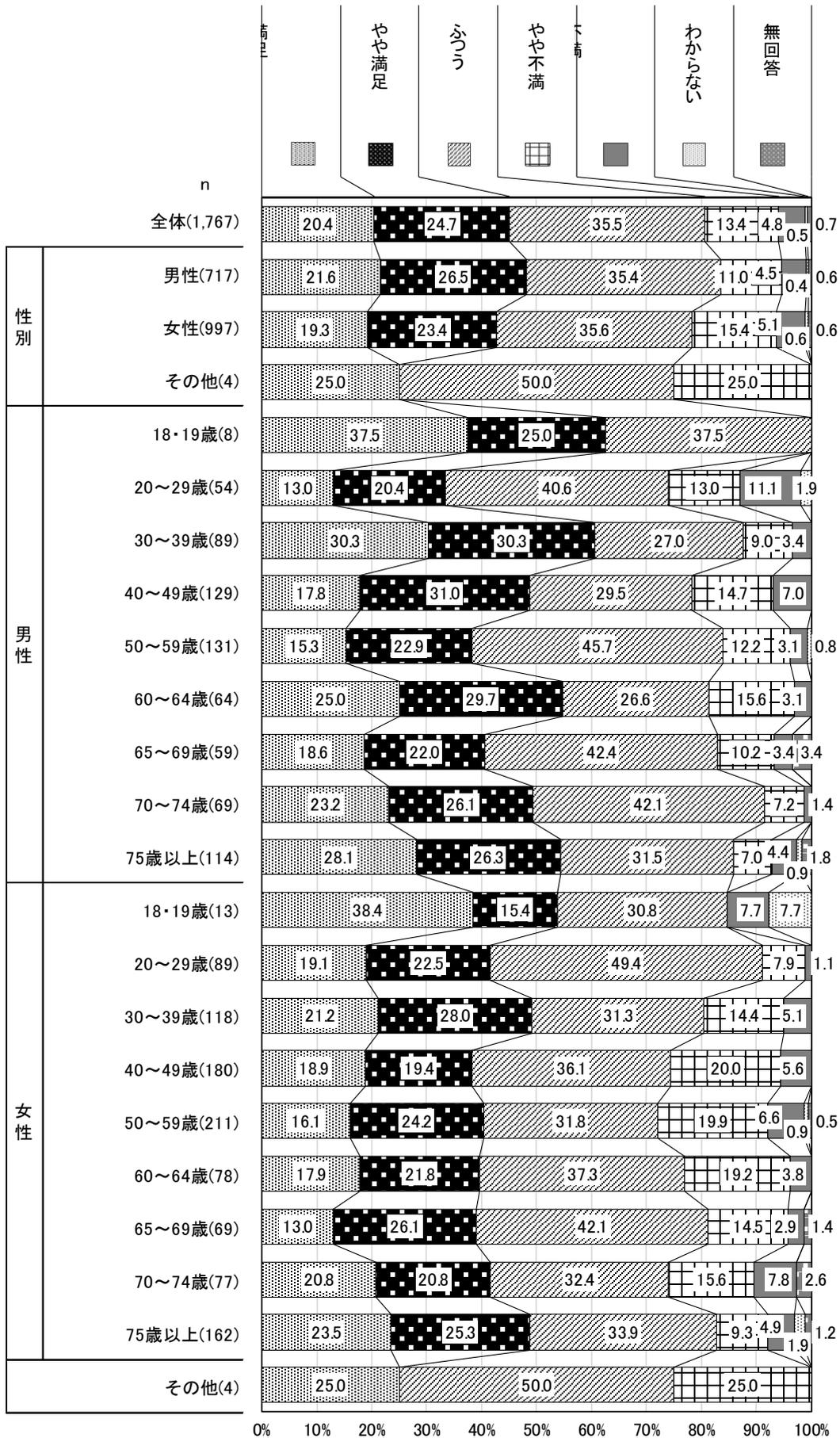
<図表2-8>③ 道路・歩道の整備／時系列比較



【③ 道路・歩道の整備／性・年齢別】

「満足」は男性-30～39歳(30.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表2-9)

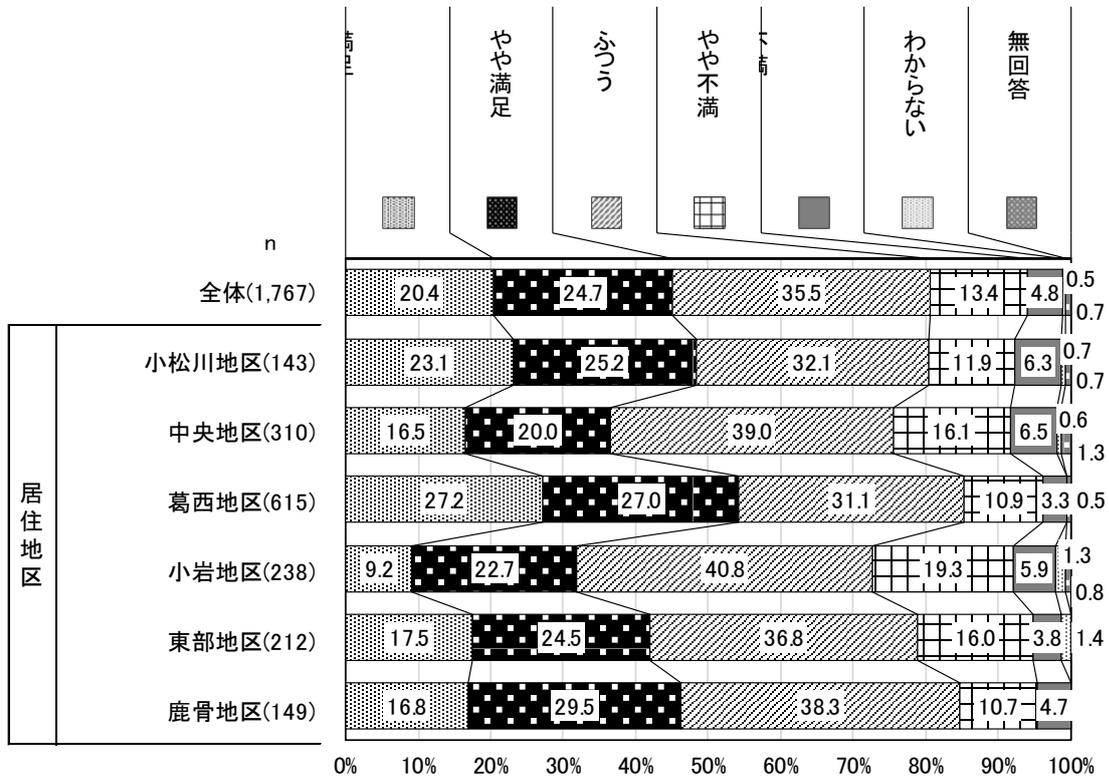
<図表2-9>③ 道路・歩道の整備／性・年齢別



【③ 道路・歩道の整備／居住地区別】

「満足」は小松川地区(23.1%)と葛西地区(27.2%)が2割を超えて高くなっている。一方で、小岩地区が9.2%で1割未満と低くなっている。(図表2-10)

<図表2-10>③ 道路・歩道の整備／居住地区別

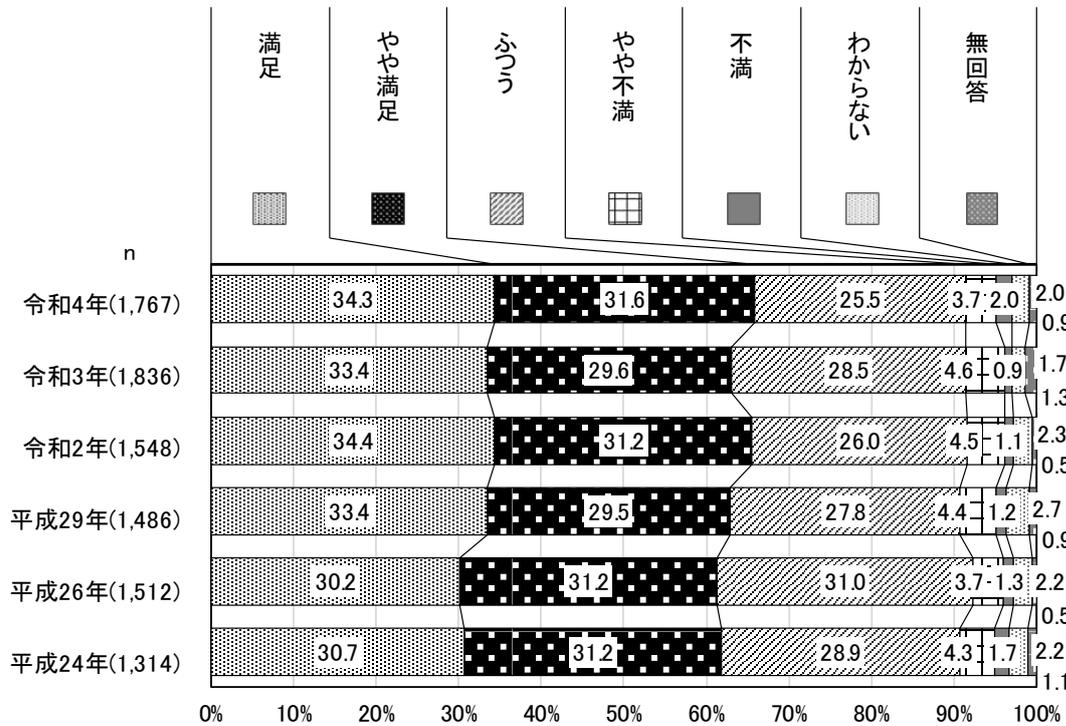


【④ 公園・水辺の整備／時系列比較】

令和3年と比較すると「やや満足」が2.0ポイント増加し、「ふつう」は3.0ポイント減少している。

(図表2-11)

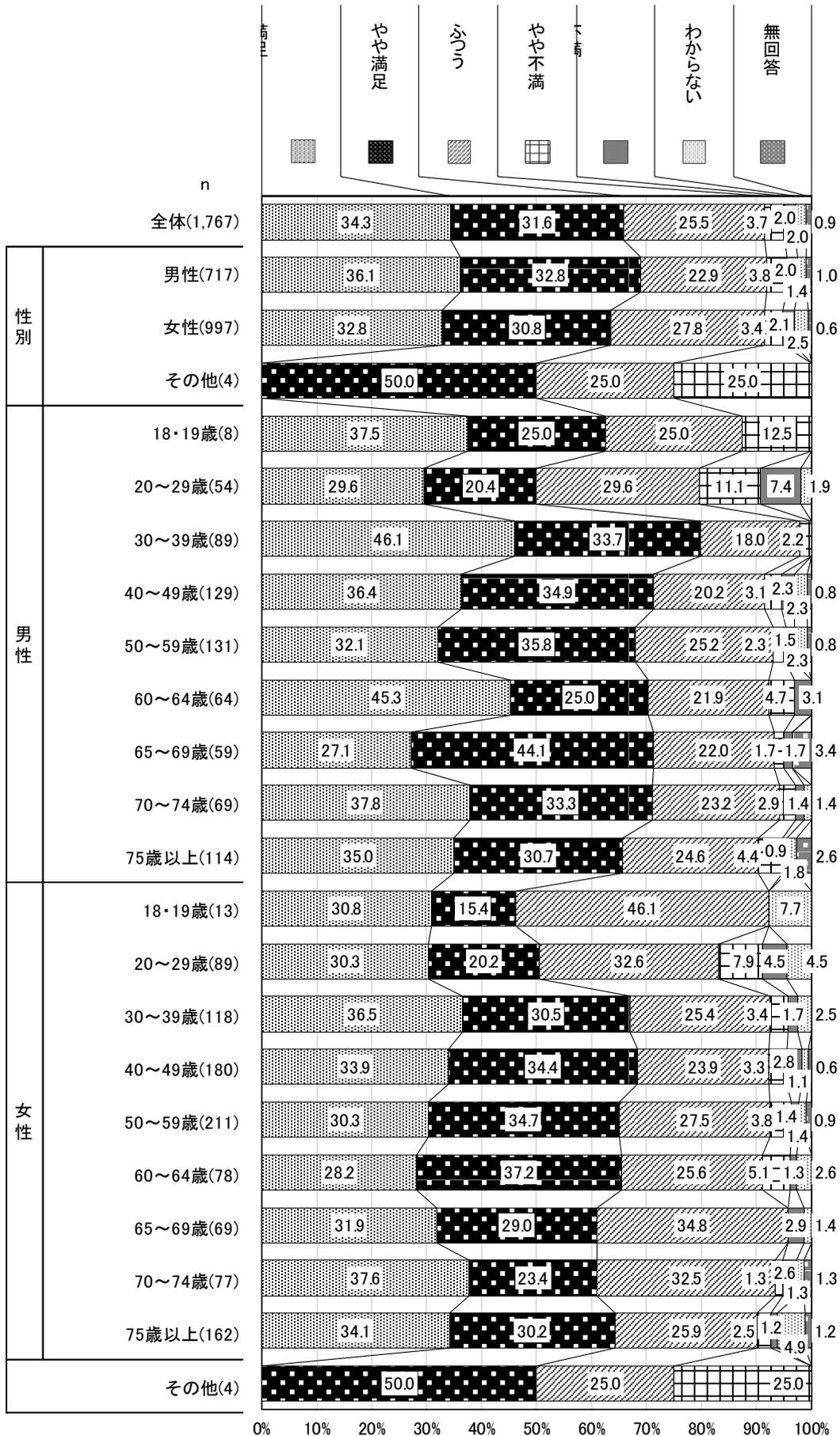
＜図表2-11＞④ 公園・水辺の整備／時系列比較



【④ 公園・水辺の整備／性・年齢別】

「満足」は男性が36.1%と、女性(32.8%)を3.3ポイント上回っている。また、男性-30～39歳(46.1%)と男性-60～64歳(45.3%)が4割を超えて高くなっている。一方で、男性-20～29歳(29.6%)、男性-65～69歳(27.1%)、女性-60～64歳(28.2%)は2割台と低くなっている。(図表2-12)

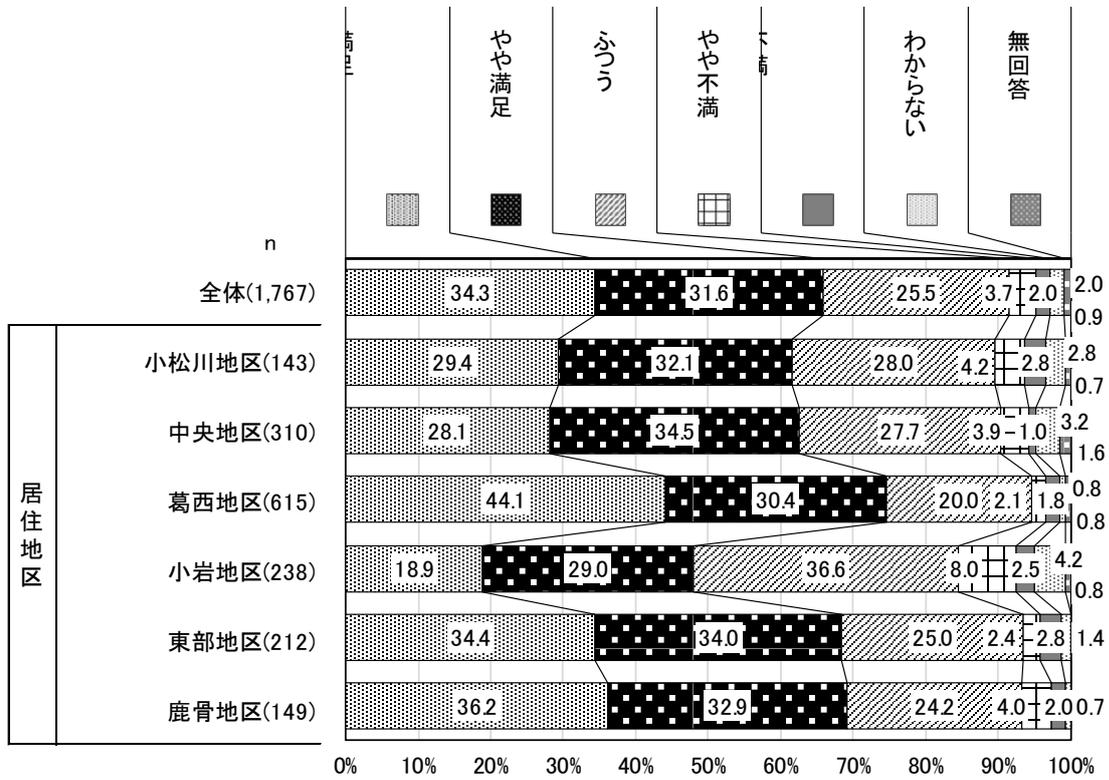
<図表2-12>④ 公園・水辺の整備／性・年齢別



【④ 公園・水辺の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区(44.1%)のみが4割を超えて高くなっている。一方、小岩地区(18.9%)のみが1割台と低くなっている。(図表2-13)

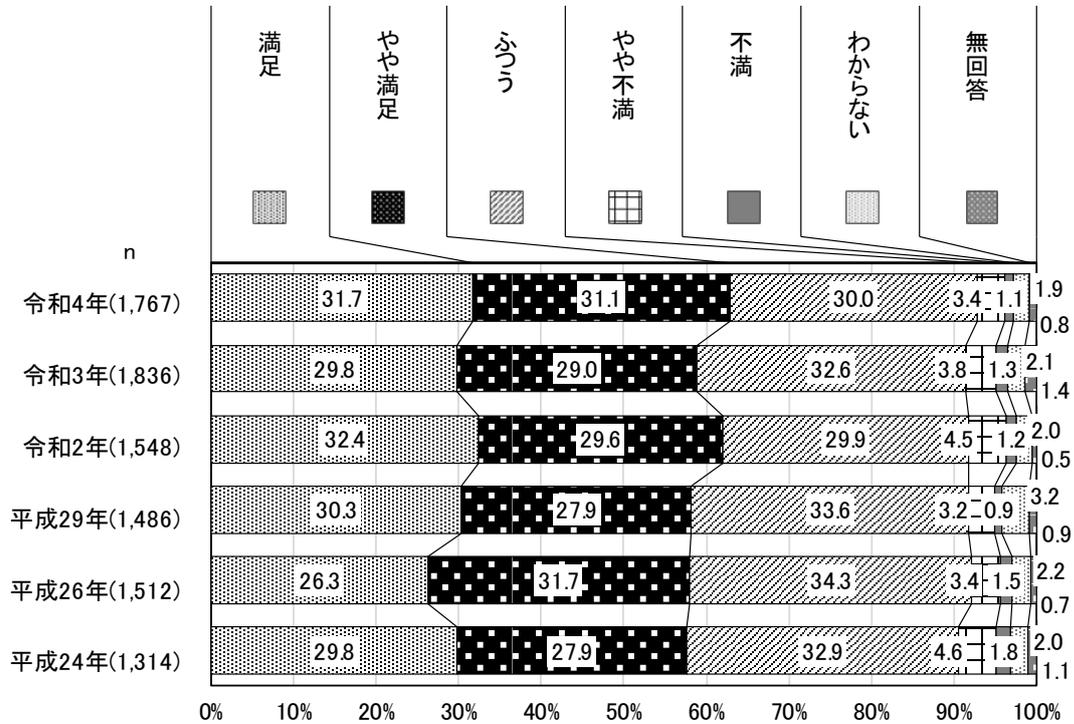
<図表2-13>④ 公園・水辺の整備／居住地区別



【⑤ 緑化の推進／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が1.9ポイント増加し、「やや満足」が2.1ポイント増加している。(図表2-14)

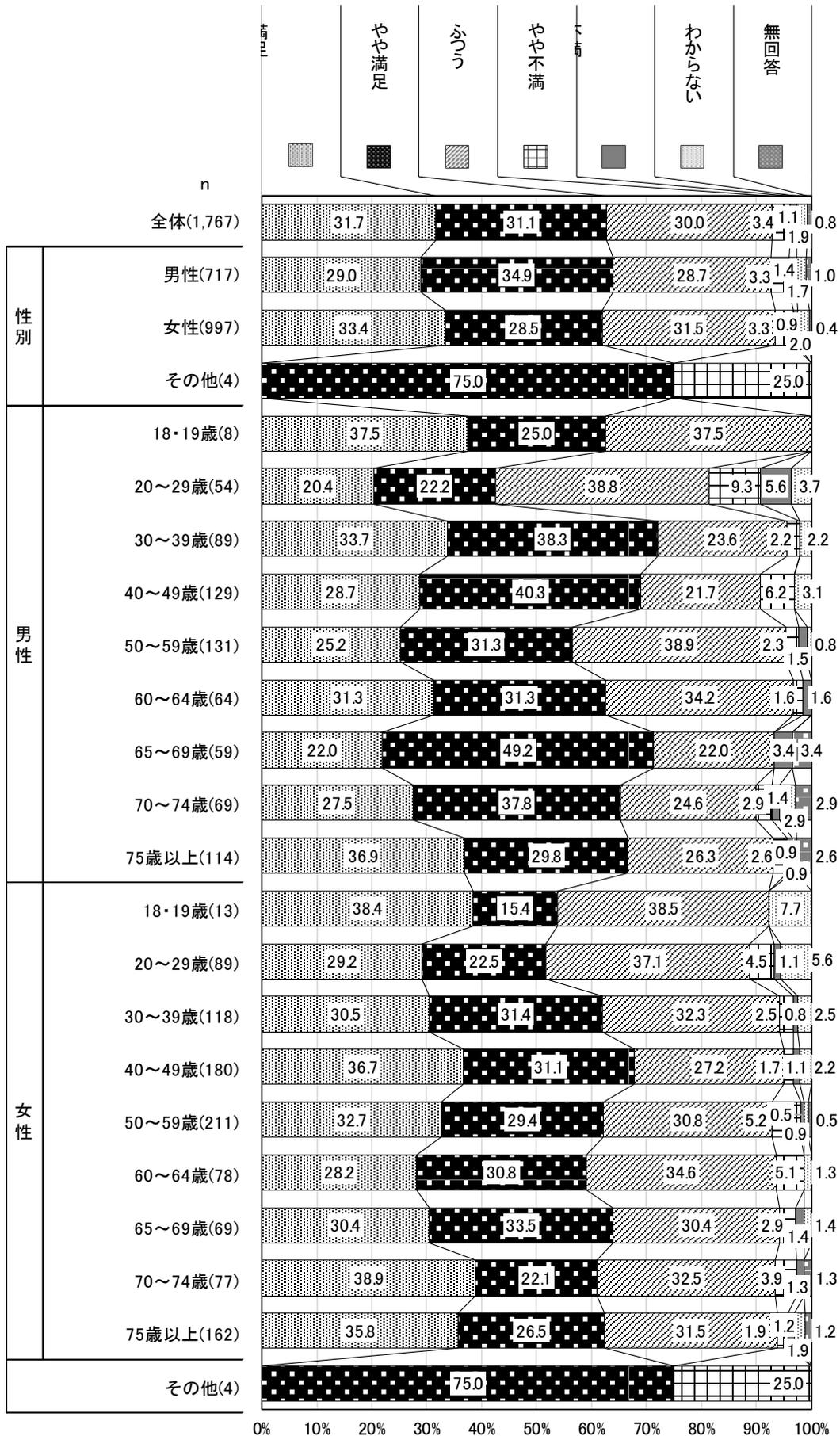
＜図表2-14＞⑤ 緑化の推進／時系列比較



【⑤ 緑化の推進／性・年齢別】

「満足」は女性が33.4%と、男性(29.0%)を4.4ポイント上回っている。男性・女性ともにいずれの年齢も、2割～3割台で推移している。(図表2-15)

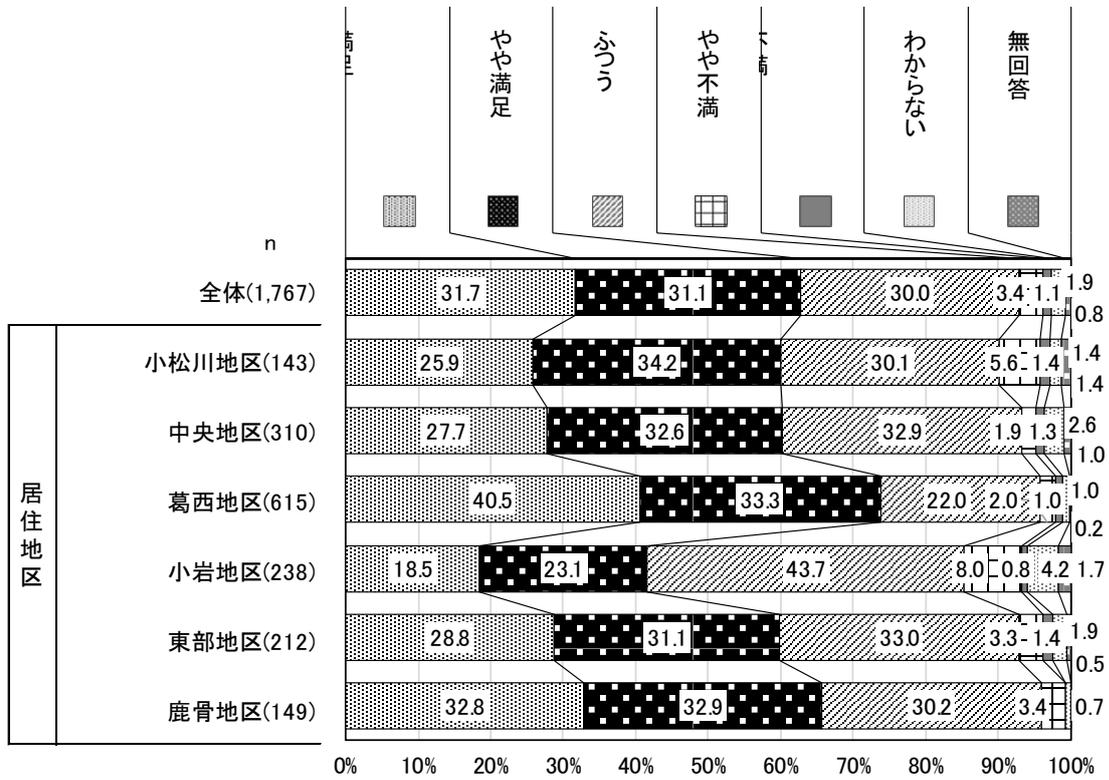
<図表2-15>⑤ 緑化の推進／性・年齢別



【⑤ 緑化の推進／居住地区別】

「満足」は葛西地区(40.5%)のみが4割を超えて高くなっている。一方、小岩地区(18.5%)のみが1割台と低くなっている。(図表2-16)

<図表2-16>⑤ 緑化の推進／居住地区別

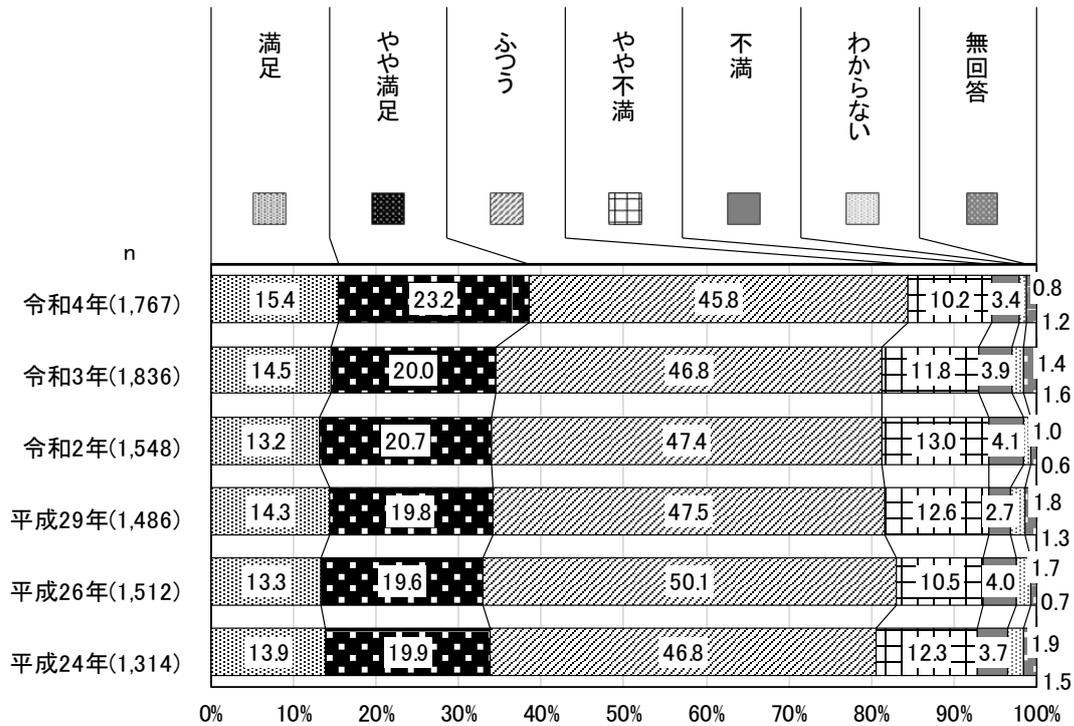


【⑥ 街の景観／時系列比較】

令和3年と比較すると「やや満足」が3.2ポイント増加し、「やや不満」が1.6ポイント減少している。

(図表2-17)

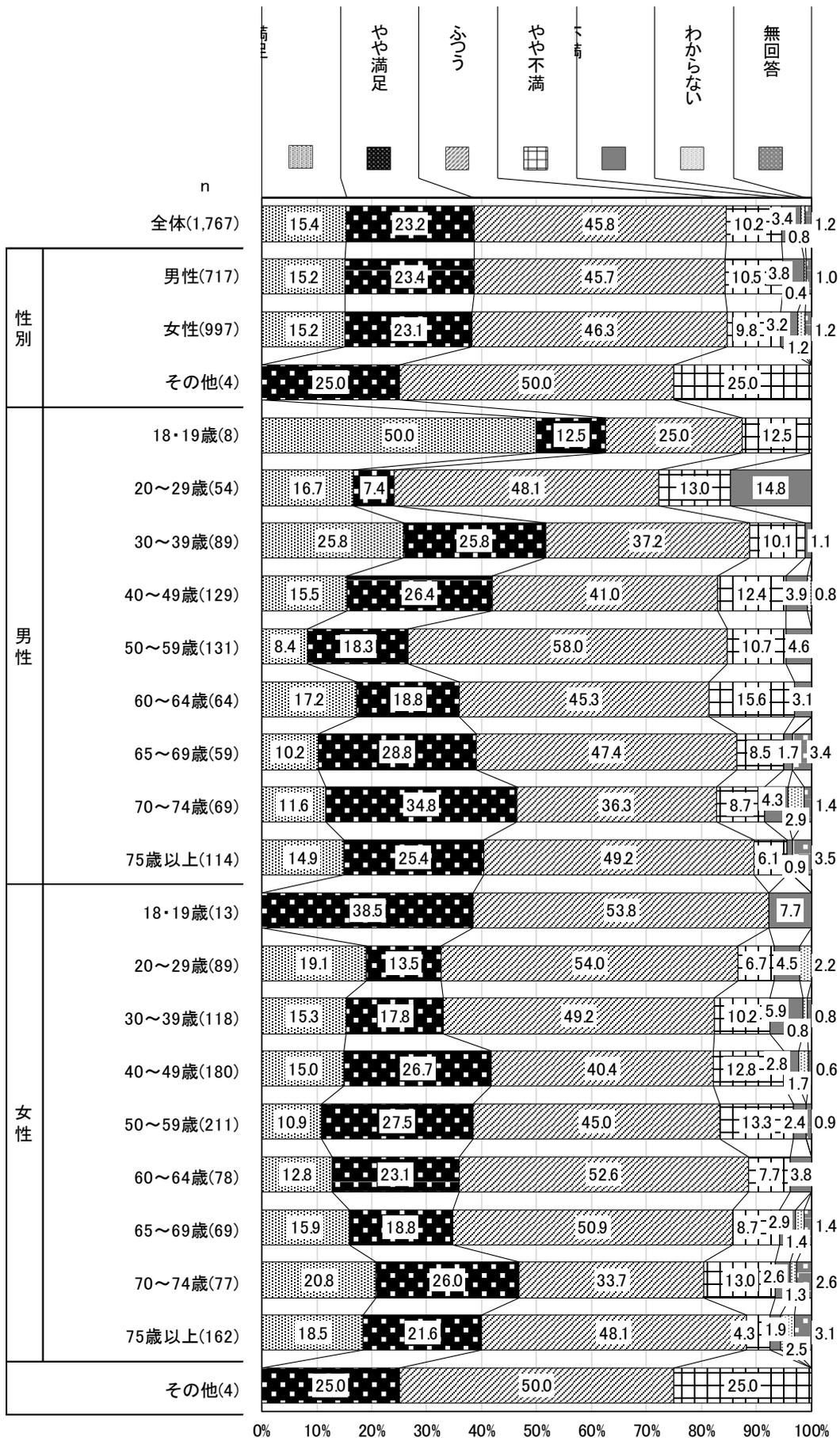
<図表2-17>⑥ 街の景観／時系列比較



【⑥ 街の景観／性・年齢別】

「満足」は男性-30～39歳(25.8%)と女性-70～74歳(20.8%)が2割を超えて高くなっている。一方、男性-50～59歳(8.4%)は1割未満と低くなっている。(図表2-18)

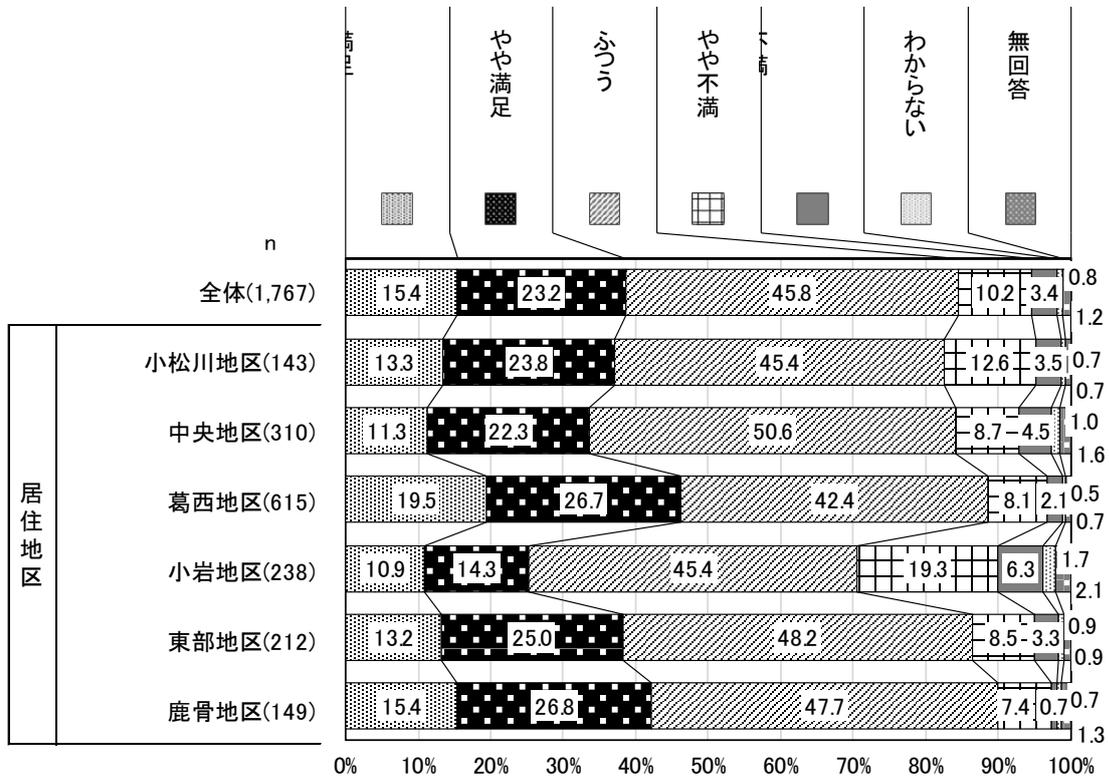
<図表2-18>⑥ 街の景観／性・年齢別



【⑥ 街の景観／居住地区別】

全ての居住地区で「満足」が1割台となっている。また、「やや満足」は小岩地区(14.3%)のみが1割台と低くなっている。(図表2-19)

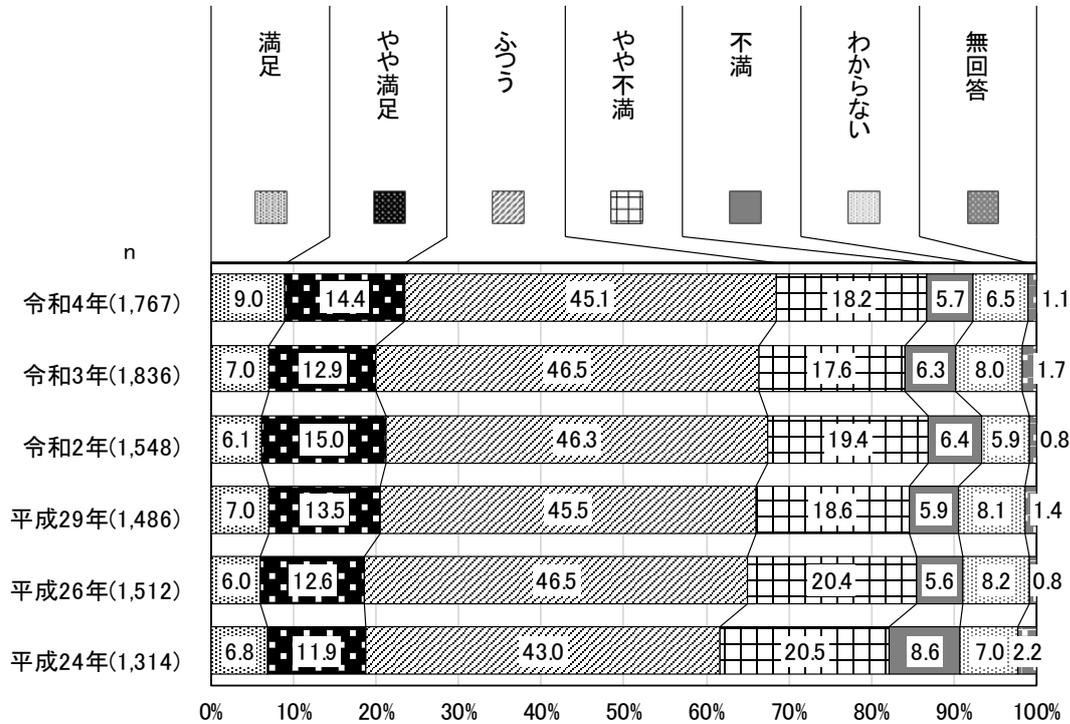
＜図表2-19＞⑥ 街の景観／居住地区別



【⑦ 街のバリアフリー／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が2.0ポイント増加し、「やや満足」が1.5ポイント増加している。(図表2-20)

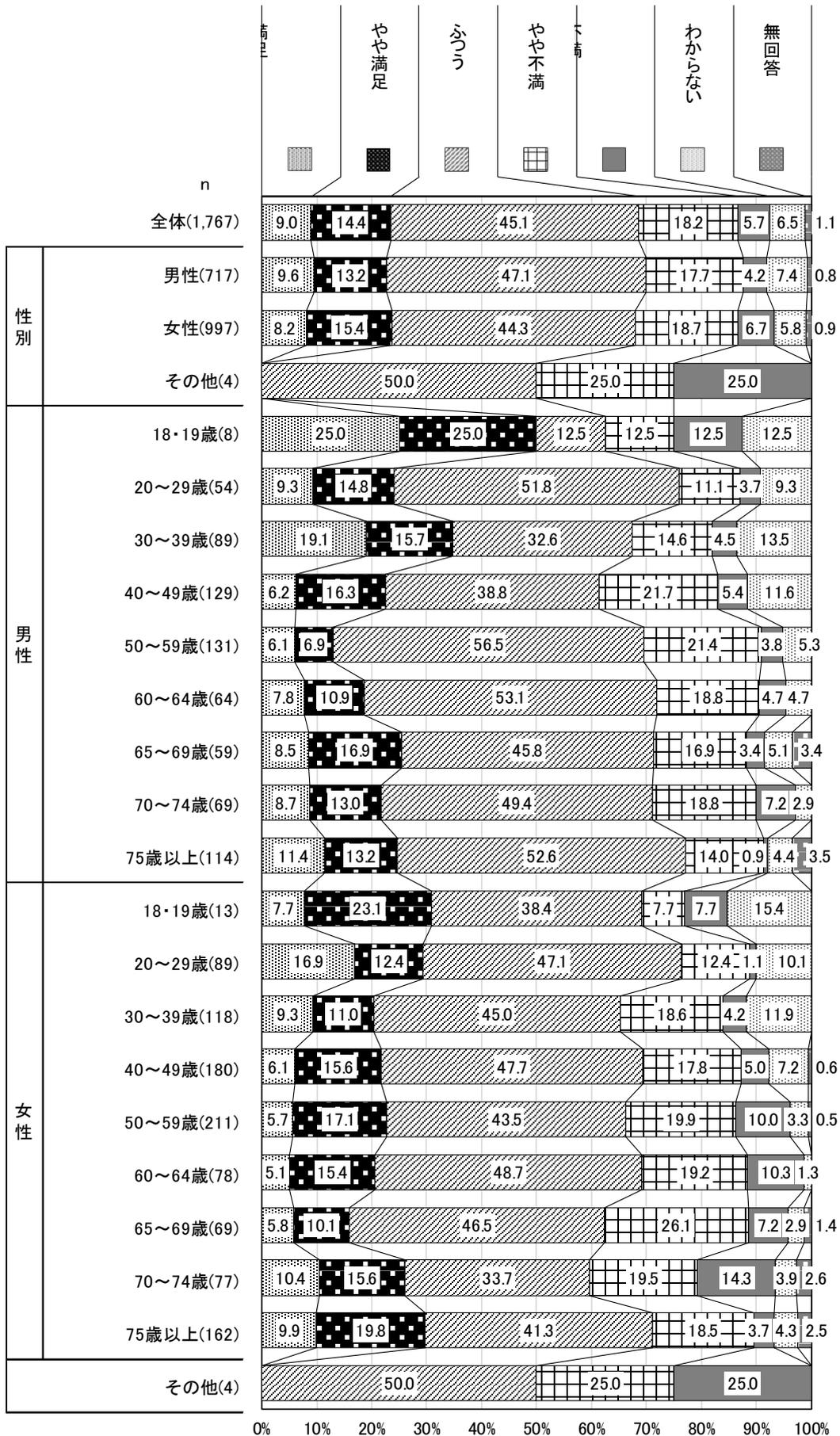
＜図表2-20＞⑦ 街のバリアフリー／時系列比較



【⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別】

「満足」は男性-30～39 歳(19.1%)と男性-75 歳以上(11.4%)と女性-20～29 歳(16.9%)と女性-70～74 歳(10.4%)が1割を超えて高くなっている。(図表2-21)

<図表2-21>⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別

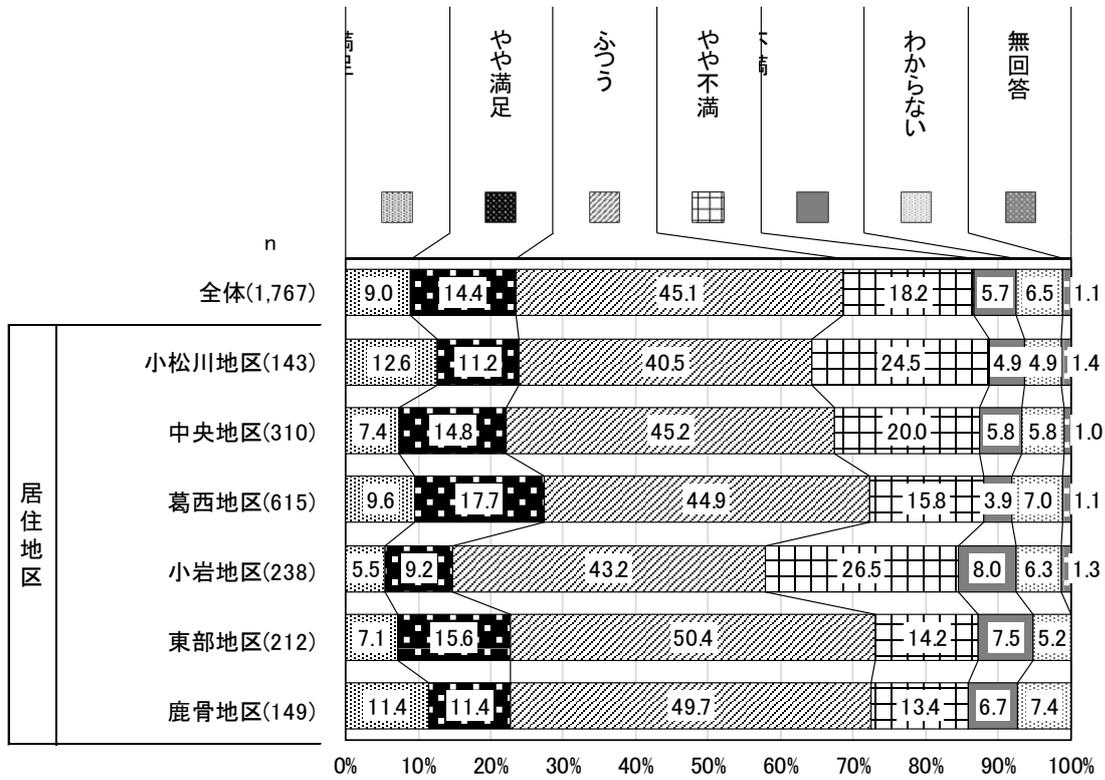


【⑦ 街のバリアフリー／居住地区別】

「満足」は小松川地区(12.6%)と鹿骨地区(11.4%)が1割を超えて高くなっている。

小岩地区は「満足」(5.5%)と「やや満足」(9.2%)がどちらも1割未満と低くなっている。(図表2-22)

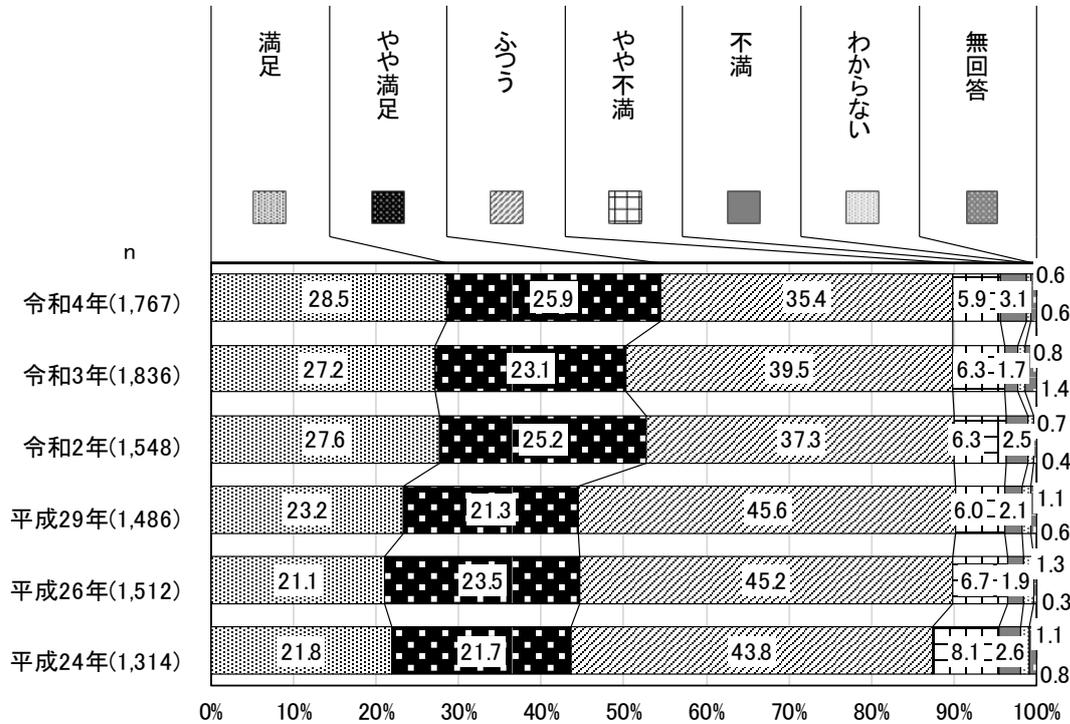
<図表2-22>⑦ 街のバリアフリー／居住地区別



【⑧ ごみの収集／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が1.3ポイント増加し、「やや満足」が2.8ポイント増加している。(図表2-23)

＜図表2-23＞⑧ ごみの収集／時系列比較

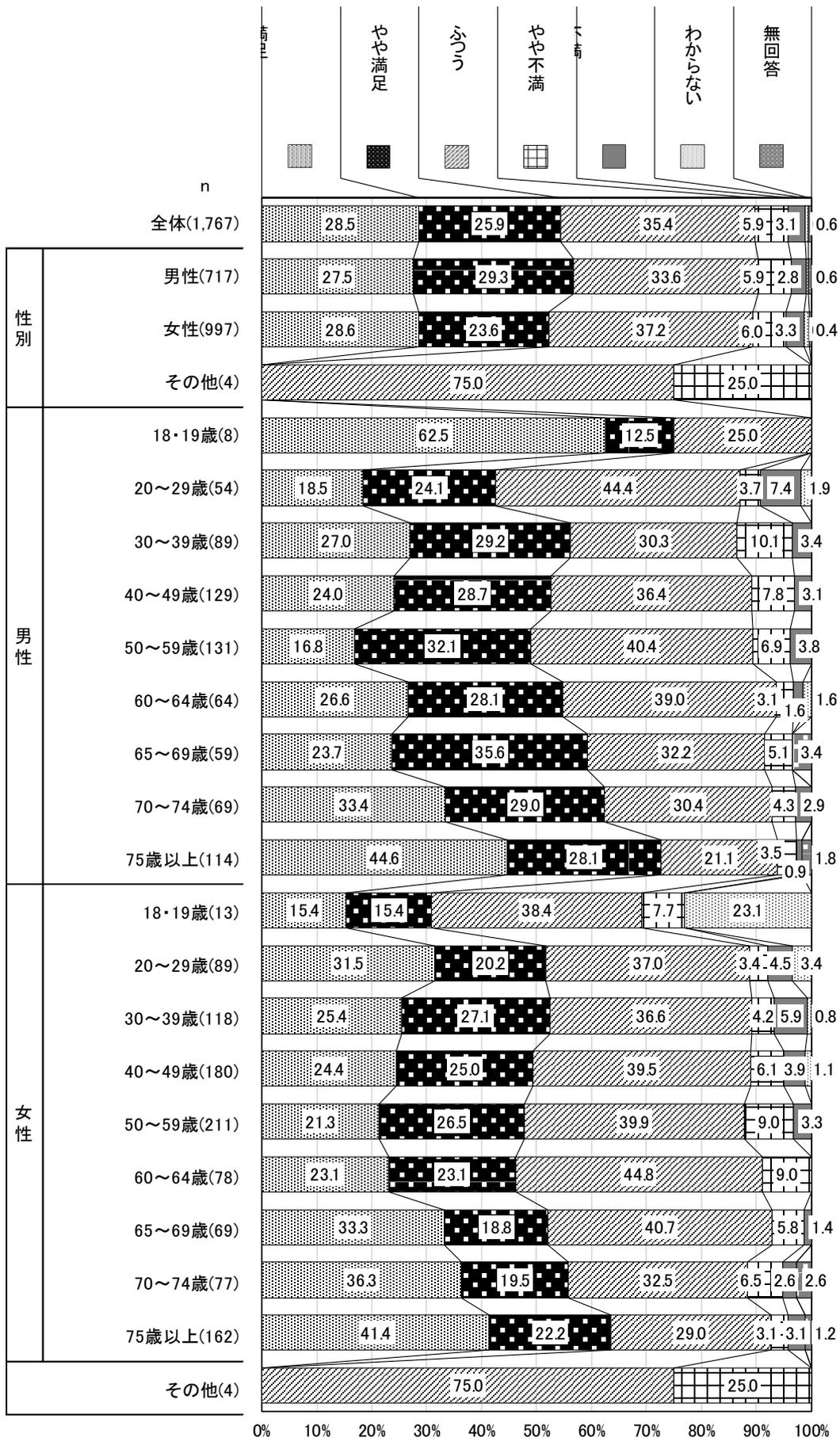


【⑧ ごみの収集／性・年齢別】

「やや満足」は男性が29.3%と、女性(23.6%)を5.7ポイント上回っている。

「満足」は男性・女性ともに70～74歳以上が3割を超えて高くなっている。また、女性-20～29歳(31.5%)と女性-65～69歳(33.3%)も3割を超えている。(図表2-24)

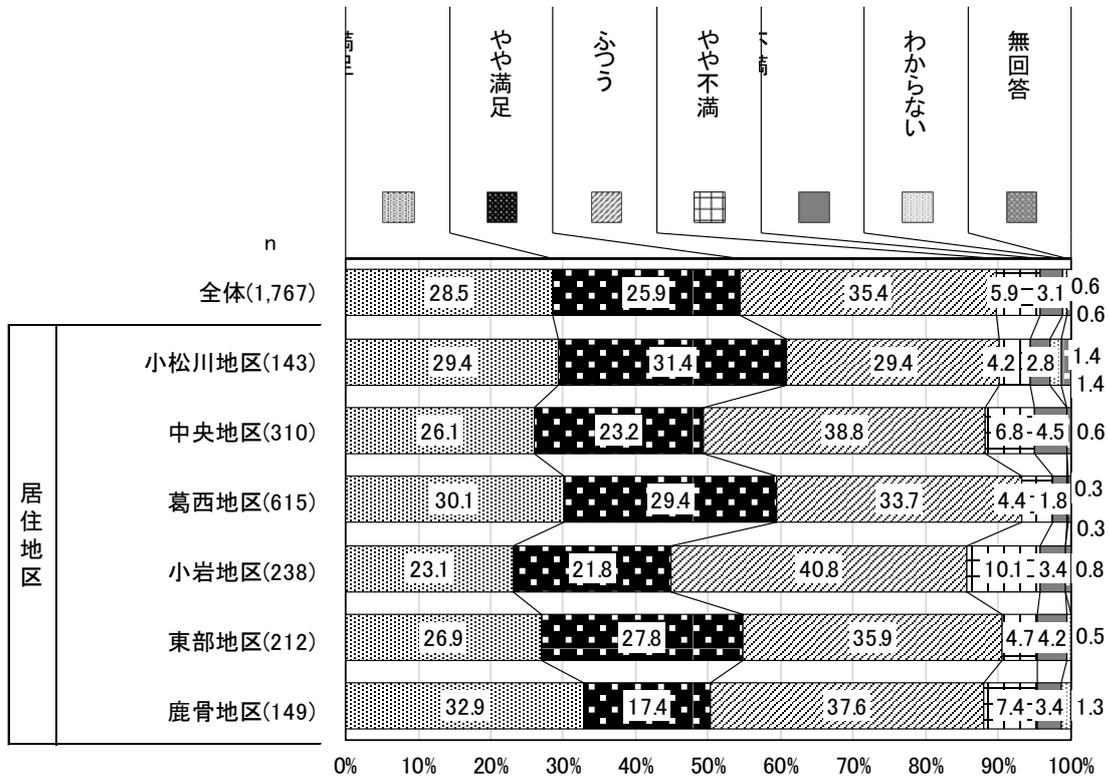
<図表2-24>⑧ ごみの収集／性・年齢別



【⑧ ごみの収集／居住地区別】

全ての居住地区で「満足」が2割台～3割台となっている。一方、「やや満足」は鹿骨地区(17.4%)のみが1割台と低くなっている。(図表2-25)

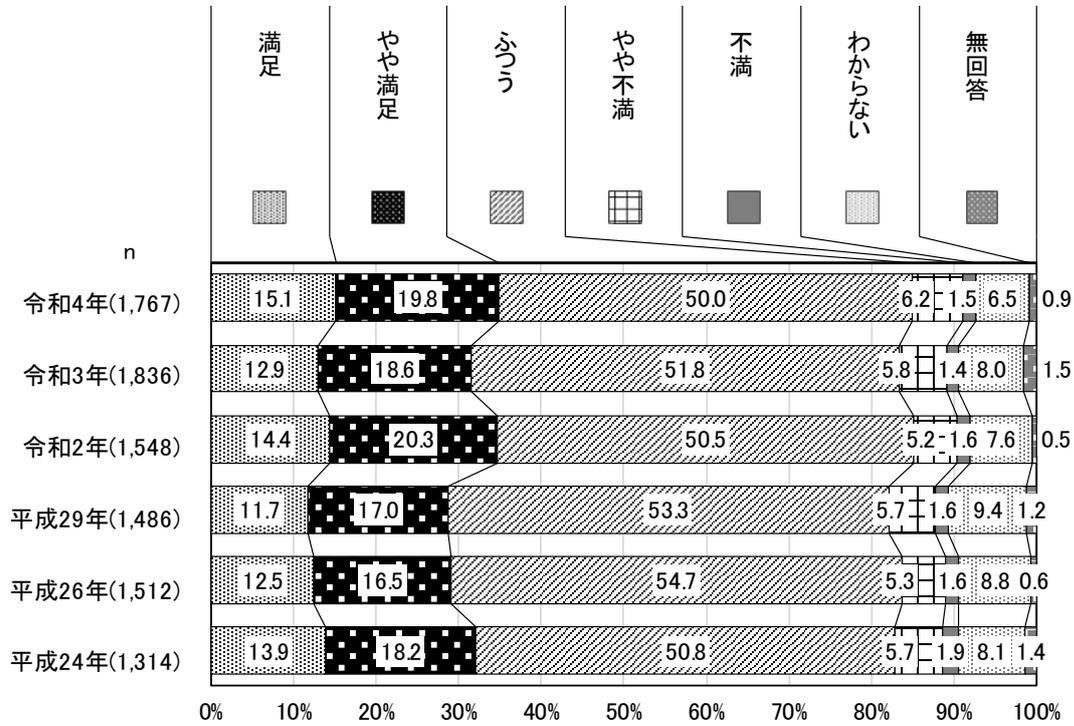
＜図表2-25＞⑧ ごみの収集／居住地区別



【⑨ リサイクルの推進／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が2.2ポイント増加し、「やや満足」が1.2ポイント増加している。(図表2-26)

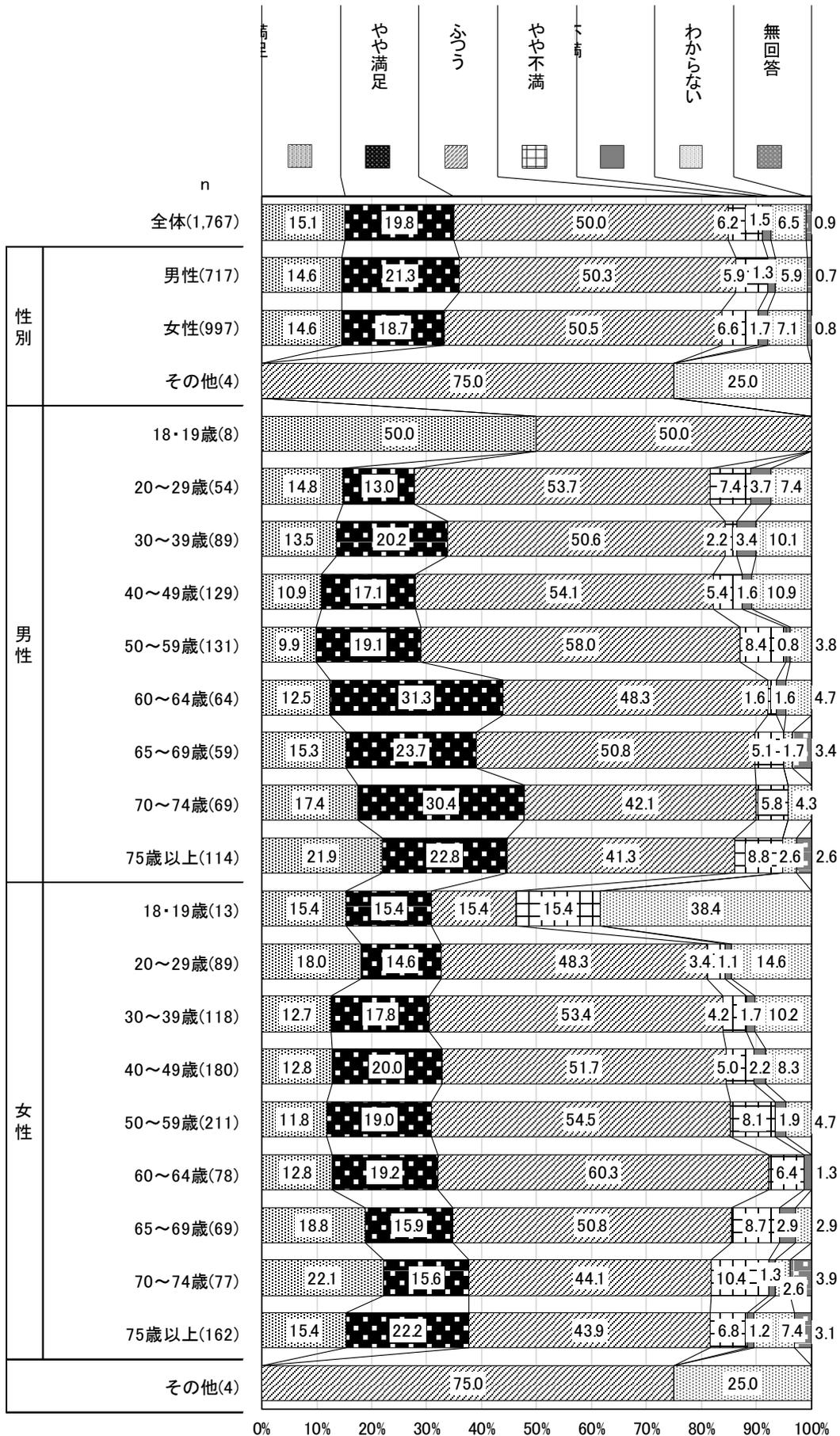
＜図表2-26＞⑨ リサイクルの推進／時系列比較



【⑨ リサイクルの推進／性・年齢別】

「やや満足」は男性が21.3%と、女性(18.7%)を2.6ポイント上回っている。また、男性-75歳以上(21.9%)と女性-70~74歳(22.1%)が2割を超えて高くなっている。(図表2-27)

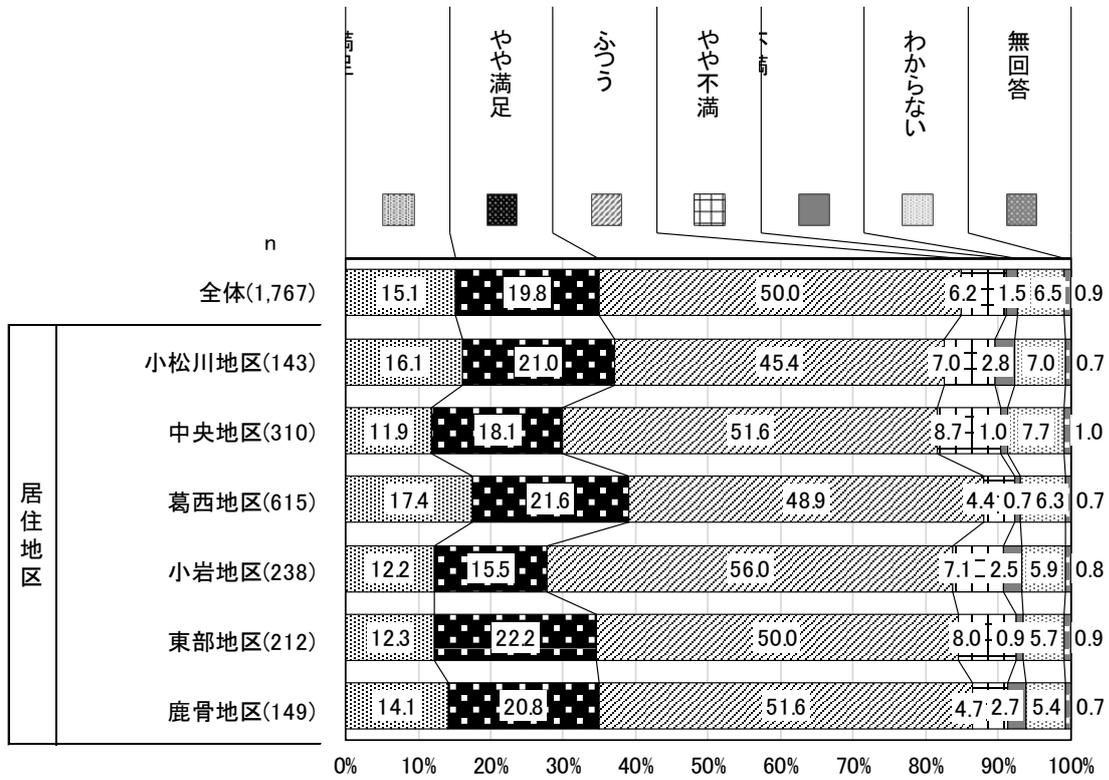
<図表2-27>⑨ リサイクルの推進／性・年齢別



【⑨ リサイクルの推進／居住地区別】

全ての居住地区で「満足」は1割台となっている。一方、「やや満足」は中央地区(18.1%)と小岩地区(15.5%)が1割台と低くなっている。(図表2-28)

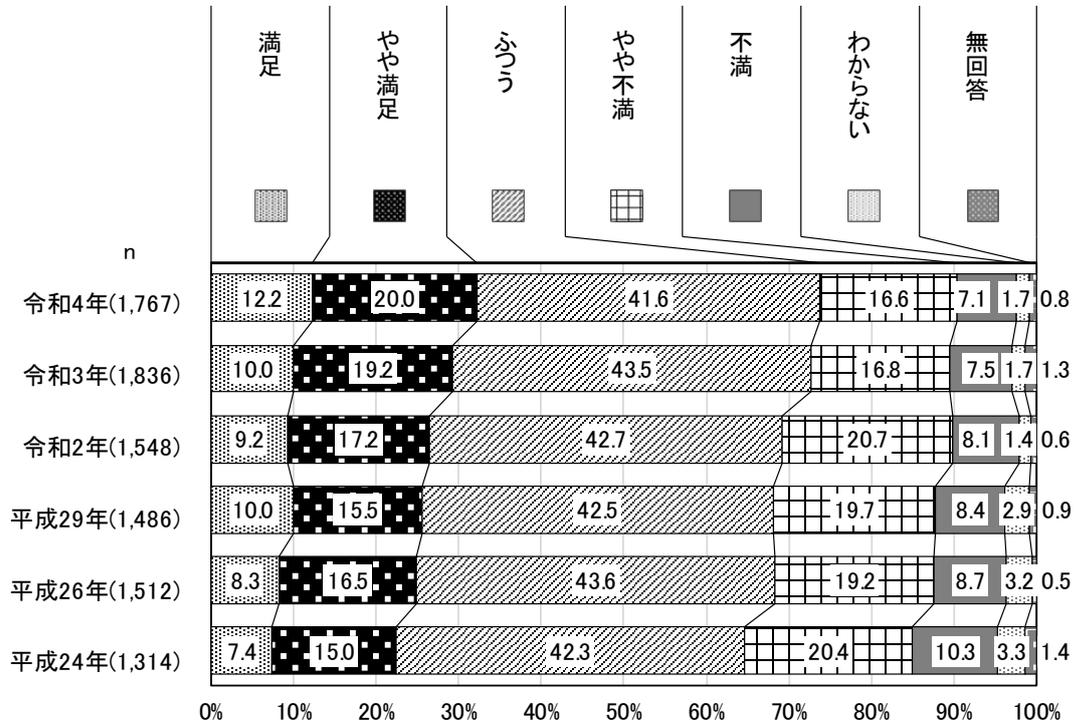
<図表2-28>⑨ リサイクルの推進／居住地区別



【⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が2.2ポイント増加している。(図表2-29)

＜図表2-29＞⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較

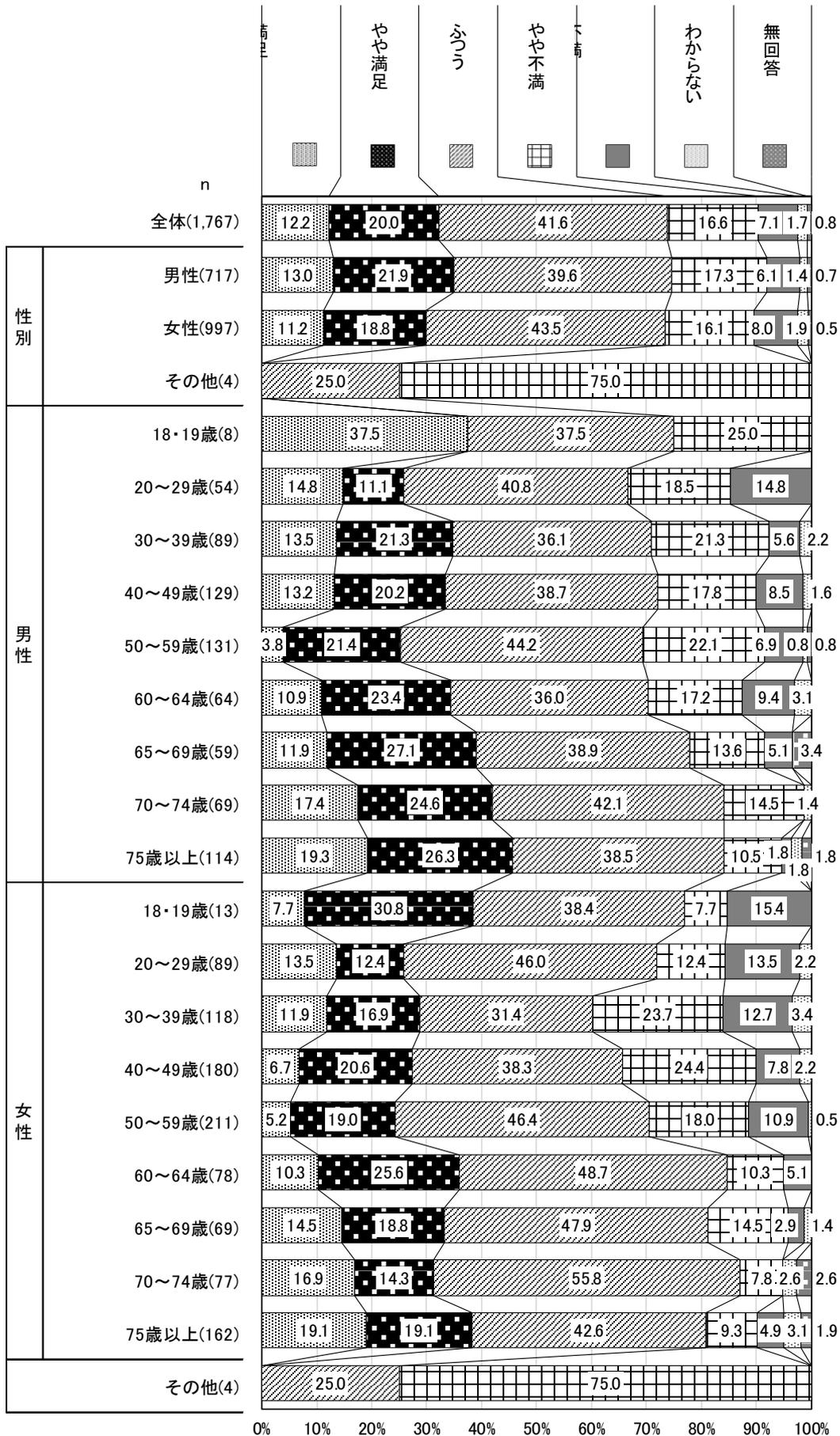


【⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別】

「やや満足」は男性が21.9%と、女性(18.8%)を3.1ポイント上回っている。

「満足」は男性-50～59歳(3.8%)と女性-40～49歳(6.7%)と女性-50～59歳(5.2%)が1割未満と低くなっている。(図表2-30)

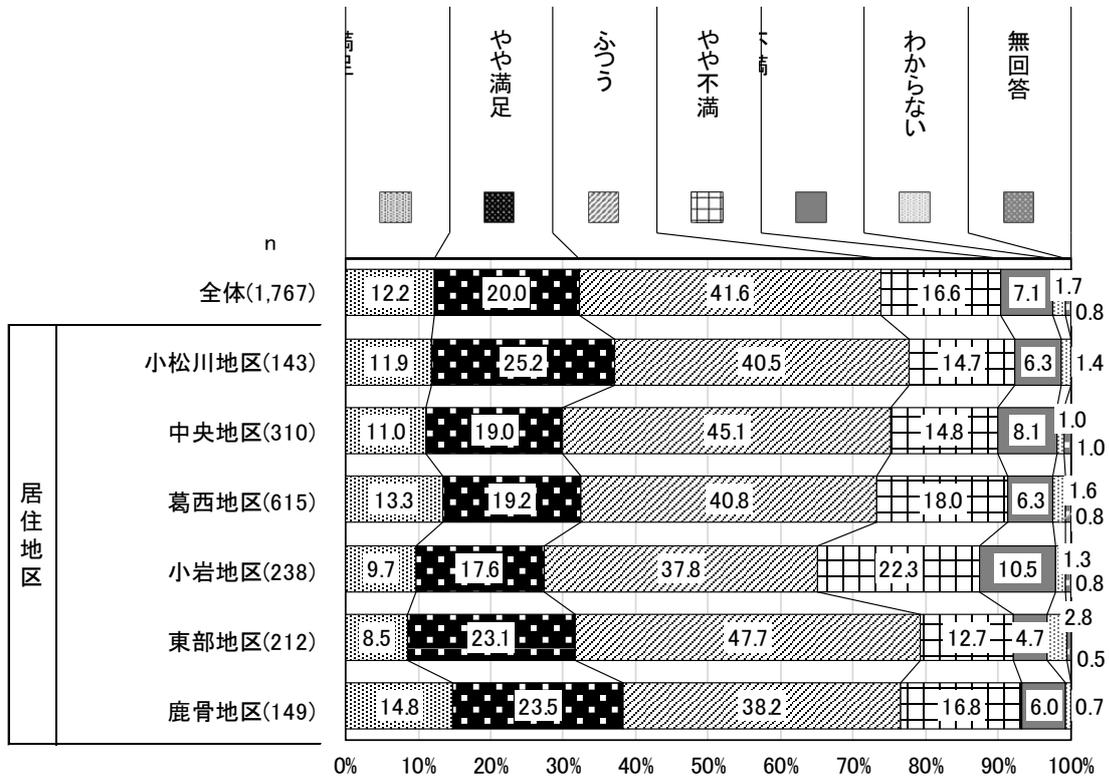
<図表2-30>⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別



【⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別】

小岩地区で「やや不満」が 22.3%と2割を超えて、「不満」が 10.5%と1割を超えて、それぞれ高くなっている。(図表2-31)

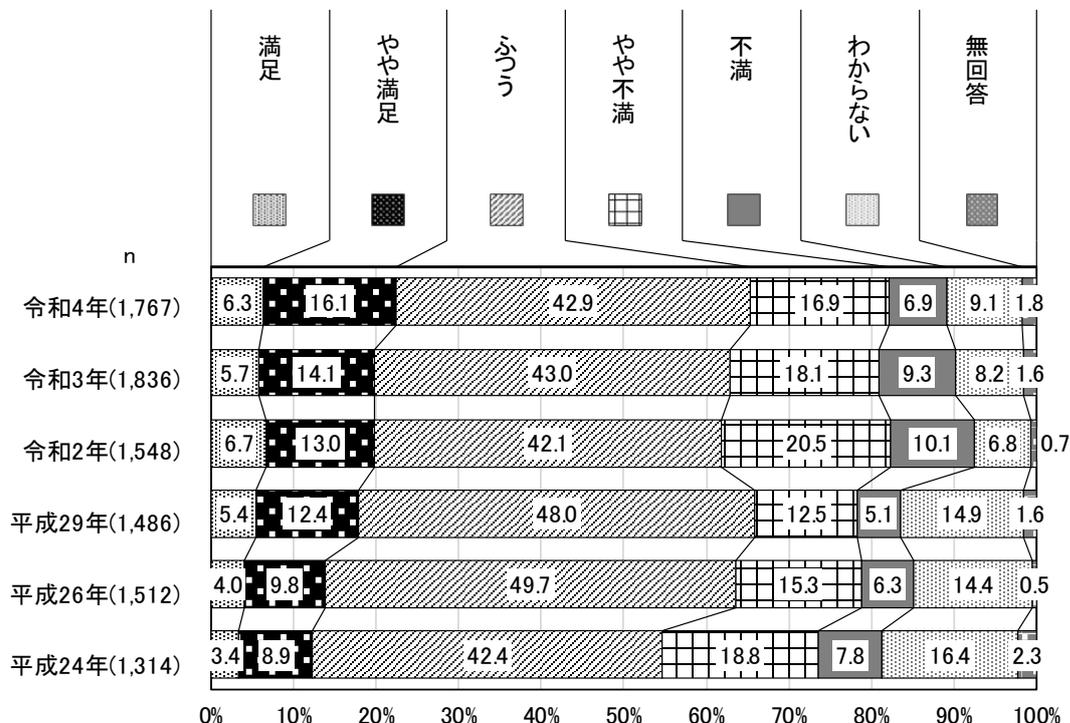
＜図表2-31＞⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別



【⑪ 災害への備え／時系列比較】

令和3年と比較すると「やや満足」が2.0ポイント増加している。(図表2-32)

<図表2-32>⑪ 災害への備え／時系列比較

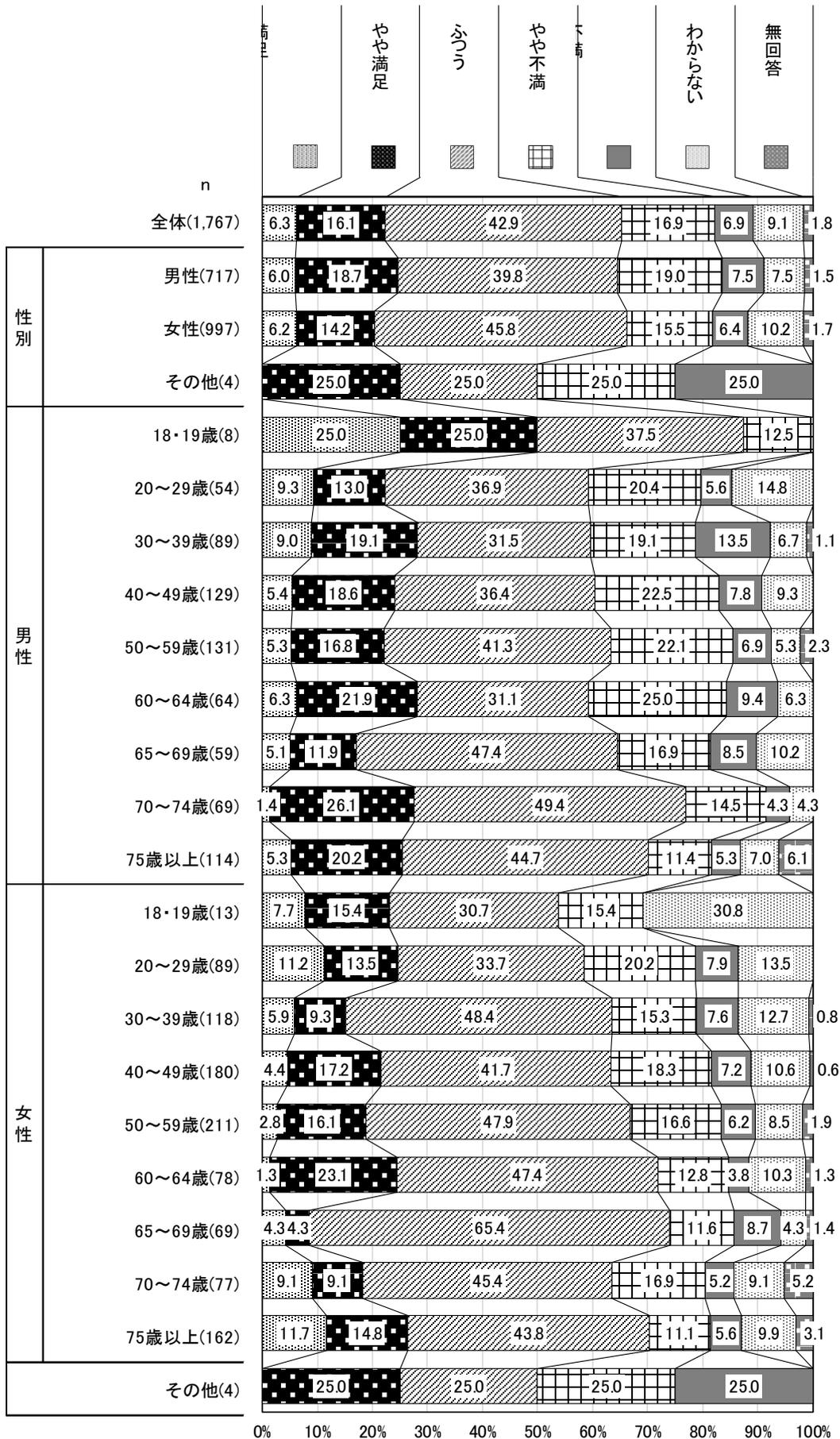


【⑪ 災害への備え／性・年齢別】

「やや満足」は男性が18.7%と、女性(14.2%)を4.5ポイント上回っている。

「満足」は女性-20～29歳(11.2%)と女性-75歳以上(11.7%)が1割を超えて高くなっている。(図表2-33)

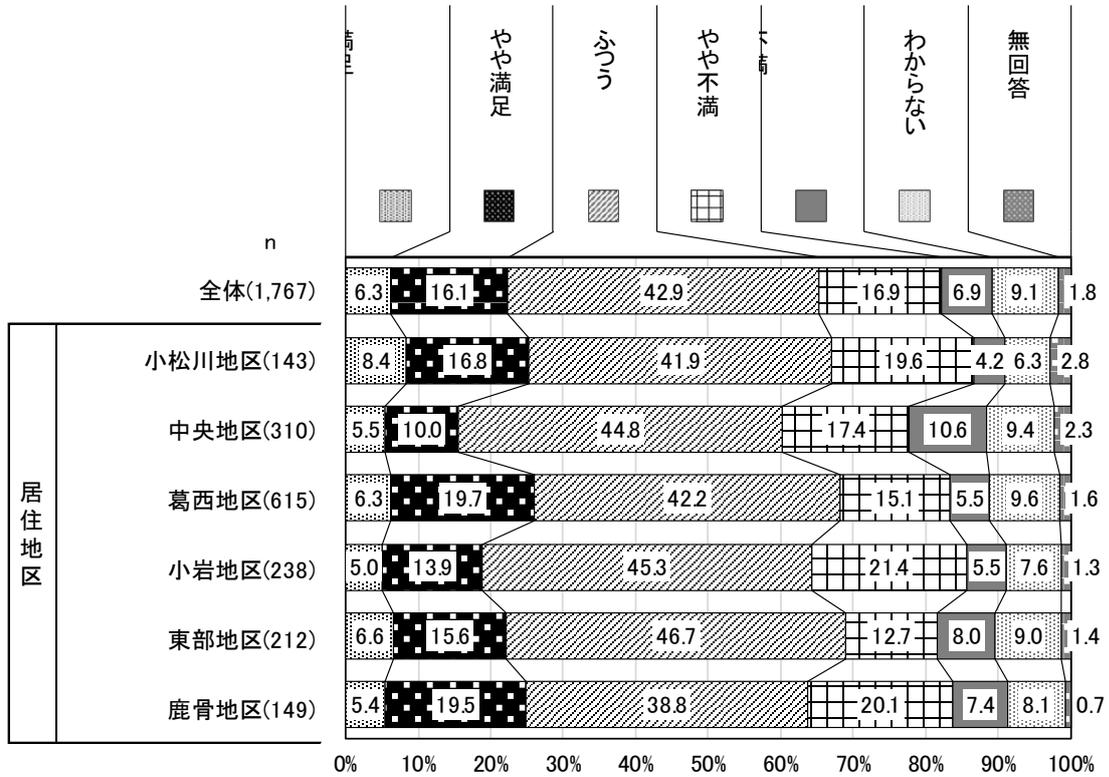
<図表2-33>⑪ 災害への備え／性・年齢別



【⑪ 災害への備え／居住地区別】

全ての居住地区で「満足」は1割未満、「やや満足」は1割台となっている。(図表2-34)

<図表2-34>⑪ 災害への備え／居住地区別

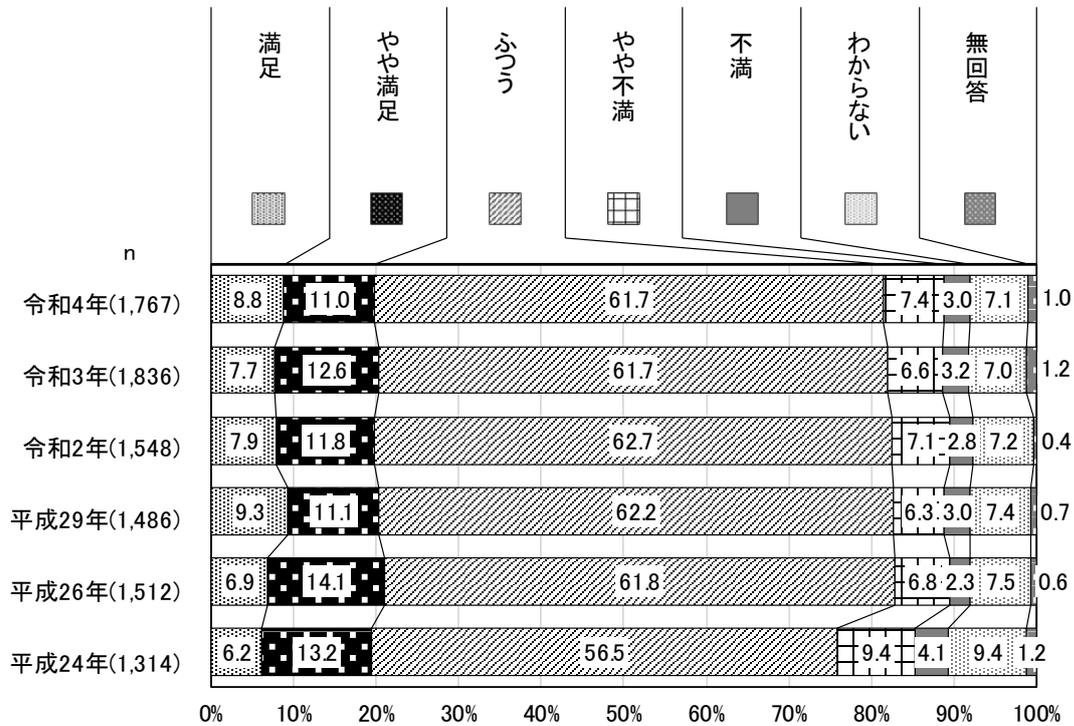


【⑫ 近所づきあい／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が 1.1 ポイント増加している。一方で、「やや満足」が 1.6 ポイント減少している。

(図表2-35)

<図表2-35>⑫ 近所づきあい／時系列比較

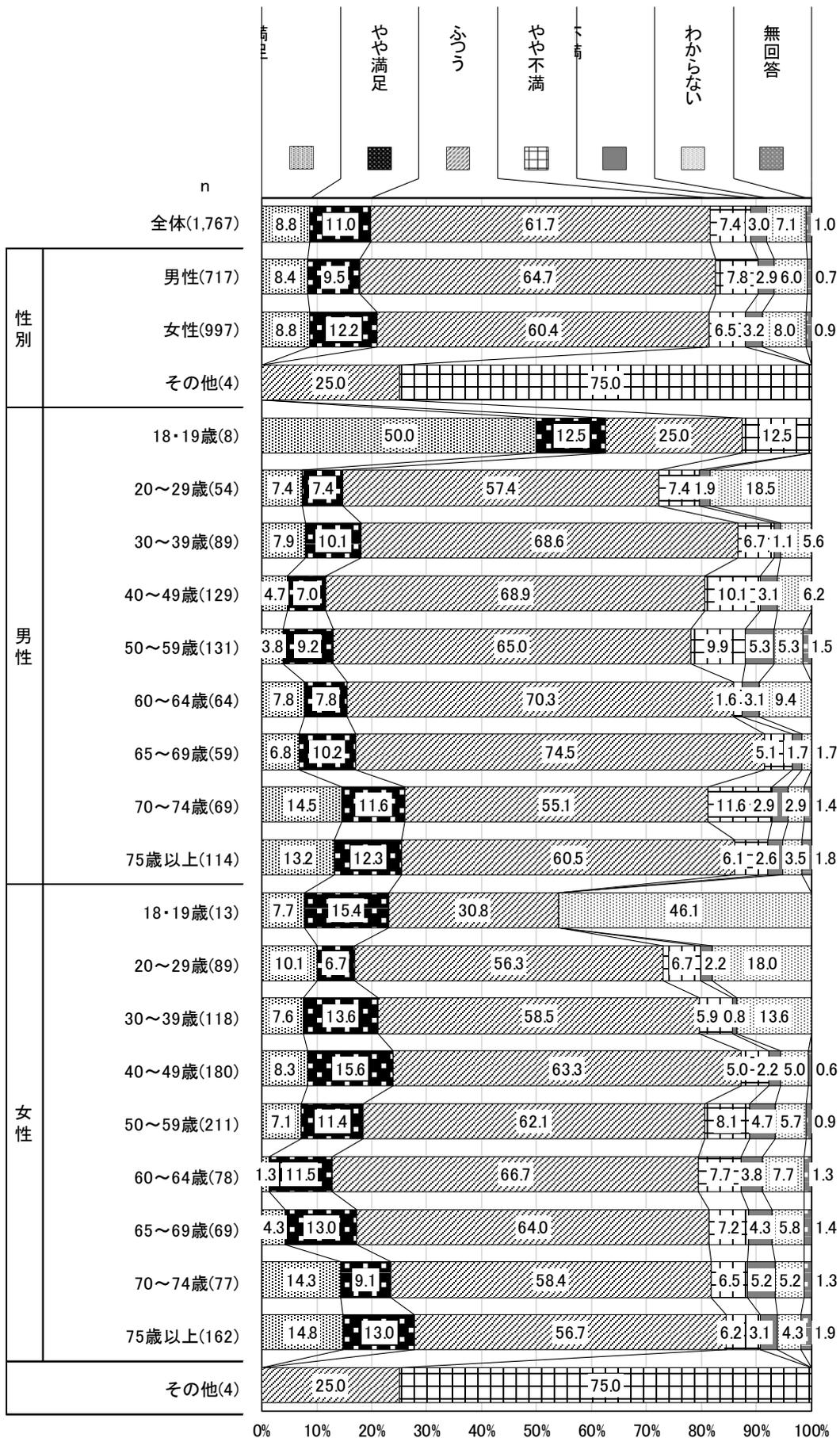


【⑫ 近所づきあい／性・年齢別】

「やや満足」は女性が 12.2%と、男性(9.5%)を 2.7 ポイント上回っている。

「満足」は男性・女性ともに 70～74 歳以上で1割を超えて高くなっている。(図表2-36)

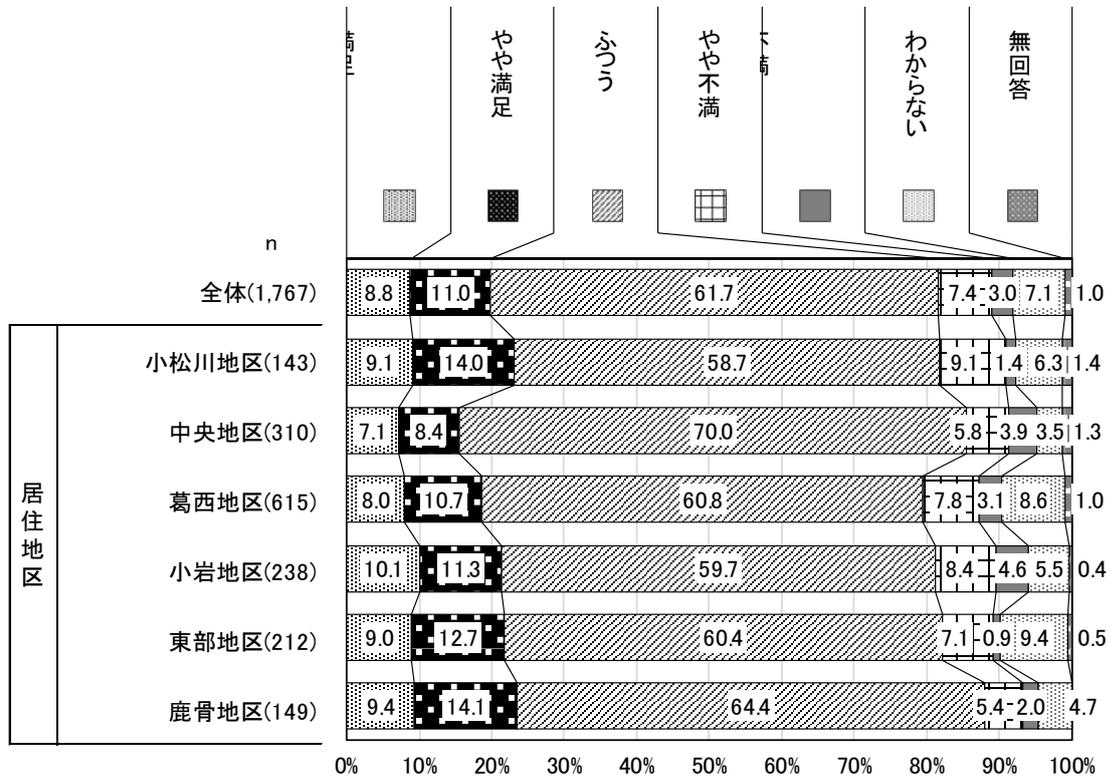
<図表2-36>⑫ 近所づきあい／性・年齢別



【⑫ 近所づきあい／居住地区別】

「満足」は小岩地区が 10.1%と1割を超えて高くなっている。一方、中央地区が「満足」(7.1%)と「やや満足」(8.4%)がどちらも1割未満と低くなっている。(図表2-37)

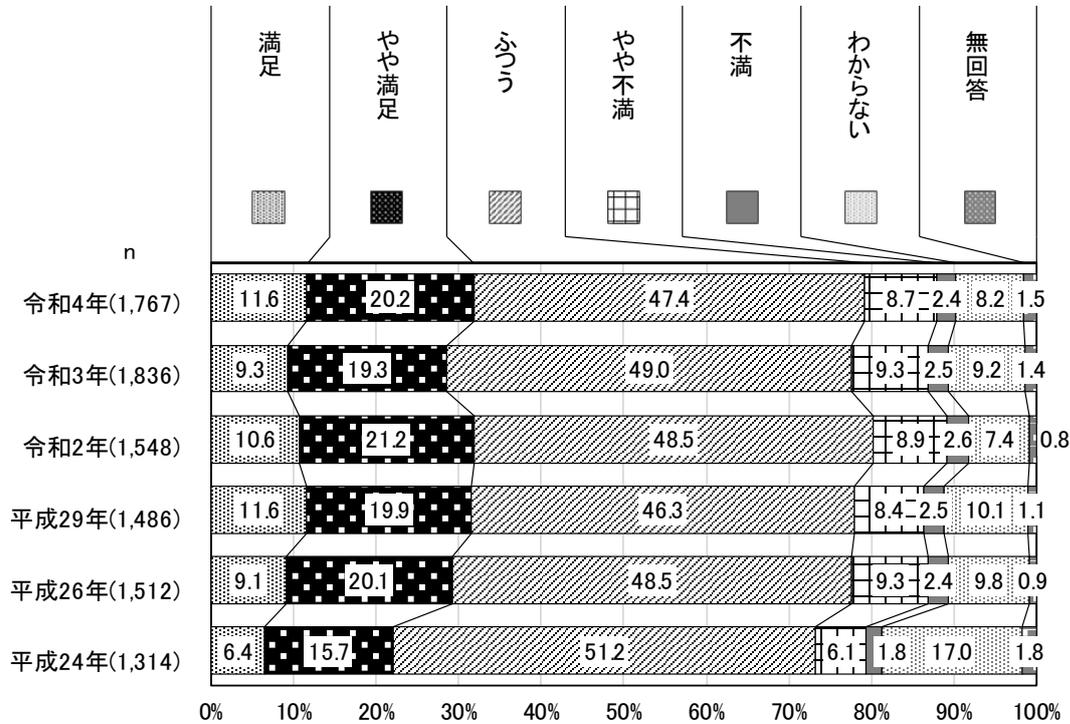
<図表2-37>⑫ 近所づきあい／居住地区別



【⑬ 文化施設の充実度／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が2.3ポイント増加している。(図表2-38)

＜図表2-38＞⑬ 文化施設の充実度／時系列比較

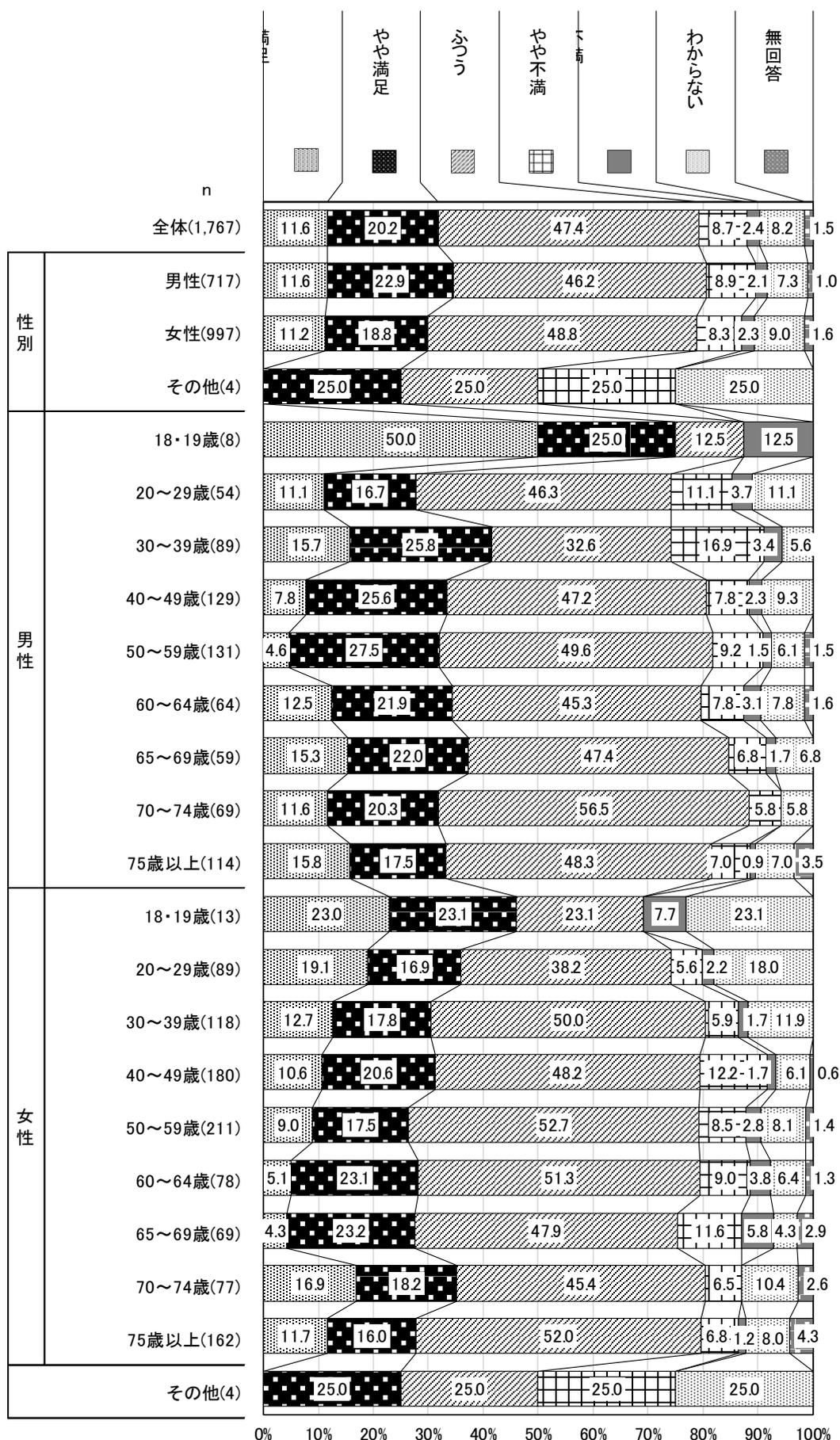


【⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別】

「やや満足」は男性が22.9%と、女性(18.8%)を4.1ポイント上回っている。

「満足」は男性-40～49歳から男性-50～59歳と女性-50～59歳から女性-65～69歳が1割未満と低くなっている。(図表2-39)

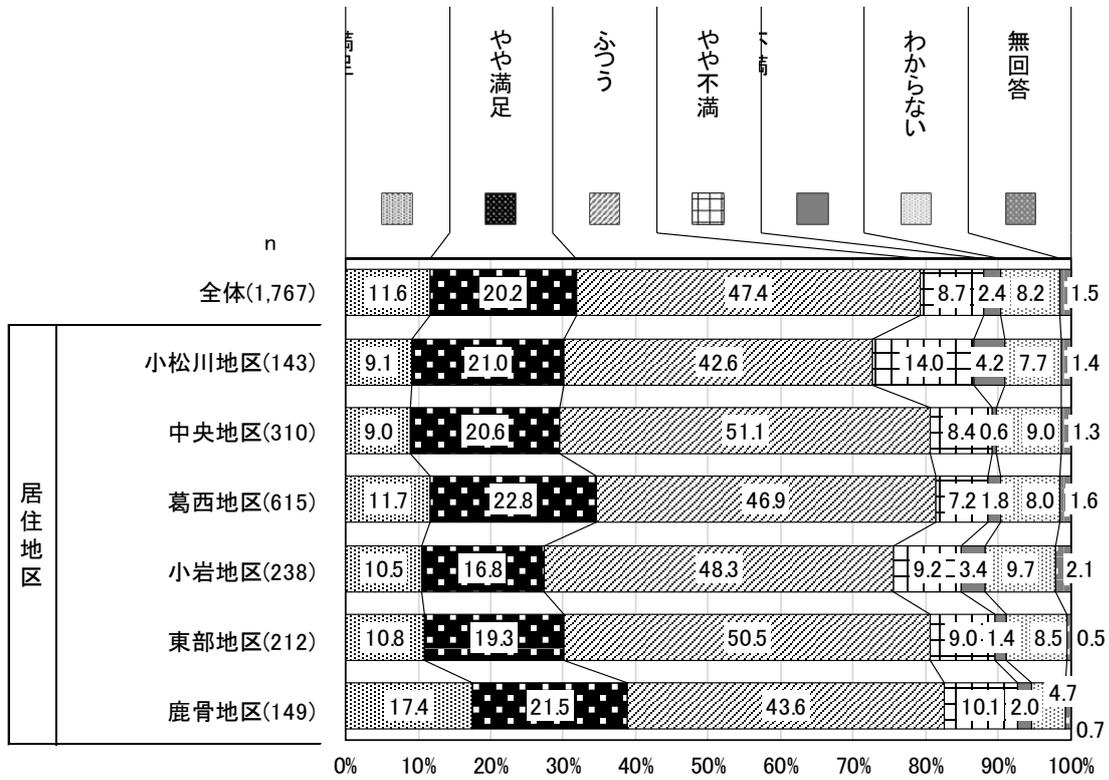
<図表2-39>⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別



【⑬ 文化施設の充実度／居住地区別】

鹿骨地区で「満足」が 17.4%と最も高くなっている。一方、小松川地区(9.1%)と中央地区(9.0%)は1割未満と低くなっている。(図表2-40)

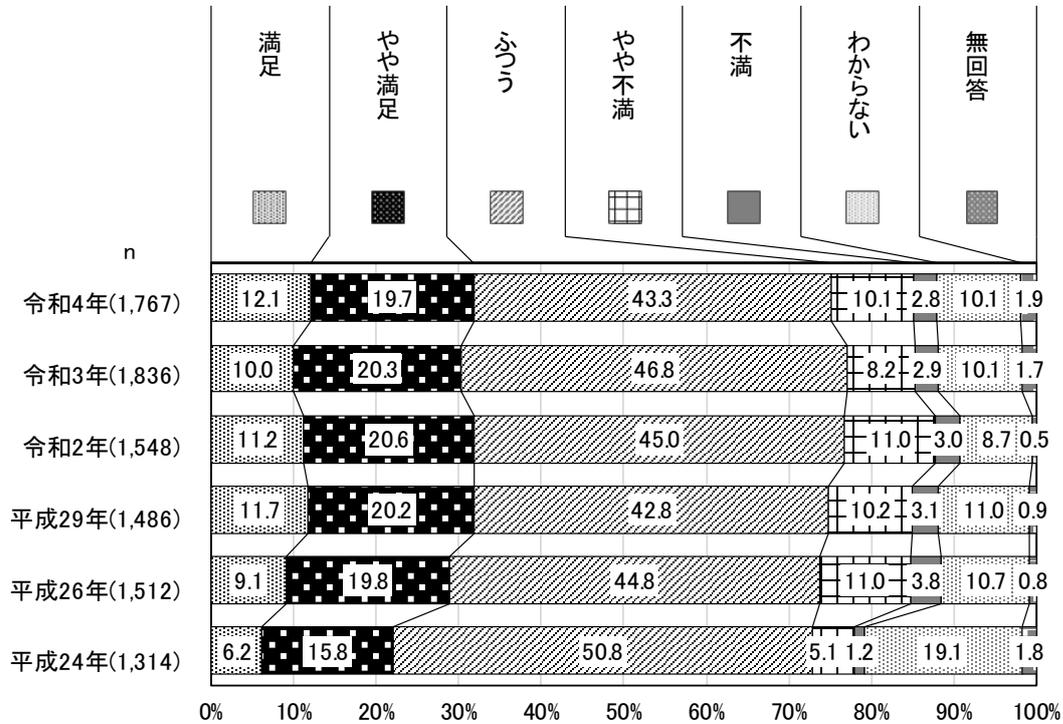
＜図表2-40＞⑬ 文化施設の充実度／居住地区別



【14】 スポーツ施設の充実度／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が2.1ポイント増加している。(図表2-41)

＜図表2-41＞ ⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較

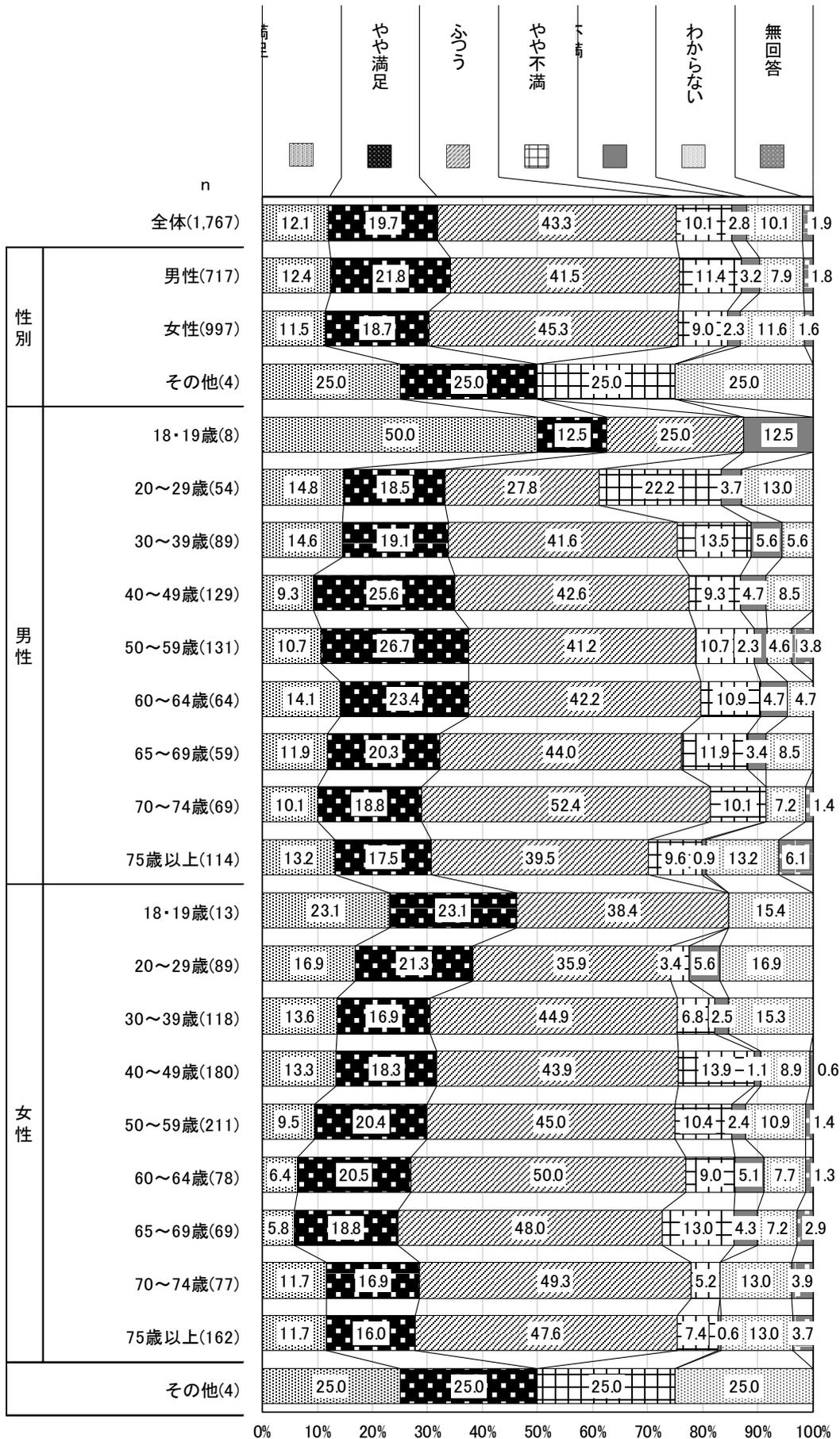


【14】 スポーツ施設の充実度／性・年齢別】

「やや満足」は男性が21.8%と、女性(18.7%)を3.1ポイント上回っている。

「満足」は男性-40～49歳(9.3%)と女性-50～59歳(9.5%)と女性-60～64歳(6.4%)と女性-65～69歳(5.8%)が1割未満と低くなっている。(図表2-42)

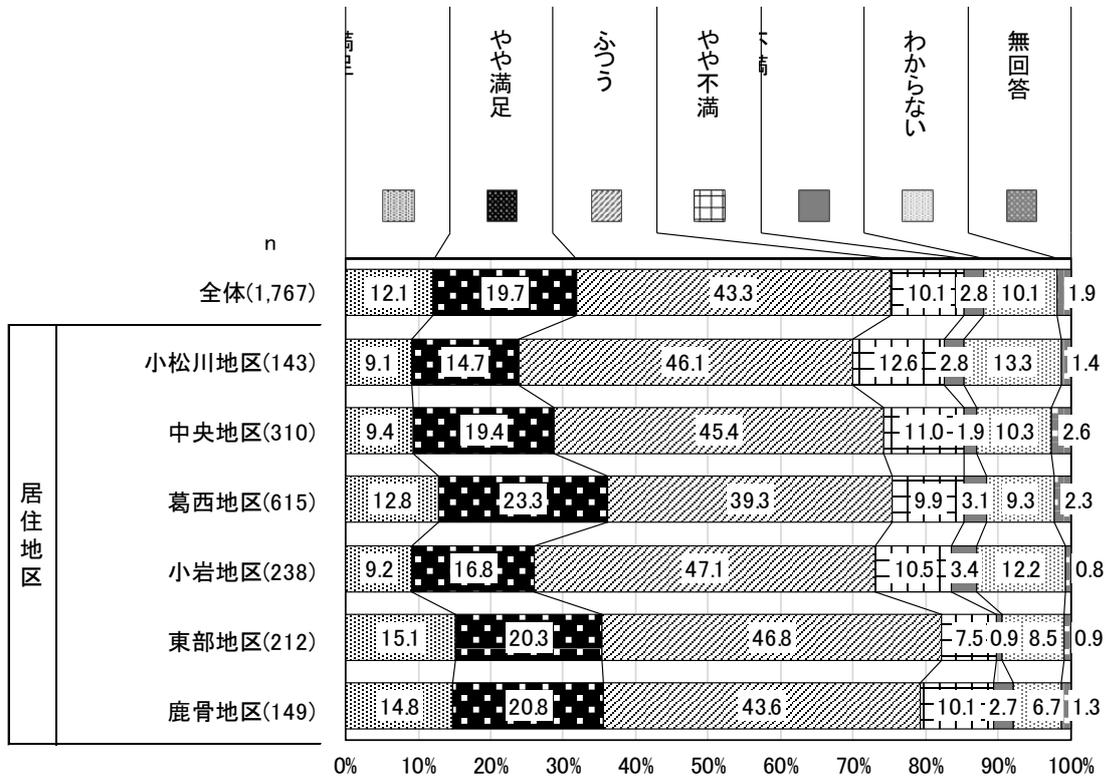
<図表2-42>⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別



【⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別】

小松川地区で「満足」が 9.1%、「やや満足」が 14.7%と、それぞれ最も低くなっている。一方、「満足」は東部地区(15.1%)、「やや満足」は葛西地区(23.3%)がそれぞれ最も高くなっている。(図表2-43)

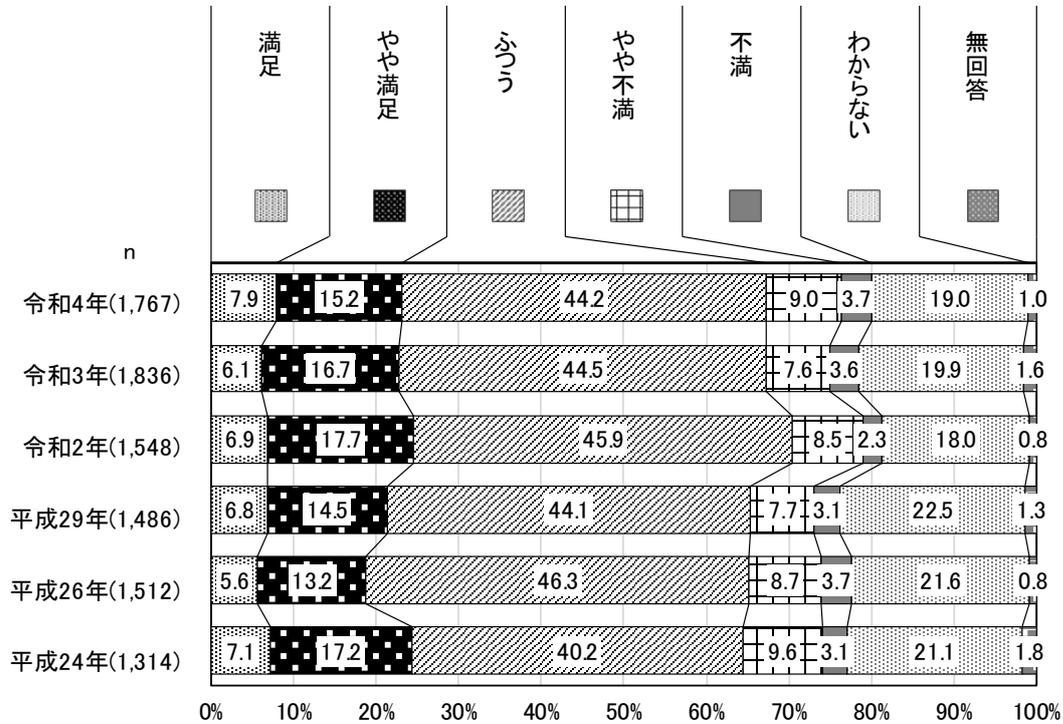
＜図表2-43＞⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別



【⑮ 熟年者の生活環境／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が1.8ポイント増加し、「やや満足」が1.5ポイント減少している。(図表2-44)

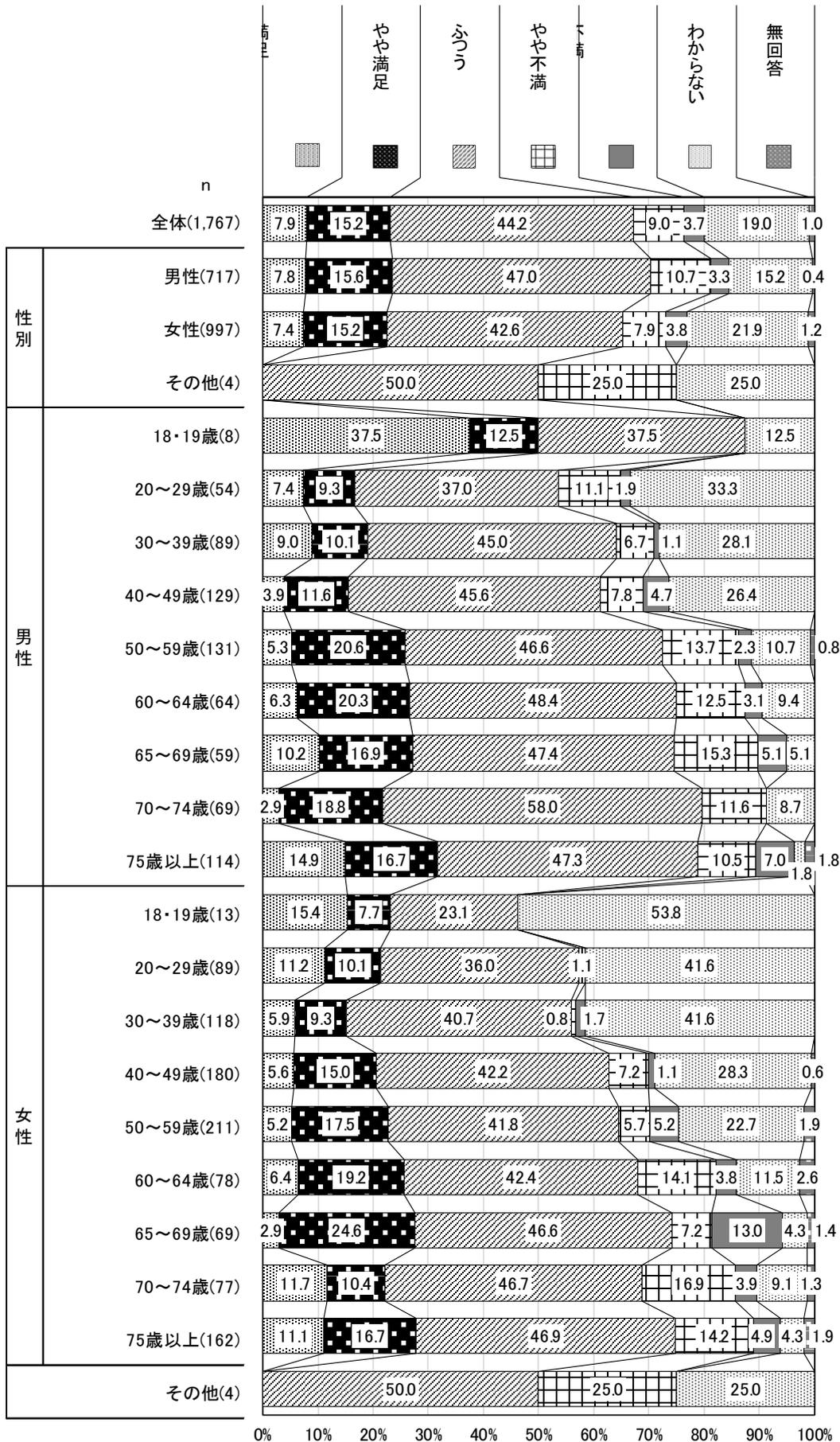
＜図表2-44＞⑮ 熟年者の生活環境／時系列比較



【⑮ 熟年者の生活環境／性・年齢別】

「やや不満」は男性が10.7%と、女性(7.9%)を2.8ポイント上回っている。また、男性・女性ともに70～74歳以上で1割を超えて高くなっている。(図表2-45)

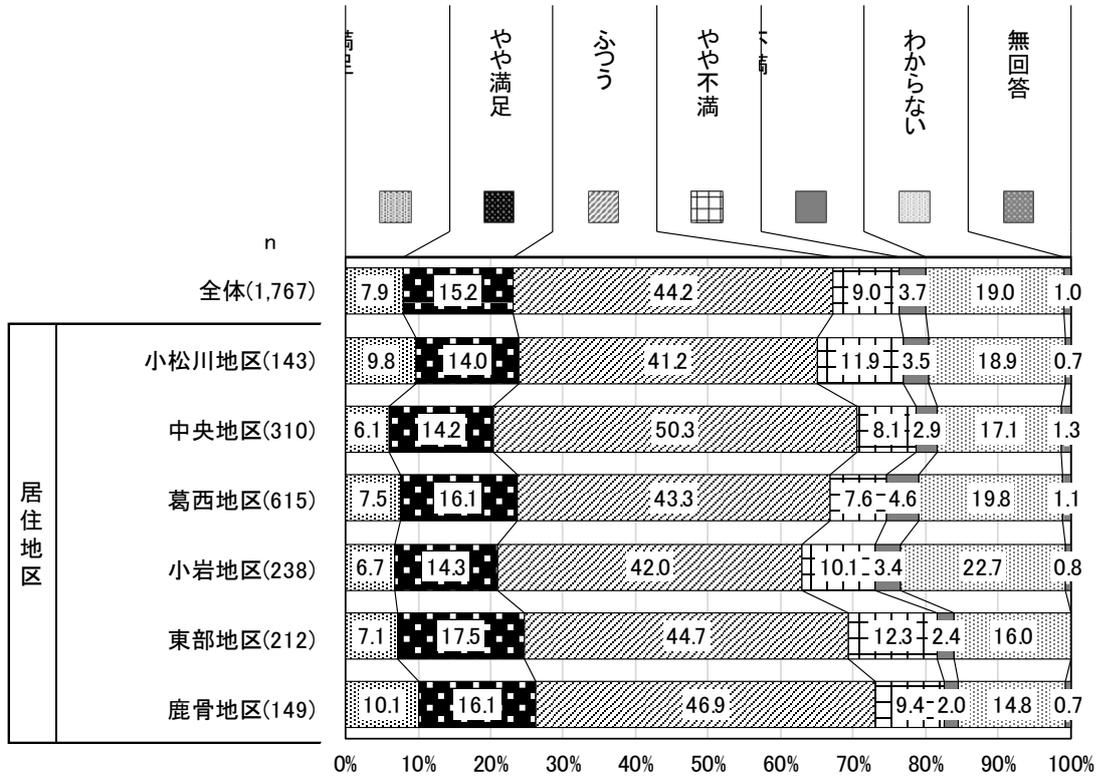
<図表2-45> ⑮ 熟年者の生活環境／性・年齢別



【⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別】

「満足」は鹿骨地区(10.1%)のみが1割を超えて高くなっている。(図表2-46)

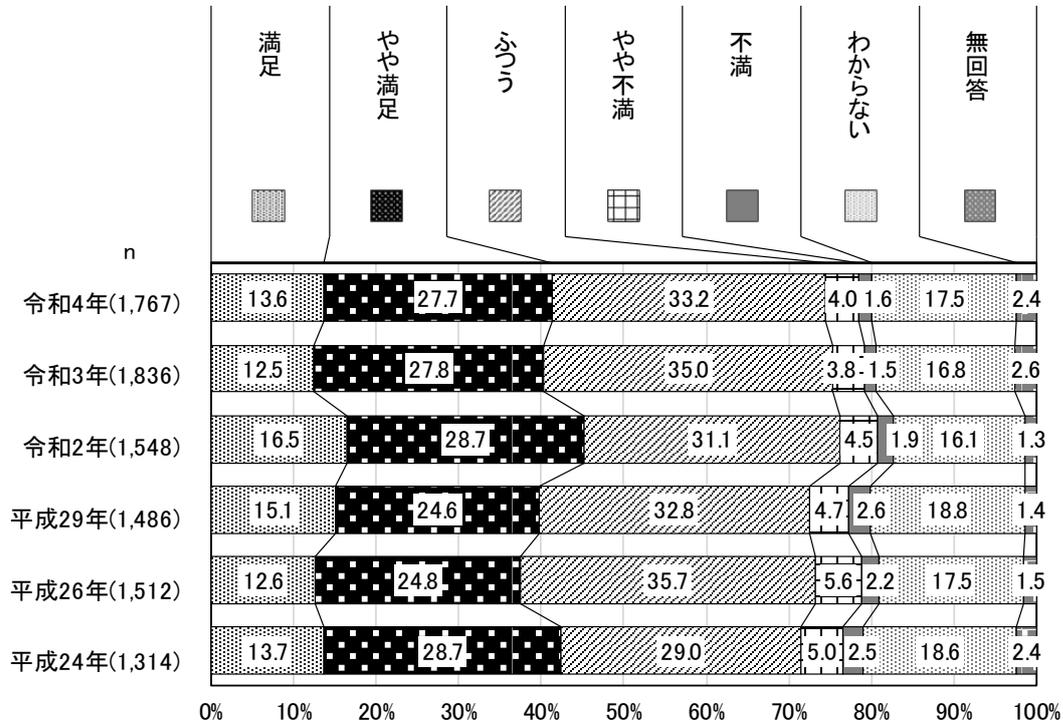
<図表2-46>⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別



【⑩ 子育て環境／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が1.1ポイント増加している。(図表2-47)

<図表2-47>⑩ 子育て環境／時系列比較



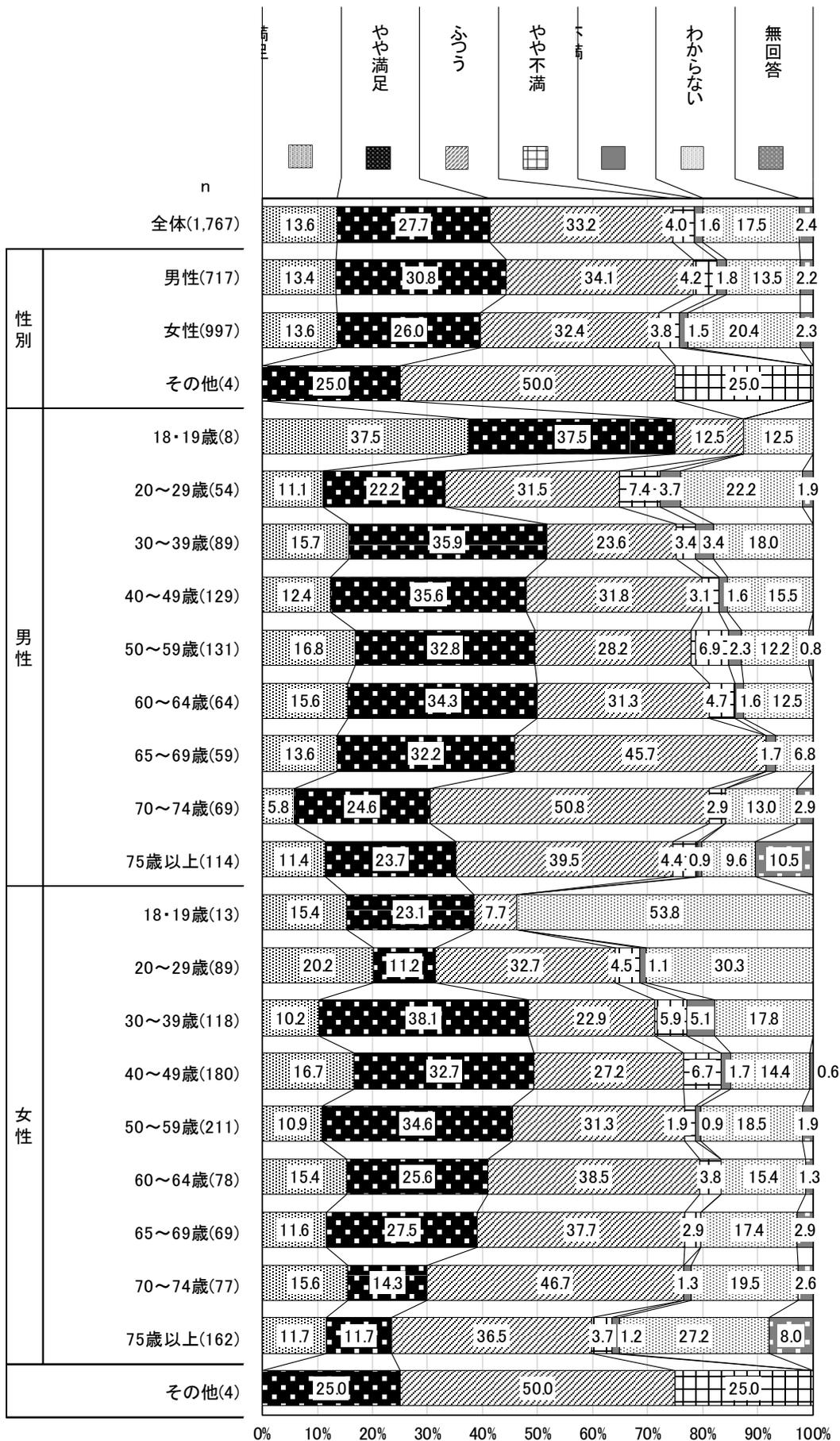
【⑩ 子育て環境／性・年齢別】

「やや満足」は男性が30.8%と、女性(26.0%)を4.8ポイント上回っている。

「満足」は男性-70~74歳(5.8%)のみが1割未満と低くなっている。

「やや不満」と「不満」は全ての年代でどちらも1割未満となっている。(図表2-48)

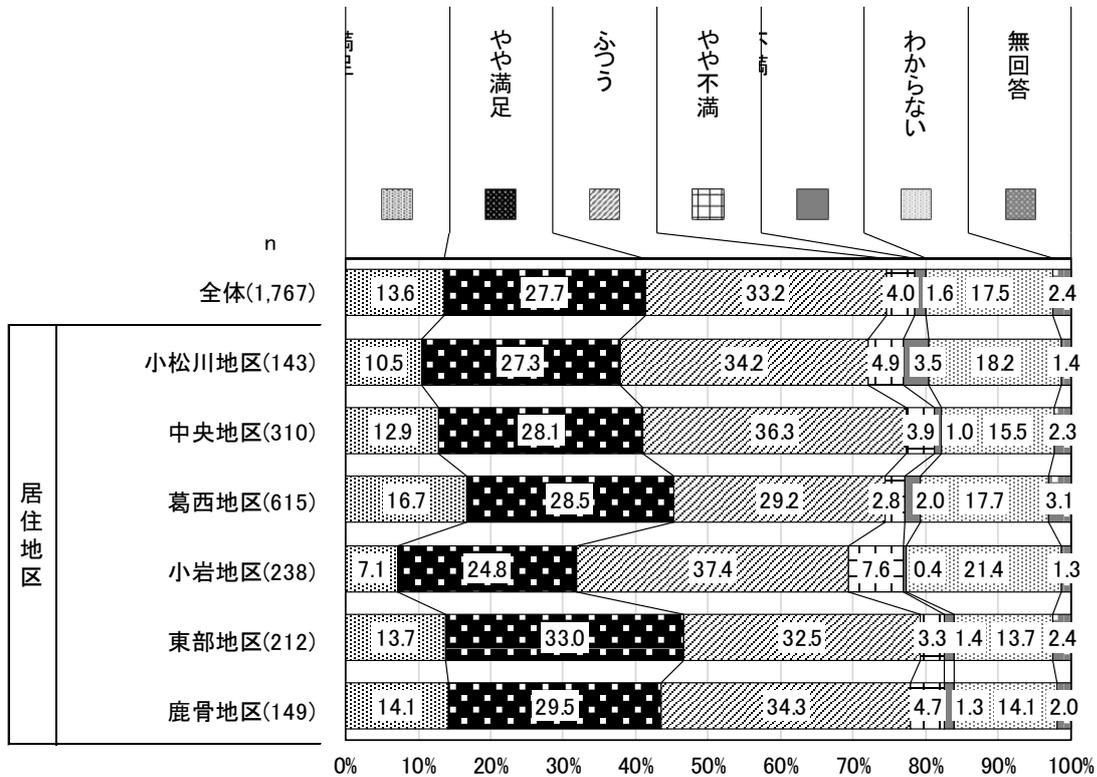
<図表2-48>⑯ 子育て環境／性・年齢別



【⑩ 子育て環境／居住地区別】

小岩地区は「満足」が7.1%、「やや満足」が24.8%とそれぞれ最も低くなっている。一方、「満足」は葛西地区(16.7%)、「やや満足」は東部地区(33.0%)が最も高くなっている。(図表2-49)

＜図表2-49＞⑩ 子育て環境／居住地区別

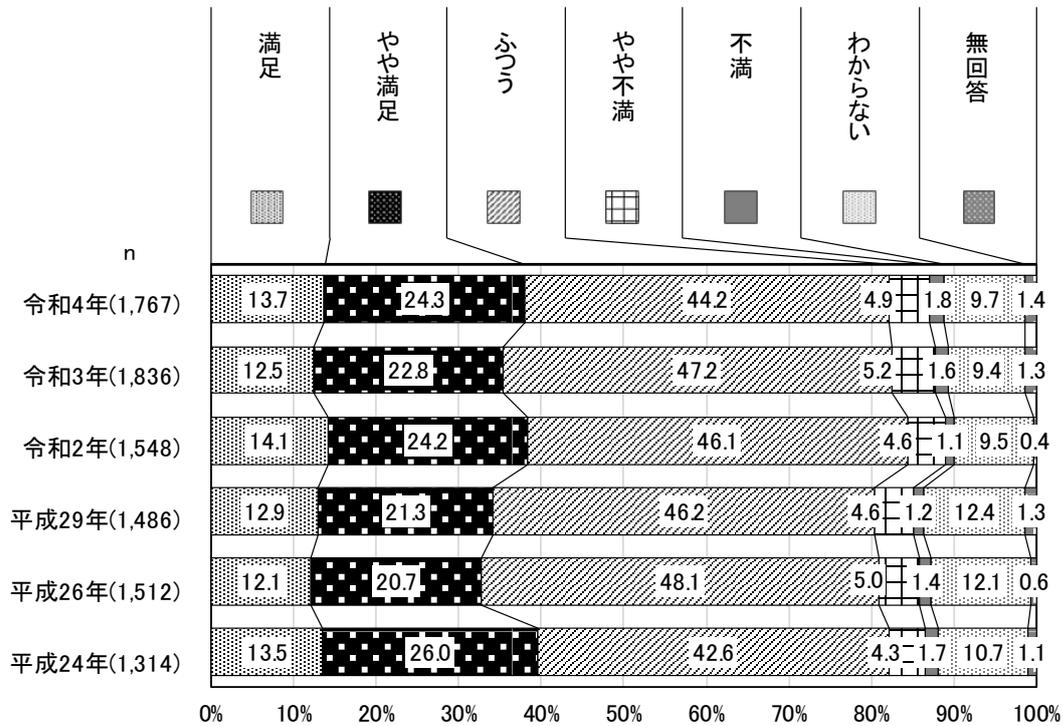


【⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較】

令和3年と比較すると「満足」が1.2ポイント増加し、「やや満足」が1.5ポイント増加している。

(図表2-50)

＜図表2-50＞⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較

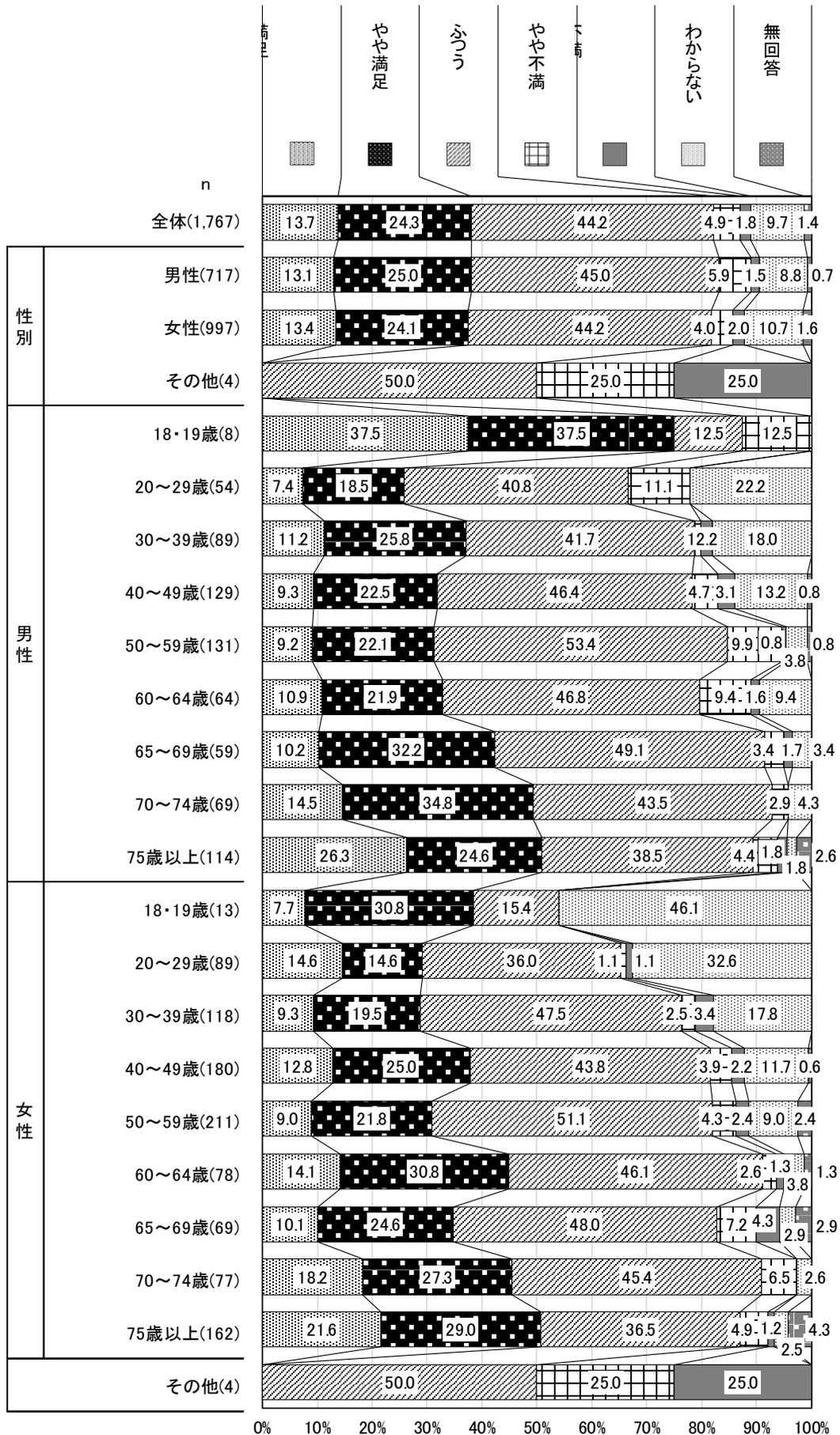


【⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別】

「満足」は男性-75歳以上(26.3%)と女性-75歳以上(21.6%)が2割を超えて高くなっている。

「やや満足」は男性-65～69歳(32.2%)と男性-70～74歳(34.8%)と女性-60～64歳(30.8%)が3割を超えて高くなっている。(図表2-51)

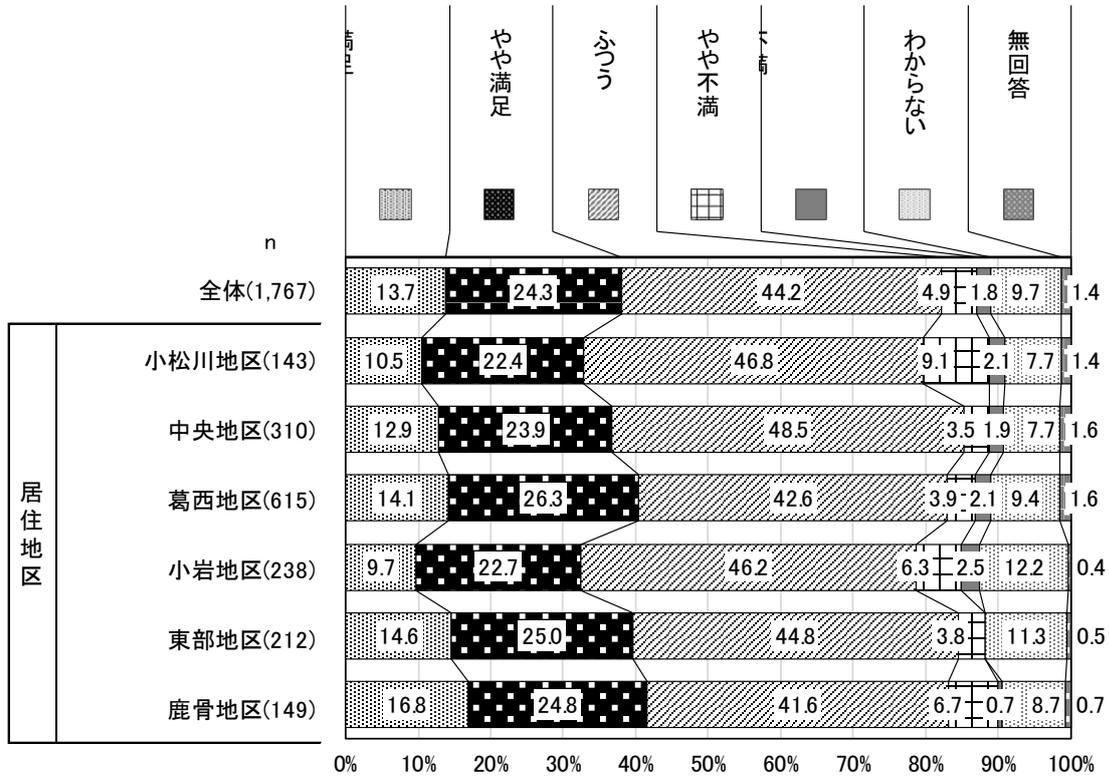
<図表2-51>⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別



【⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別】

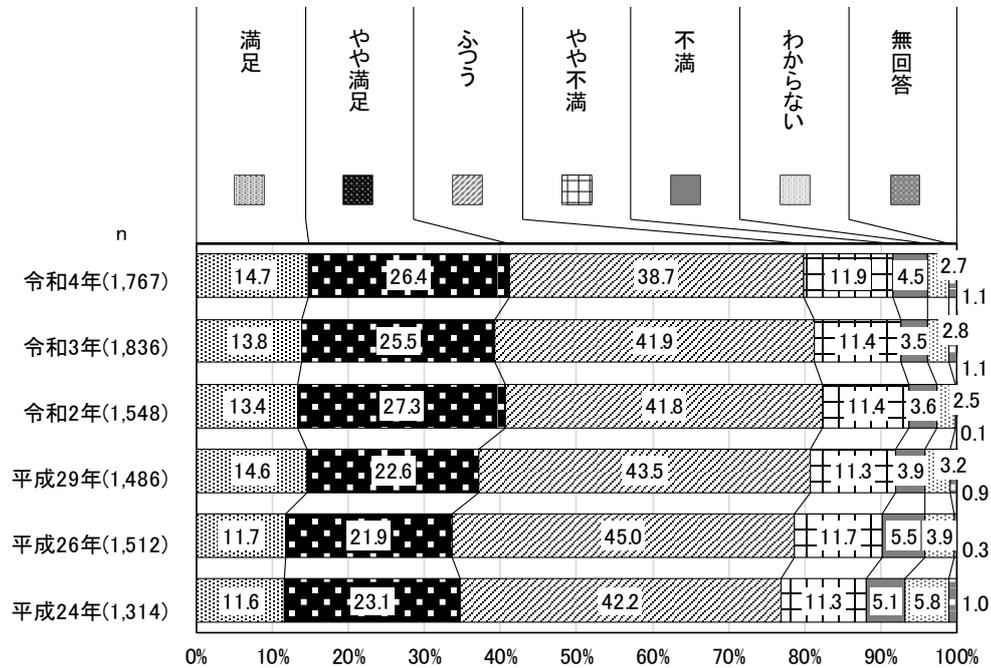
「満足」は小岩地区(9.7%)のみが1割未満と低くなっている。(図表2-52)

<図表2-52>⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別



【⑱ 病院・診療所の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“医療機関・医療体制”
 令和3年と比較すると「不満」が1.0ポイント増加している。(図表2-53)

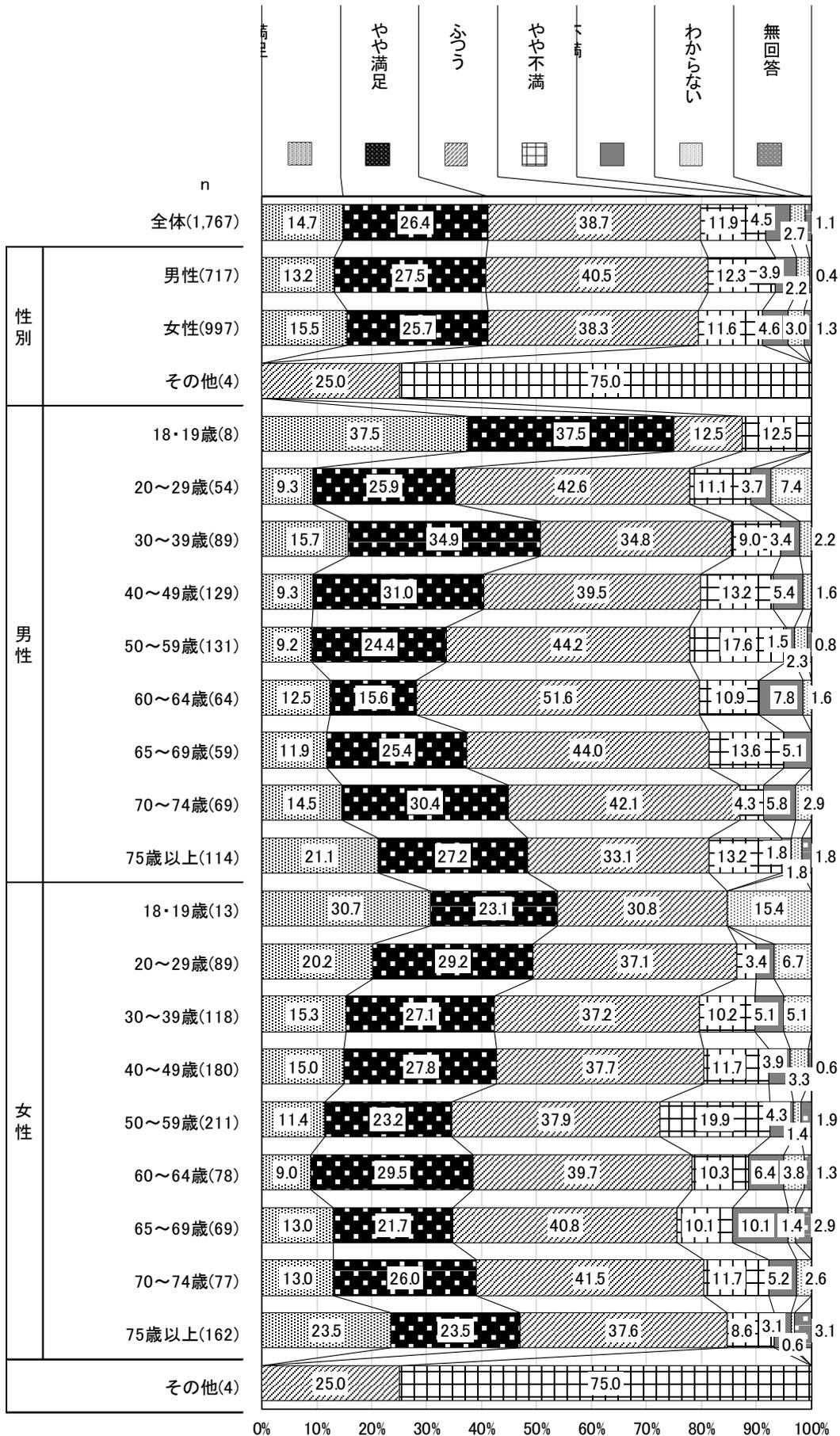
＜図表2-53＞⑱ 病院・診療所の充実度／時系列比較



【⑱ 病院・診療所の充実度／性・年齢別】

「満足」は女性が15.5%と、男性(13.2%)を2.3ポイント上回っている。また、男性-75歳以上(21.1%)と女性-20～29歳(20.2%)と女性-75歳以上(23.5%)が2割を超えて高くなっている。(図表2-54)

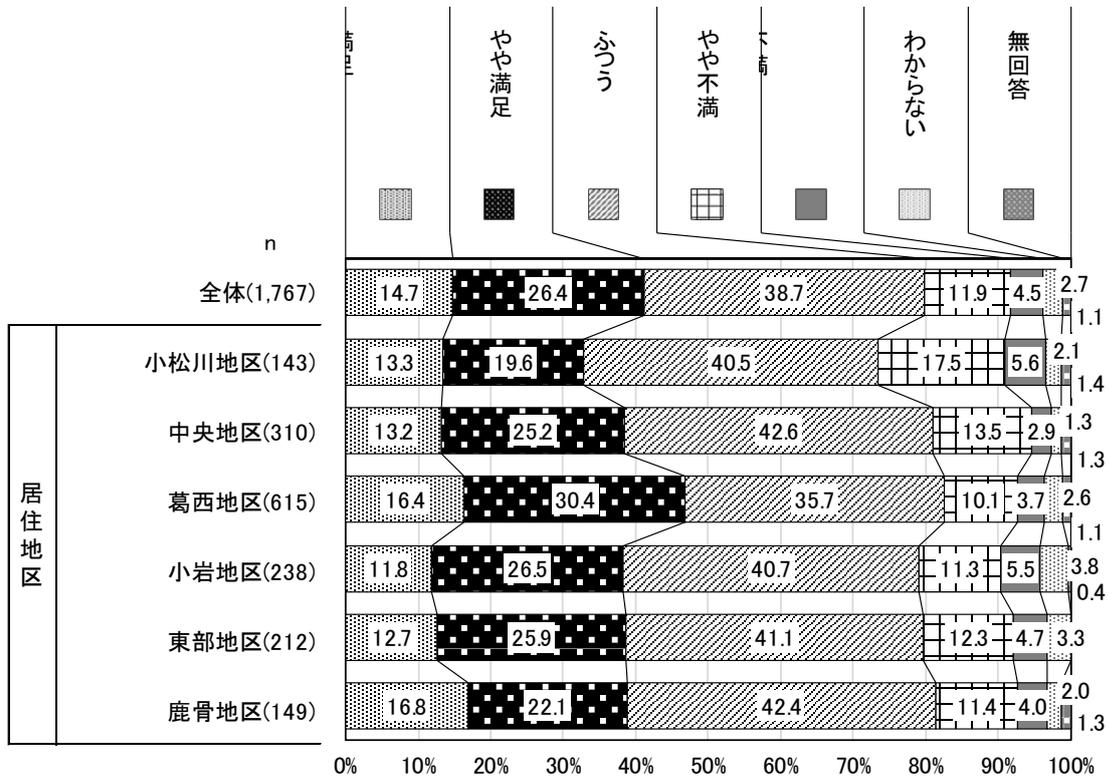
＜図表2-54＞⑱ 病院・診療所の充実度／性・年齢別



【⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別】

「やや満足」は葛西地区(30.4%)のみが3割を超えて高くなっている。一方、小松川地区が最も低く19.6%となっている。(図表2-55)

<図表2-55> ⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別

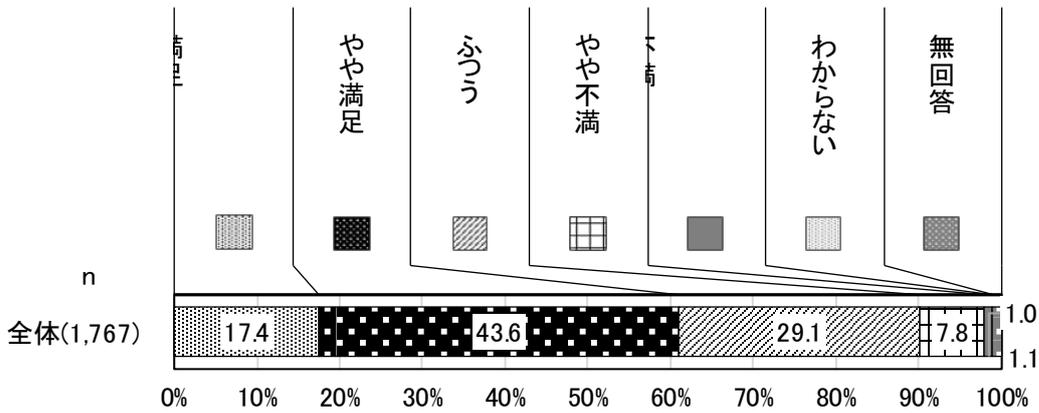


(2) 区の現況への満足度

◇「やや満足」が43.6%を占める。

問5 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(○は1つ)

<図表2-56> 区の現況への満足度

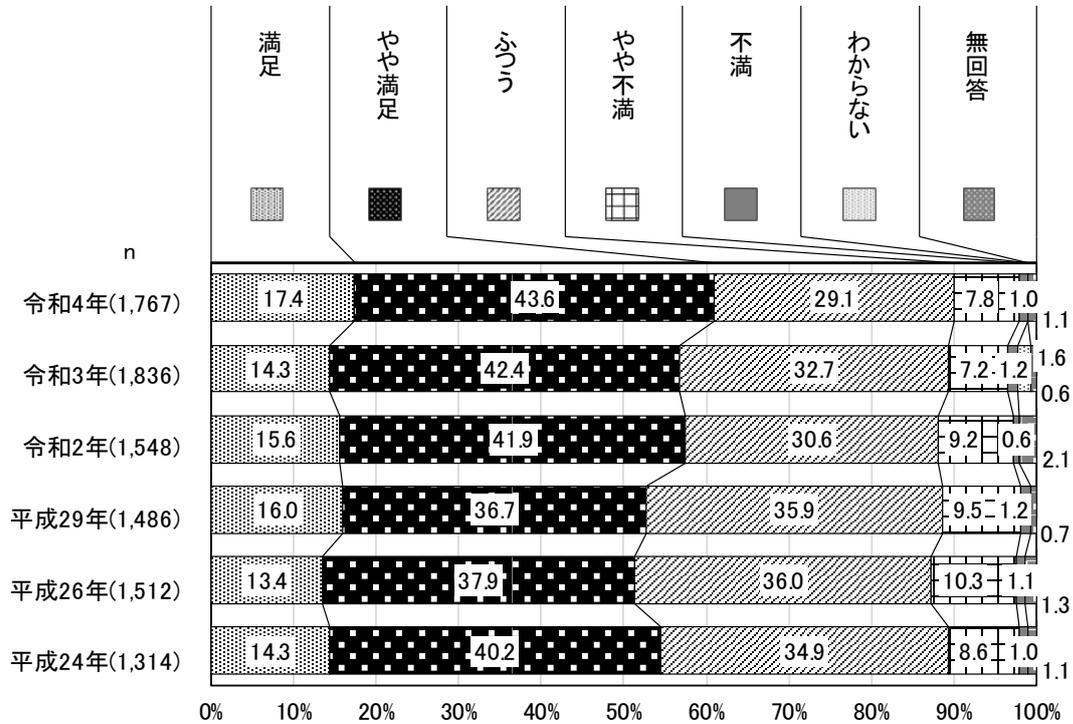


「やや満足」(43.6%)、「ふつう」(29.1%)、「満足」(17.4%)の順に高くなっている。一方、「やや不満」は7.8%、「不満」は1.0%とわずかしが見られない。(図表2-56)

【時系列比較】

令和3年と比較すると、「満足」は3.1ポイント増加し、「ふつう」は3.6ポイント減少している。(図表2-57)

＜図表2-57＞ 区の現況への満足度／時系列比較

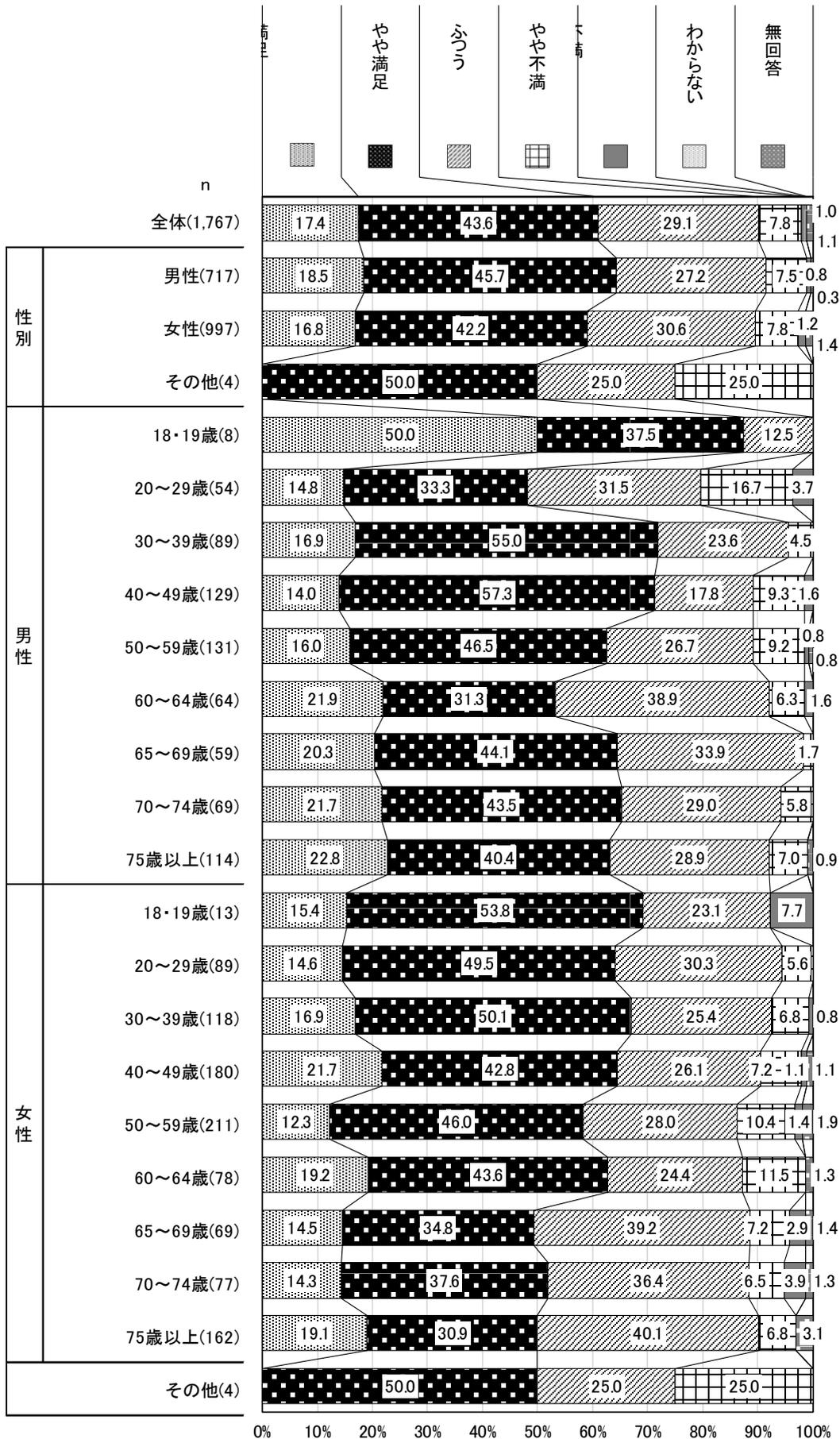


【性・年齢別】

男性が女性より、「満足」で1.7ポイント、「やや満足」で3.5ポイント高くなっている。

「満足」は男性-60～64歳以上と女性-40～49歳(21.7%)で2割を超えて高くなっている。(図表2-58)

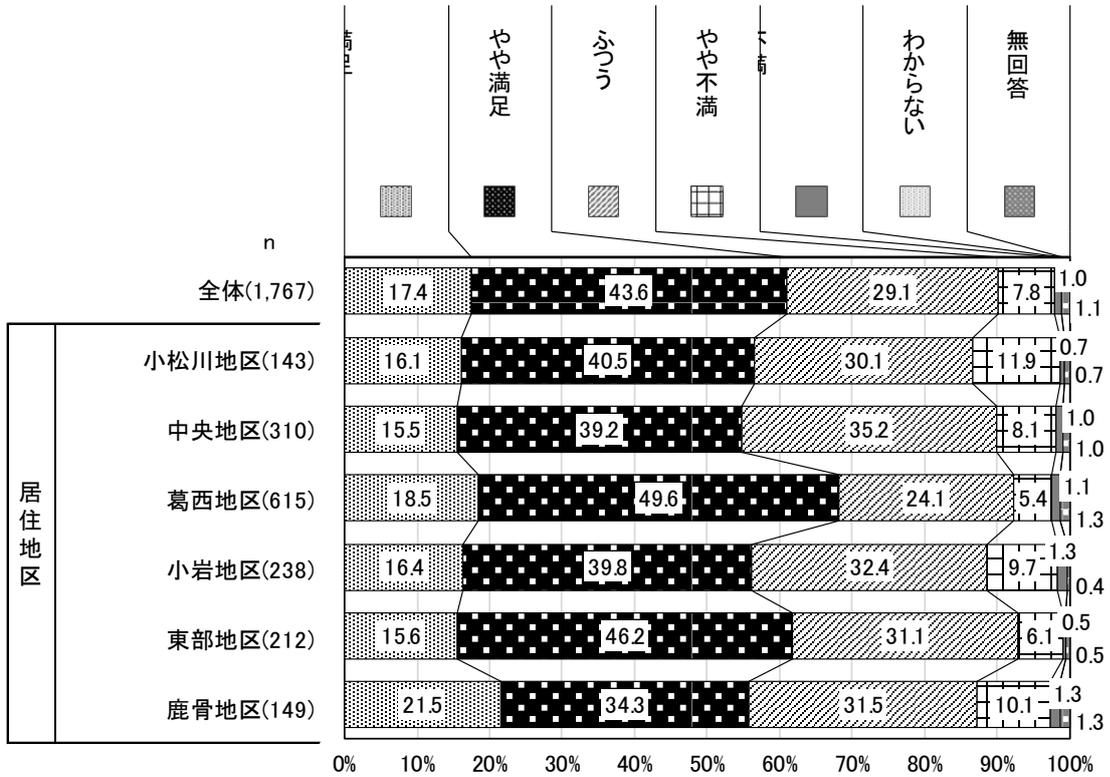
＜図表2-58＞ 区の現況への満足度／性・年齢別



【居住地区別】

「満足」は鹿骨地区(21.5%)のみが2割を超えて高くなっている。(図表2-59)

＜図表2-59＞ 区の現況への満足度／居住地区別

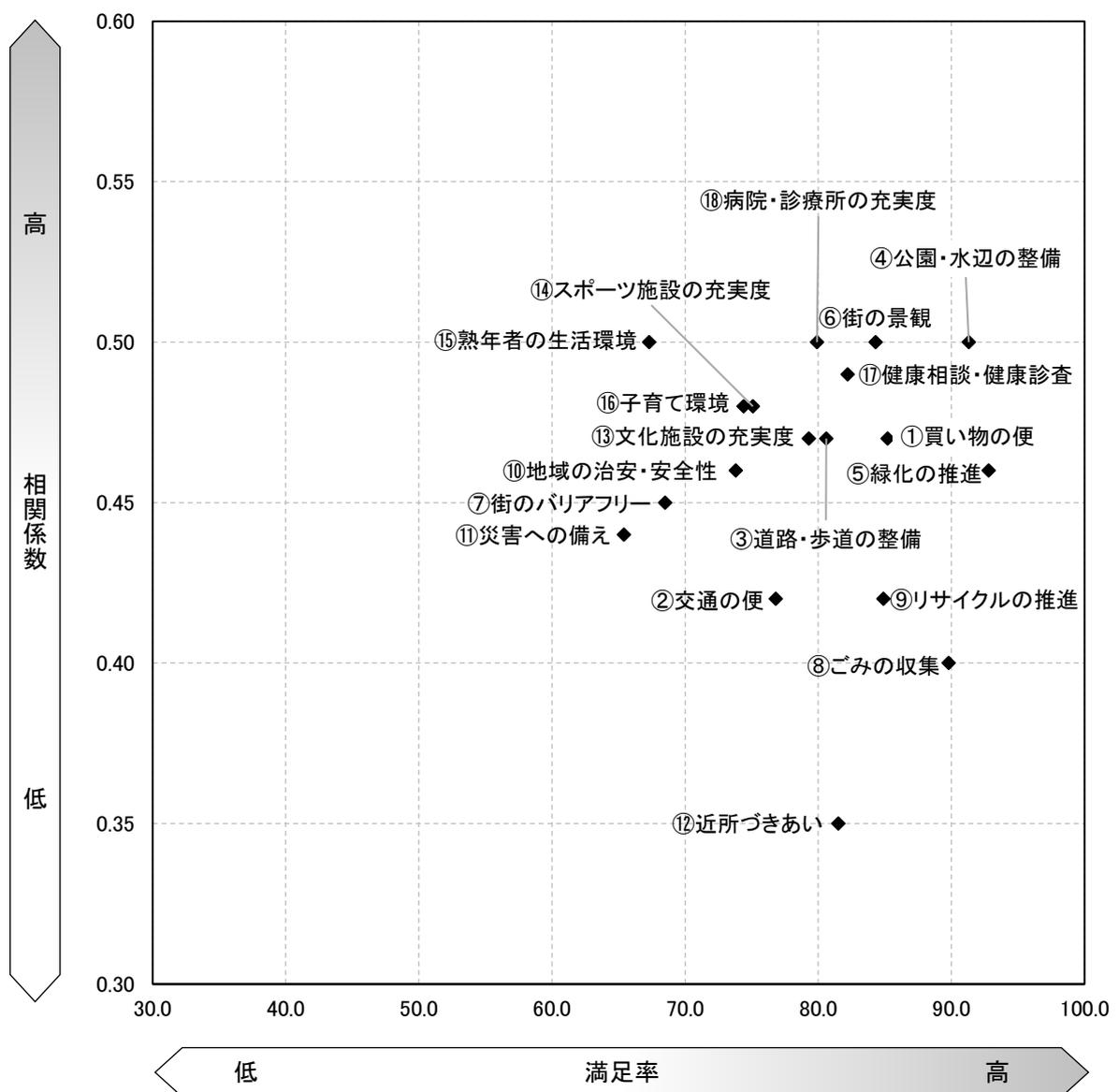


【相関分析】

「各項目の満足度」と「区の現況への満足度」から相関係数を算出し、それぞれの相関係数と満足率（「満足」と「やや満足」と「ふつう」の合計の割合）から散布図を作成した。相関係数は 0.2～0.4 だとゆるやかな相関関係があり、0.4～0.7 だと強い相関関係があるとされている。

「区の現況への満足度」と高い相関が見られた項目は「④公園・水辺の整備」と「⑥街の景観」と「⑮熟年者の生活環境」と「⑱病院・診療所の充実度」(0.50)、次いで「⑰健康相談・健康診査」(0.49)、「⑭スポーツ施設の充実度」と「⑯子育て環境」(0.48)となっている。この中でも、現状の満足率が特に低い「⑪災害への備え」(65.4)や「⑮熟年者の生活環境」(67.3)、「⑦街のバリアフリー」(68.5)を改善していくことが、「区の現況への満足度」の改善に影響すると考えられる。(図表2-60)

＜図表2-60＞「各項目の満足度」と「区の現況への満足度」との相関分析



3. 江戸川区のイメージについて

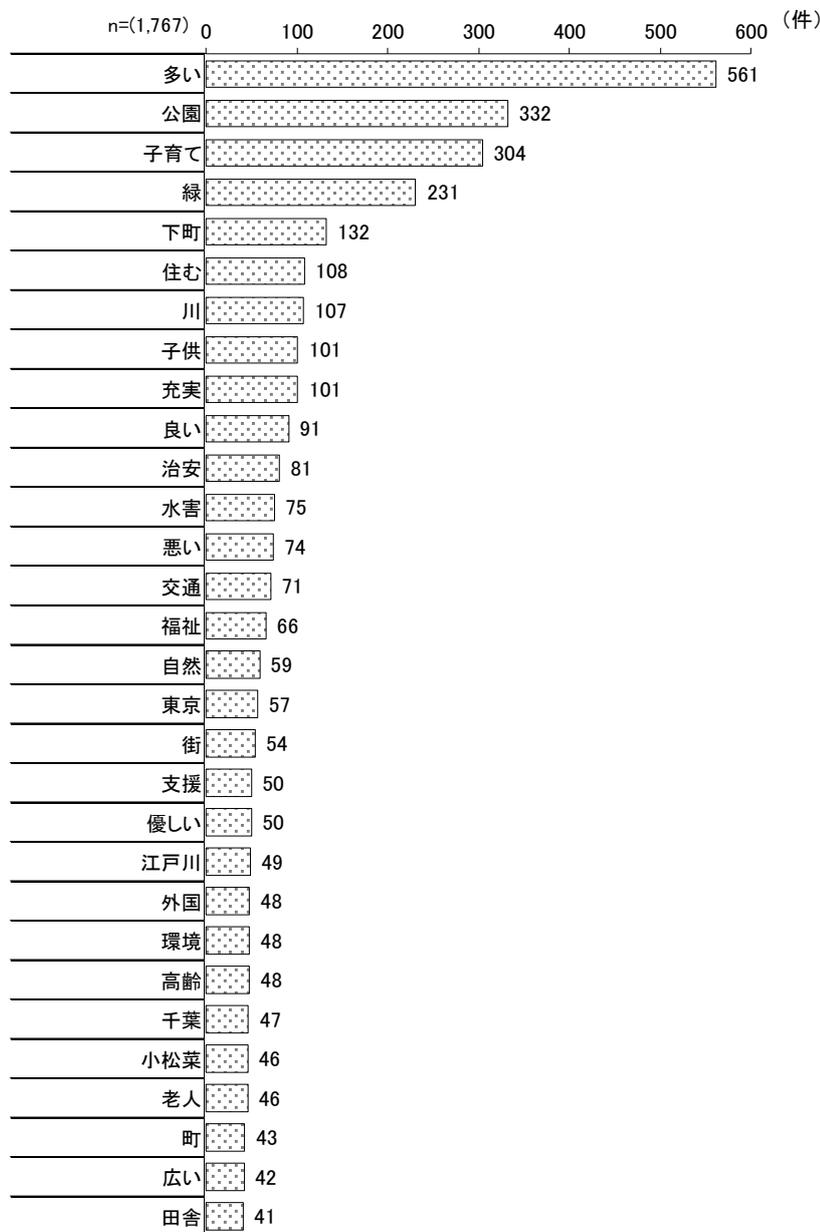
(1) 区のイメージ

◇「多い」「公園」「子育て」が300件以上。

問6 あなたが思う江戸川区のイメージを教えてください(キーワード、単語)。記入欄にお書きください。
(3つまで)

<図表3-1> 区のイメージ/単語の出現頻度の集計

※このグラフは、記入されたイメージに対して形態素解析(語を構成する最小の意味のある単位である形態素に分けること)を行い、単語の出現頻度の集計を行ったものである。

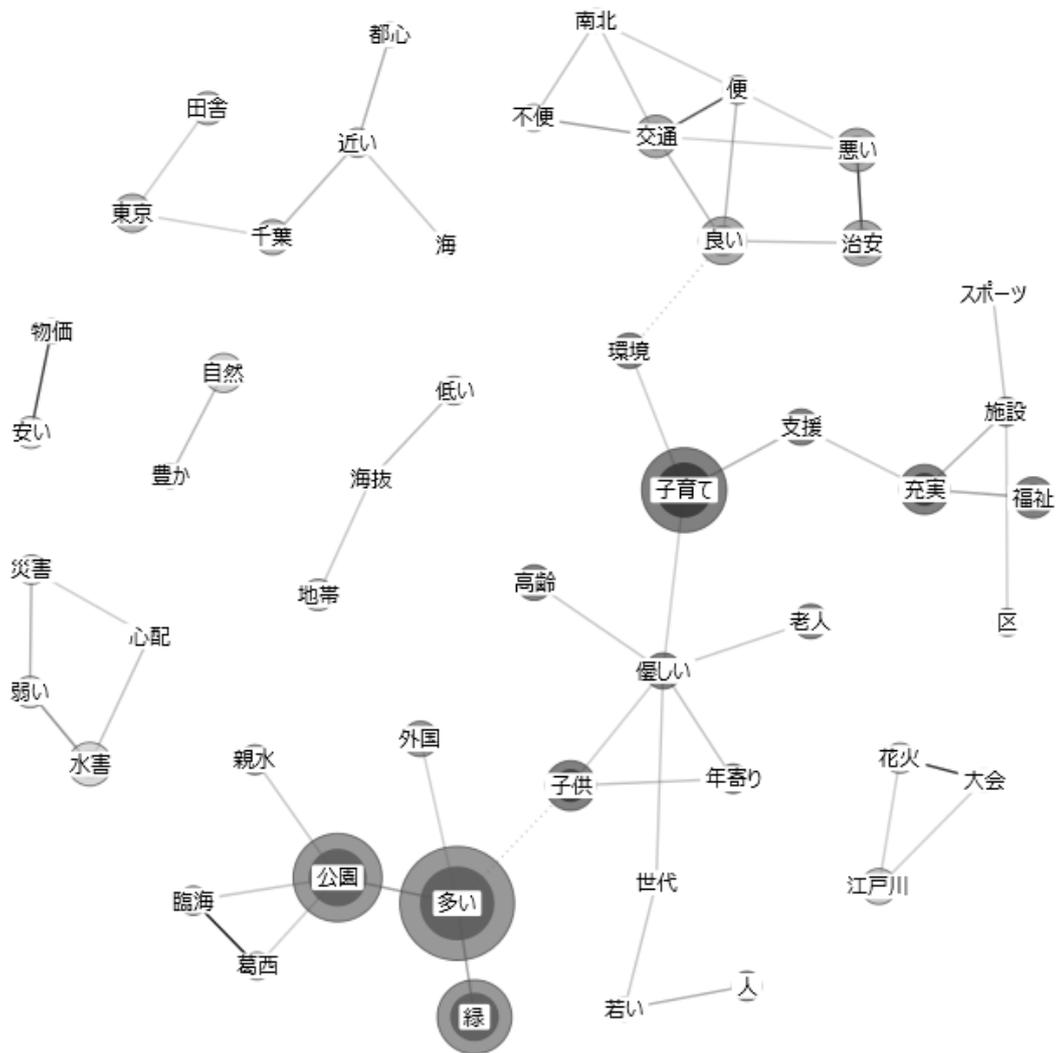


区のイメージとして挙げられた単語の上位30項目を見ると、「多い」(561件)、「公園」(332件)、「子育て」(304件)が300件を超えて特に多くなっている。次いで、「緑」(231件)も多くなっている。(図表3-1)

【区のイメージ／テキストマイニング(語と語の関係性)】

円の大きさは単語の出現頻度、円と円をつなぐ線は一文の中で一緒に単語が出現する共起関係であること、線の濃さは単語同士の共起関係の強さを示している。ポジティブな内容として、「公園」と「緑」は「多い」と、「子育て」は「優しい」と「支援」などとの関係が見られる。一方で、「交通」は「不便」と「良い」それぞれに、「治安」も「悪い」と「良い」それぞれに関係が見られる。ネガティブな内容としては、「災害」と「水害」は「弱い」などとの関係が見られる。(図表3-2)

＜図表3-2＞区のイメージ／テキストマイニング(語と語の関係性)



＜図表3-3＞区のイメージ／近似の回答内容の集計

	イメージ	主な回答	件数
1	公園	公園が多い、公園、公園が充実、親水公園	338
2	子育て	子育てしやすい、子育て、子育て支援の充実	302
3	緑	緑が多い、緑豊か、緑	247
4	川	川、川が多い、江戸川、荒川	163
5	下町	下町、下町の人情	138
6	高齢者	高齢者が多い、年寄に優しい、老人	130
7	住みやすい	住みやすい、暮らしやすい	128
8	子ども	子どもが多い、子ども、子どもに優しい・親切	115
9	外国人	外国人が多い、インド人、多国籍	100
10	水害	水害に弱い、水害が心配、水害	96
11	治安が悪い	治安が悪い、治安が良くない	91
12	0メートル地帯	0メートル地帯、海拔が低い	70
13	水辺	水辺、水	66
14	福祉	福祉が充実、福祉	64
15	自然	自然が多い、自然豊か	64
16	治安が良い	治安が良い、明るいまち、安心、安全なまち	53
17	交通が良い	交通の便が良い、アクセスが良い	52
18	千葉に近い	千葉に近い、ほぼ千葉	47
19	小松菜	小松菜	46
20	田舎	田舎、都会の田舎	46
21	広い	広い、面積が広い、空が広い	44
22	便利	便利、買い物など便利	42
23	物価が安い	物価が安い、家賃が安い	41
24	東京の端	東京の端、ギリギリ都内	39
25	交通が不便	交通が不便、南北交通が不便	38
26	花火	花火、花火大会	35

＜図表3-4＞区のイメージ／近似の回答内容のイメージ図



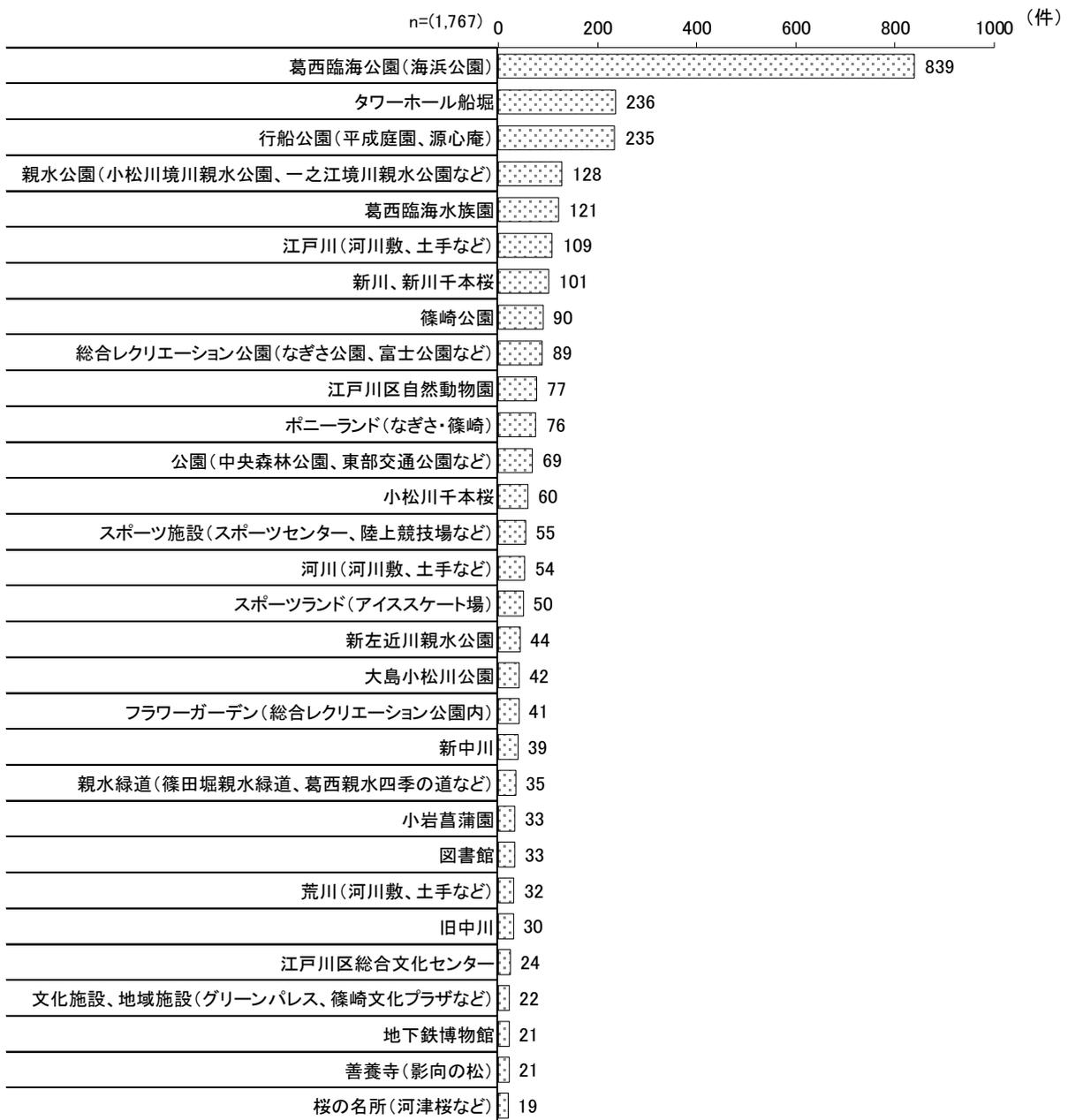
4. 江戸川区のお勧めスポットについて

(1) 区のお勧めスポット

◇「葛西臨海公園（海浜公園）」が839件と多い。

問7 あなたが思う区内のお勧めスポットを教えてください。記入欄にお書きください。(3つまで)

<図表4-1> 区のお勧めスポット

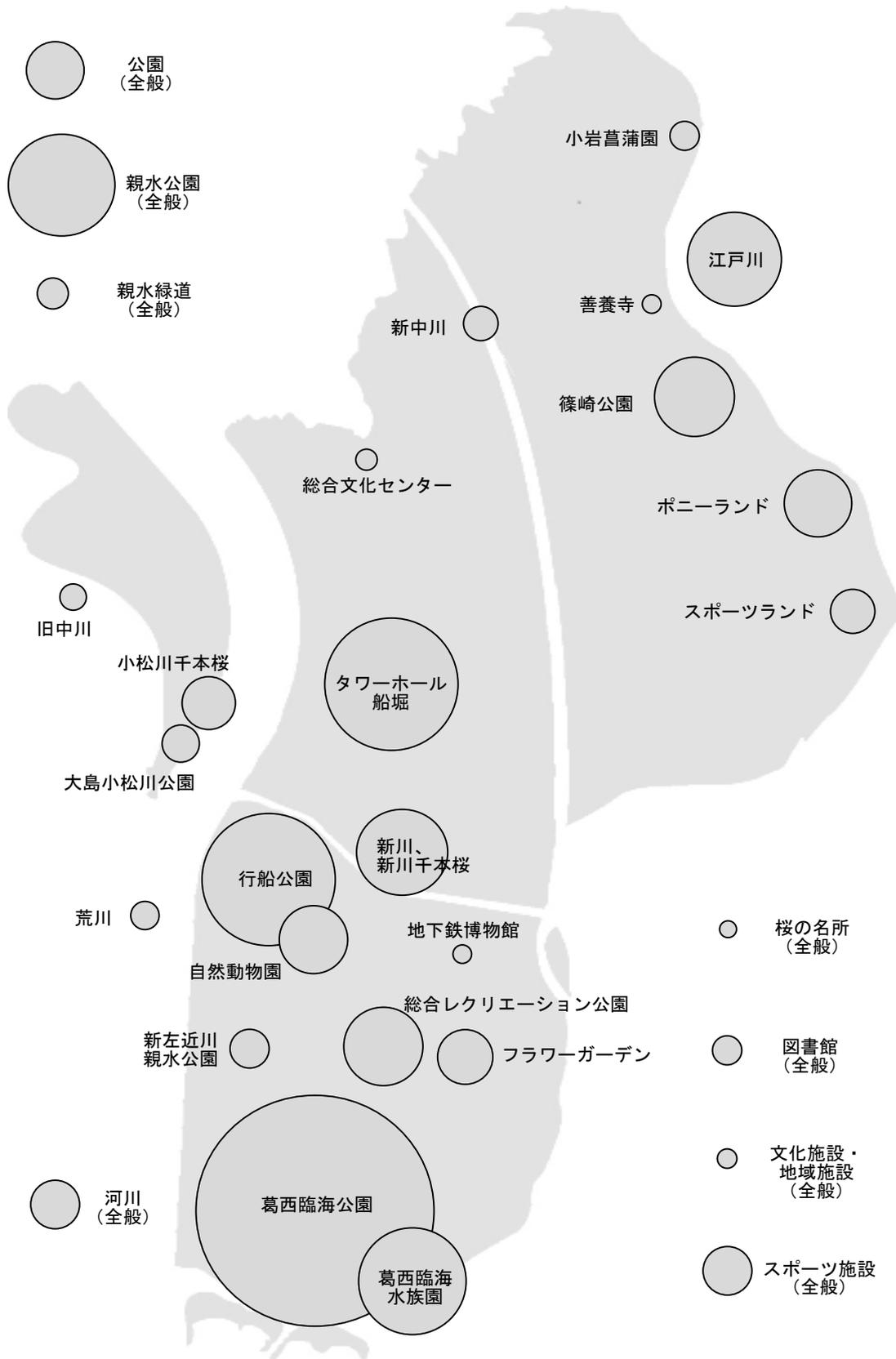


区のお勧めスポットとして挙げられた場所の上位 30 項目を見ると、「葛西臨海公園(海浜公園)」(839 件) が特に多くなっている。次いで、「タワーホール船堀」(236 件)と「行船公園(平成庭園、源心庵)」(235 件)が多くなっている。(図表4-1)

【区のお勧めスポット／イメージ図】

区のお勧めスポットとして挙げられた場所の上位 30 項目を地図にイメージとして落とし込むと図のようになる。円の大きさは回答件数の多さを表している。(図表4-2)

<図表4-2> 区のお勧めスポット／イメージ図



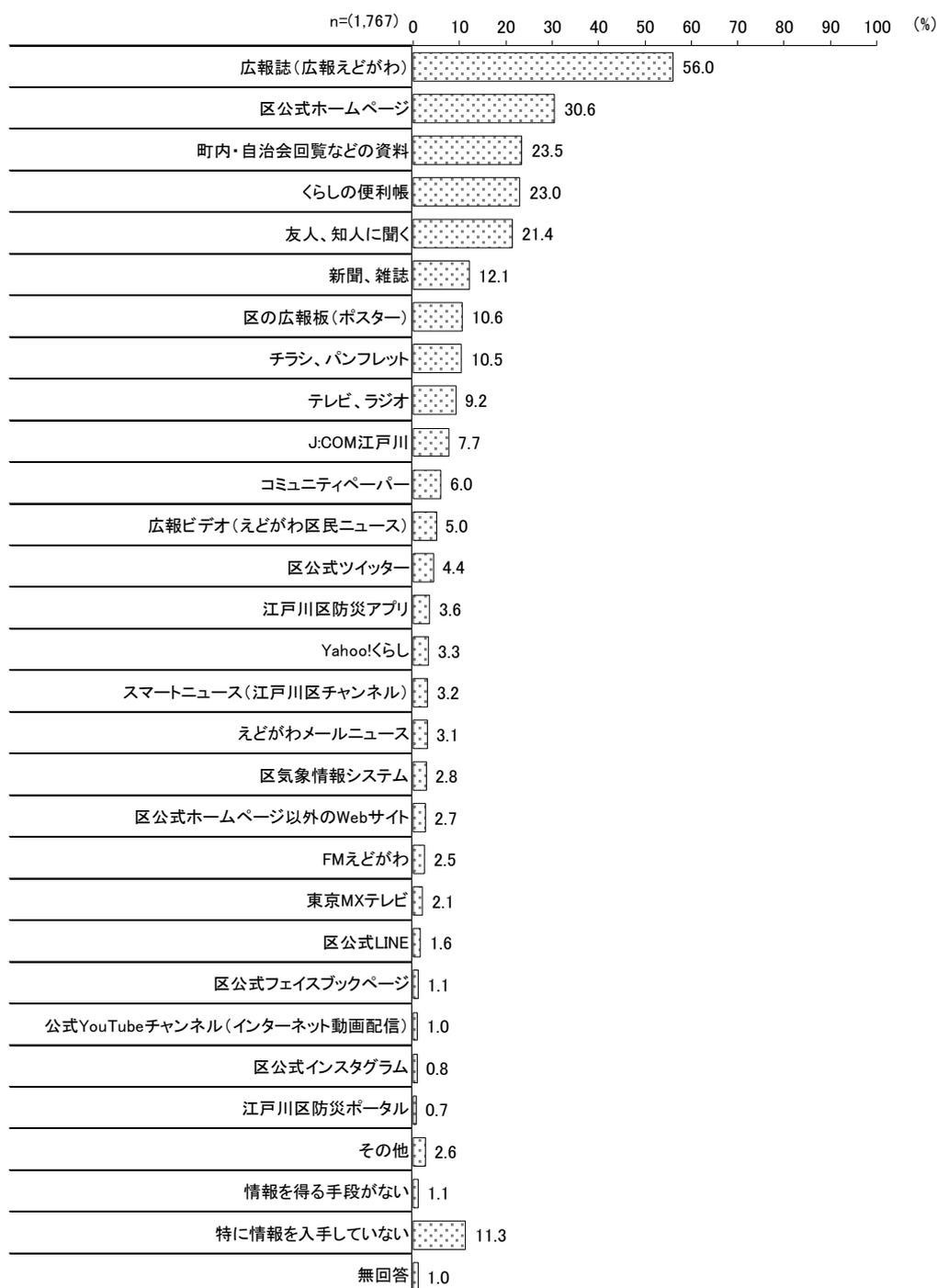
5. 広報と情報化について

(1) 区の情報入手手段

◇「広報誌（広報えどがわ）」が56.0%と高い。

問8 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段(媒体)で入手していますか。(〇はいくつでも)

<図表5-1> 区の情報入手手段



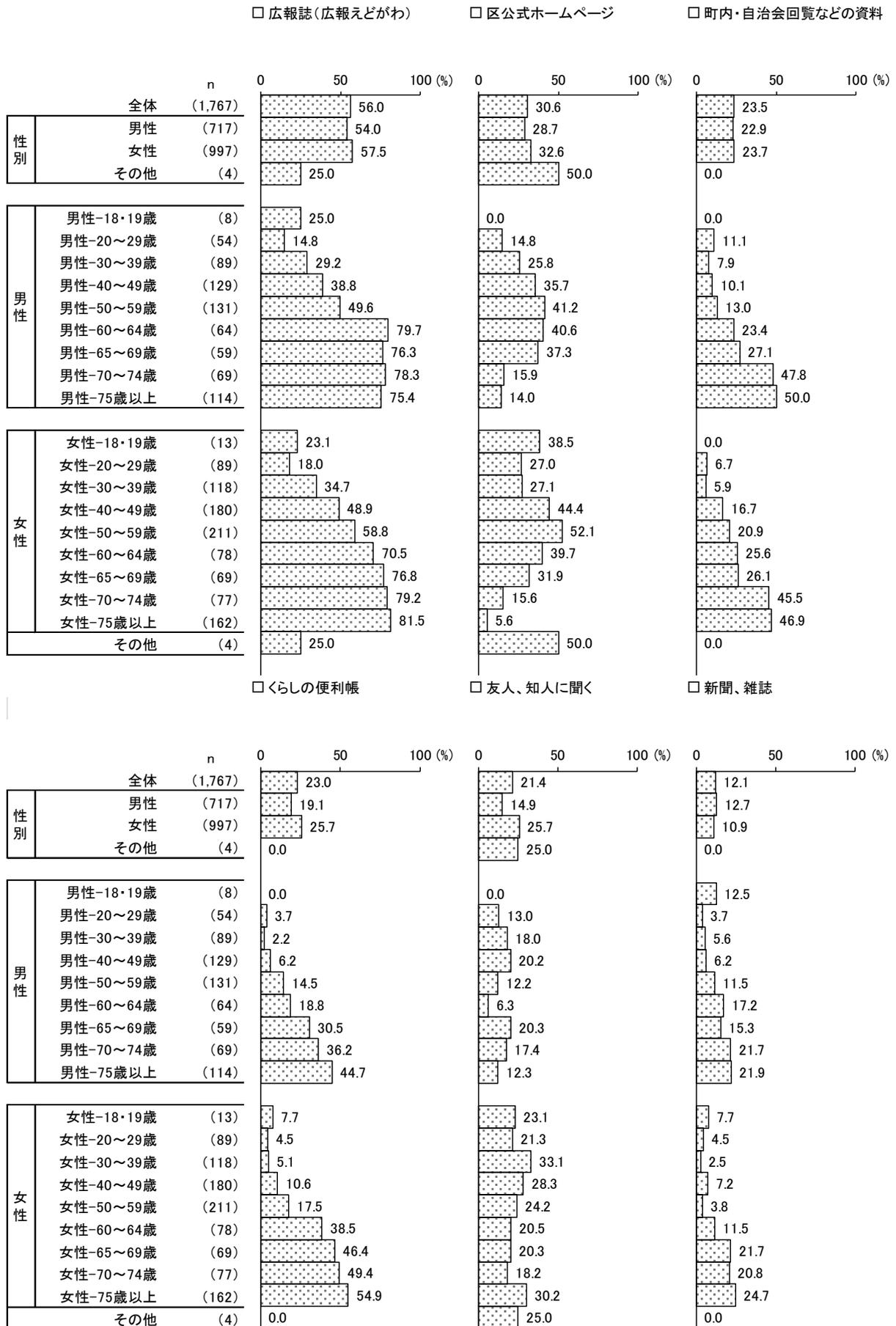
「広報誌(広報えどがわ)」が 56.0%と最も高く、次いで「区公式ホームページ」が 30.6%、「町内・自治会回覧などの資料」(23.5%)と「くらしの便利帳」(23.0%)と「友人、知人に聞く」(21.4%)が2割を超えて高くなっている。(図表5-1)

【性・年齢別】

「広報誌(広報えどがわ)」と「町内・自治会回覧などの資料」と「くらしの便利帳」は、男性・女性ともにおおむね年齢が上がると割合が高くなる傾向にある。

「区公式ホームページ」は男性・女性ともに 50～59 歳が最も高くなっている。(図表5-2)

<図表5-2> 区の情報の入手手段(上位6項目)／性・年齢別

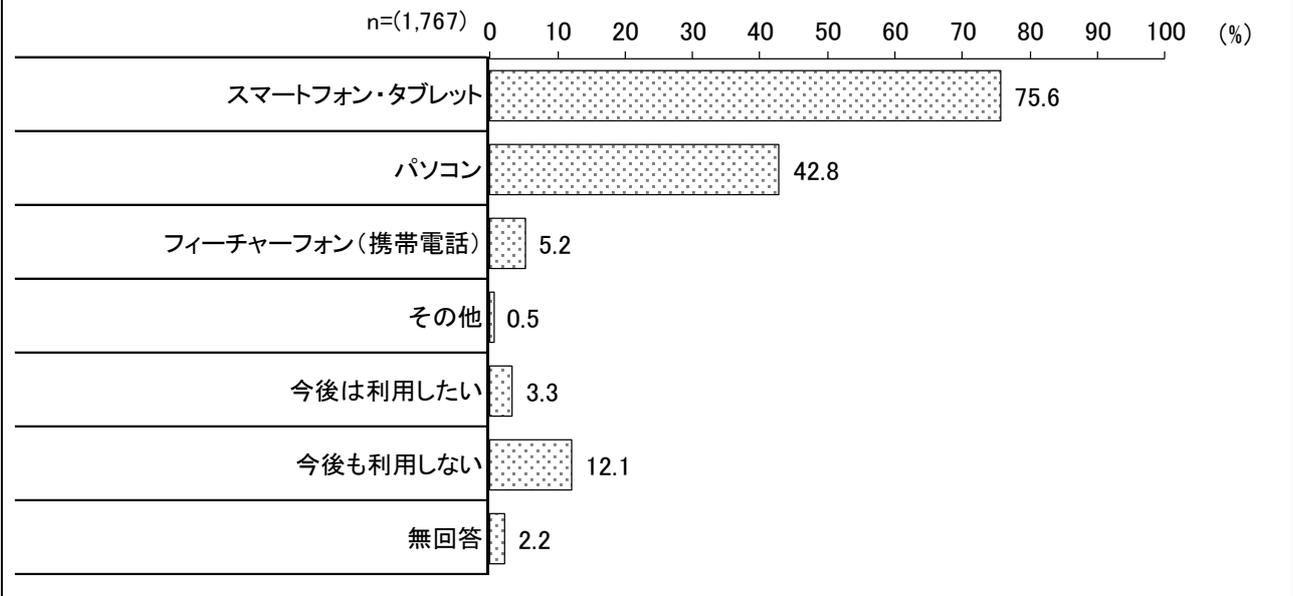


(2) インターネットの利用状況

◇「スマートフォン・タブレット」が75.6%と高い。

問9 あなたは、インターネットを利用していますか。利用するときは何を使いますか。(〇はいくつでも)

<図表5-3>インターネットの利用状況



インターネットを利用している方の回答を見ると、「スマートフォン・タブレット」が 75.6%、「パソコン」が 42.8%、「フィーチャーフォン(携帯電話)」が 5.2%と続いている。

インターネットを利用していない方の回答を見ると、「今後も利用しない」が 12.1%、「今後は利用したい」が 3.3%となっている。(図表5-3)

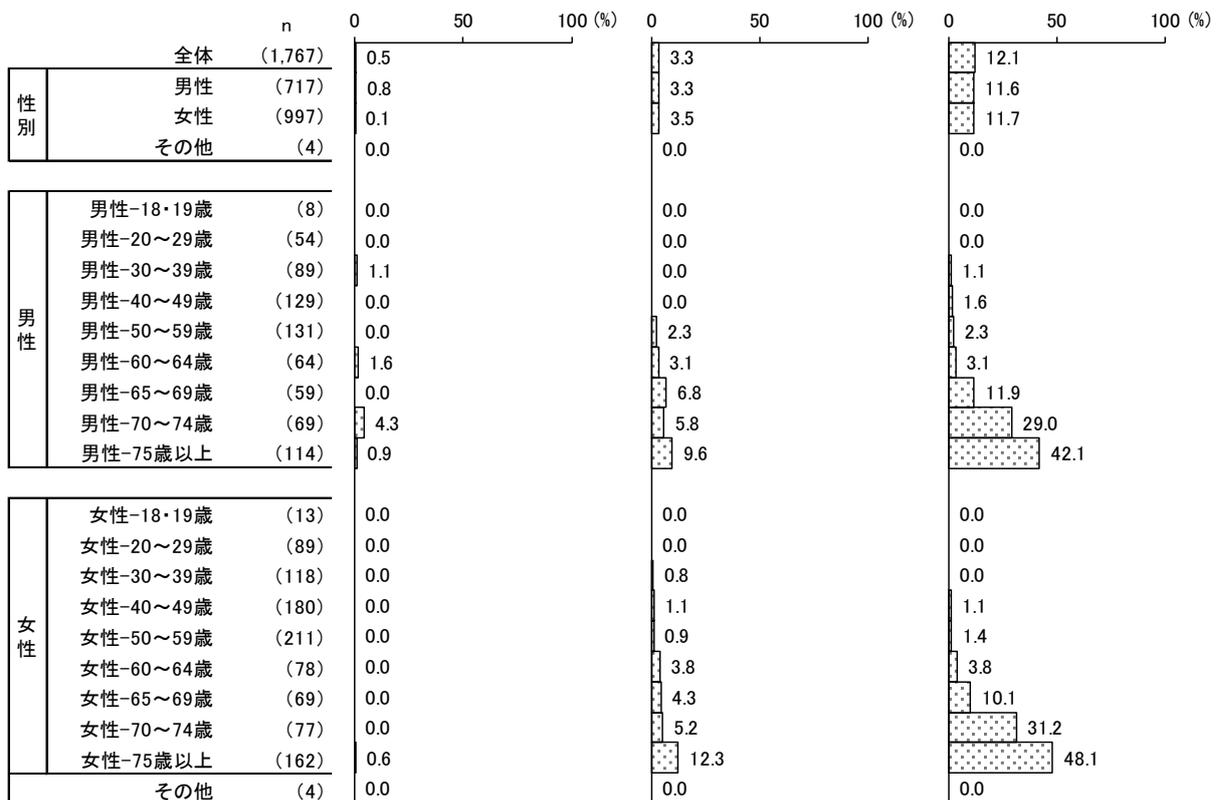
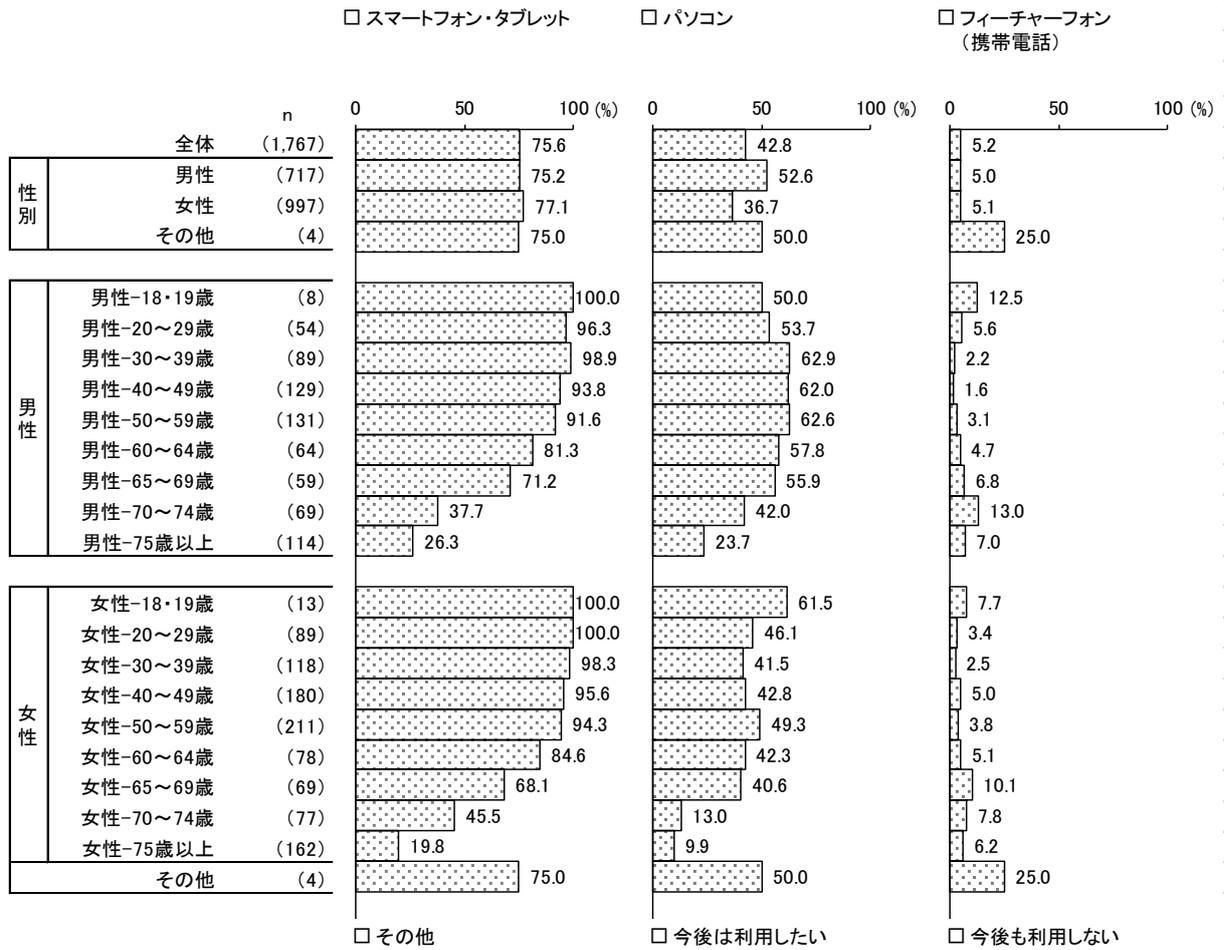
【性・年齢別】

「スマートフォン・タブレット」は男性・女性ともに「50～59 歳」以下の割合が9割を超えており、それ以降の年齢になると割合は減少し、男性-75 歳以上は 26.3%、女性-75 歳以上は 19.8%となっている。

「今後も利用しない」は男性・女性ともに 65～69 歳以上で1割を超えて割合が高くなる傾向がある。

(図表5-4)

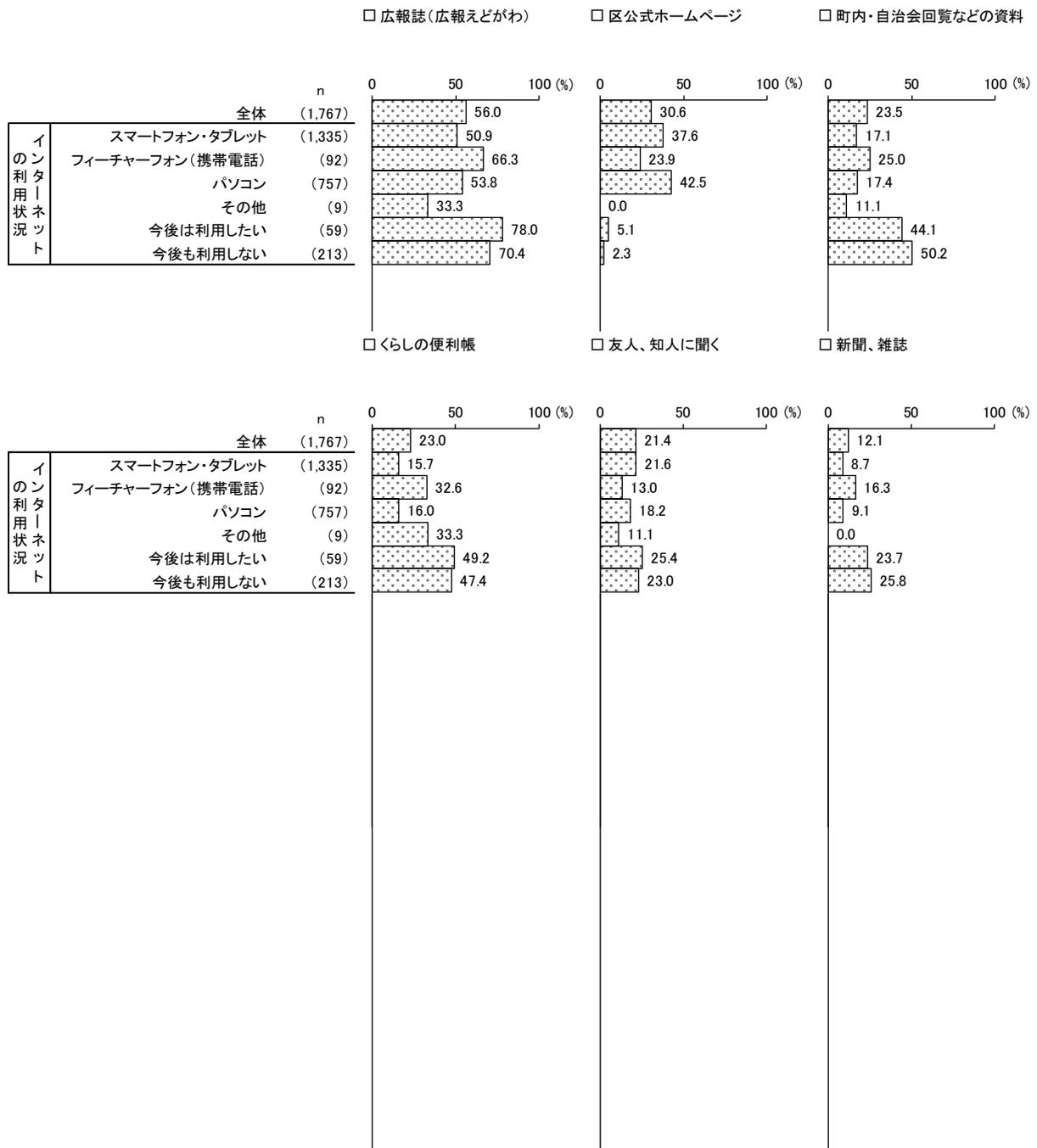
<図表5-4> インターネットの利用状況／性・年齢別



【区の情報の入手手段／インターネットの利用状況】

インターネットの利用状況別に区の情報の入手手段を見ると、インターネットを利用していない方(「今後は利用したい」と「今後も利用しない」)は「広報誌(広報えどがわ)」「町内・自治会回覧などの資料」「くらしの便利帳」「友人、知人に聞く」「新聞、雑誌」でインターネットを利用している方(「スマートフォン・タブレット」と「パソコン」と「フィーチャーフォン(携帯電話)」と「その他」)の割合より高くなっている。(図表5-5)

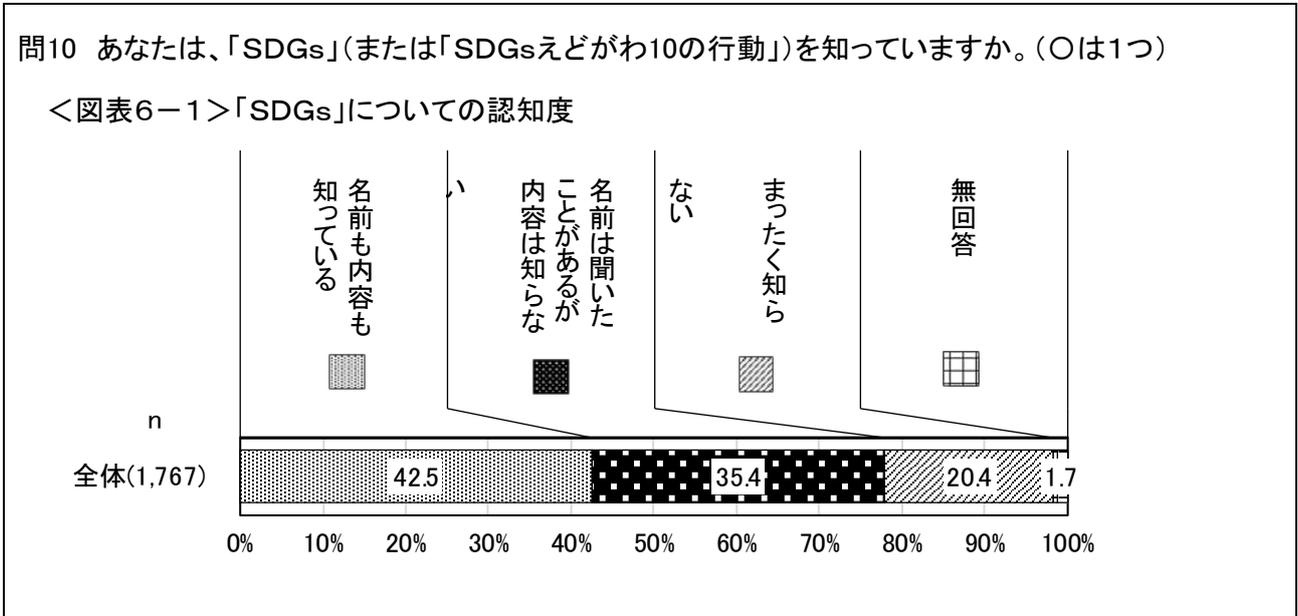
＜図表5-5＞区の情報の入手手段／インターネットの利用状況



6. SDGsについて

(1) 「SDGs」についての認知度

◇「名前も内容も知っている」が42.5%を占める。

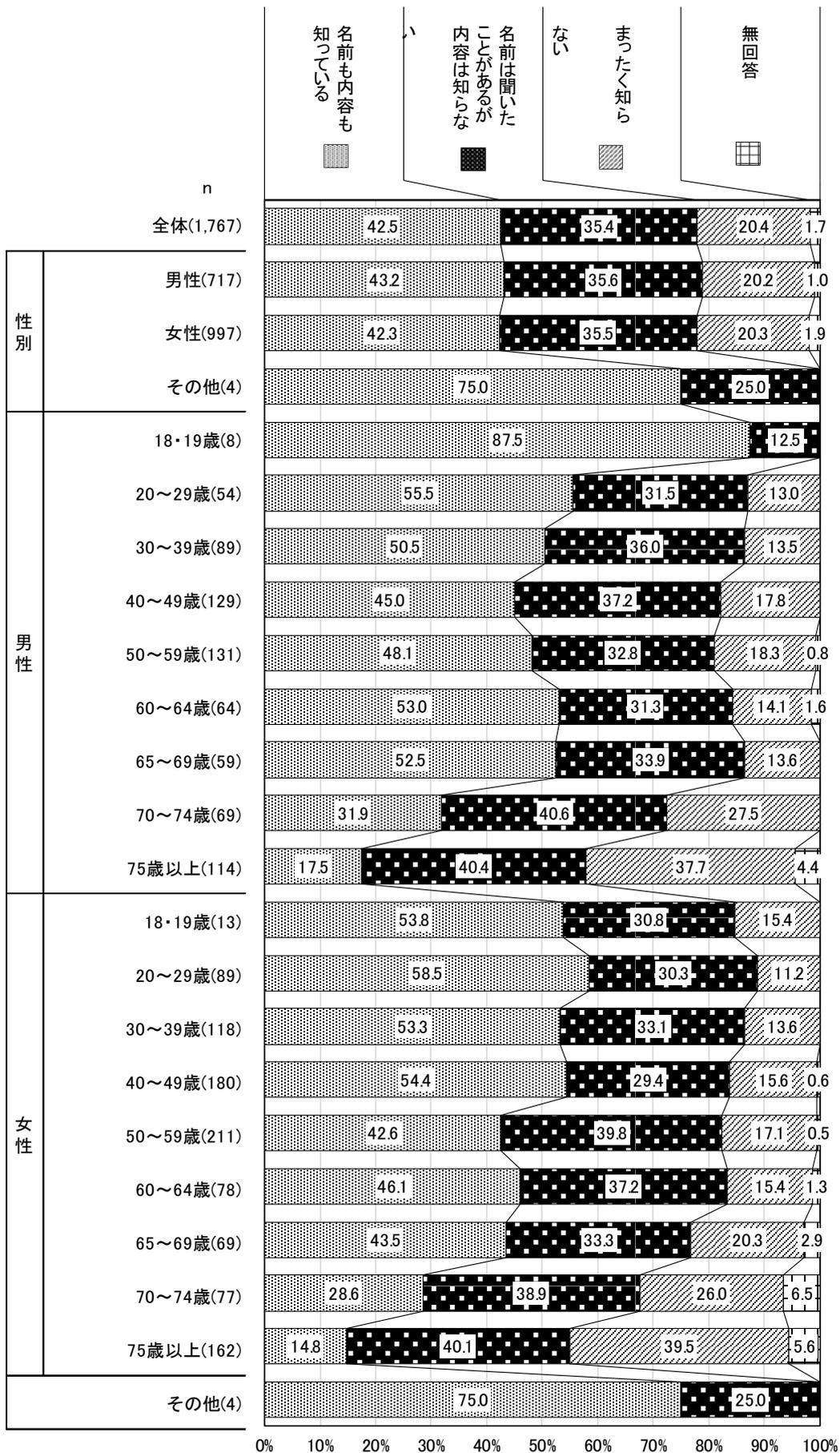


「名前も内容も知っている」(42.5%)、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(35.4%)、「まったく知らない」(20.4%)の順に高くなっている。(図表6-1)

【性・年齢別】

「名前も内容も知っている」は男性・女性ともに 65～69 歳以下で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。また、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は男性・女性ともに 70～74 歳以上で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。(図表6-2)

<図表6-2>「SDGs」についての認知度／性・年齢別

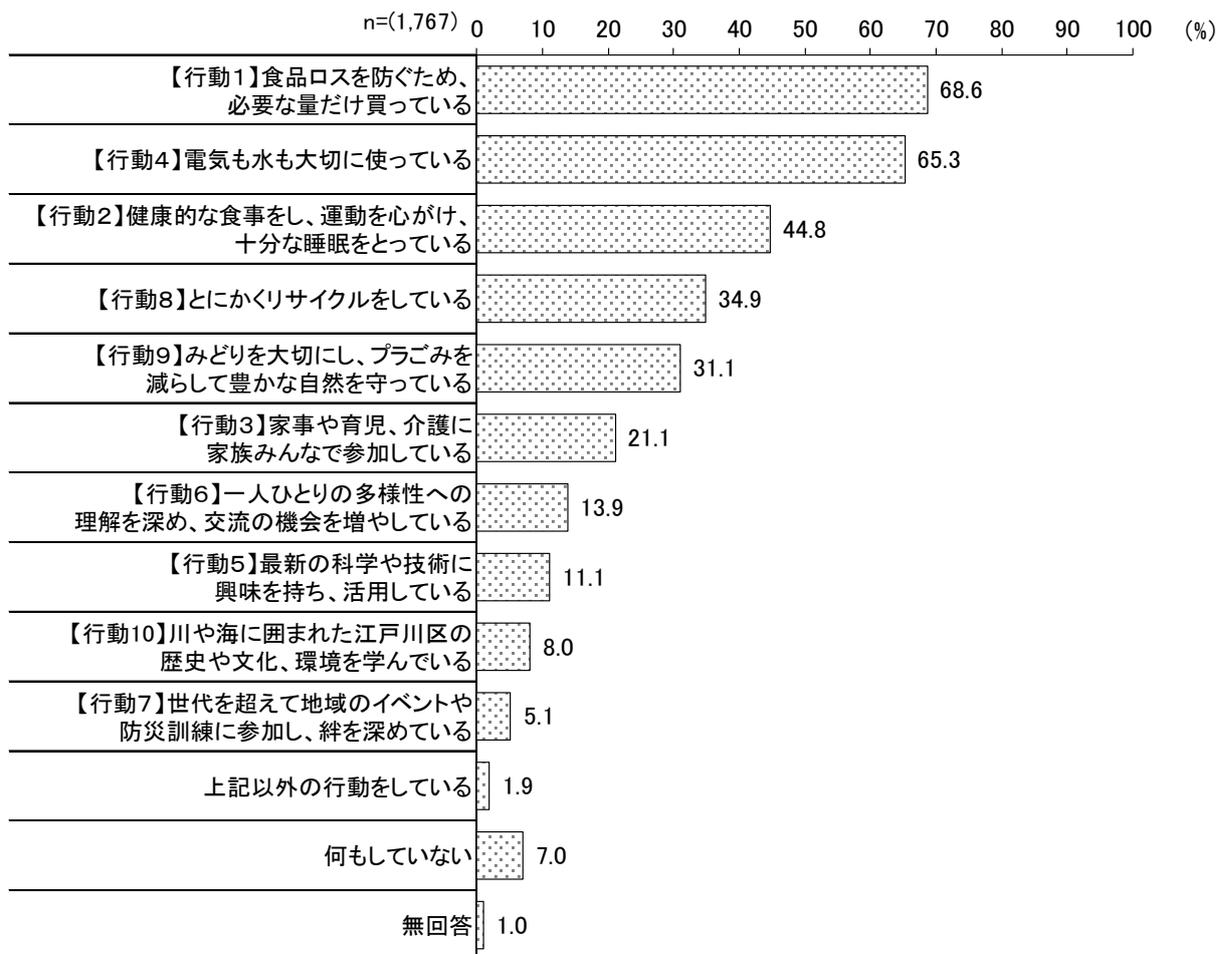


(2) 「SDGs えどがわ 10 の行動」の中で取り組んでいる行動

◇「食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買っている」が68.6%と高い。

問11 江戸川区は以下のとおり「SDGsえどがわ10の行動」(下記1～10)を定めていますが、ご自身の生活の中で現在取り組んでいる行動をお答えください。(〇はいくつでも)

<図表6-3>「SDGsえどがわ 10 の行動」の中で取り組んでいる行動

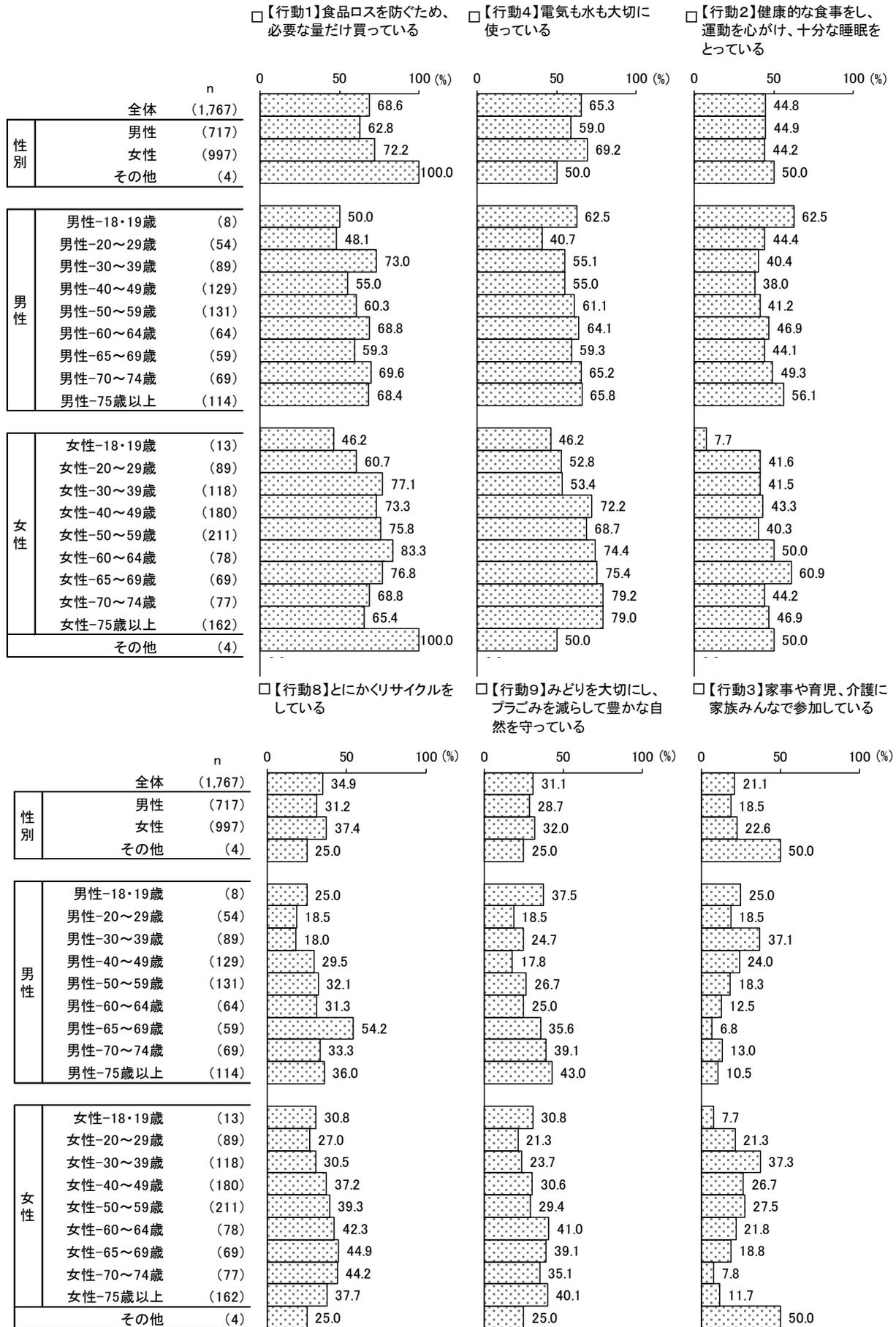


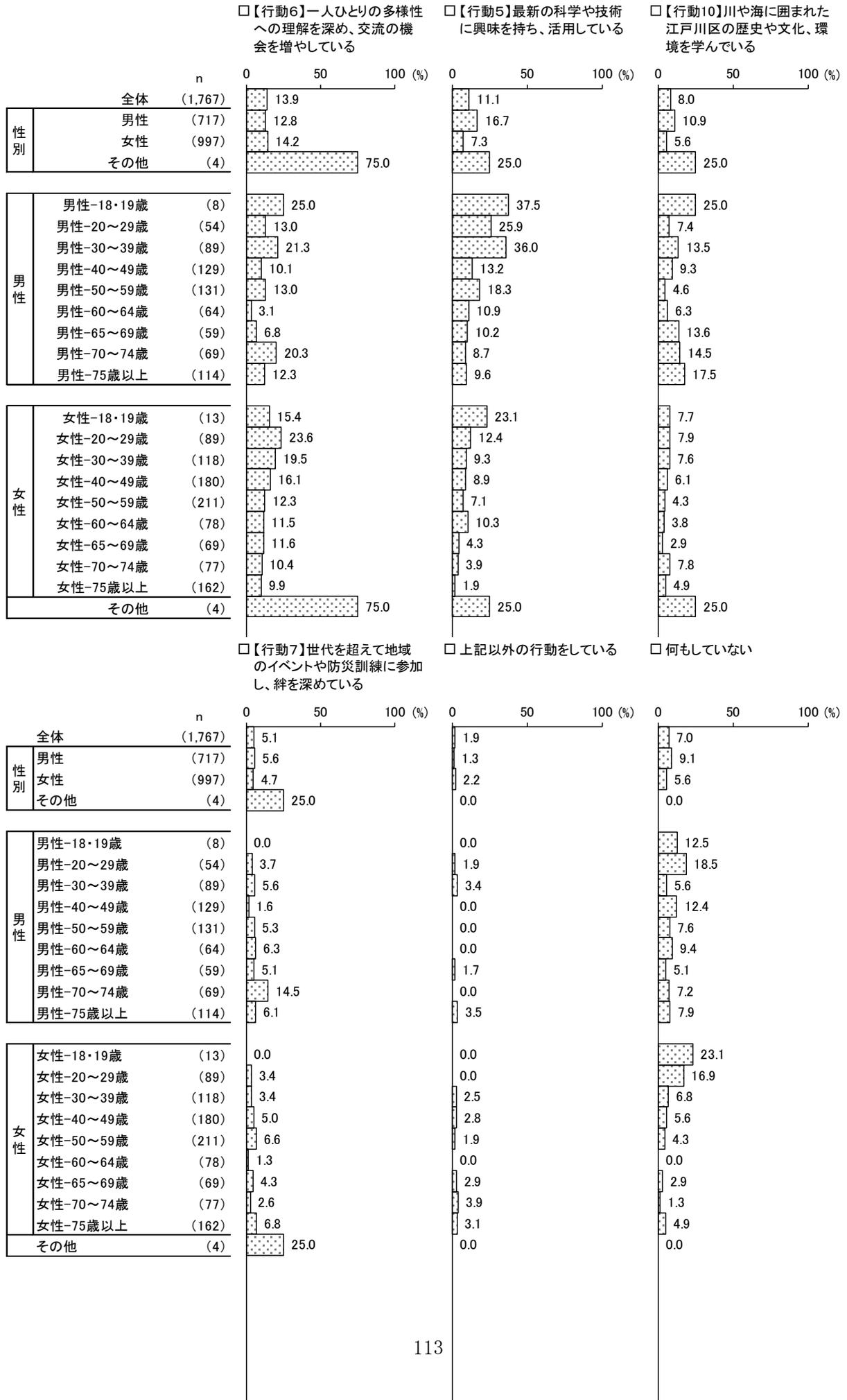
「【行動1】食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買っている」が 68.6%と最も高く、「【行動4】電気も水も大切に使っている」が 65.3%、「【行動2】健康的な食事をし、運動を心がけ、十分な睡眠をとっている」が 44.8%、「【行動8】とにかくりサイクルをしている」が 34.9%、「【行動9】みどりを大切にし、プラごみを減らして豊かな自然を守っている」が 31.1%と続いている。一方、「何もしていない」は 7.0%見られる。(図表6-3)

【性・年齢別】

「【行動4】電気も水も大切に使っている」は女性が 69.2%と、男性(59.0%)を 10.2 ポイント上回っている。「何もしていない」は男性が 9.1%と、女性(5.6%)を 3.5 ポイント上回っている。(図表6-4)

＜図表6-4＞「SDGsえどがわ10の行動」の中で取り組んでいる行動／性・年齢別





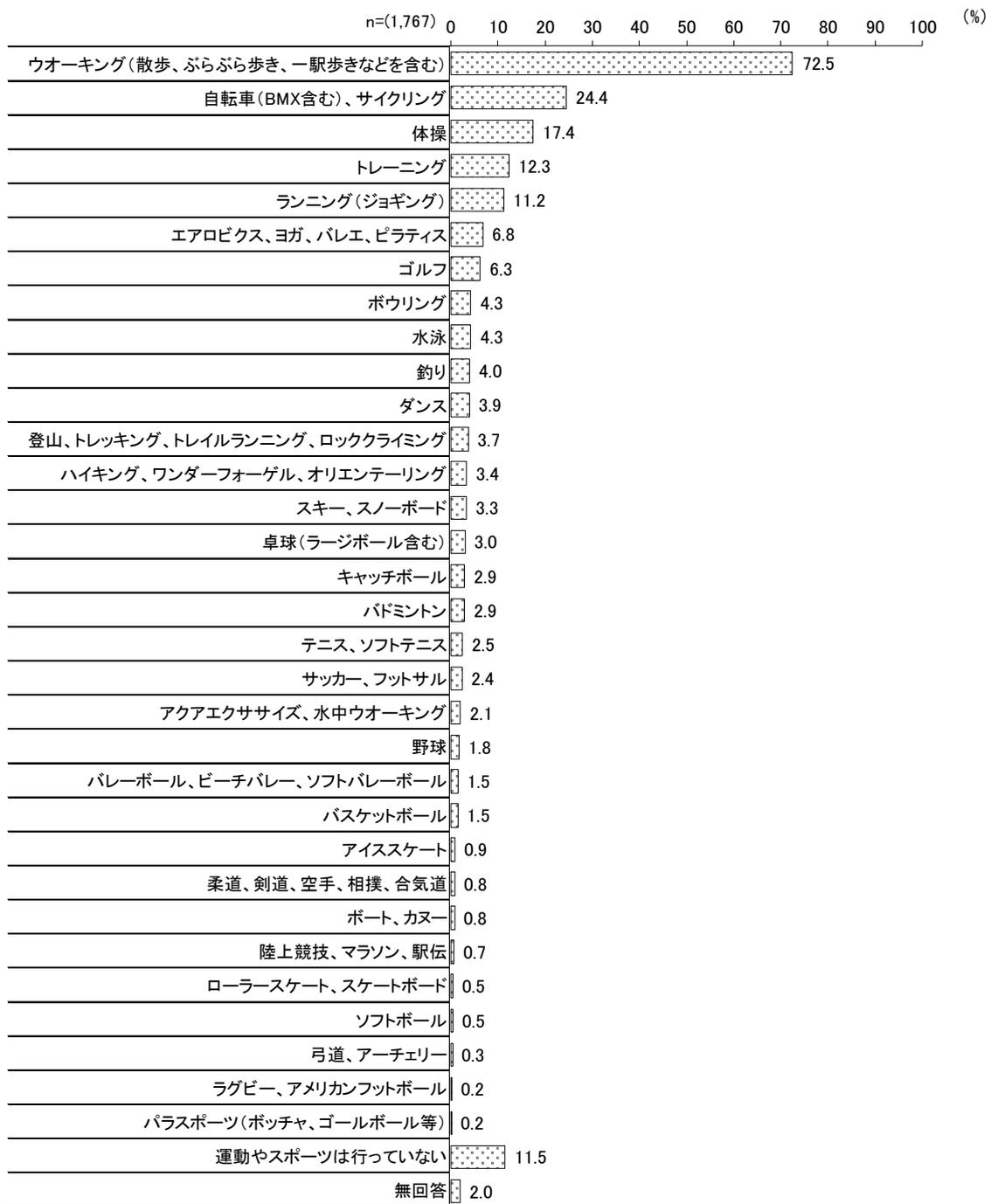
7. スポーツについて

(1) 1年間に行った運動やスポーツ

◇「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」が72.5%と高い。

問12 この1年間に実施した運動やスポーツは何ですか。（○はいくつでも）

<図表7-1> 1年間に行った運動やスポーツ



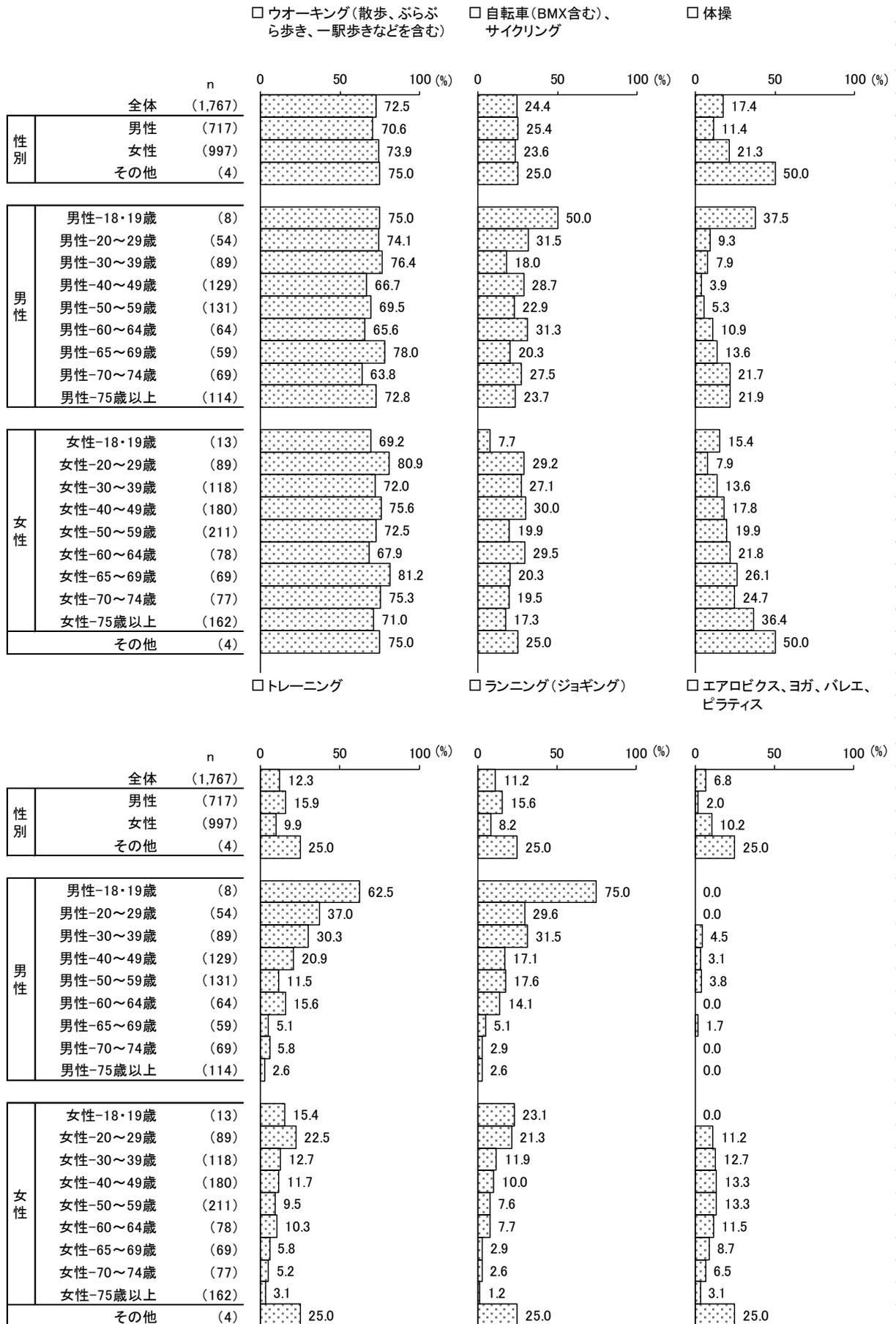
「ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む)」が 72.5%と最も高く、「自転車(BMX 含む)、サイクリング」が 24.4%、「体操」が 17.4%、「トレーニング」が 12.3%、「ランニング(ジョギング)」(11.2%)と続いている。一方で、「運動やスポーツは行っていない」は 11.5%と1割を超えている。(図表7-1)

【性・年齢別】

「体操」は女性が 21.3%と、男性(11.4%)を 9.9 ポイント上回っている。

「トレーニング」と「ランニング(ジョギング)」は男性・女性ともにおおむね年齢が上がると割合が減少する傾向がある。(図表7-2)

<図表7-2>1年間に行った運動やスポーツ(上位6項目)／性・年齢別

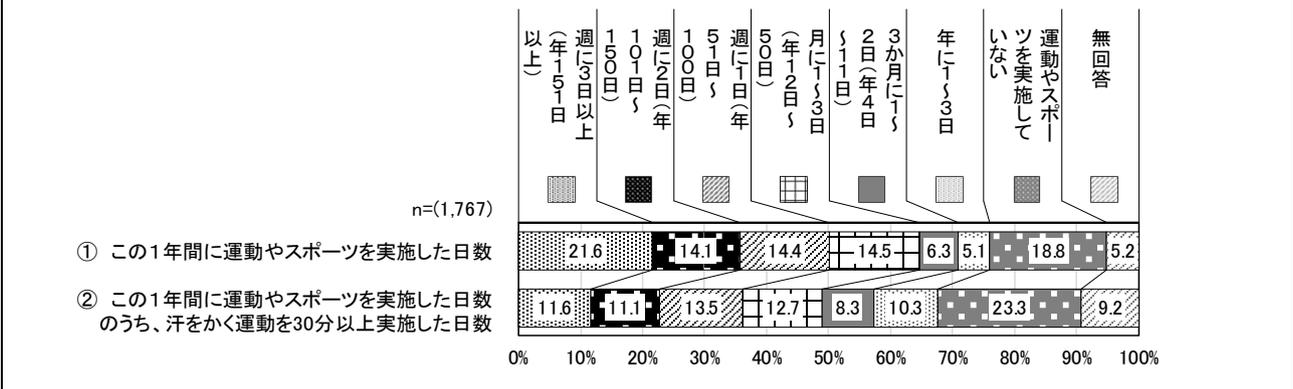


(2) 1年間に運動やスポーツを行った頻度

◇【① この1年間に運動やスポーツを実施した日数】は「週に3日以上（年151日以上）」が21.6%を占める。【② この1年間に運動やスポーツを実施した日数のうち、汗をかく運動を30分以上実施した日数】は「運動やスポーツを実施していない」が23.3%を占める。

問13 この1年間に運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。(それぞれ○は1つずつ)

<図表7-3>1年間に運動やスポーツを行った頻度



1年間に運動やスポーツを行った頻度は「週に3日以上(年151日以上)」が21.6%と最も高く、「運動やスポーツを実施していない」が18.8%、「月に1~3日(年12日~50日)」が14.5%、「週に1日(年51日~100日)」が14.4%、「週に2日(年101日~150日)」が14.1%と続いている。

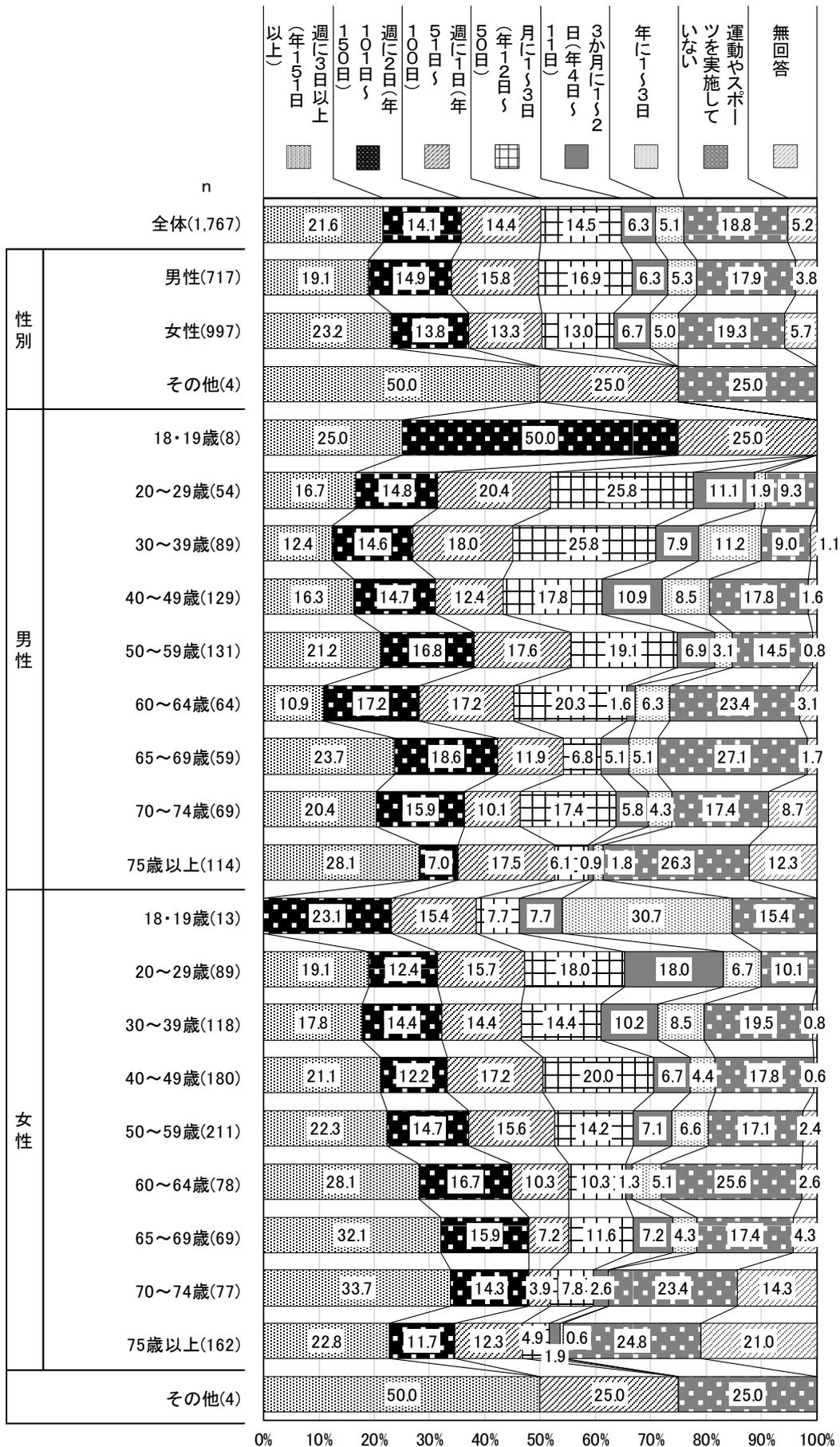
1年間に運動やスポーツを行った頻度(汗をかく運動を30分以上実施)は「運動やスポーツを実施していない」が23.3%と最も高く、「週に1日(年51日~100日)」が13.5%、「月に1~3日(年12日~50日)」が12.7%、「週に3日以上(年151日以上)」が11.6%、「週に2日(年101日~150日)」が11.1%と続いている。

(図表7-3)

【① この1年間に運動やスポーツを実施した日数/性・年齢別】

「週に3日以上(年151日以上)」は女性が23.2%と、男性(19.1%)を4.1ポイント上回っている。また、女性-30~39歳から女性-70~74歳にかけて年齢が上がるにつれて割合が増加している。(図表7-4)

<図表7-4>① この1年間に運動やスポーツを実施した日数/性・年齢別

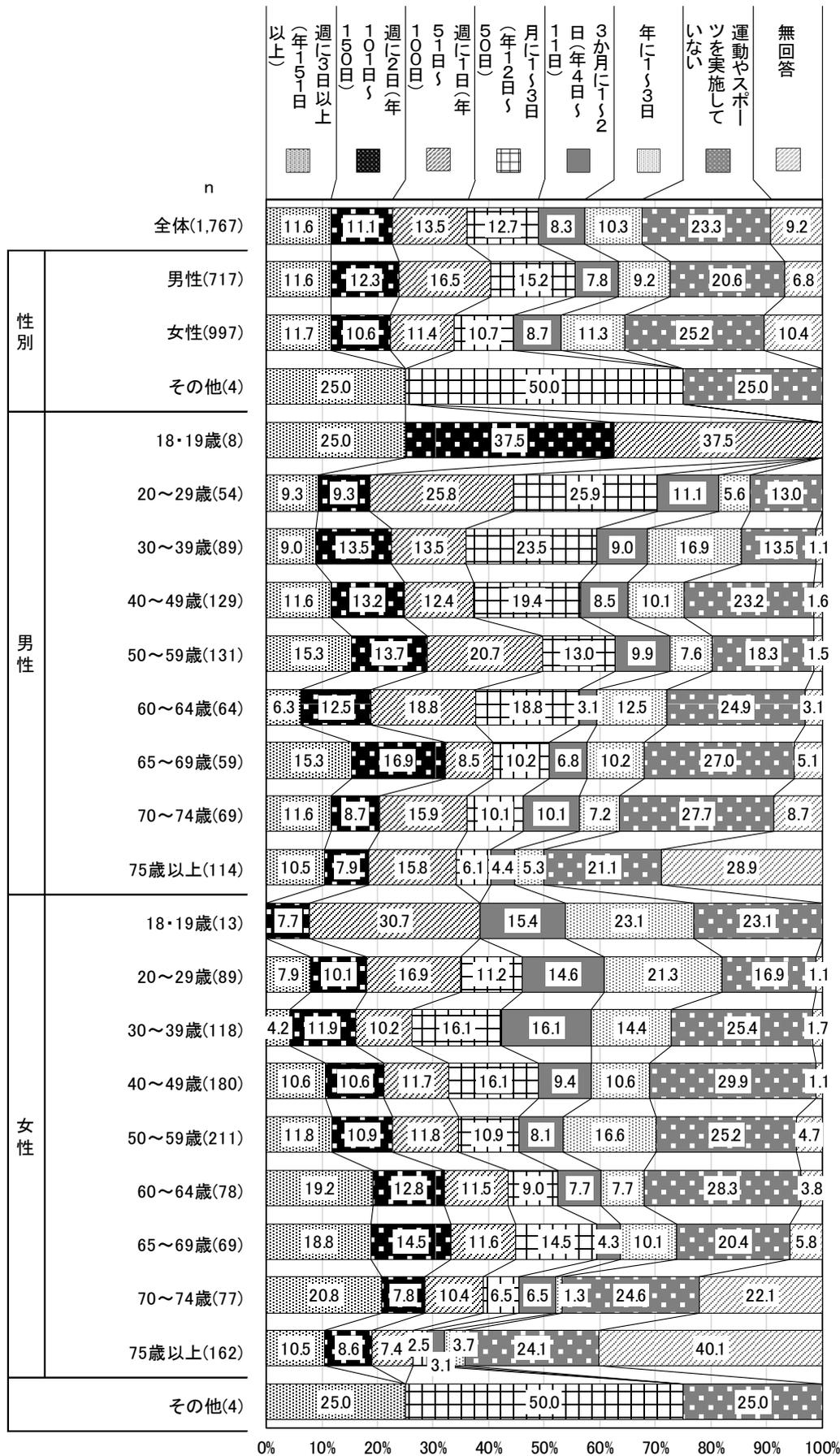


【② この1年間に運動やスポーツを実施した日数のうち、汗をかく運動を30分以上実施した日数／性・年齢別】

「運動やスポーツを実施していない」は女性が25.2%と、男性(20.6%)を4.6ポイント上回っている。

「週に3日以上(年151日以上)」は男性-50～59歳と男性-65～69歳(15.3%)、女性-60～64歳(19.2%)と女性-65～69歳(18.8%)と女性-70～74歳(20.8%)がそれぞれ高くなっている。(図表7-5)

<図表7-5>② この1年間に運動やスポーツを実施した日数のうち、汗をかく運動を30分以上実施した日数／性・年齢別

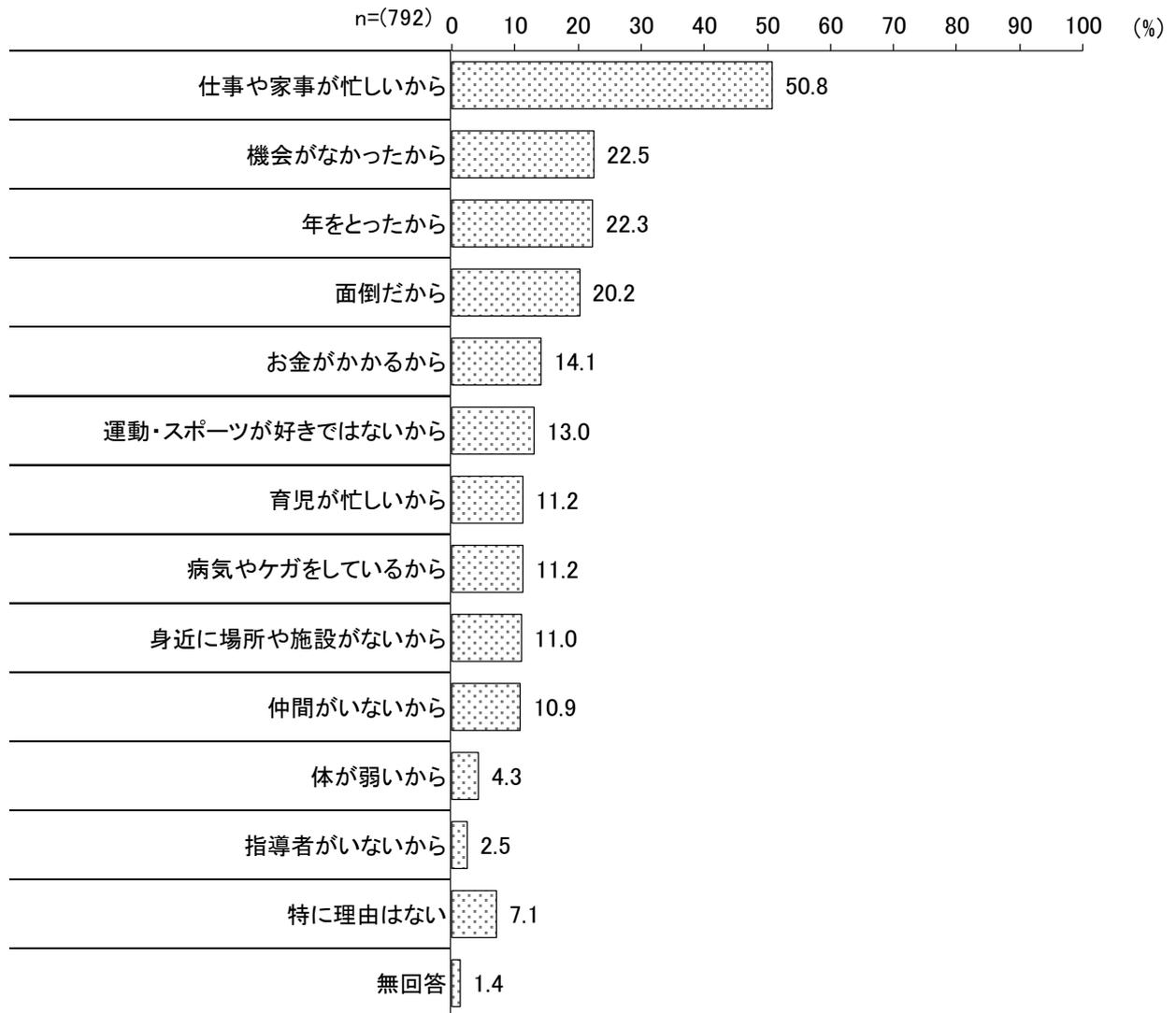


(3) 1年間に運動やスポーツを行わなかった理由

◇「仕事や家事が忙しいから」が50.8%と高い。

問14 問13-①で「4月に1～3日(年12日～50日)」～「7 運動やスポーツを実施していない(週に1日未満)」と答えた方にお尋ねします。この1年間に、運動やスポーツを実施した頻度が週に1日に満たなかったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

<図表7-6>1年間に運動やスポーツを行わなかった理由

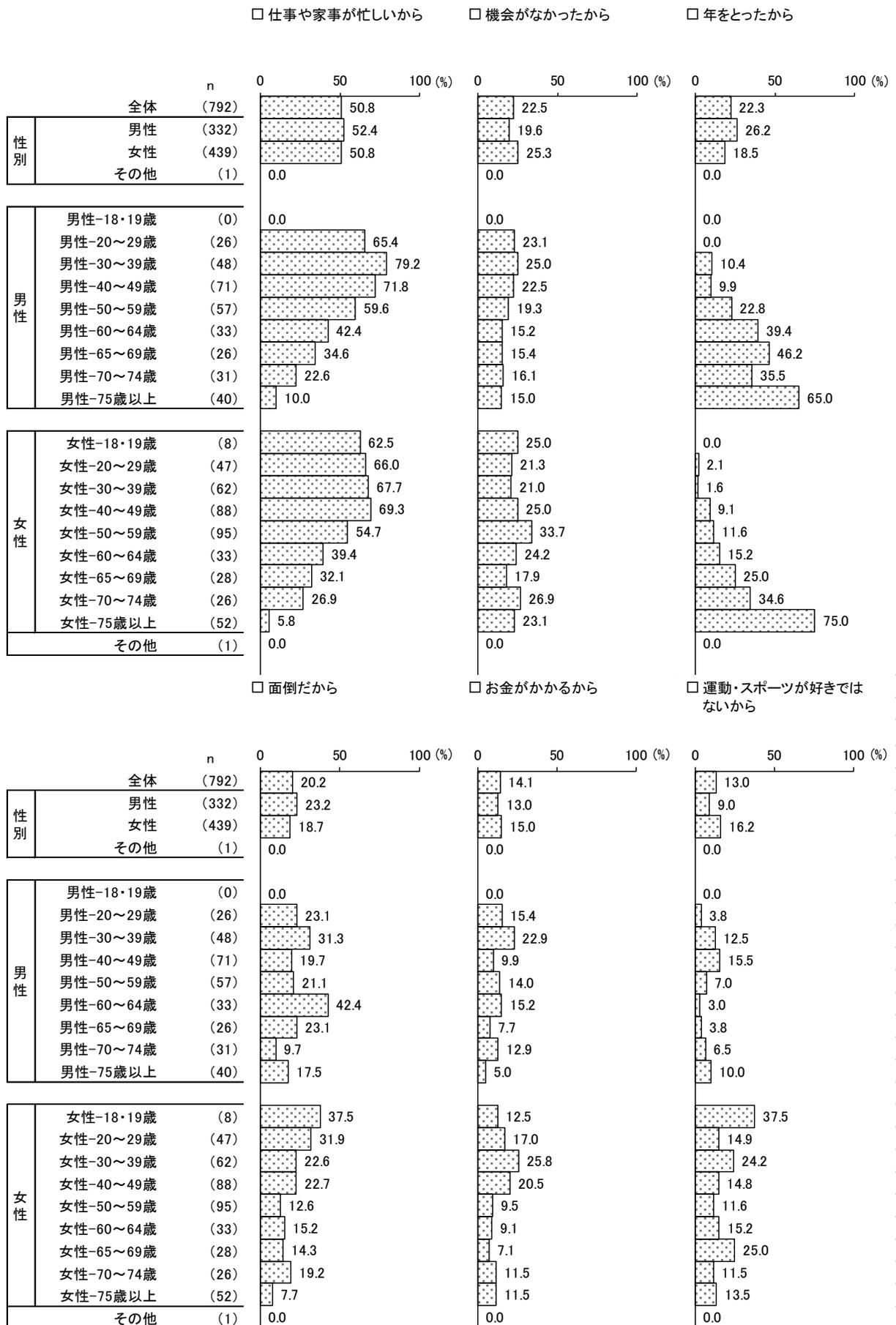


「仕事や家事が忙しいから」が50.8%と最も高く、「機会がなかったから」が22.5%、「年をとったから」が22.3%、「面倒だから」が20.2%と2割を超えて高くなっている。(図表7-6)

【性・年齢別】

「仕事や家事が忙しいから」は男性-30～39歳以上、女性-40～49歳以上で年齢が上がると割合が減少する傾向がある。一方、「年をとったから」はおおむね年齢が上がると割合が増加する傾向がある。(図表7-7)

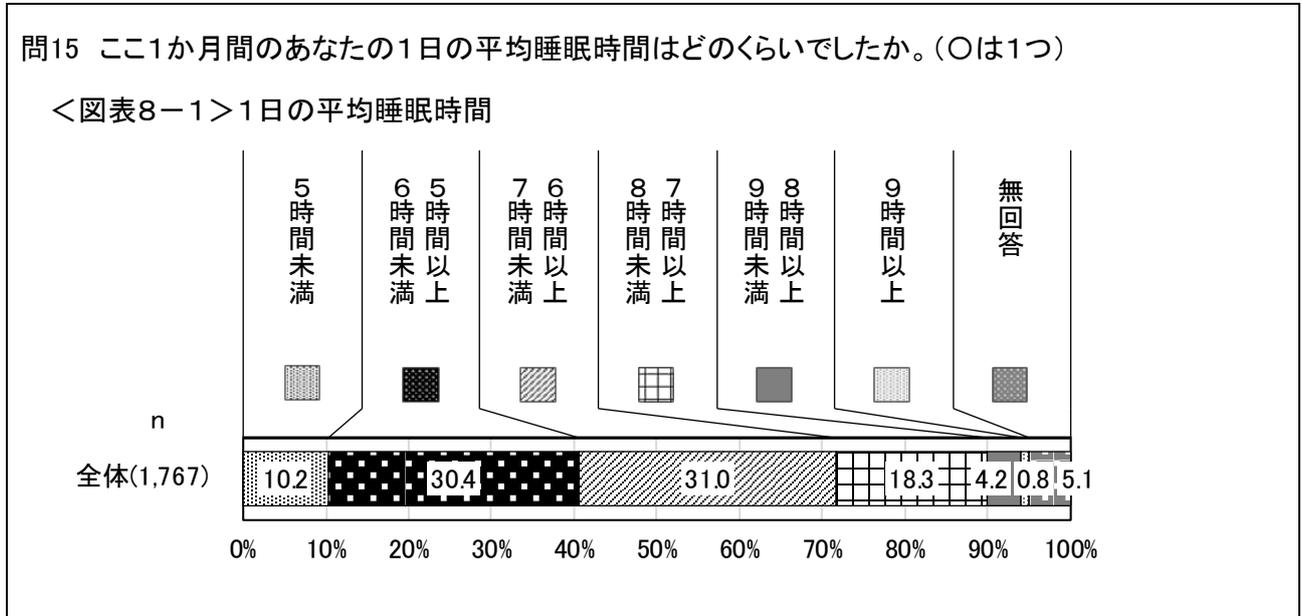
<図表7-7> 1年間に運動やスポーツを行わなかった理由(上位6項目)／性・年齢別



8. 睡眠について

(1) 1日の平均睡眠時間

◇「6時間以上7時間未満」が31.0%を占める。



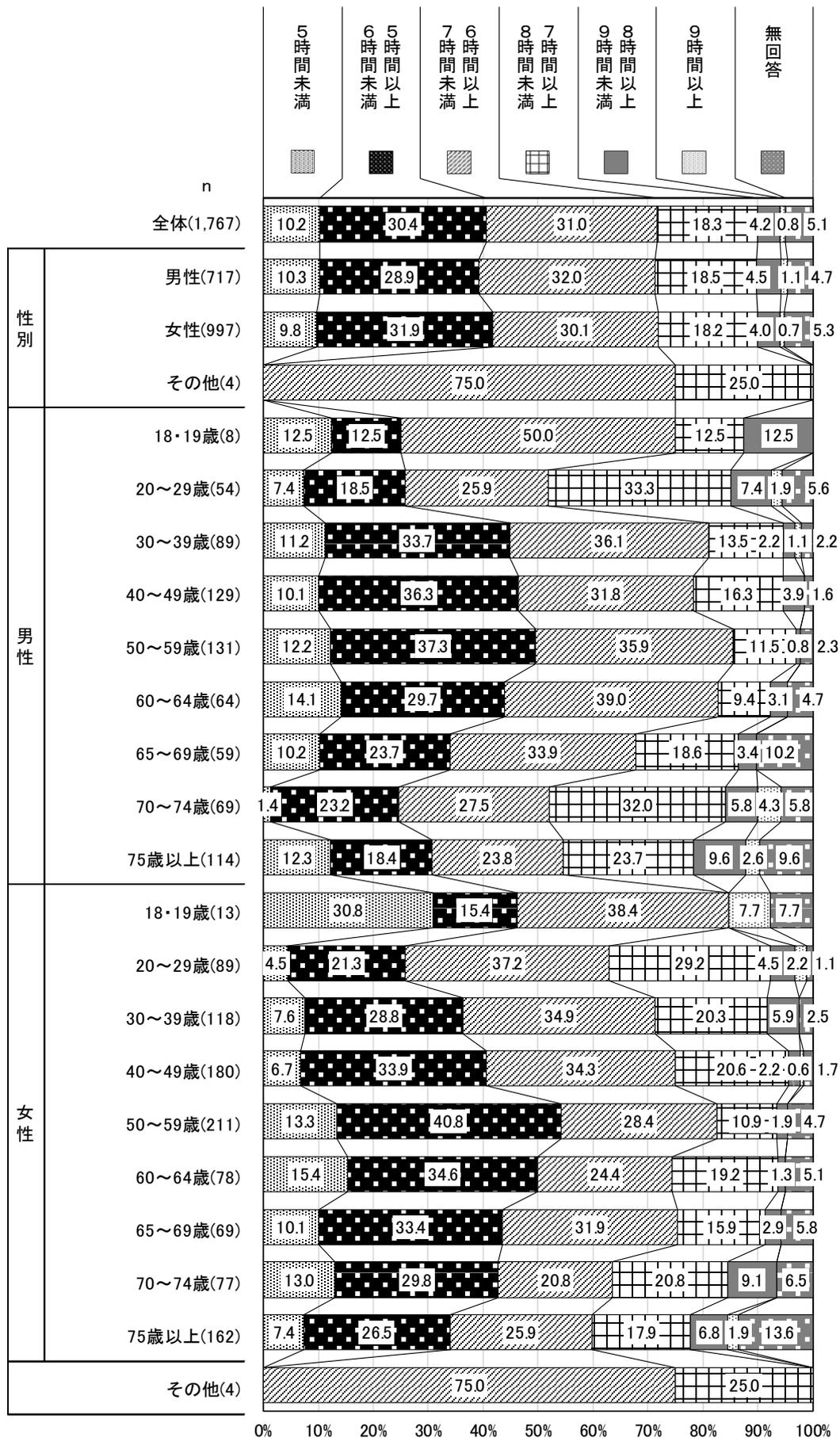
「6時間以上7時間未満」(31.0%)、「5時間以上6時間未満」(30.4%)の順に高くなっている。また、「5時間未満」(10.2%)は1割を超えている。(図表8-1)

【性・年齢別】

「5時間未満」と「5時間以上6時間未満」を合計した『6時間未満』は女性が41.7%と、男性(39.2%)を2.5ポイント上回っている。また、男性-30~39歳から男性-60~64歳、女性-40~49歳から女性70~74歳は4割を超えている。その中でも、女性-50~59歳(54.1%)と女性60歳~64歳(50.0%)は5割を超えている。

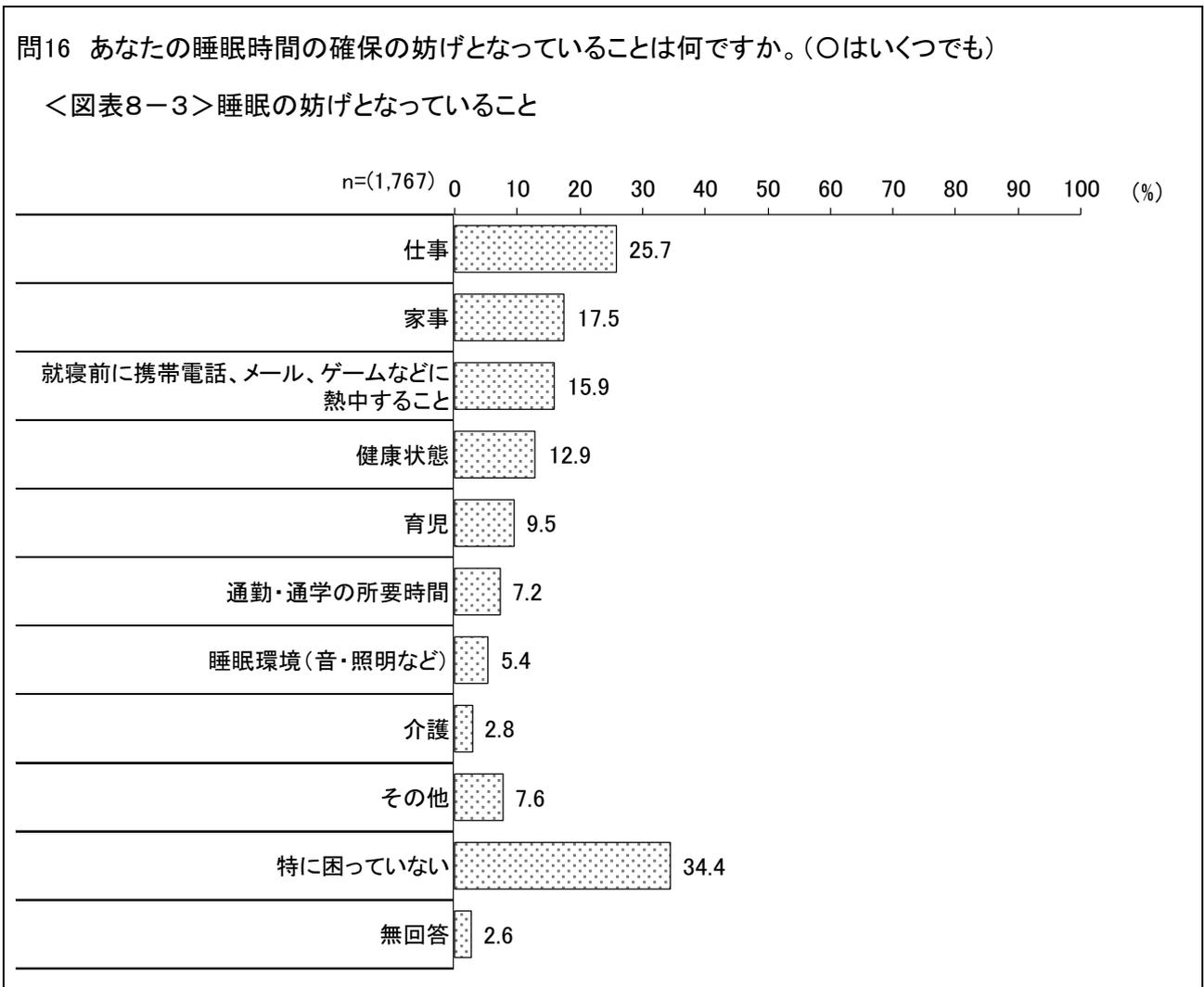
(図表8-2)

<図表8-2> 1日の平均睡眠時間／性・年齢別



(2) 睡眠の妨げとなっていること

◇「仕事」が25.7%と高い。



「仕事」が 25.7%、次いで「家事」が 17.5%、「就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること」が 15.9%、「健康状態」が 12.9%と続いている。一方、「特に困っていない」が 34.4%と最も高くなっている。

(図表8-3)

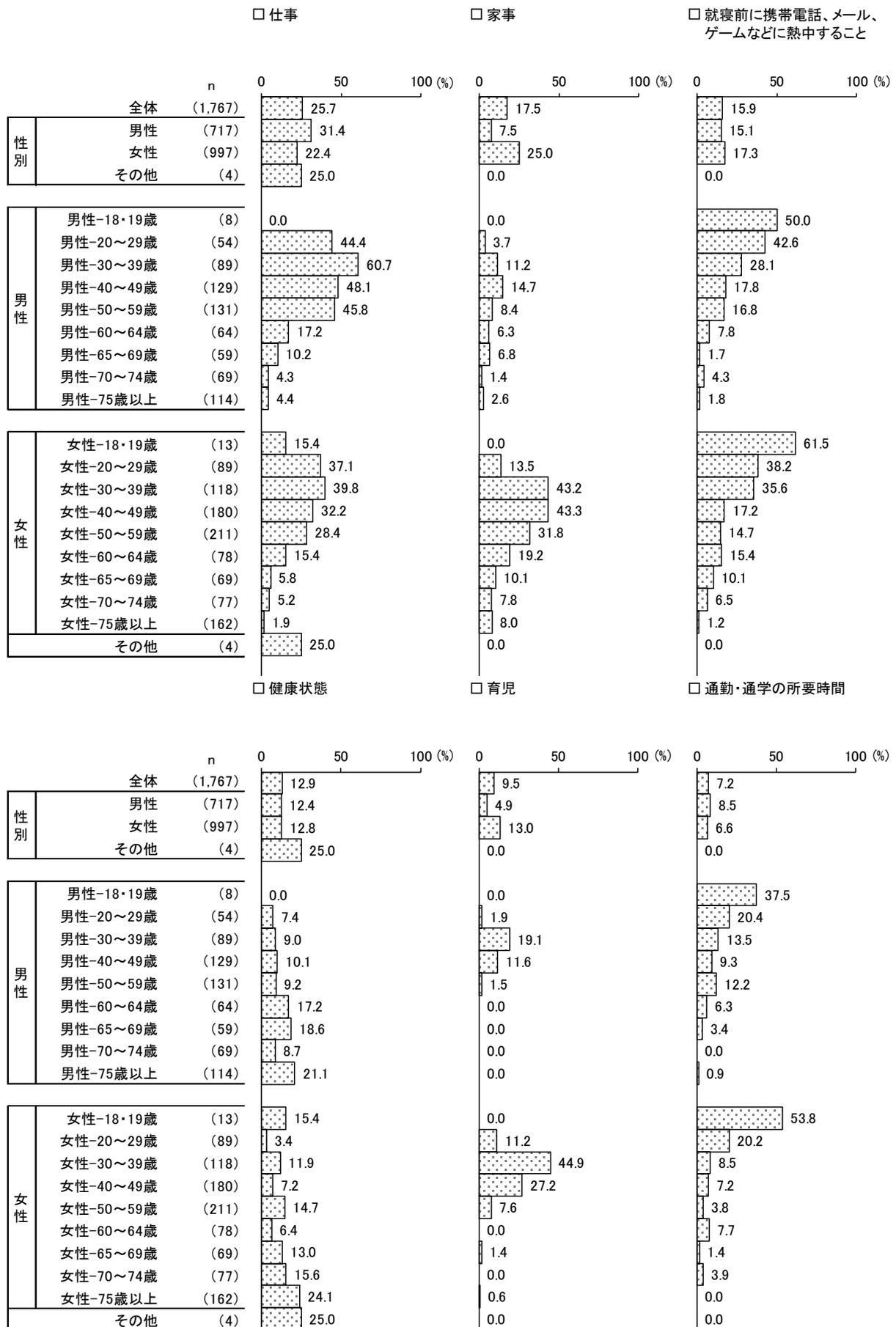
【性・年齢別】

「家事」は女性が 25.0%と、男性(7.5%)を 17.5 ポイント上回っている。

男性・女性ともに、「仕事」と「就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること」と「通勤・通学の所要時間」は年齢が上がると減少する傾向があり、「家事」は女性で特に年齢が上がると減少する傾向がある。

(図表8-4)

<図表8-4>睡眠の妨げとなっていること(上位6項目)／性・年齢別

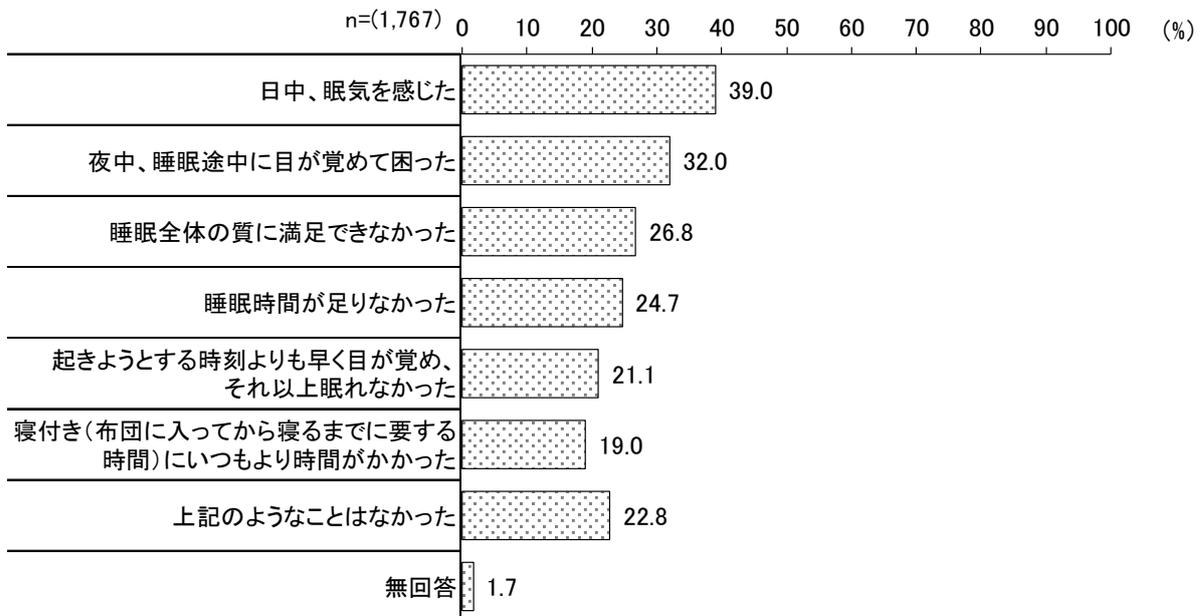


(3) 1か月の睡眠の質

◇「日中、眠気を感じた」が39.0%と高い。

問17 睡眠の質についてお尋ねします。あなたはこの1か月に次のようなことが週3回以上ありましたか。(〇はいくつでも)

<図表8-5> 1か月の睡眠の質



「日中、眠気を感じた」が 39.0%と最も高く、次いで「夜中、睡眠途中に目が覚めて困った」が 32.0%、「睡眠全体の質に満足できなかった」が 26.8%、「睡眠時間が足りなかった」が 24.7%、「起きようとする時刻よりも早く目が覚め、それ以上眠れなかった」が21.1%と続いている。一方、「上記のようなことはなかった」が22.8%となっている。(図表8-5)

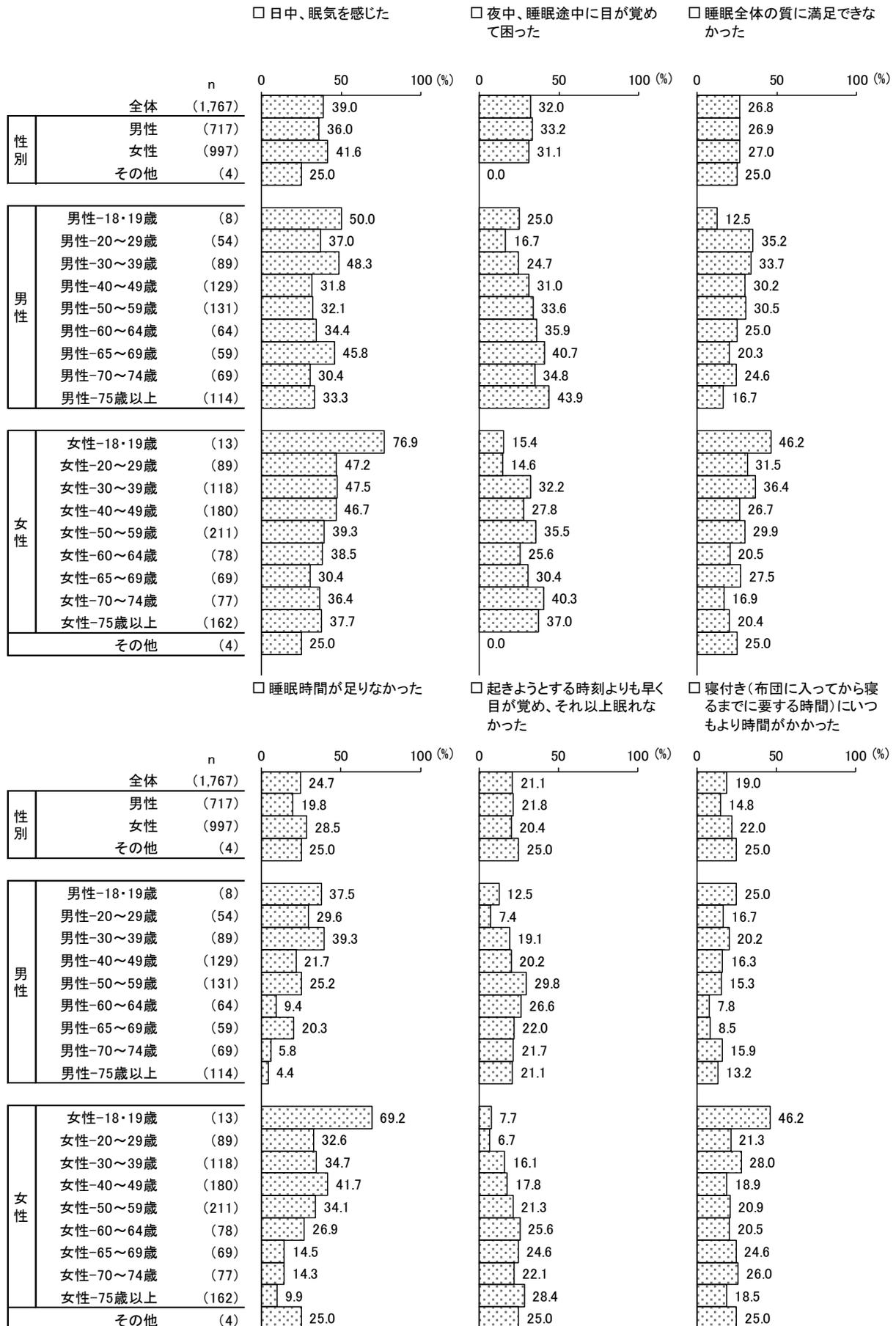
【性・年齢別】

「睡眠時間が足りなかった」は女性が 28.5%と、男性(19.8%)を 8.7 ポイント上回っている。

「夜中、睡眠途中に目が覚めて困った」は男性・女性ともに 20~29 歳が1割台と最も低くなっている。

(図表8-6)

<図表8-6>1か月間の睡眠の質(上位6項目)／性・年齢別



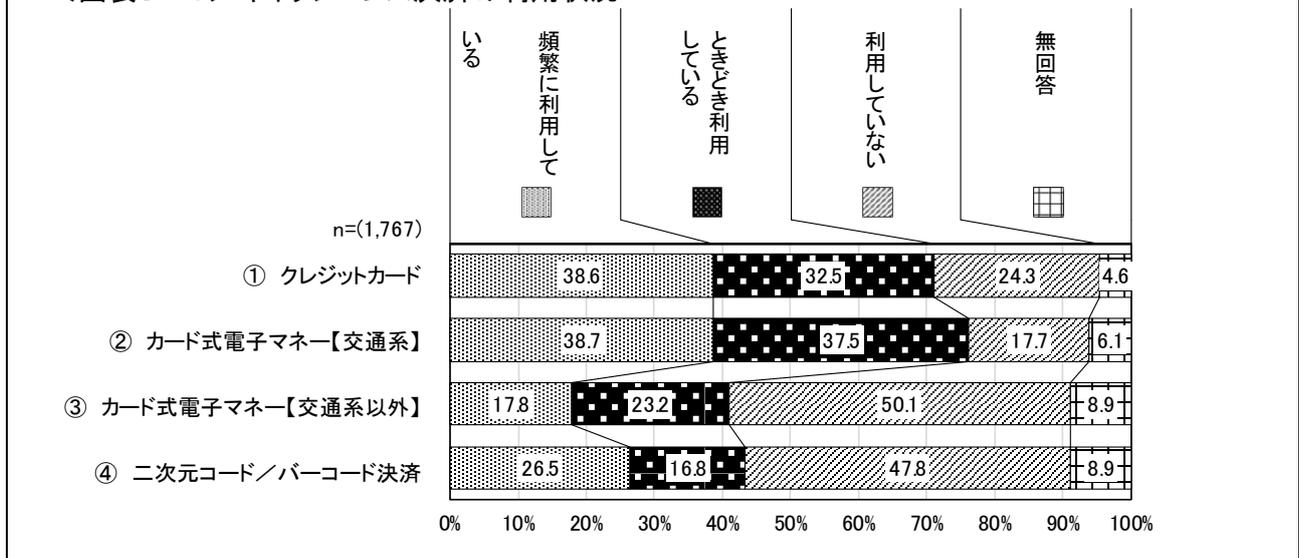
9. キャッシュレス化の推進について

(1) キャッシュレス決済の利用状況

◇【① クレジットカード】、【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)】の「頻繁に利用している」が3割台。

問18 日常品の買い物であなたは、キャッシュレス決済をどのくらいの頻度で利用していますか。キャッシュレス決済の種類ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表9-1>キャッシュレス決済の利用状況

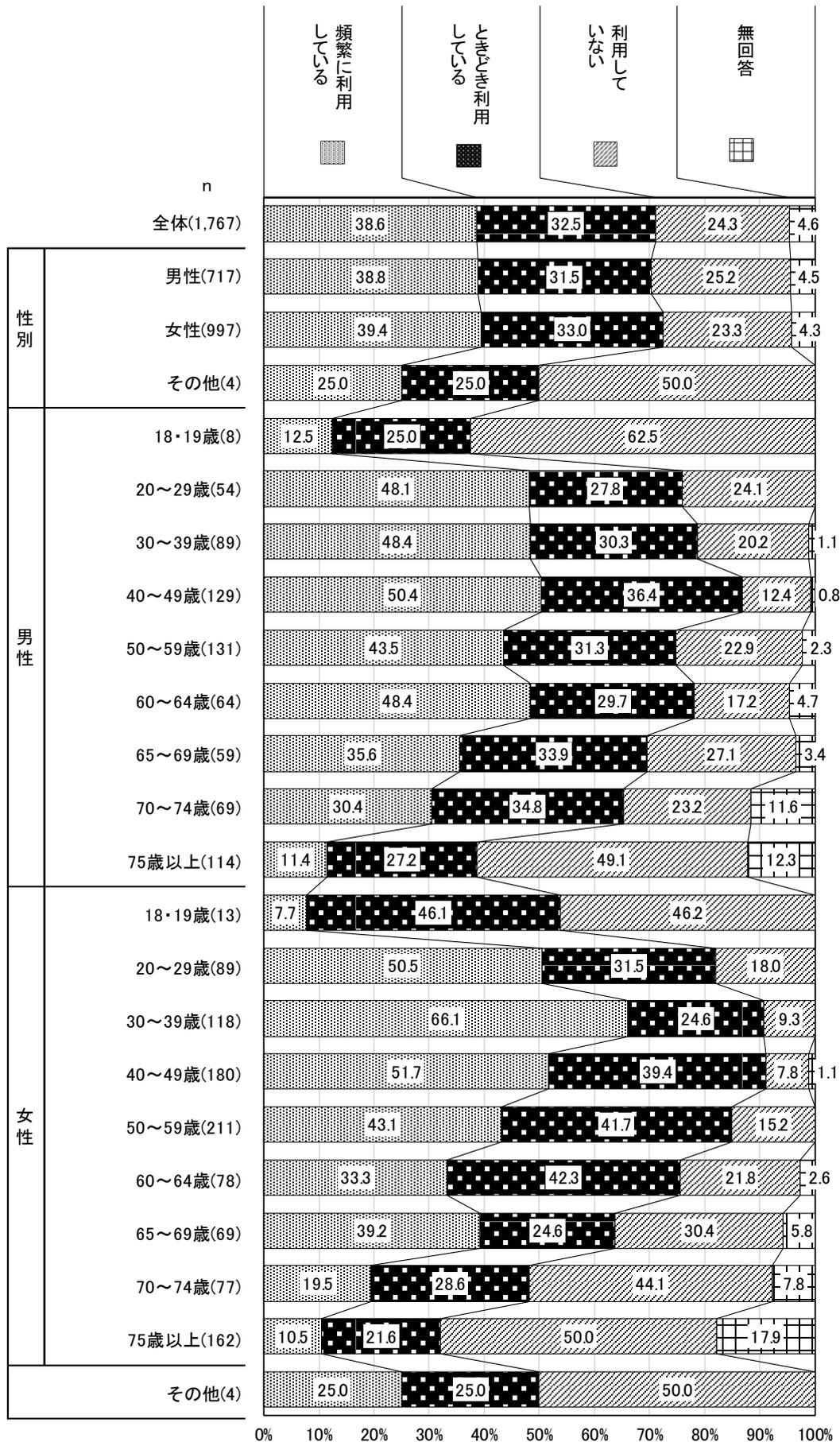


「頻繁に利用している」は【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)】(38.7%)、【① クレジットカード】(38.6%)の順に高くなっている。一方、「利用していない」は【③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など)】(50.1%)、【④ 二次元コード／バーコード決済 (PayPay、楽天ペイなど)】(47.8%)の順に高くなっている。(図表9-1)

【① クレジットカード／性・年齢別】

「頻繁に利用している」は女性-30～39歳(66.1%)のみが6割を超えて高くなっている。また、男性-40～49歳(50.4%)と女性-20～29歳(50.5%)と女性-40～49歳(51.7%)が5割を超えて続いている。(図表9-2)

<図表9-2>① クレジットカード／性・年齢別

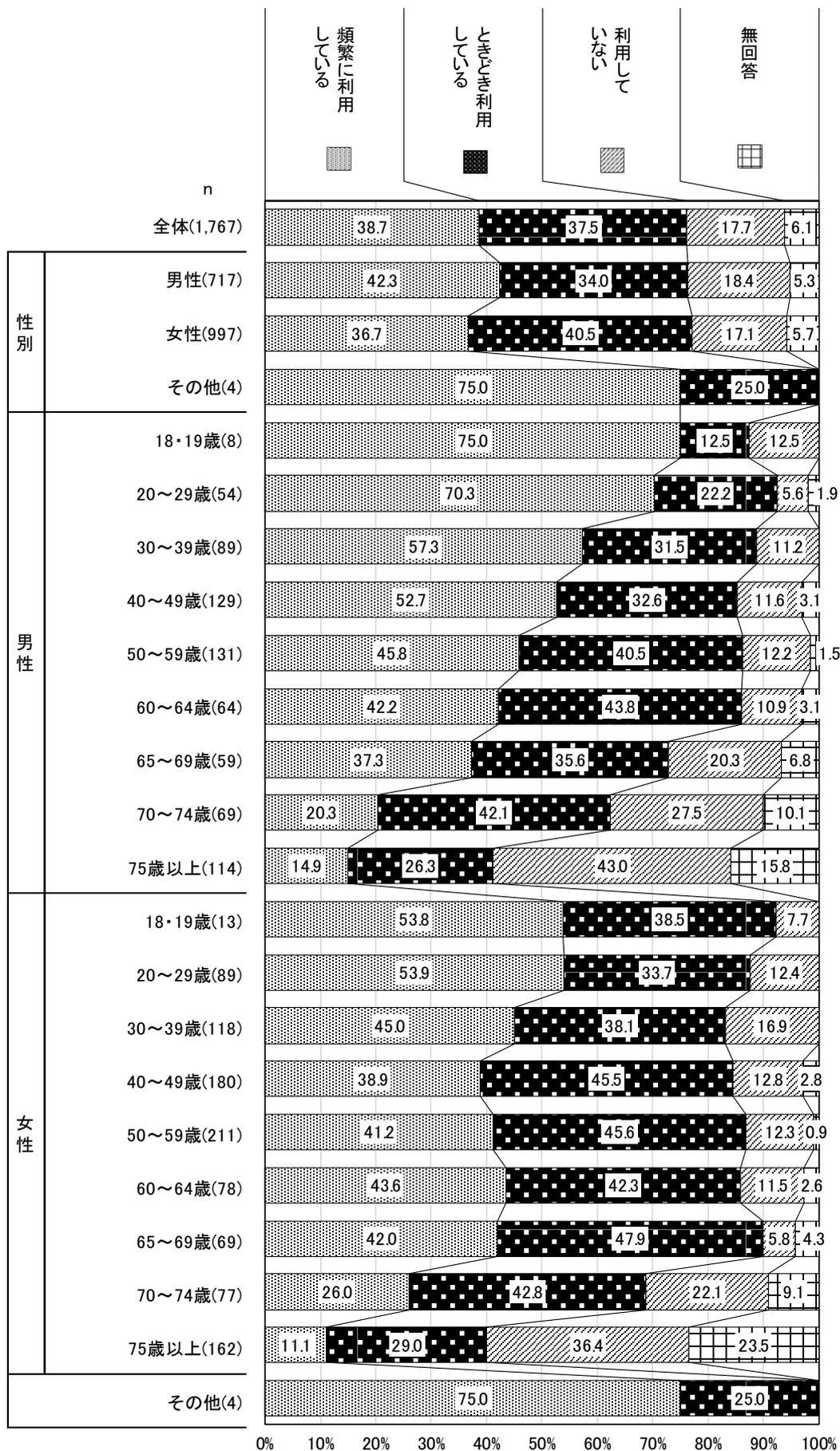


【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)／性・年齢別】

「頻繁に利用している」は男性が 42.3%と、女性(36.7%)を 5.6 ポイント上回っている。また、男性は年齢が上がると割合が減少する傾向にある。男性-20～29 歳以下は7割台、女性-20～29 歳以下は5割台と高くなっている。一方、男性・女性ともに 70～74 歳は2割台、75 歳以上は1割台とそれぞれ低くなっている。

(図表9-3)

<図表9-3>② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など) / 性・年齢別

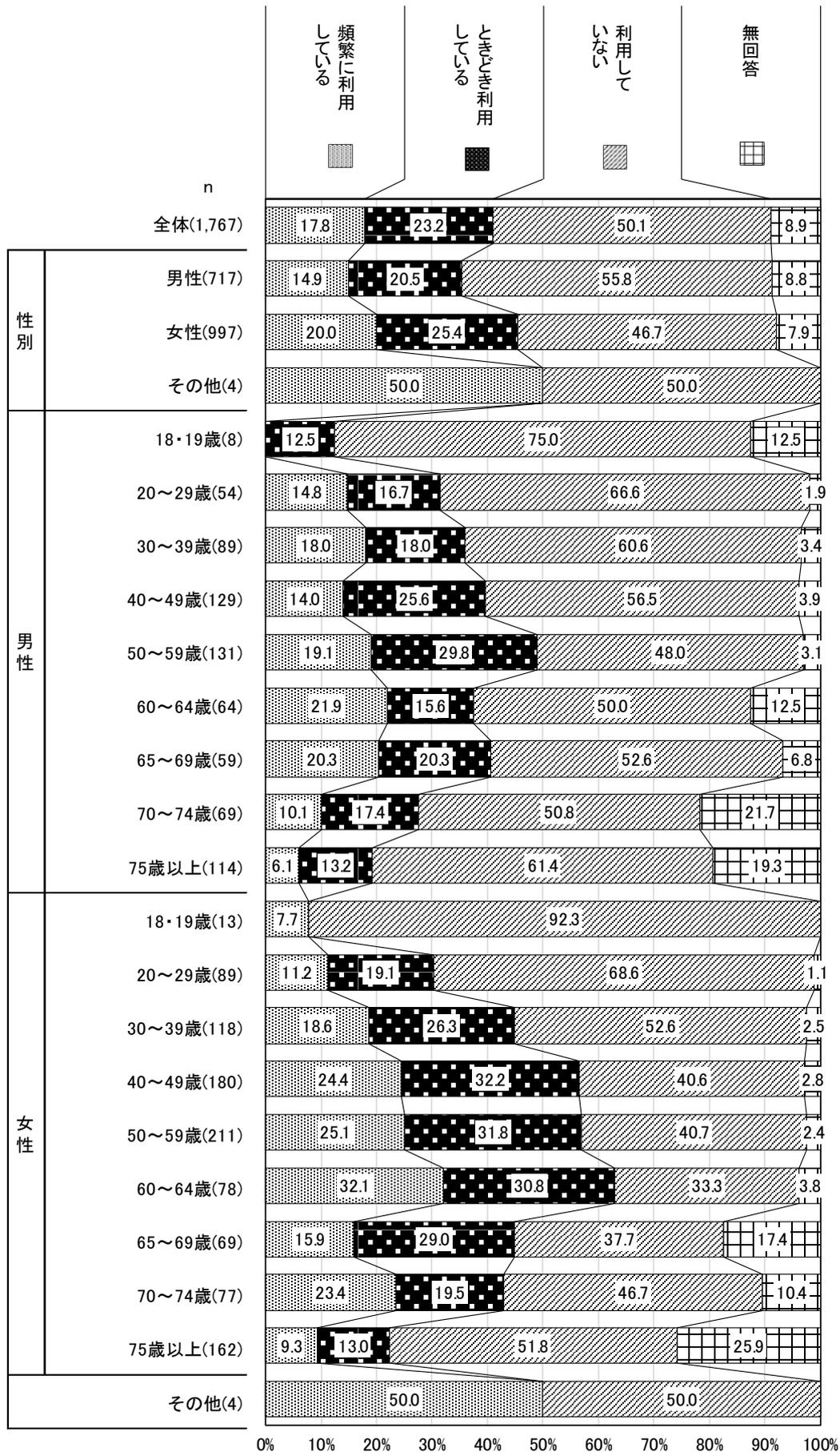


【③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など)／性・年齢別】

「利用していない」は男性が 55.8%と、女性(46.7%)を 9.1 ポイント上回っている。

「頻繁に利用している」は女性-60～64 歳(32.1%)のみが3割を超えて高くなっている。一方、男性・女性ともに 20～29 歳から 30～39 歳は1割台と低くなっている。(図表9-4)

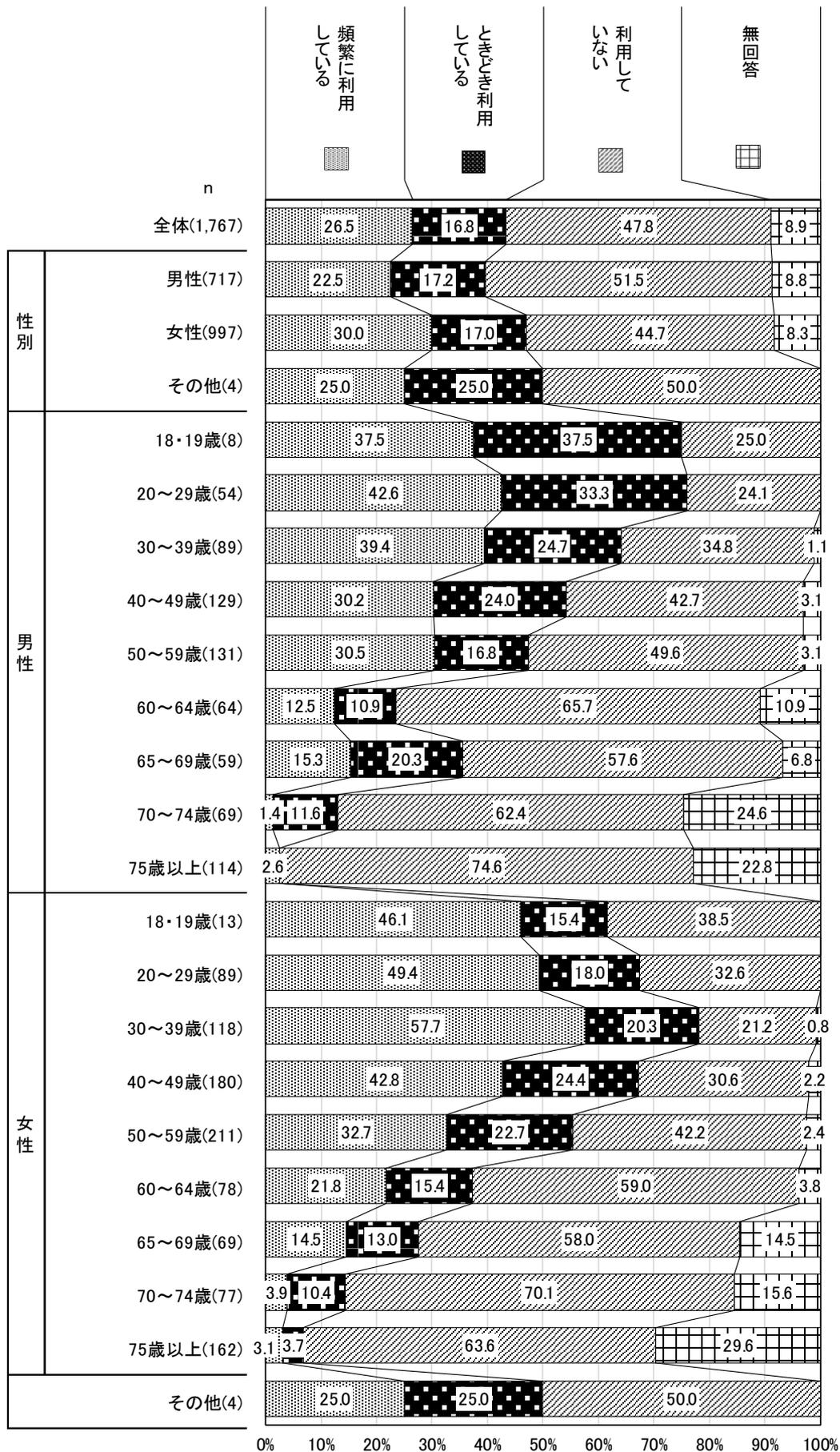
<図表9-4>③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など) / 性・年齢別



【④ 二次元コード／バーコード決済(PayPay、楽天ペイなど)／性・年齢別】

「頻繁に利用している」は女性が 30.0%と、男性(22.5%)を 7.5 ポイント上回っている。また、女性-30～39 歳(57.7%)のみが5割を超えて高くなっている。一方、男性・女性ともに 70～74 歳以上の割合は5%未満とわずかしか見られない。(図表9-5)

<図表9-5>④ 二次元コード／バーコード決済(PayPay、楽天ペイなど)／性・年齢別

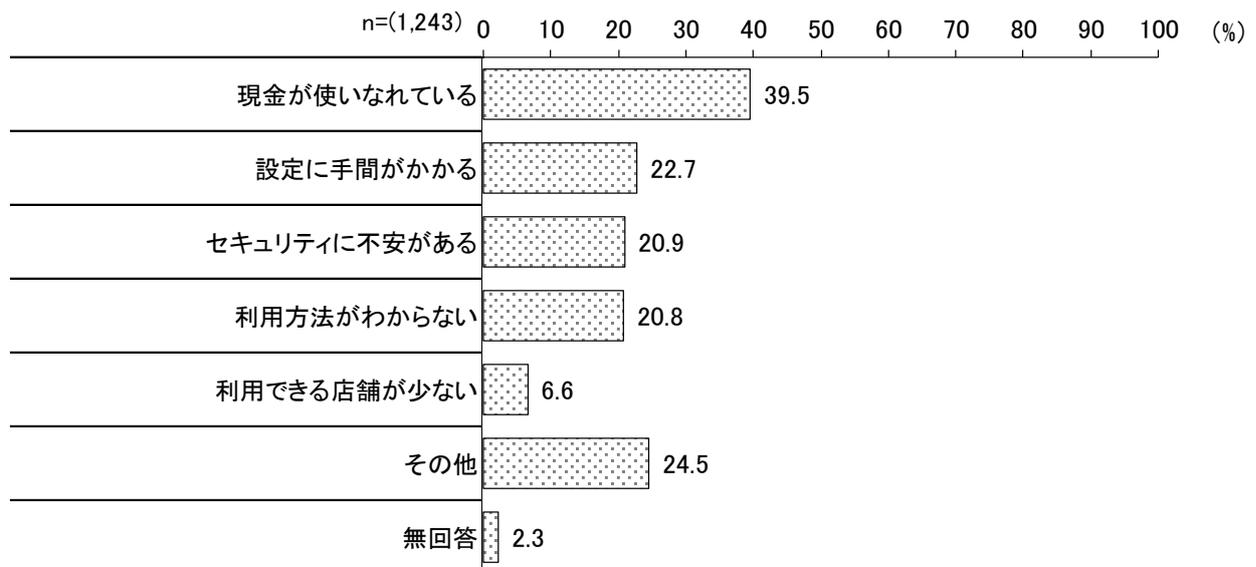


(2) キャッシュレス決済を利用していない理由

◇「現金が使いなれている」が39.5%と高い。

問19 問18のいずれかで「3 利用していない」と答えた方にお尋ねします。「3 利用していない」を選択した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表9-6>キャッシュレス決済を利用していない理由



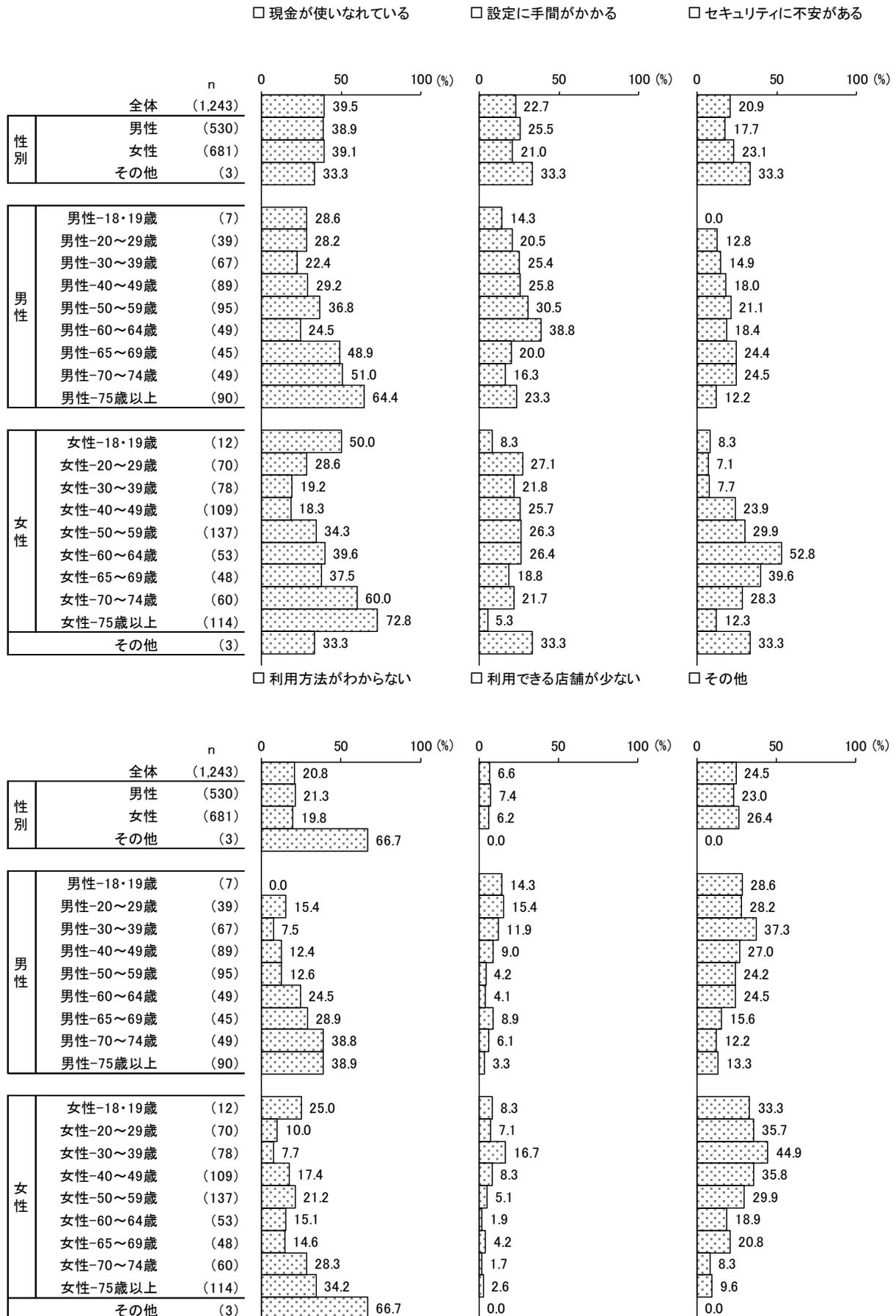
「現金が使いなれている」が39.5%と最も高く、次いで「設定に手間がかかる」が22.7%、「セキュリティに不安がある」が20.9%、「利用方法がわからない」が20.8%の順に高くなっている。一方、「利用できる店舗が少ない」は6.6%と1割未満となっている。(図表9-6)

【性・年齢別】

「現金が使いなれている」は男性・女性ともに3割を超えて高くなっている。その中でも、男性・女性ともに70～74歳以上で5割を超えて高くなっている。

「セキュリティに不安がある」は女性が23.1%と、男性(17.7%)を5.4ポイント上回っている。また、女性60～64歳(52.8%)のみが5割を超えて高くなっている。(図表9-7)

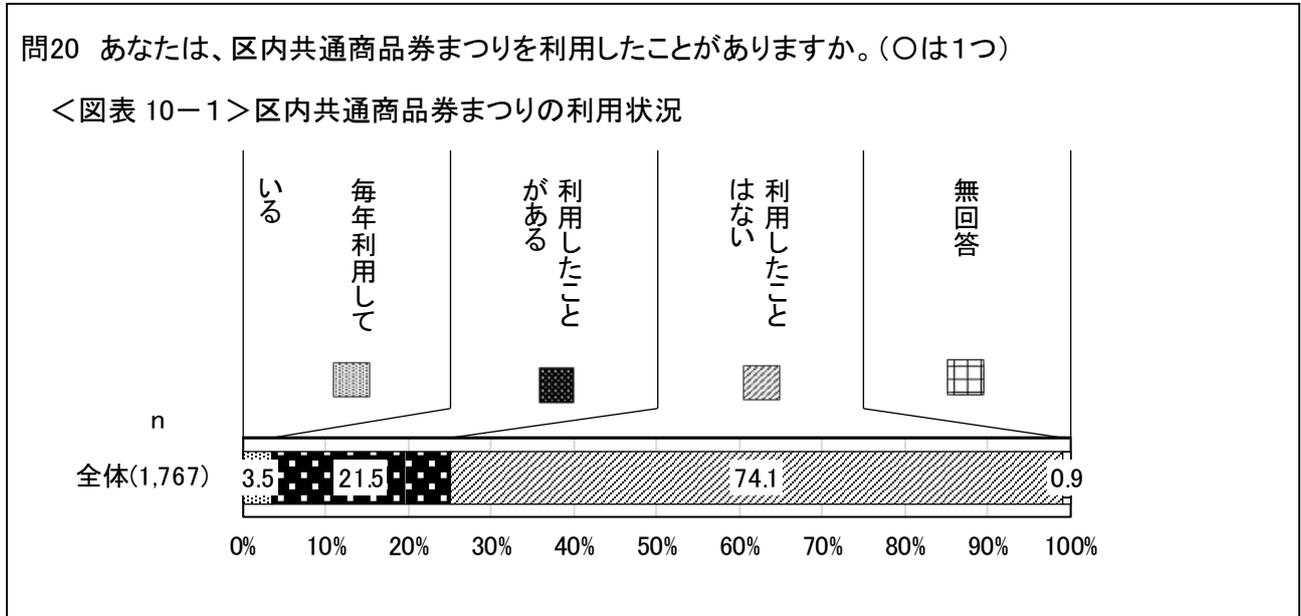
<図表9-7>キャッシュレス決済を利用していない理由(上位6項目)／性・年齢別



10. 区内共通商品券まつりについて

(1) 区内共通商品券まつりの利用状況

◇「利用したことはない」が74.1%を占める。



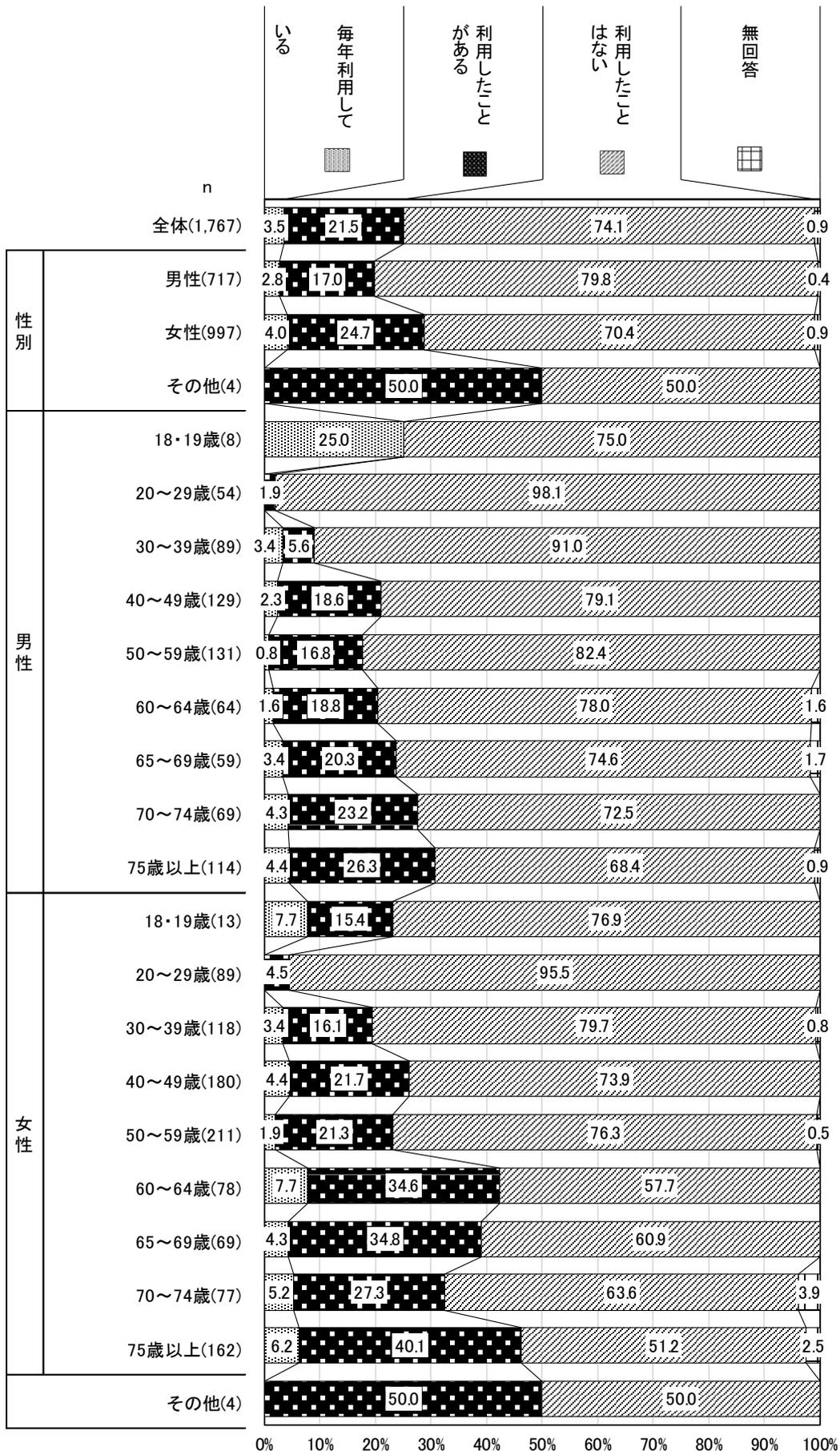
「利用したことはない」が74.1%と最も高く、次いで「利用したことがある」が21.5%、「毎年利用している」が3.5%となっている。(図表 10-1)

【性・年齢別】

「利用したことはない」は男性が79.8%と、女性(70.4%)を9.4ポイント上回っている。また、男性・女性ともに年齢が上がると割合が減少する傾向にある。

「毎年利用している」は女性-60～64歳(7.7%)と女性-70～74歳(5.2%)と女性-75歳以上(6.2%)が5%を超えて高くなっているものの、いずれも1割未満となっている。(図表 10-2)

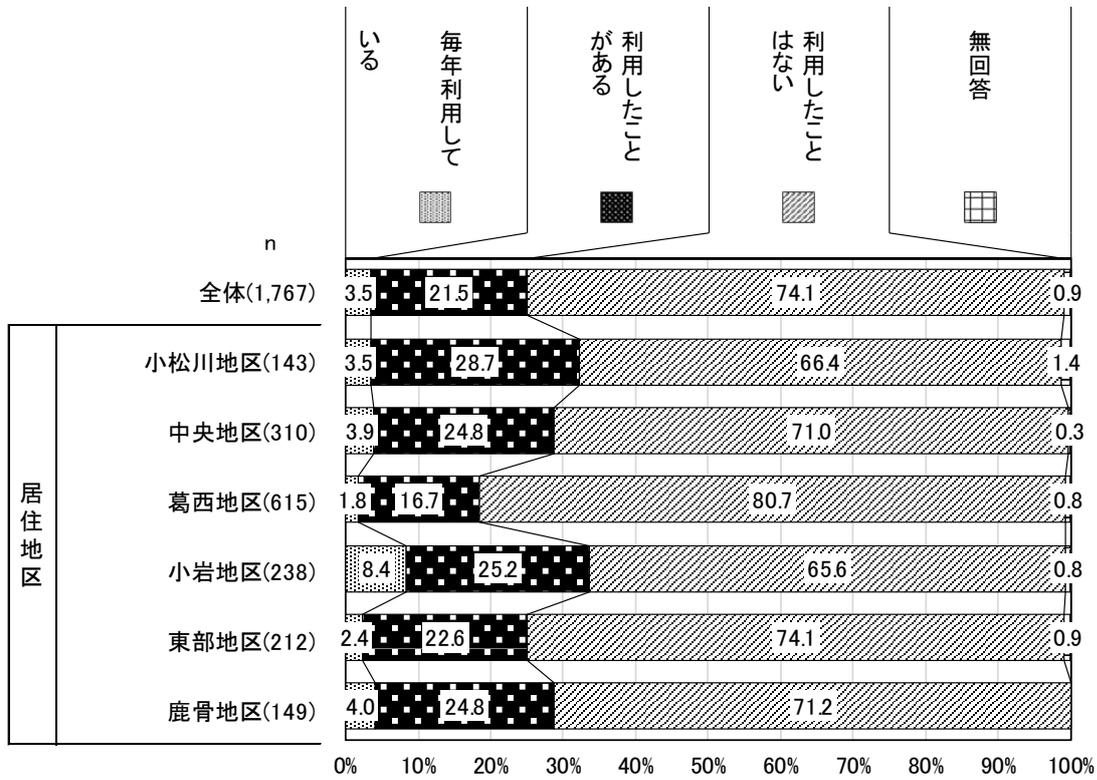
<図表 10-2> 区内共通商品券まつりの利用状況／性・年齢別



【居住地区別】

「毎年利用している」は小岩地区が 8.4%と最も高くなっている。一方、葛西地区は「毎年利用している」が 1.8%、「利用したことがある」が 16.7%とそれぞれ最も低くなっている。(図表 10-3)

＜図表 10-3＞区内共通商品券まつりの利用状況／居住地区別

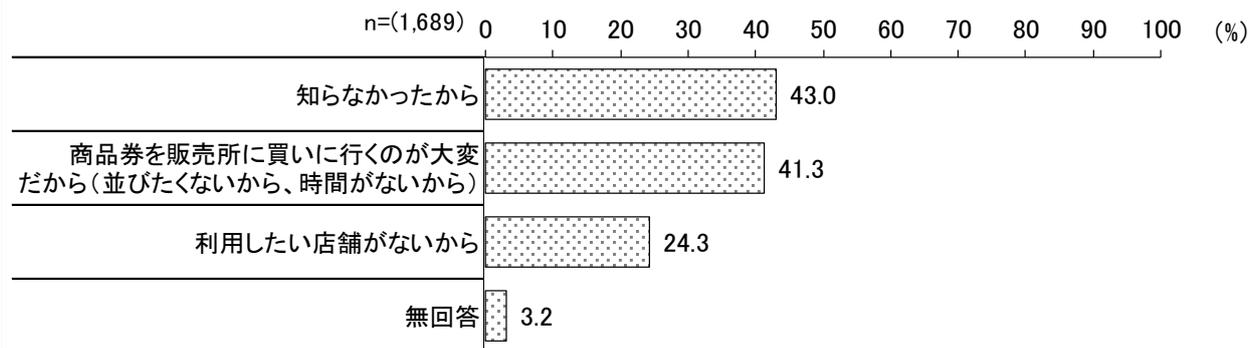


(2) 区内共通商品券まつりを利用しなかった理由

◇「知らなかったから」が43.0%と高い。

問21 問20で「2 利用したことがある」または「3 利用したことはない」と答えた方にお尋ねします。商品券まつりを利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 10-4> 区内共通商品券まつりを利用しなかった理由



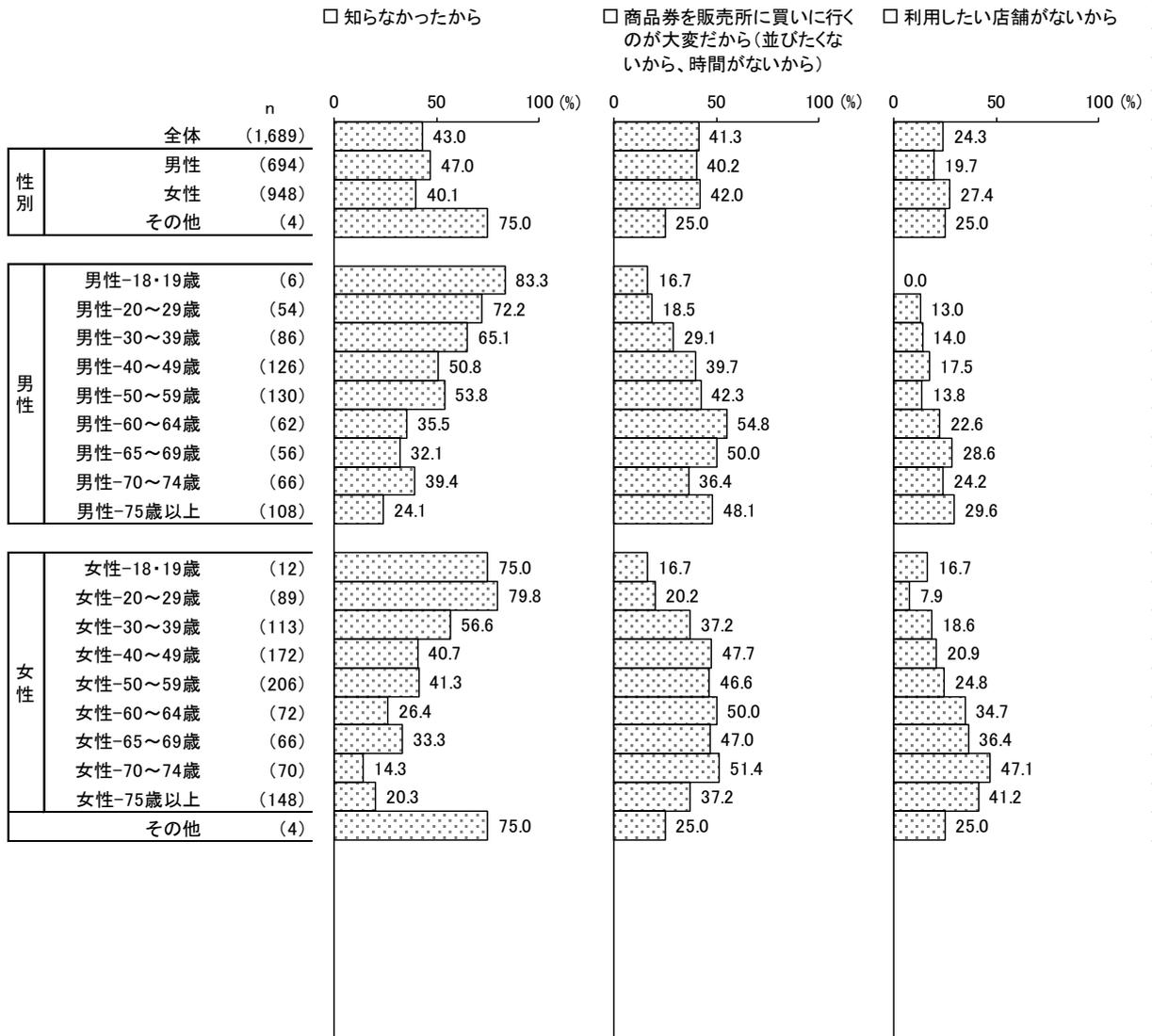
「知らなかったから」が 43.0%と最も高く、次いで「商品券を販売所に買いに行くのが大変だから(並びたくないから、時間がないから)」が 41.3%、「利用したい店舗がないから」が 24.3%となっている。(図表 10-4)

【性・年齢別】

「利用したい店舗がないから」は女性が 27.4%と、男性(19.7%)を 7.7 ポイント上回っている。

「知らなかったから」は男性・女性ともにおおむね年齢が上がると割合が減少する傾向がある。(図表 10-5)

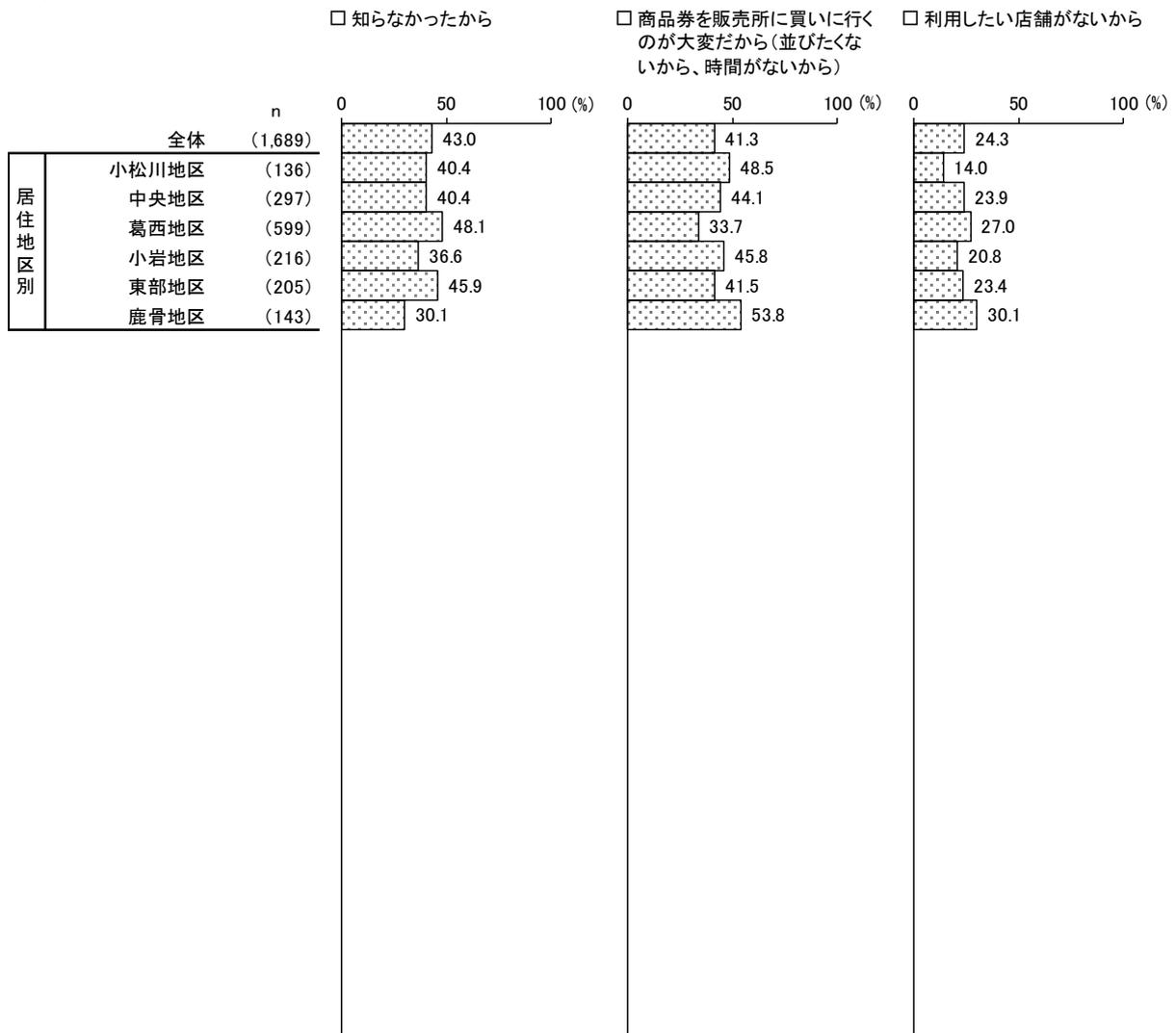
<図表 10-5> 区内共通商品券まつりを利用しなかった理由／性・年齢別



【居住地区別】

「利用したい店舗がないから」は小松川地区(14.0%)のみが1割台と低くなっている。一方、鹿骨地区(30.1%)のみが3割を超えて高くなっている。(図表 10-6)

<図表 10-6> 区内共通商品券まつりを利用しなかった理由／居住地区別



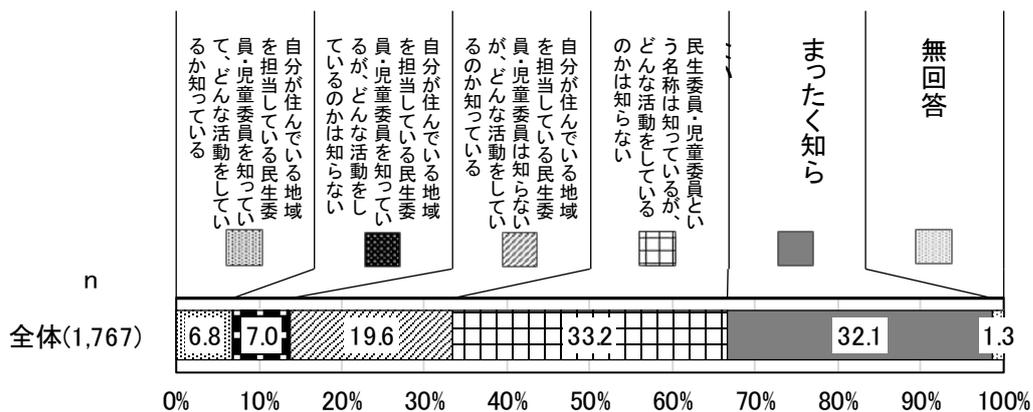
11. 民生委員・児童委員について

(1) 民生委員・児童委員の認知度

◇「民生委員・児童委員という名称は知っているが、どんな活動をしているのかは知らない」が33.2%を占める。

問22 あなたは、民生委員・児童委員について、どのくらいご存じですか。(○は1つ)

＜図表 11-1＞ 民生委員・児童委員の認知度



「民生委員・児童委員という名称は知っているが、どんな活動をしているのかは知らない」が33.2%と最も高く、次いで「まったく知らない」が32.1%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員は知らないが、どんな活動をしているのか知っている」が19.6%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っているが、どんな活動をしているのかは知らない」が7.0%、「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていて、どんな活動をしているか知っている」が6.8%となっている。

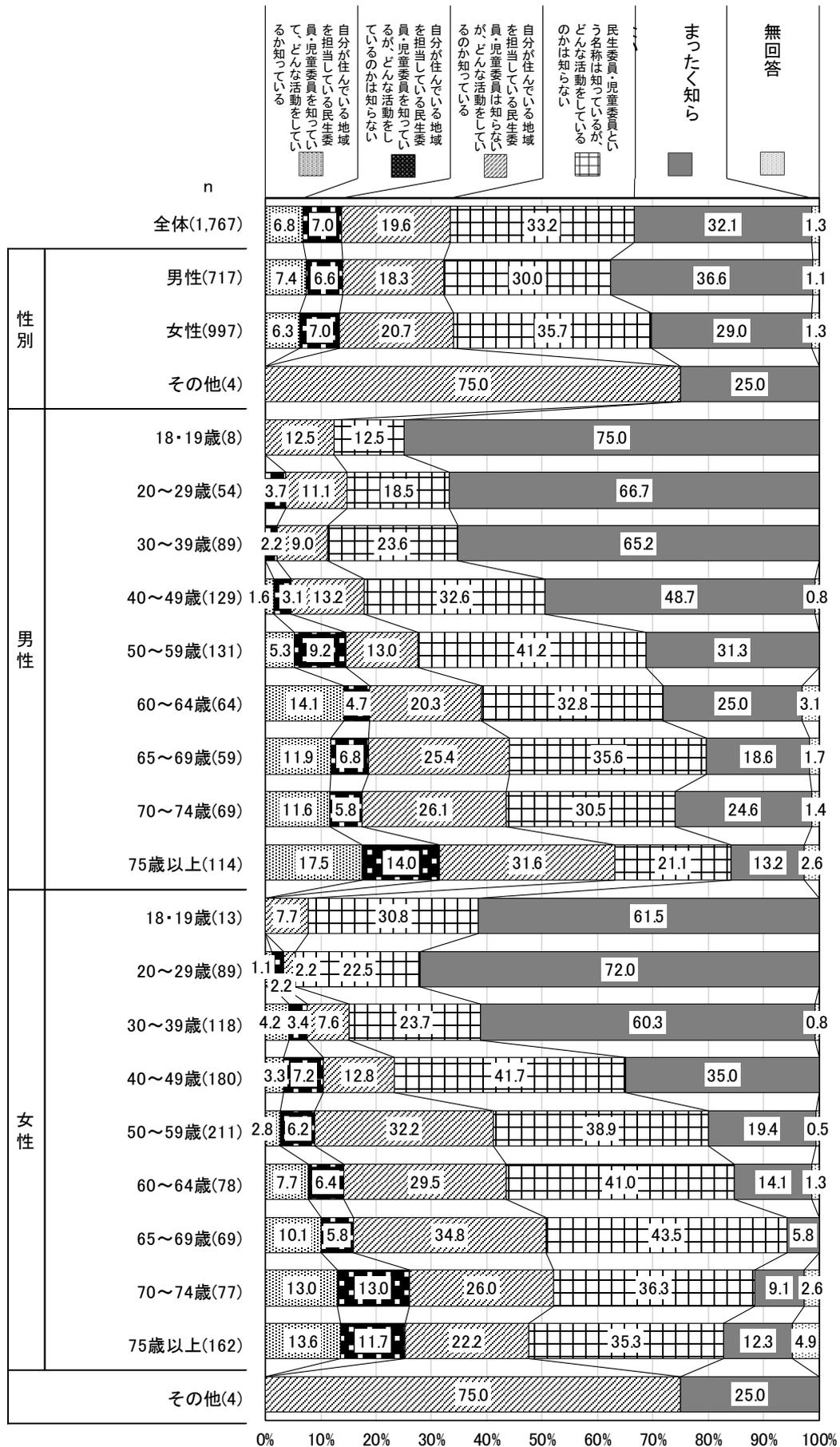
(図表 11-1)

【性・年齢別】

「まったく知らない」は男性が36.6%と、女性(29.0%)を7.6ポイント上回っている。

「自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていて、どんな活動をしているか知っている」は、男性-60～64歳以上と女性-65～69歳以上が1割を超えて高くなっている。一方、男性-20～29歳と男性-30～39歳は0.0%となっている。(図表 11-2)

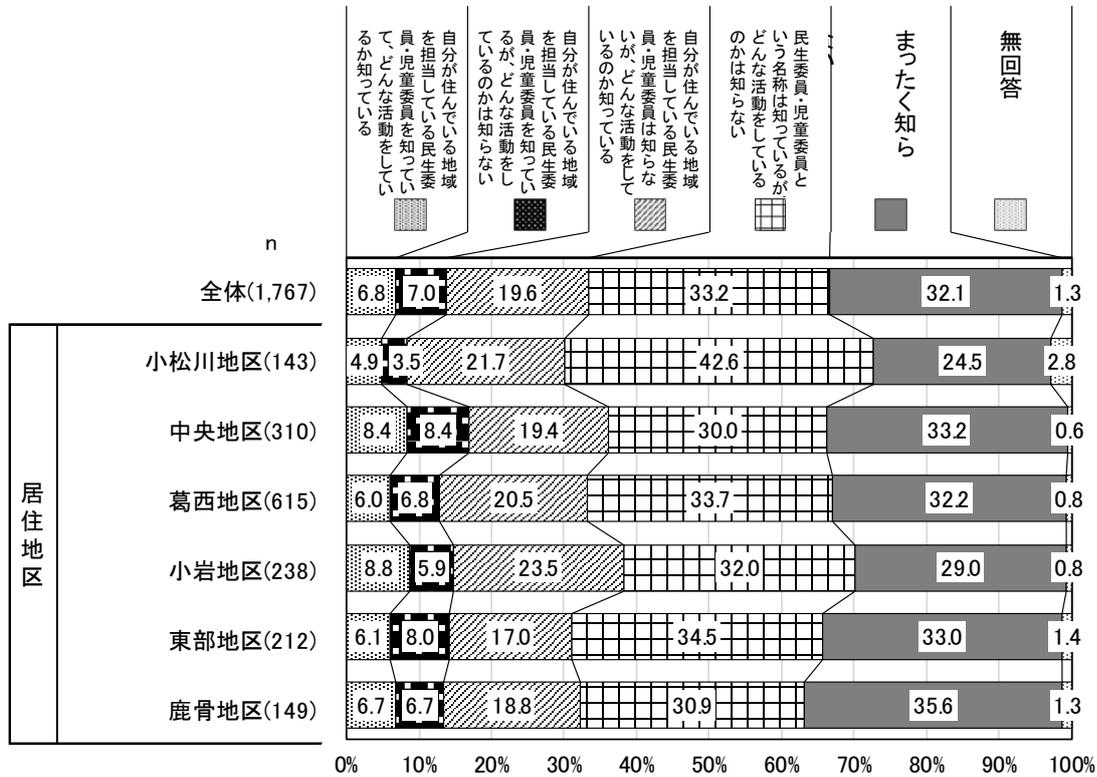
<図表 11-2> 民生委員・児童委員の認知度／性・年齢別



【居住地区別】

「まったく知らない」は小松川地区(24.5%)と小岩地区(29.0%)が2割台と低くなっている。一方、鹿骨地区が35.6%と最も高くなっている。(図表 11-3)

＜図表 11-3＞ 民生委員・児童委員の認知度／居住地区別

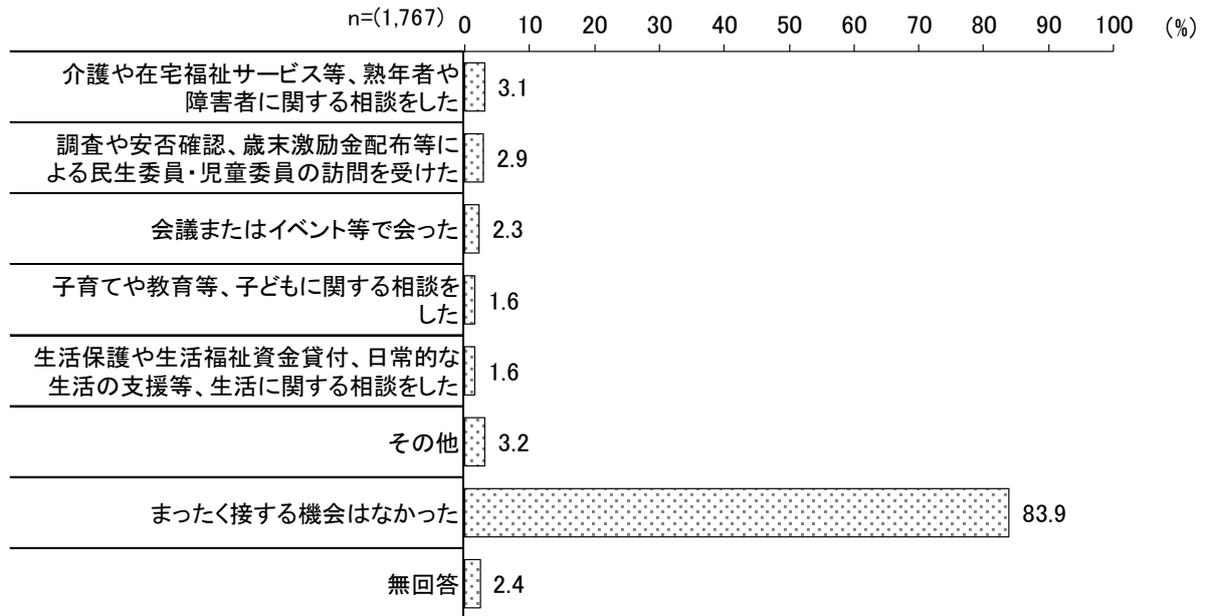


(2) 民生委員・児童委員と接する機会の有無

◇「まったく接する機会はなかった」が83.9%と高い。

問23 あなたは、民生委員・児童委員と接する機会がありましたか。(○はいくつでも)

<図表 11-4> 民生委員・児童委員と接する機会の有無

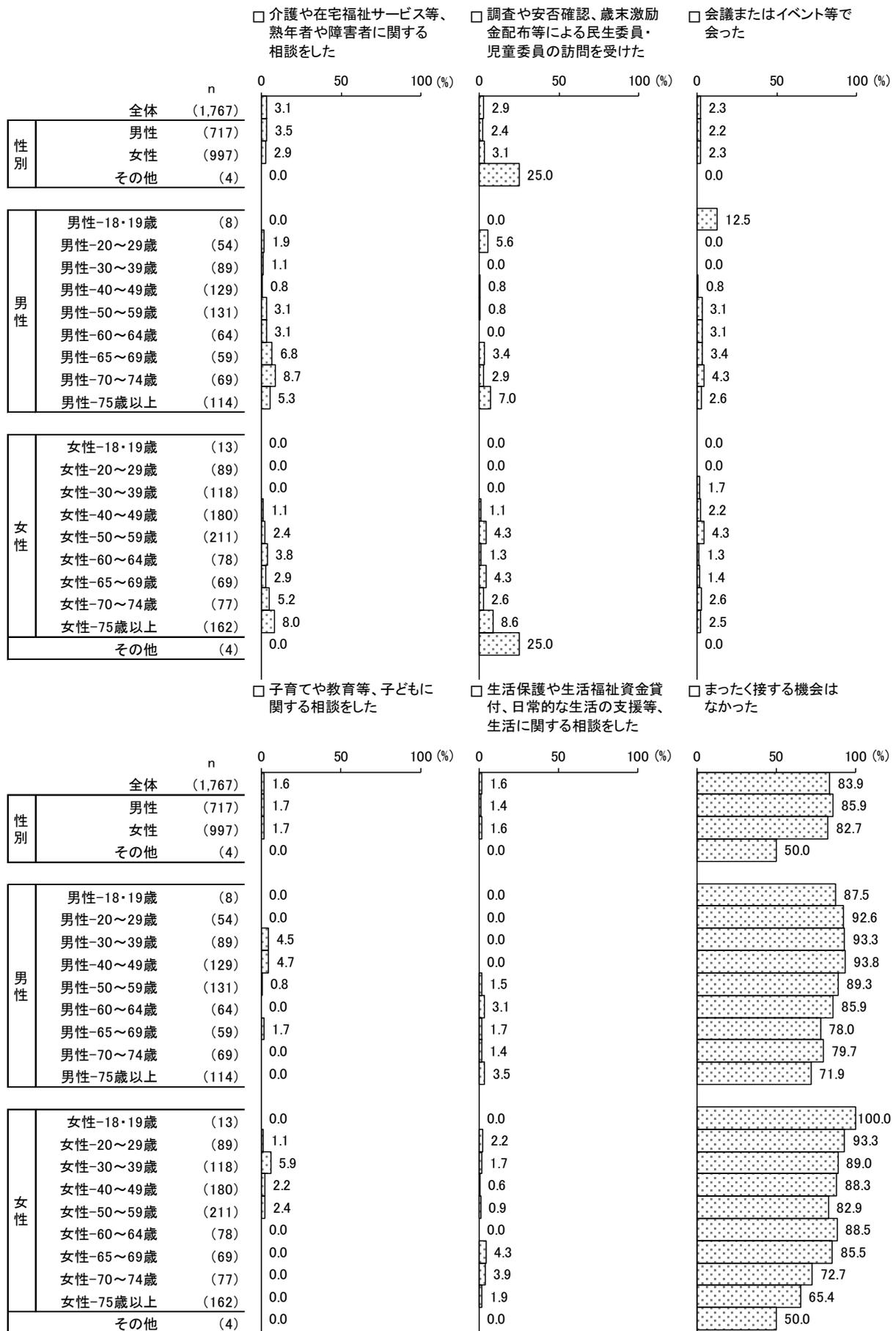


「介護や在宅福祉サービス等、熟年者や障害者に関する相談をした」が3.1%、次いで「調査や安否確認、歳末激励金配布等による民生委員・児童委員の訪問を受けた」が2.9%、「会議またはイベント等で会った」が2.3%、「子育てや教育等、子どもに関する相談をした」と「生活保護や生活福祉資金貸付、日常的な生活の支援等、生活に関する相談をした」が1.6%となっている。一方、「まったく接する機会はなかった」が83.9%と最も高くなっている。(図表 11-4)

【性・年齢別】

「まったく接する機会はなかった」は男性-20～29歳から男性-40～49歳と女性-20～29歳で9割を超えて高くなっている。一方、男性・女性ともに75歳以上は最も低くなっている。(図表 11-5)

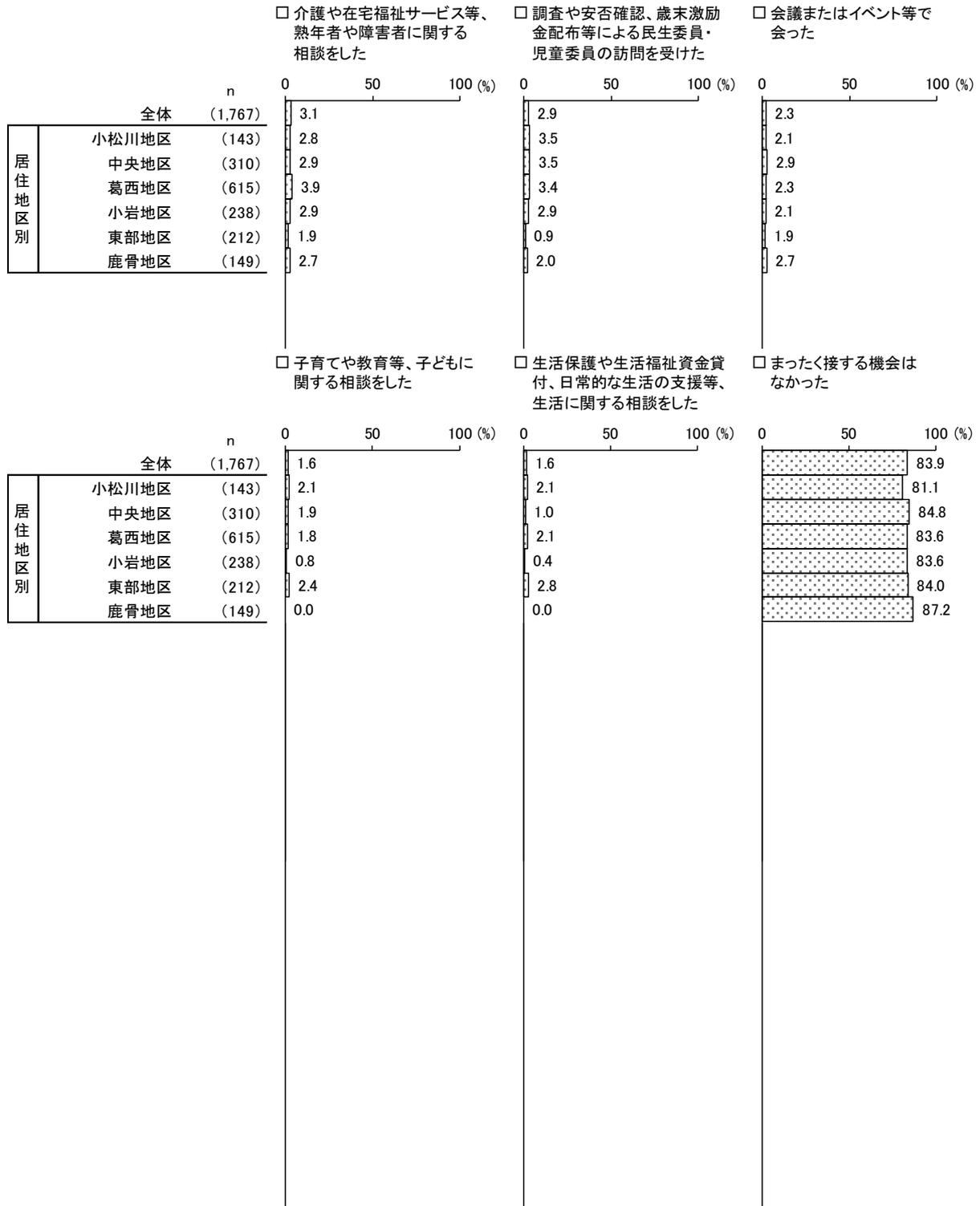
<図表 11-5> 民生委員・児童委員と接する機会の有無／性・年齢別



【居住地区別】

「まったく接する機会はない」は鹿骨地区が 87.2%と最も高くなっている。一方、小松川地区が 81.1%と最も低くなっている。(図表 11-6)

＜図表 11-6＞ 民生委員・児童委員と接する機会の有無／居住地区別



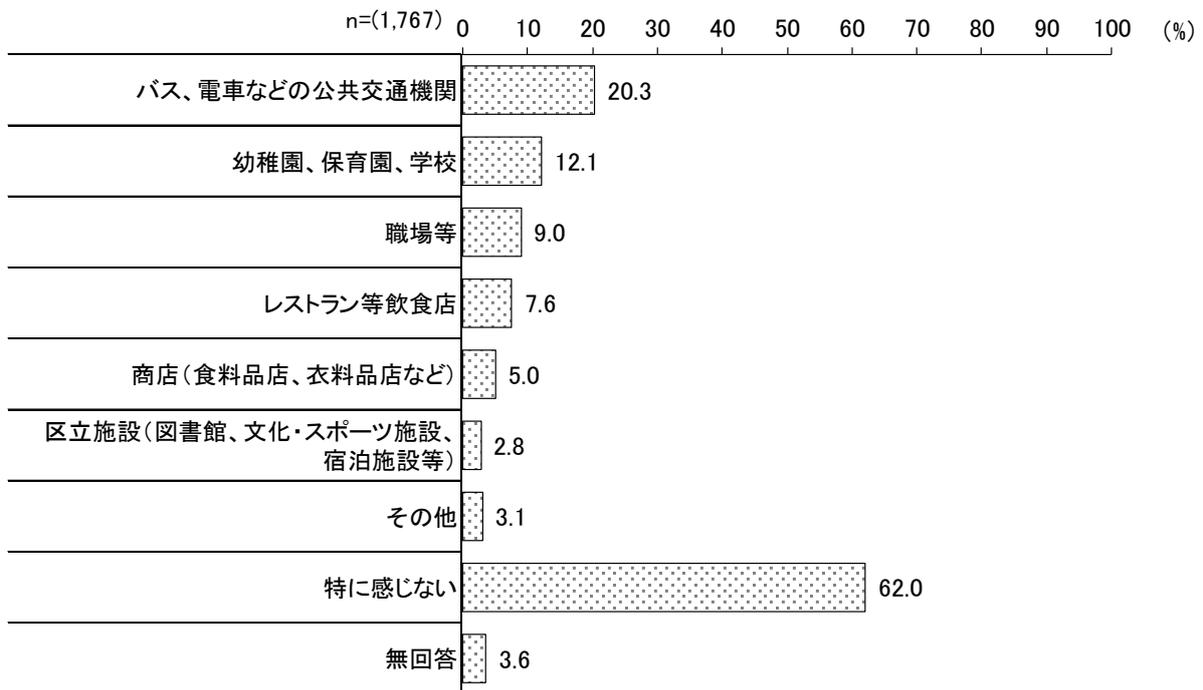
12. 障害者理解について

(1) 障害のある人への差別・偏見があると思う場面

◇「バス、電車などの公共交通機関」が20.3%と高い。

問24 地域社会の中に障害のある人への差別・偏見があると思いますか。ある場合はどのような場面で感じましたか。(〇はいくつでも)

<図表 12-1> 障害のある人への差別・偏見があると思う場面



「バス、電車などの公共交通機関」が20.3%、次いで「幼稚園、保育園、学校」が12.1%、「職場等」が9.0%、「レストラン等飲食店」が7.6%となっている。一方、「特に感じない」が62.0%と最も高くなっている。

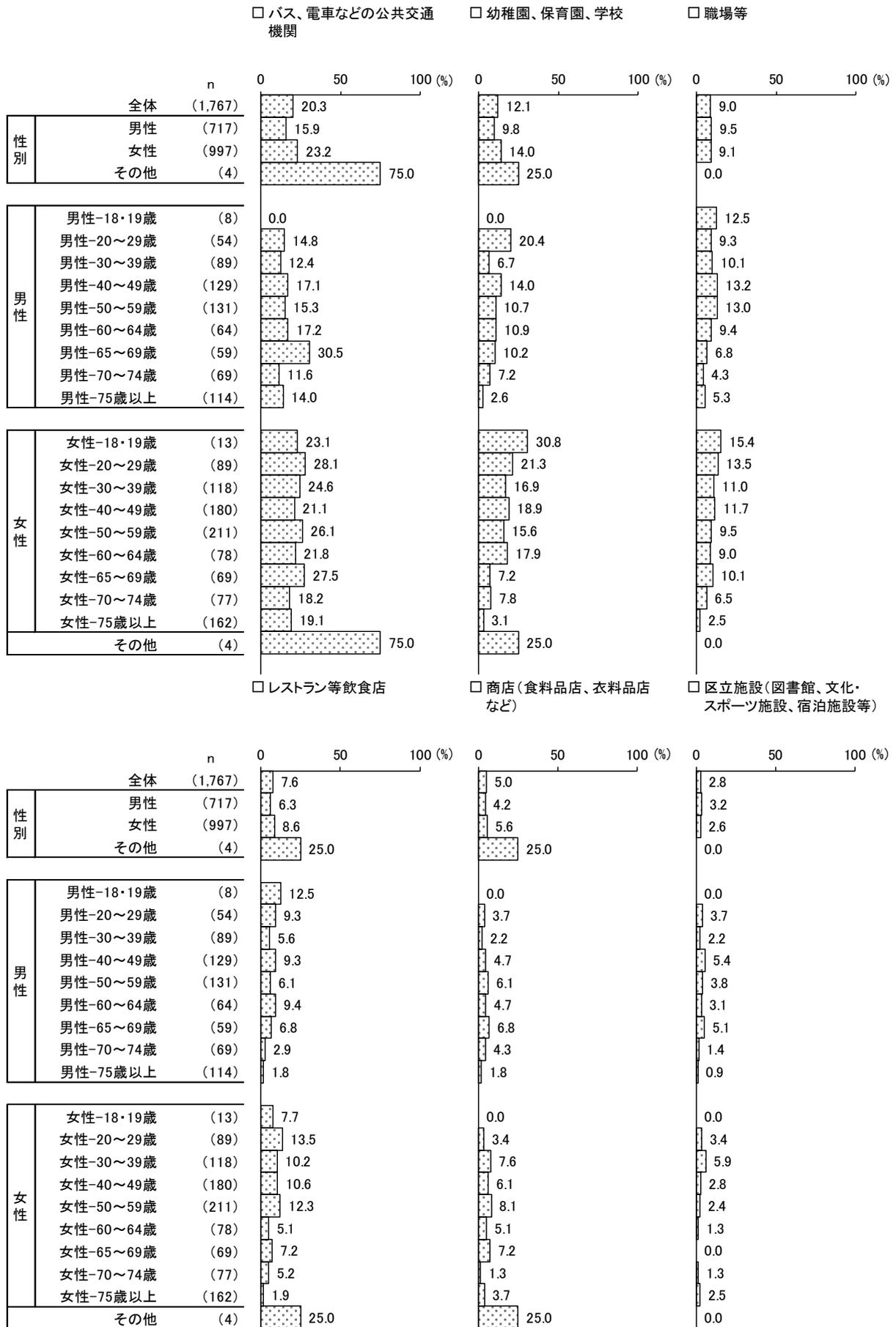
(図表 12-1)

【性・年齢別】

「バス、電車などの公共交通機関」は女性が23.2%と、男性(15.9%)を7.3ポイント上回っている。また、男性-65~69歳(30.5%)のみが3割を超えて高くなっている。

「幼稚園、保育園、学校」は男性・女性ともに20~29歳で2割を超えて高くなっている。(図表 12-2)

<図表 12-2>障害のある人への差別・偏見があると思う場面(上位6項目)／性・年齢別



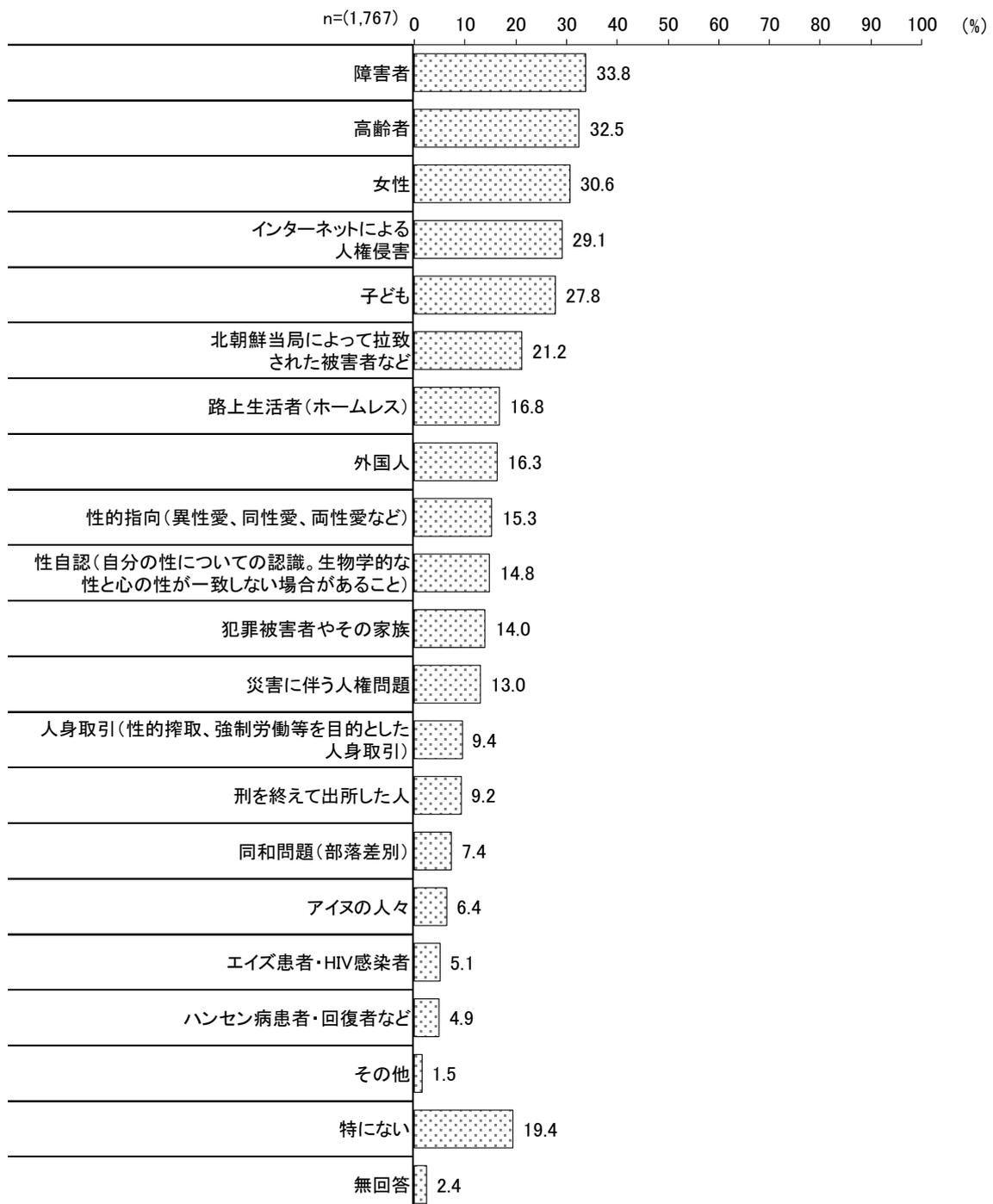
13. 人権について

(1) 関心のある人権課題

◇「障害者」が33.8%と高い。

問25 日本における人権課題について、あなたの関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

<図表 13-1> 関心のある人権課題



「障害者」が 33.8%と最も高く、次いで「高齢者」が 32.5%、「女性」が 30.6%、「インターネットによる人権侵害」が 29.1%、「子ども」が 27.8%、「北朝鮮当局によって拉致された被害者など」が 21.2%と2割を超え高くなっている。一方、「特にない」は 19.4%となっている。(図表 13-1)

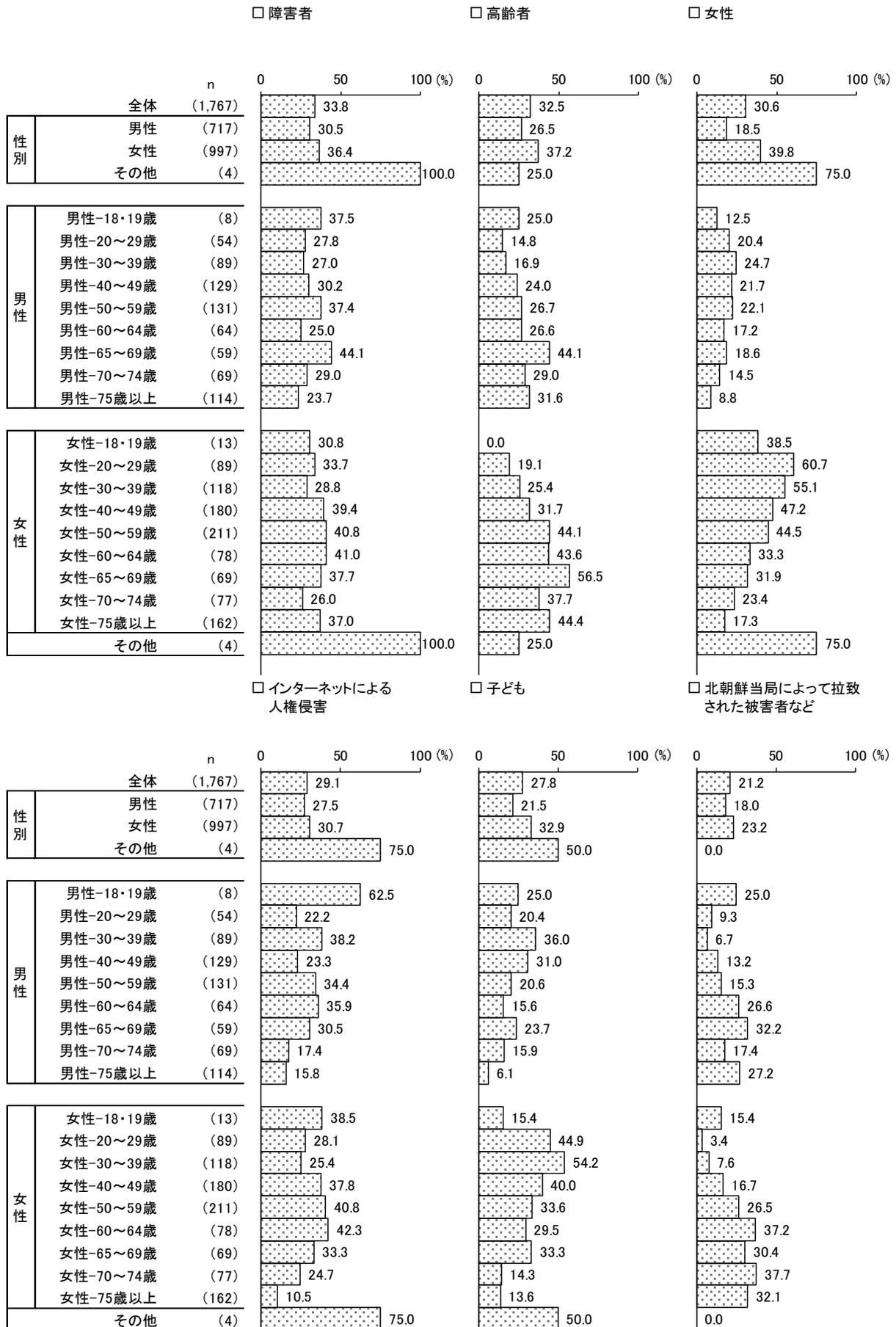
【性・年齢別】

「女性」は女性が 39.8%と、男性(18.5%)を 21.3 ポイント上回っている。また、女性は年齢が上がるほど割合が減少する傾向がある。

「高齢者」は女性-65～69 歳(56.5%)のみが5割を超えて高くなっている。

「子ども」は女性-30～39 歳(54.2%)のみが5割を超えて高くなっている。(図表 13-2)

<図表 13-2> 関心のある人権課題(上位6項目)／性・年齢別



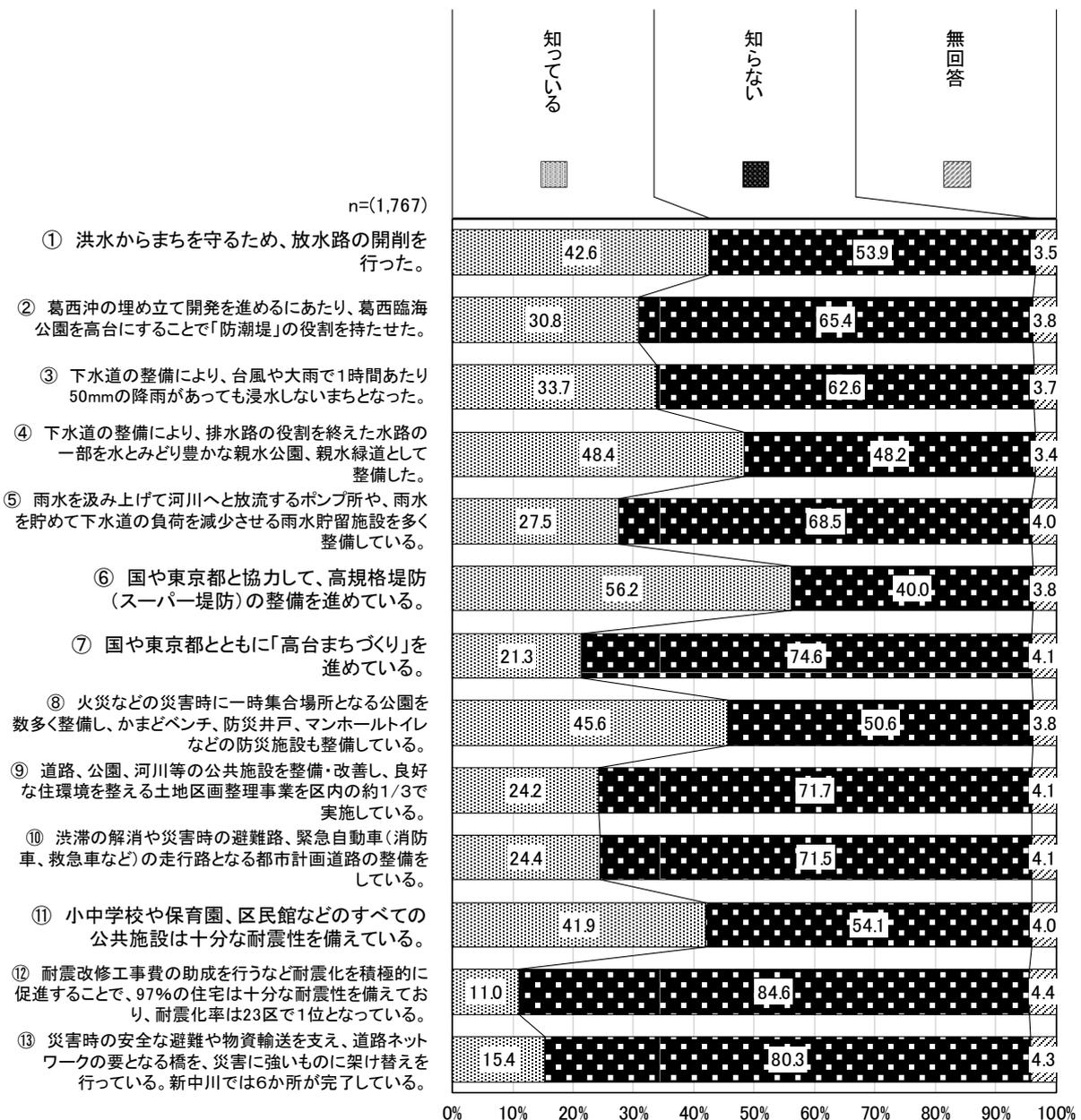
14. 災害に強い安全安心なまちづくりについて

(1) 安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度

◇【⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。】の「知っている」が5割台。

問26 あなたは、災害に強い安全安心なまちづくりについて、以下の取り組みを知っていますか。（それぞれ〇は1つずつ）

<図表 14-1>安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度



「知っている」は【⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防(スーパー堤防)の整備を進めている。】(56.2%)、【④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。】(48.4%)、【⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。】(45.6%)の順に高くなっている。

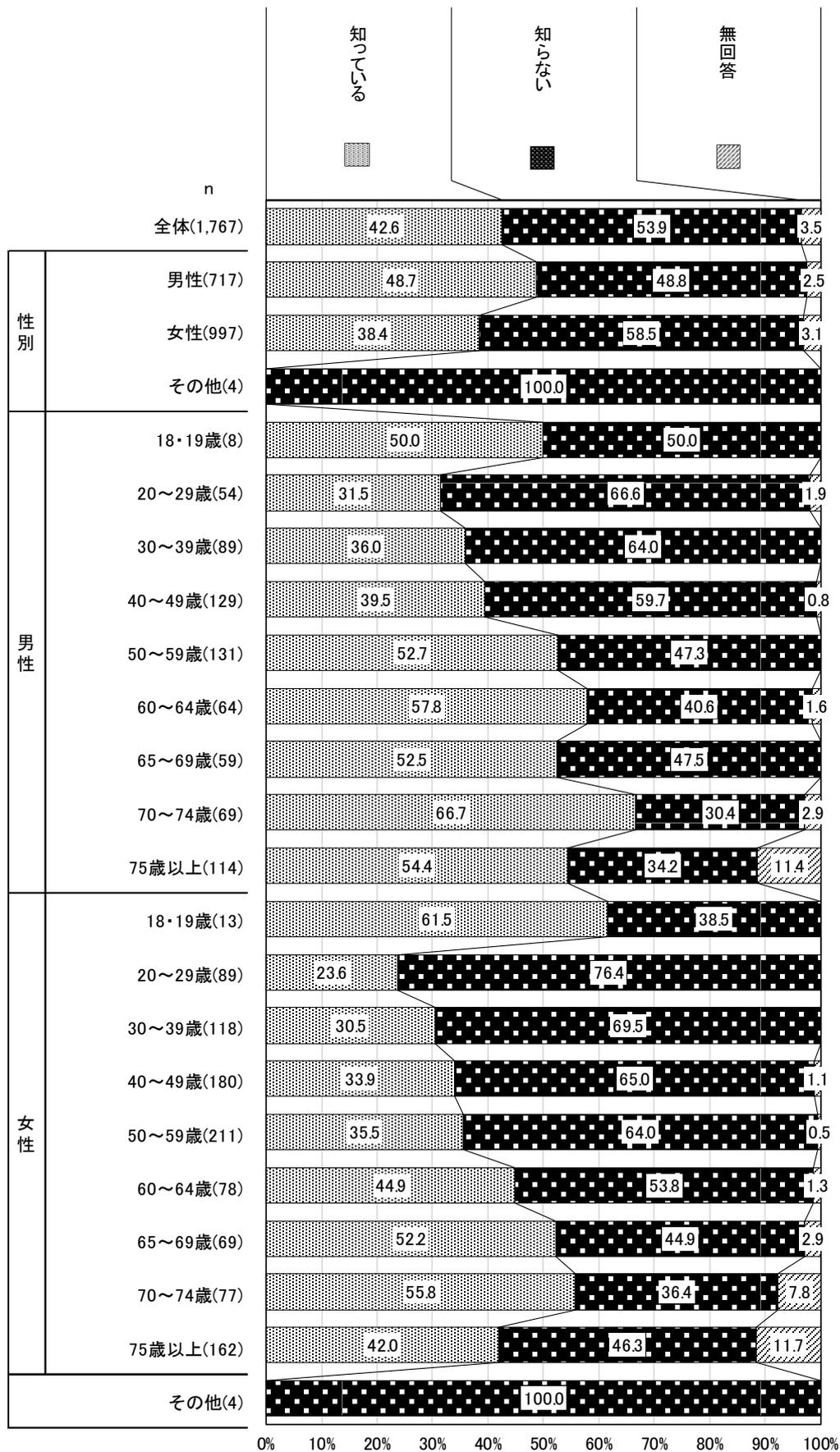
「知らない」は【⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は23区で1位となっている。】(84.6%)、【⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。】(80.3%)が8割を超えて高くなっている。(図表 14-1)

【① 洪水からまちを守るため、放水路の開削を行った。(現在の荒川や新中川など)／性・年齢別】

「知っている」は男性が48.7%と、女性(38.4%)を10.3ポイント上回っている。

男性は50～59歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。女性は65～69歳と70～74歳で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。(図表 14-2)

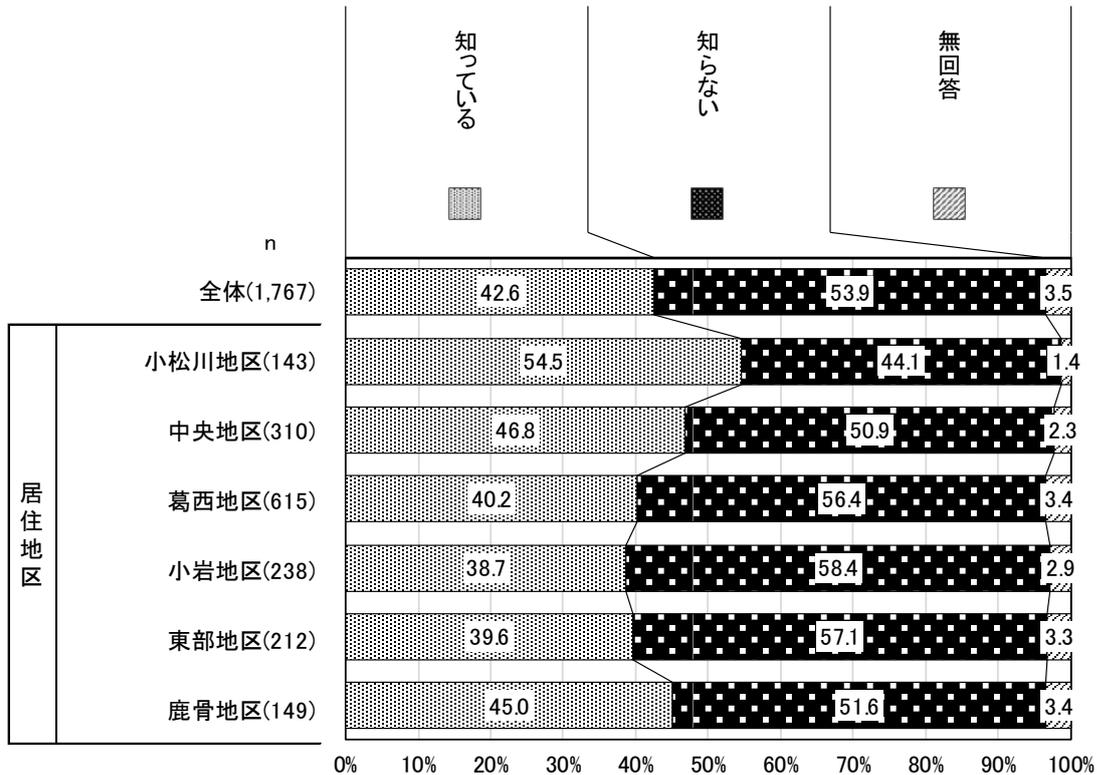
<図表 14-2>① 洪水からまちを守るため、放水路の開削を行った。(現在の荒川や新中川など) / 性・年齢別



【① 洪水からまちを守るため、放水路の開削を行った。(現在の荒川や新中川など)／居住地区別】

「知っている」は小松川地区(54.5%)のみが5割を超えて高くなっている。また、小松川地区のみ「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。(図表 14-3)

＜図表 14-3＞① 洪水からまちを守るため、放水路の開削を行った。(現在の荒川や新中川など)／居住地区別



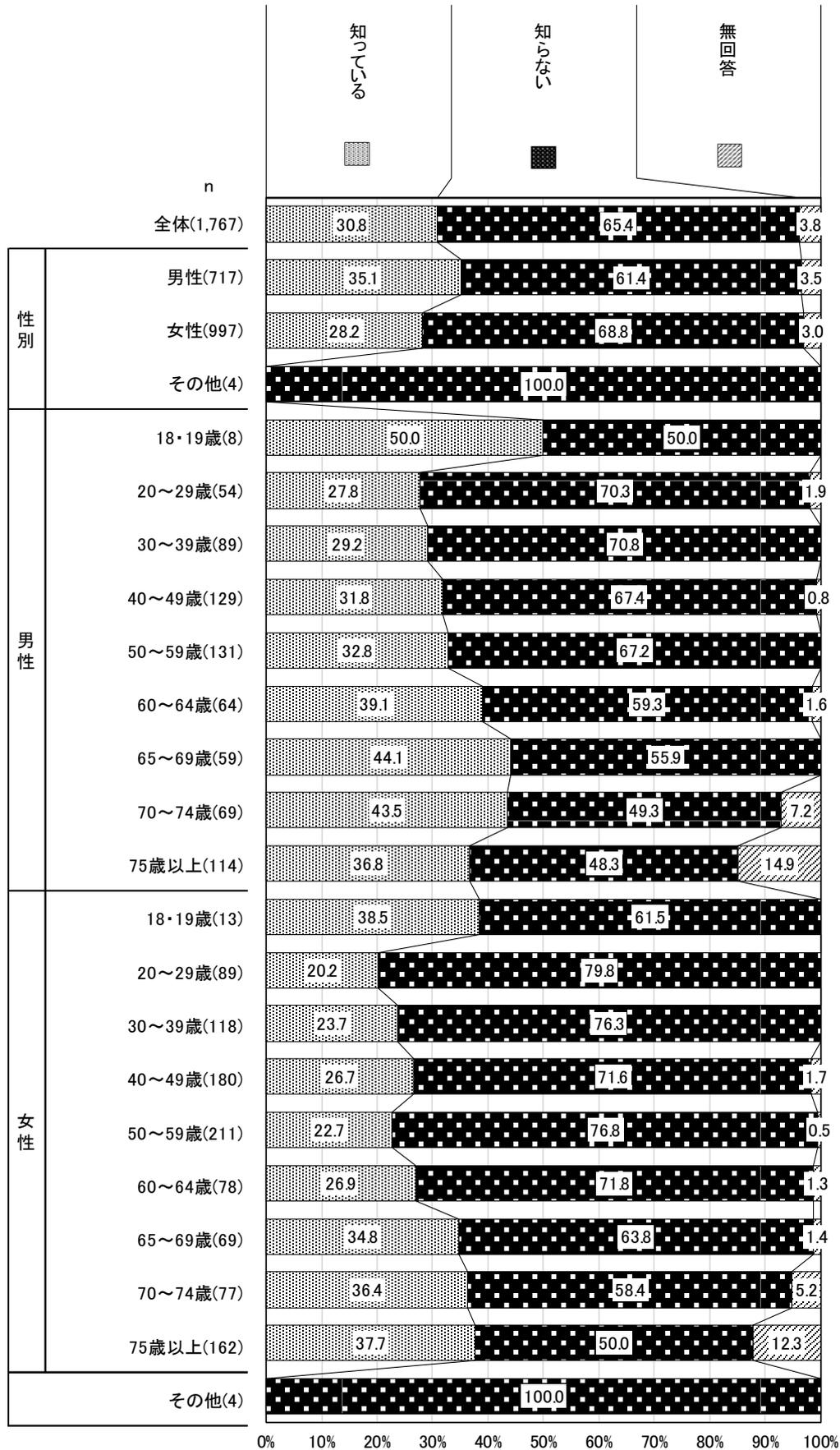
【② 葛西沖の埋め立て開発を進めるにあたり、葛西臨海公園を高台にすることで「防潮堤」の役割を持たせた。／性・年齢別】

「知っている」は男性が 35.1%と、女性(28.2%)を 6.9 ポイント上回っている。

男性は 20～29 歳以上の全ての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。

女性は全ての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-4)

<図表 14-4>② 葛西沖の埋め立て開発を進めるにあたり、葛西臨海公園を高台にすることで「防潮堤」の役割を持たせた。／性・年齢別

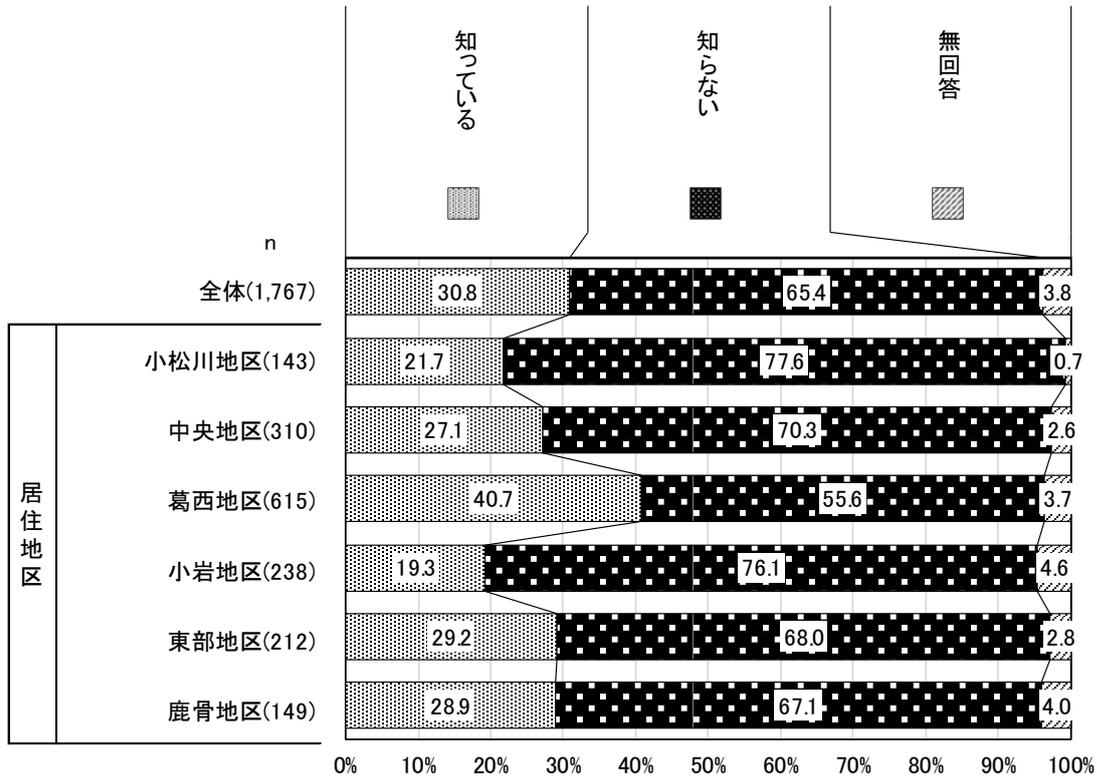


【② 葛西沖の埋め立て開発を進めるにあたり、葛西臨海公園を高台にすることで「防潮堤」の役割を持たせた。／居住地区別】

「知っている」は葛西地区(40.7%)のみが4割を超えて高くなっている。また、小岩地区(19.3%)のみが1割台と低くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-5)

<図表 14-5>② 葛西沖の埋め立て開発を進めるにあたり、葛西臨海公園を高台にすることで「防潮堤」の役割を持たせた。／居住地区別

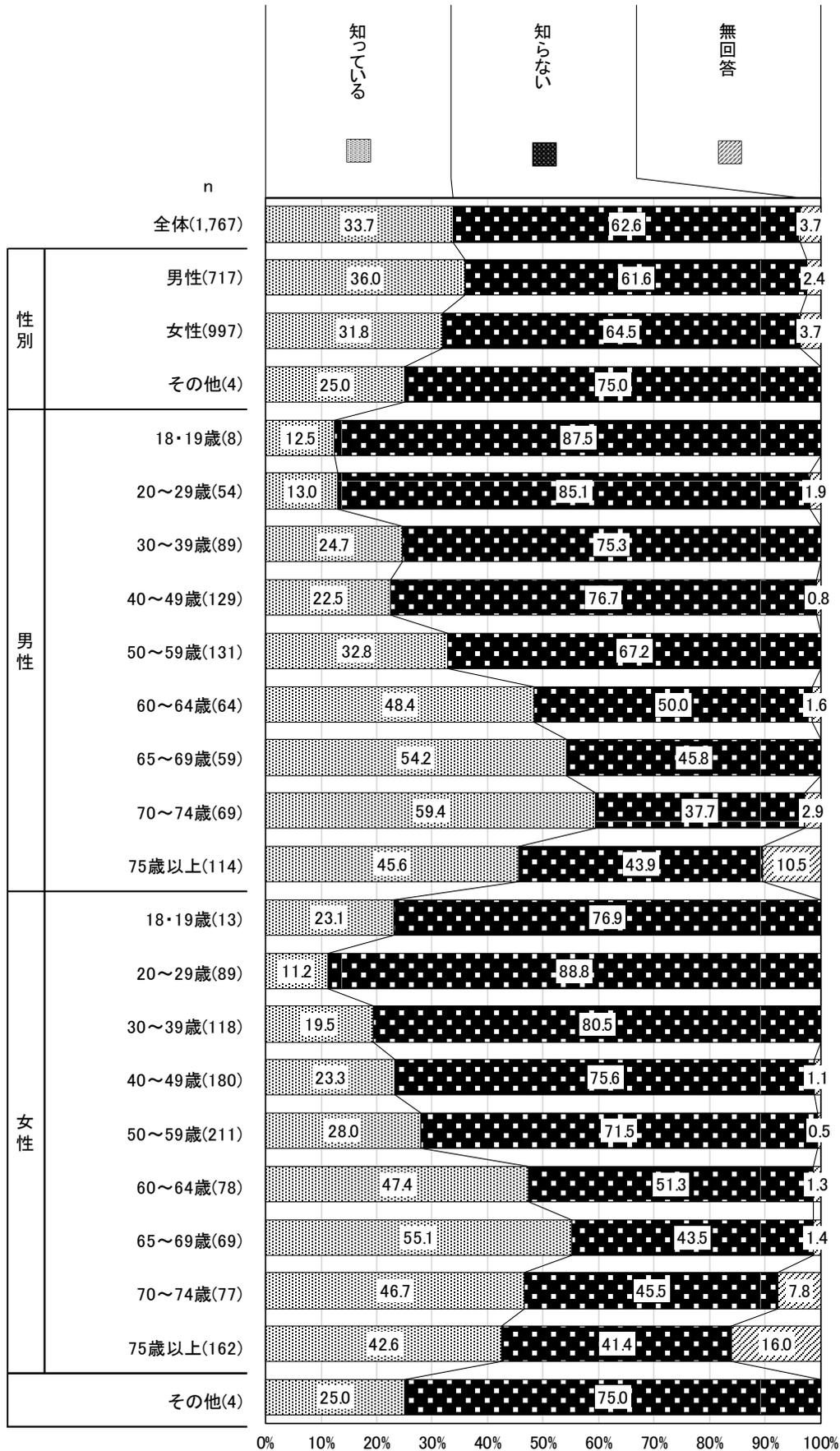


【③ 下水道の整備により、台風や大雨で1時間あたり50mmの降雨があっても浸水しないまちとなった。／性・年齢別】

「知っている」は男性が36.0%と、女性(31.8%)を4.2ポイント上回っている。

男性・女性ともに65～69歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。また、男性・女性ともに20～29歳から40～49歳は1～2割台と低くなっている。(図表14-6)

<図表 14-6>③ 下水道の整備により、台風や大雨で1時間あたり 50mm の降雨があっても浸水しないまちとなった。／性・年齢別

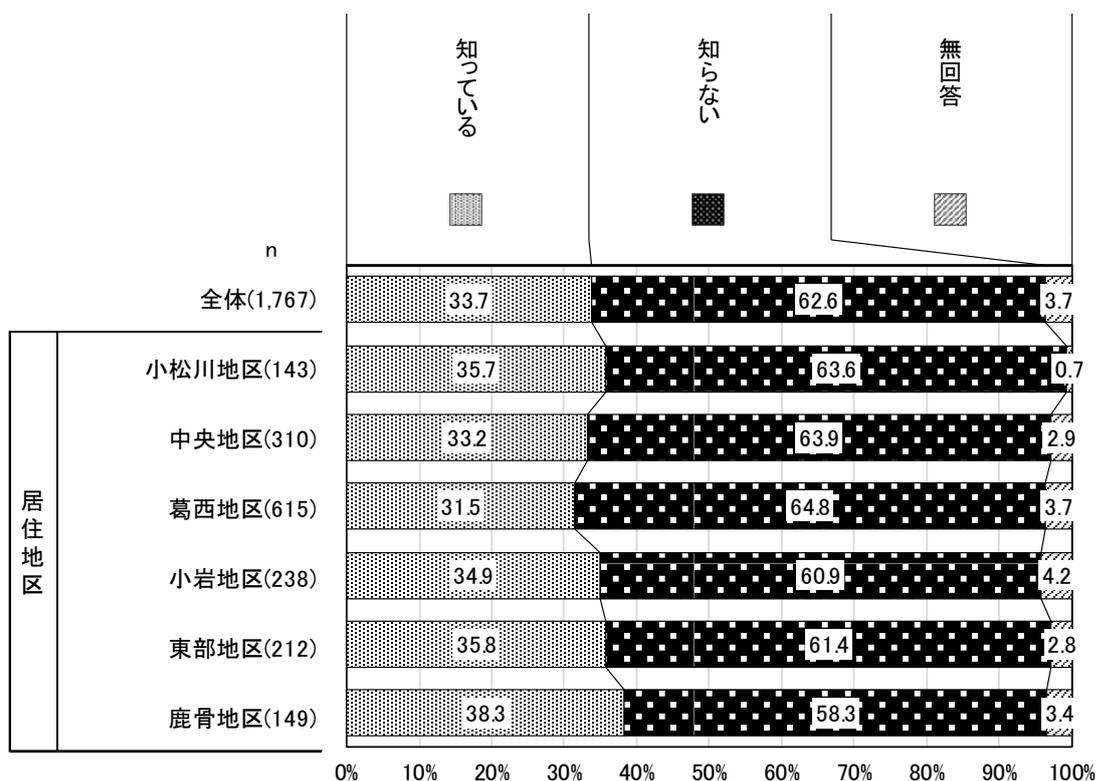


【③ 下水道の整備により、台風や大雨で1時間あたり50mmの降雨があっても浸水しないまちとなった。／居住地区別】

「知らない」は鹿骨地区(58.3%)のみが5割台と低くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-7)

<図表 14-7>③ 下水道の整備により、台風や大雨で1時間あたり50mmの降雨があっても浸水しないまちとなった。／居住地区別



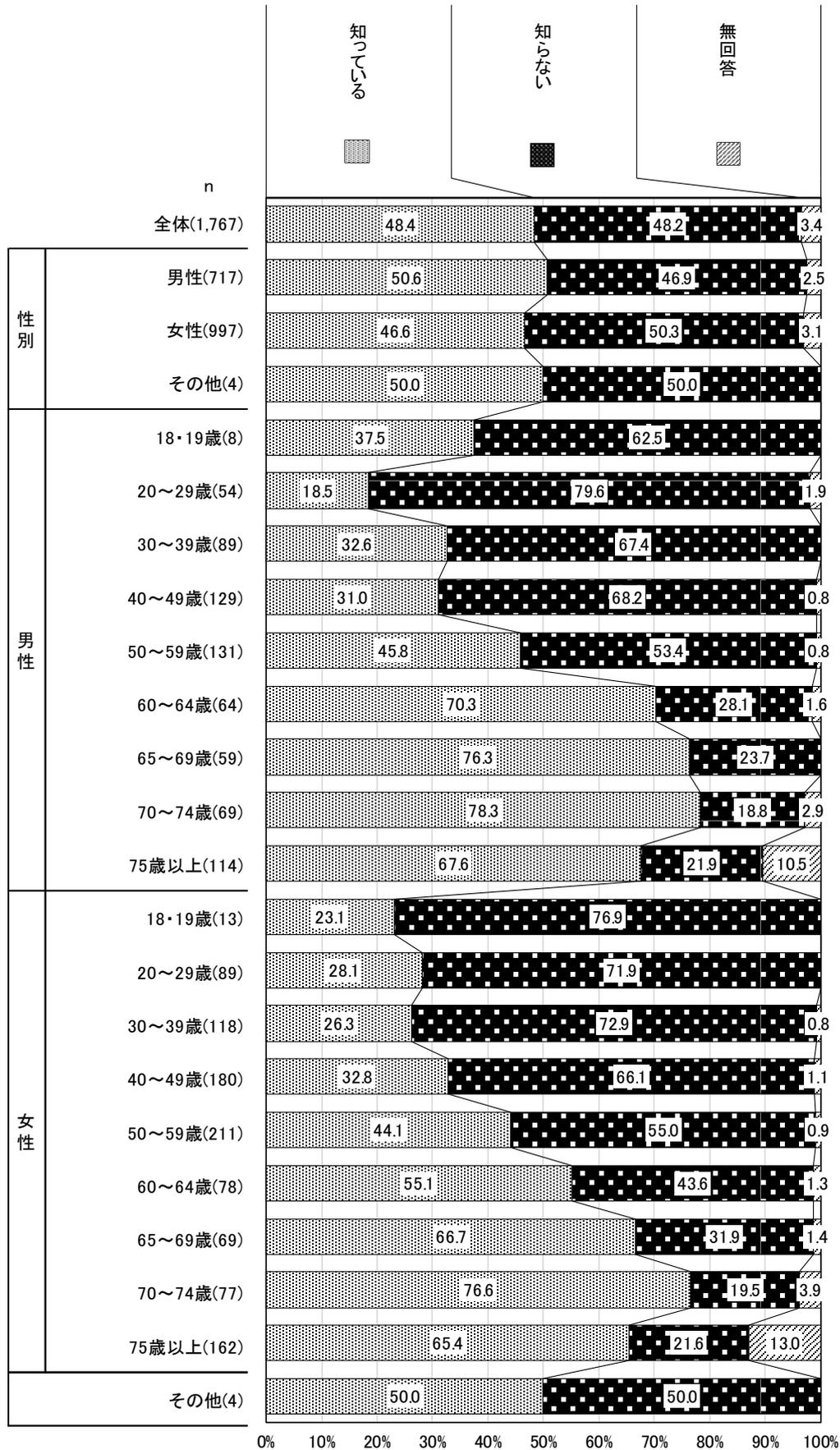
【④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。／性・年齢別】

「知っている」は男性が 50.6%と、女性(46.6%)を 4.0 ポイント上回っている。

男性は 60～64 歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。一方、「知っている」は男性-20～29 歳(18.5%)のみが1割台と低くなっている。

女性は 60～64 歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。一方、「知っている」は女性-20～29 歳(28.1%)から女性-30～39 歳(26.3%)が2割台と低くなっている。(図表 14-8)

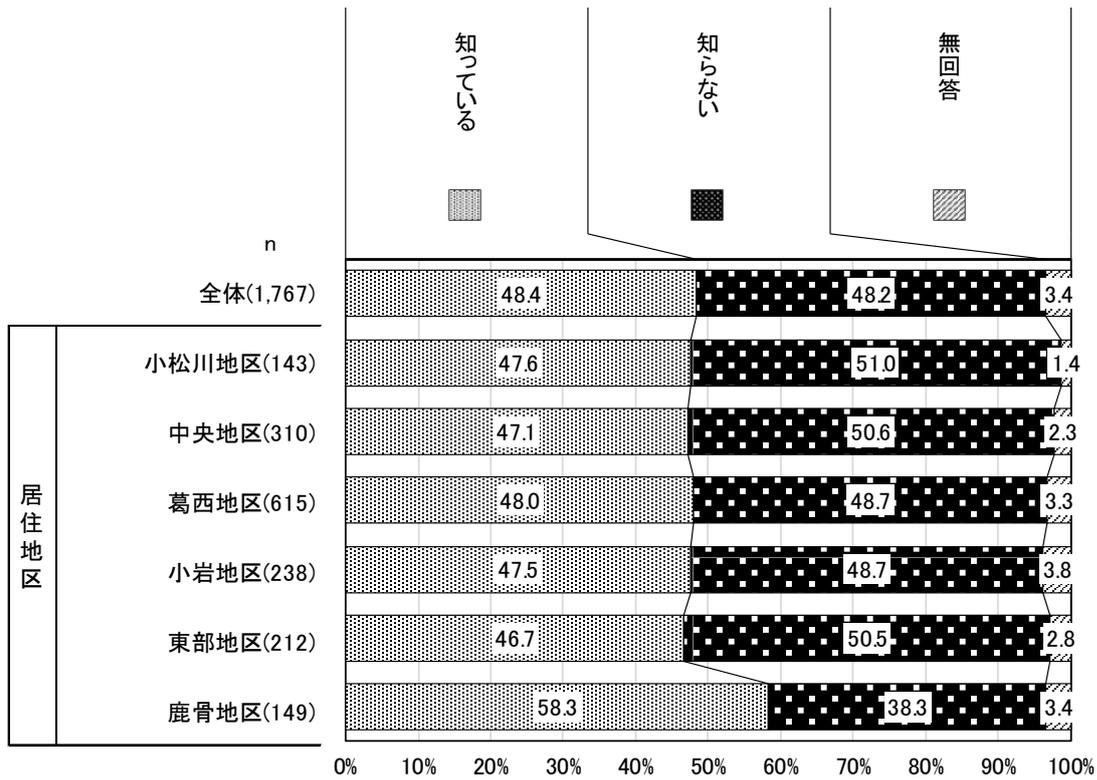
＜図表 14-8＞④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。／性・年齢別



【④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。／居住地区別】

「知っている」は鹿骨地区(58.3%)のみが5割を超えて高くなっている。また、鹿骨地区のみ「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。(図表 14-9)

＜図表 14-9＞④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。／居住地区別

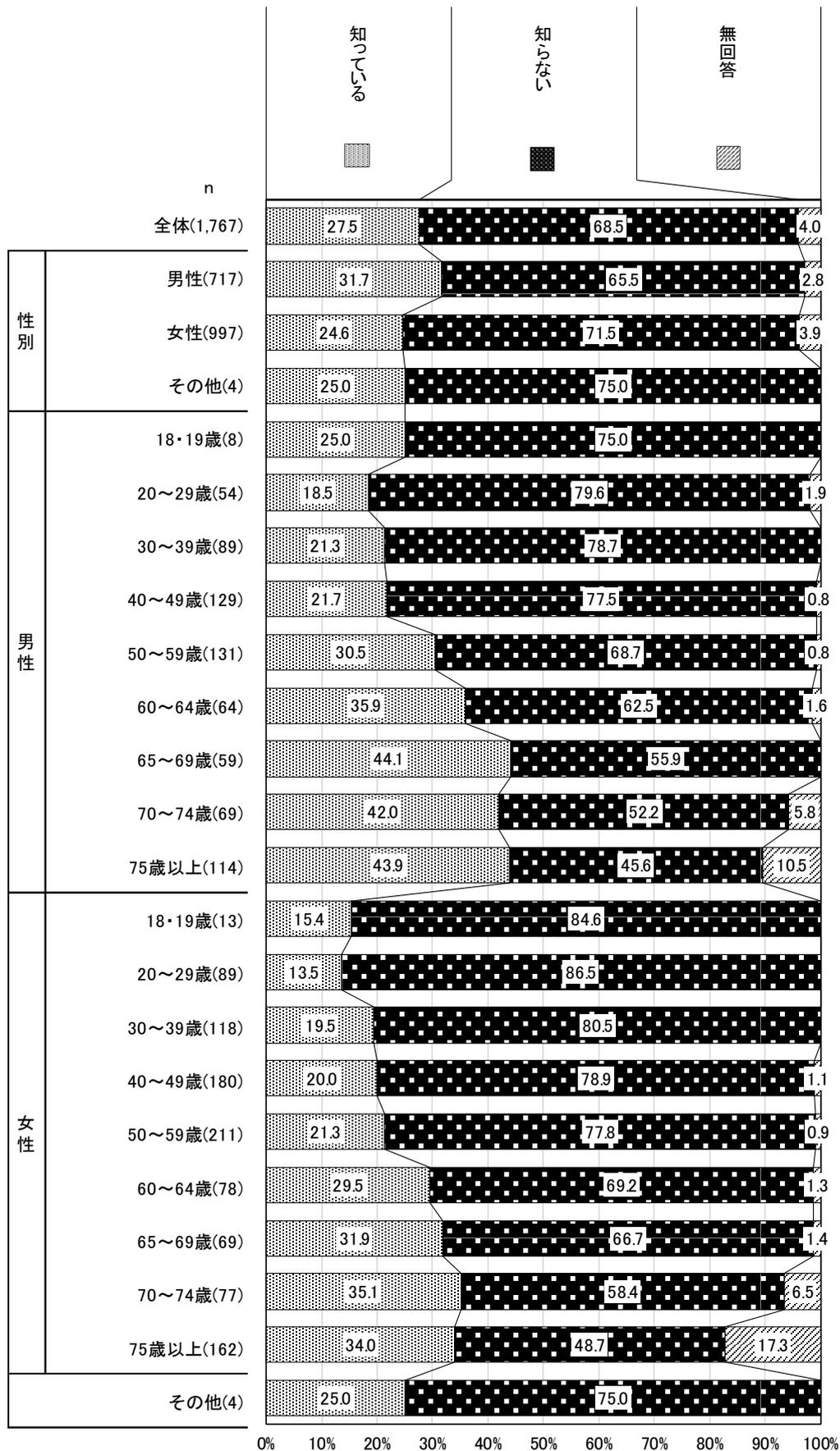


【⑤ 雨水を汲み上げて河川へと放流するポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負荷を減少させる雨水貯留施設を多く整備している。／性・年齢別】

「知っている」は男性が 31.7%と、女性(24.6%)を 7.1 ポイント上回っている。

男性・女性ともに全ての年齢で「知らない」が「知っている」を上回っている。一方、「知っている」は男性-65～69 歳以上が4割を超えて高くなっている。(図表 14-10)

＜図表 14-10＞⑤ 雨水を汲み上げて河川へと放流するポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負荷を減少させる雨水貯留施設を多く整備している。／性・年齢別

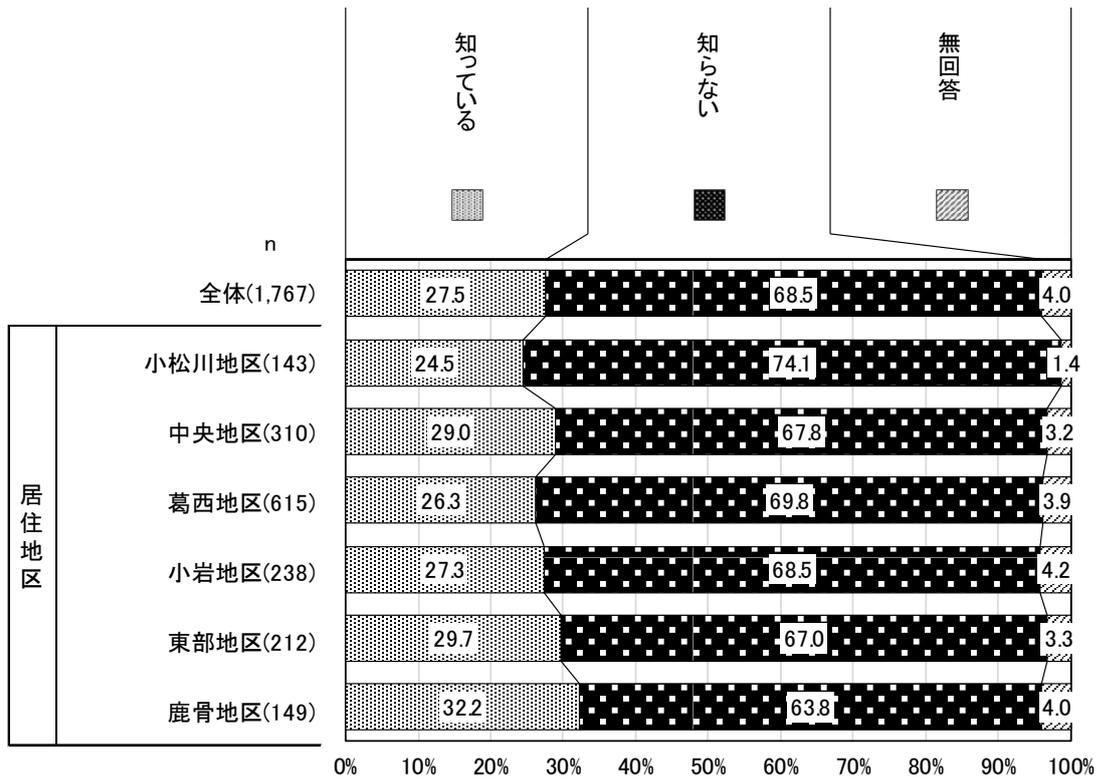


【⑤ 雨水を汲み上げて河川へと放流するポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負荷を減少させる雨水貯留施設を多く整備している。／居住地区別】

「知っている」は鹿骨地区(32.2%)のみが3割を超えて高くなっている。

「知らない」は小松川地区(74.1%)のみが7割を超えて高くなっている。(図表 14-11)

＜図表 14-11＞⑤ 雨水を汲み上げて河川へと放流するポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負荷を減少させる雨水貯留施設を多く整備している。／居住地区別

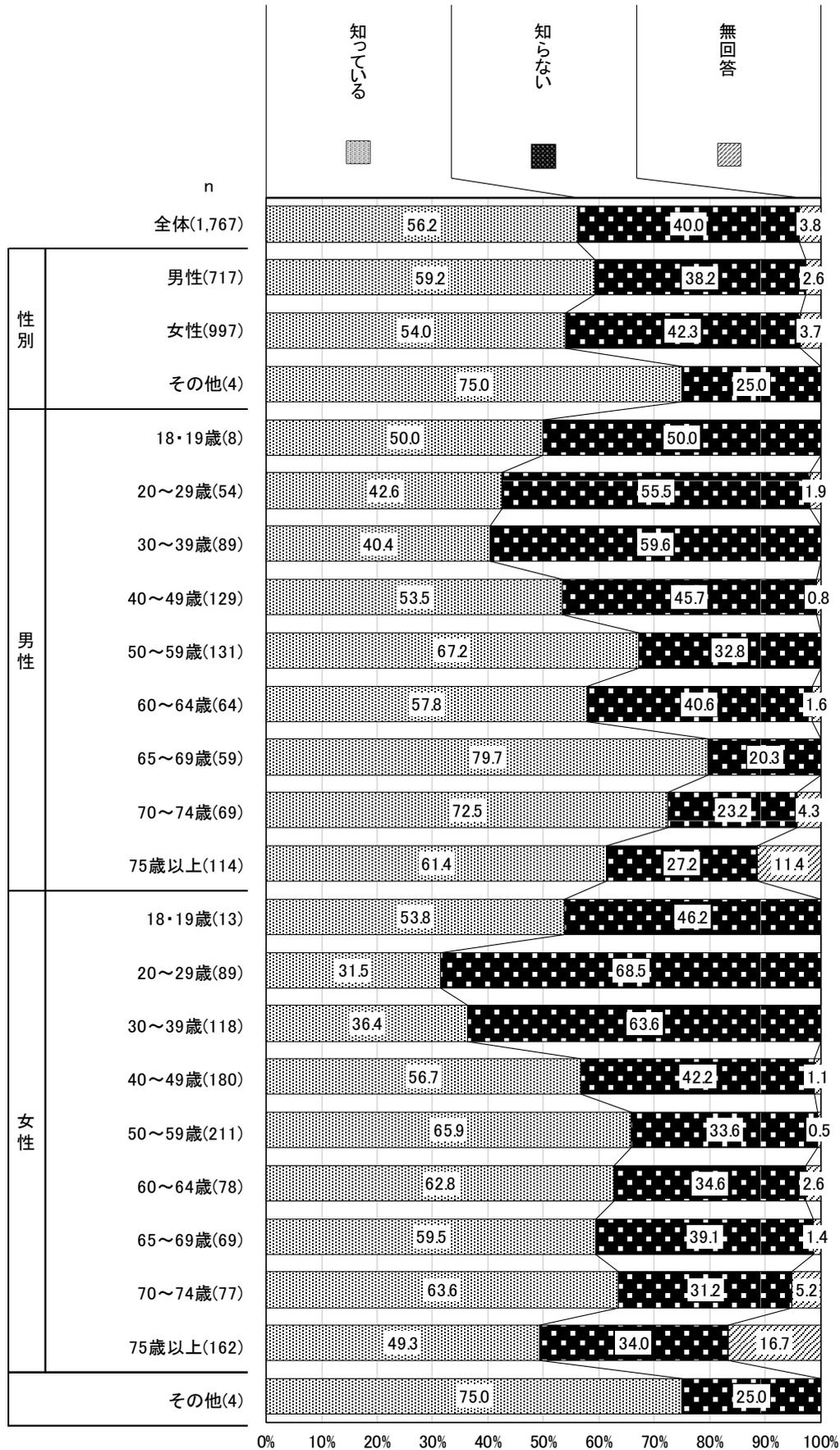


【⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防(スーパー堤防)の整備を進めている。※高規格堤防は、堤防の高さの約30倍の幅を持つ強固な堤防。／性・年齢別】

「知っている」は男性が59.2%と、女性(54.0%)を5.2ポイント上回っている。

男性・女性ともに40～49歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。一方、「知っている」は女性-20～29歳から女性-30～39歳が3割台と低くなっている。(図表14-12)

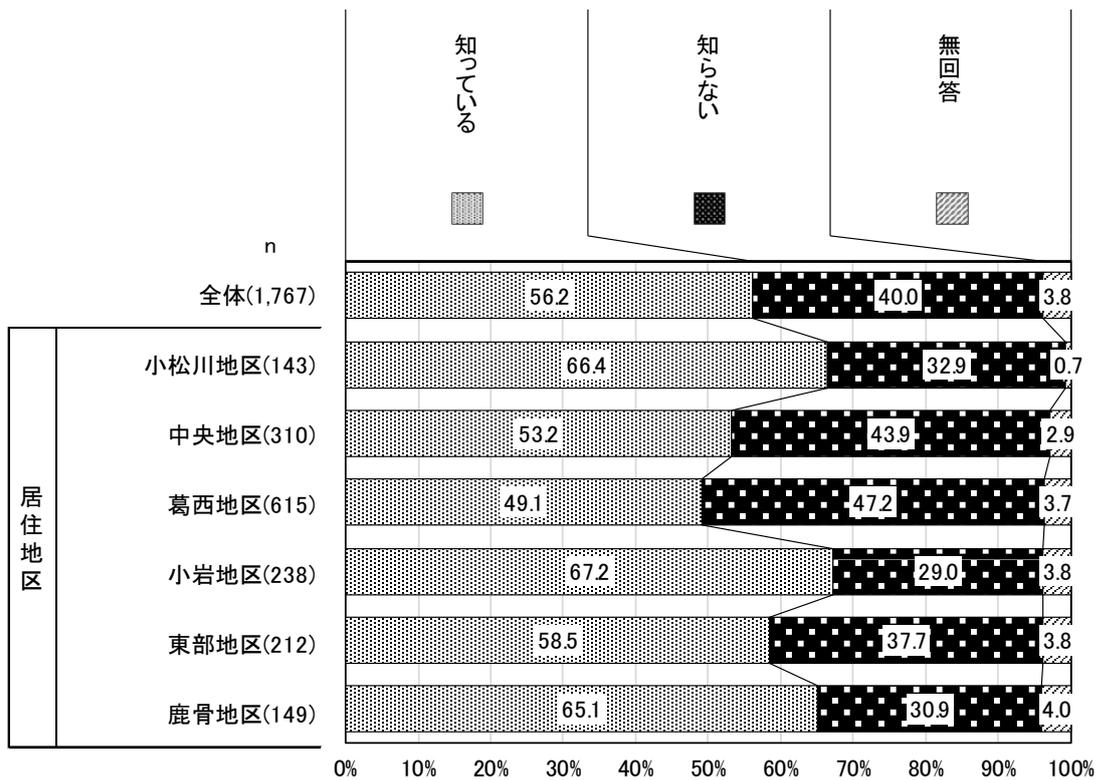
<図表 14-12>⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防(スーパー堤防)の整備を進めている。※高規格堤防は、堤防の高さの約30倍の幅を持つ強固な堤防。／性・年齢別



【⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防(スーパー堤防)の整備を進めている。※高規格堤防は、堤防の高さの約30倍の幅を持つ強固な堤防。／居住地区別】

全ての地区で「知っている」が「知らない」を上回っている。一方、「知っている」は葛西地区(49.1%)のみが4割台と低くなっている。(図表 14-13)

＜図表 14-13＞⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防(スーパー堤防)の整備を進めている。※高規格堤防は、堤防の高さの約30倍の幅を持つ強固な堤防。／居住地区別

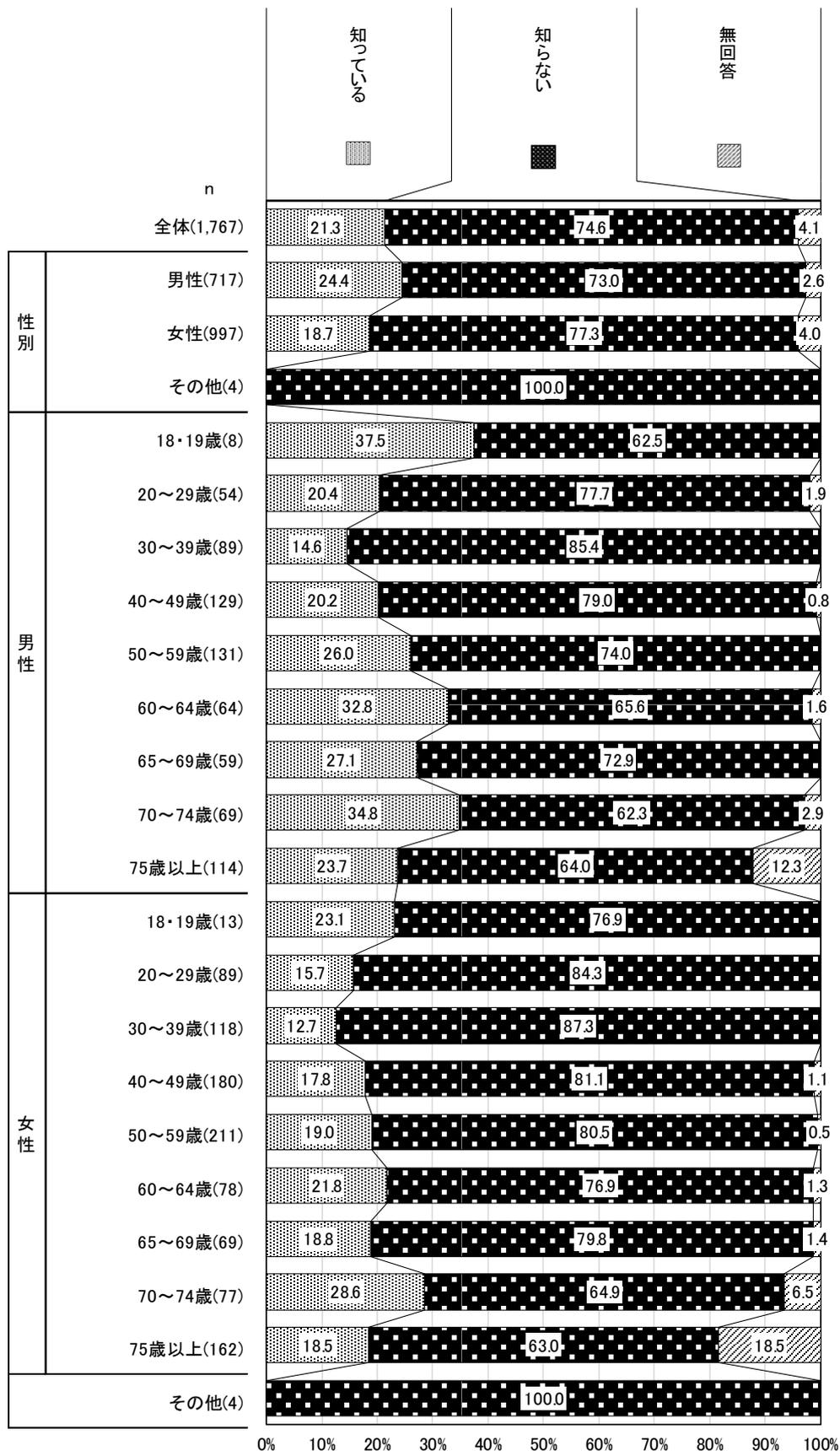


【⑦ 国や東京都とともに「高台まちづくり」を進めている。※高規格堤防の上面を活用したまちづくり
中・高層建物に避難スペースを設置するまちづくり 水没しない高さの高台公園を中心としたまちづくり/
性・年齢別】

「知っている」は男性が24.4%と、女性(18.7%)を5.7ポイント上回っている。また、男性-60～64歳(32.8%)
と男性-70～74歳(34.8%)は3割を超えて高くなっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「知らない」が「知っている」を上回っている。(図表14-14)

＜図表 14-14＞⑦ 国や東京都とともに「高台まちづくり」を進めている。※高規格堤防の上面を活用したまちづくり 中・高層建物に避難スペースを設置するまちづくり 水没しない高さの高台公園を中心としたまちづくり／性・年齢別

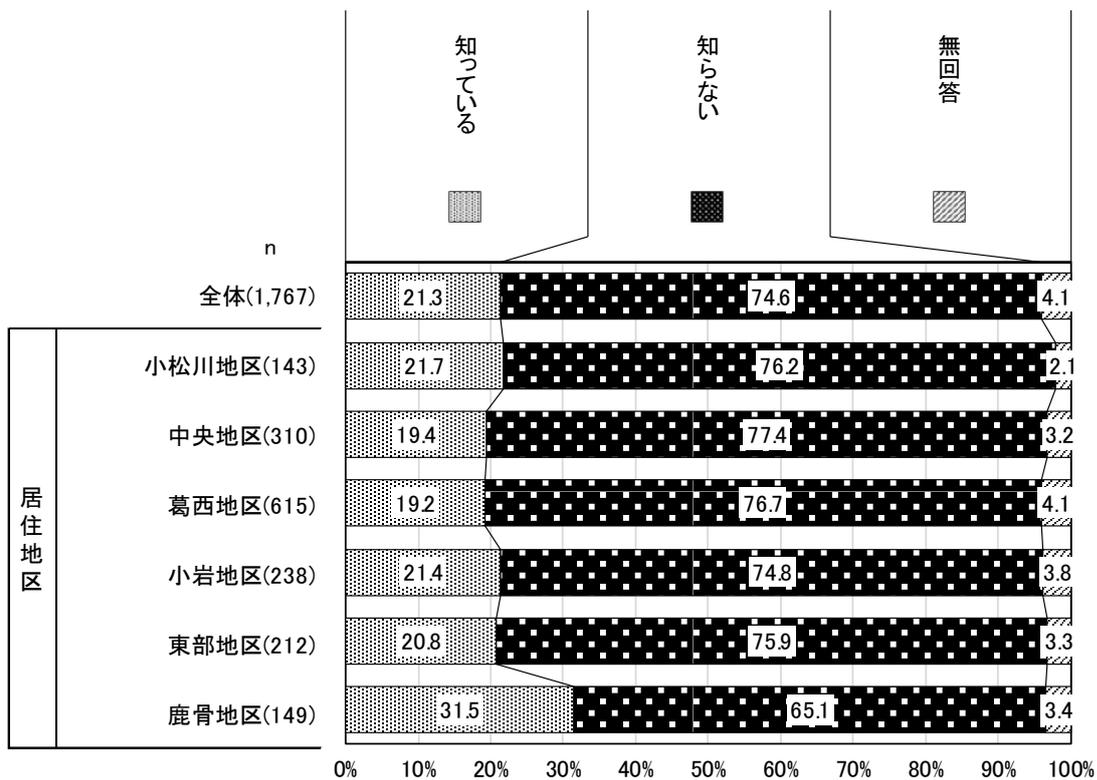


【⑦ 国や東京都とともに「高台まちづくり」を進めている。※高規格堤防の上面を活用したまちづくり 中・高層建物に避難スペースを設置するまちづくり 水没しない高さの高台公園を中心としたまちづくり／居住地区別】

「知っている」は鹿骨地区(31.5%)のみが3割を超えて高くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-15)

<図表 14-15>⑦ 国や東京都とともに「高台まちづくり」を進めている。※高規格堤防の上面を活用したまちづくり 中・高層建物に避難スペースを設置するまちづくり 水没しない高さの高台公園を中心としたまちづくり／居住地区別

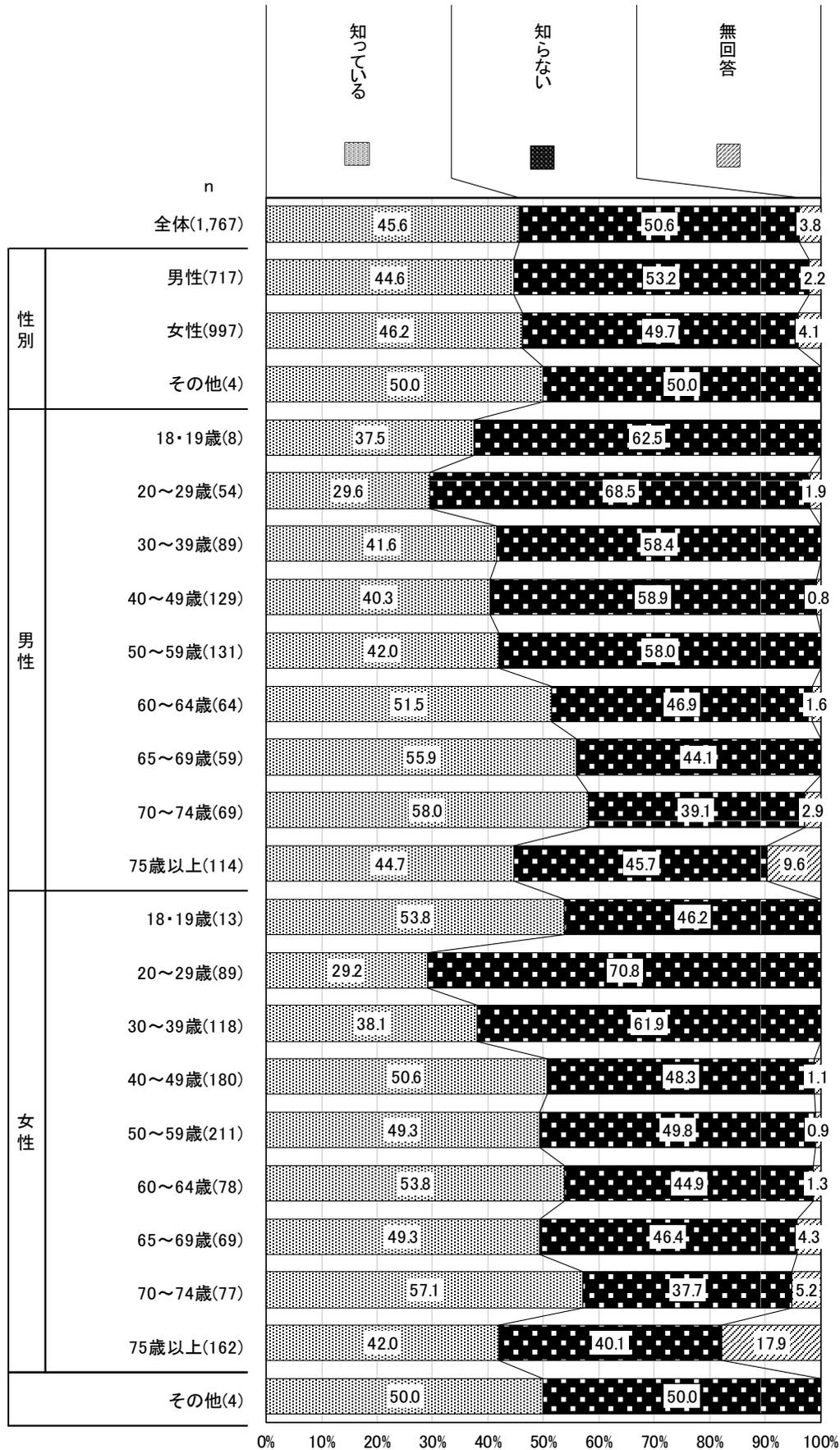


【⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／性・年齢別】

「知らない」は男性が 53.2%と、女性(49.7%)を 3.5 ポイント上回っている。

男性は 60～64 歳から 70～74 歳で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。女性は 40～49 歳と 60～64 歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。(図表 14-16)

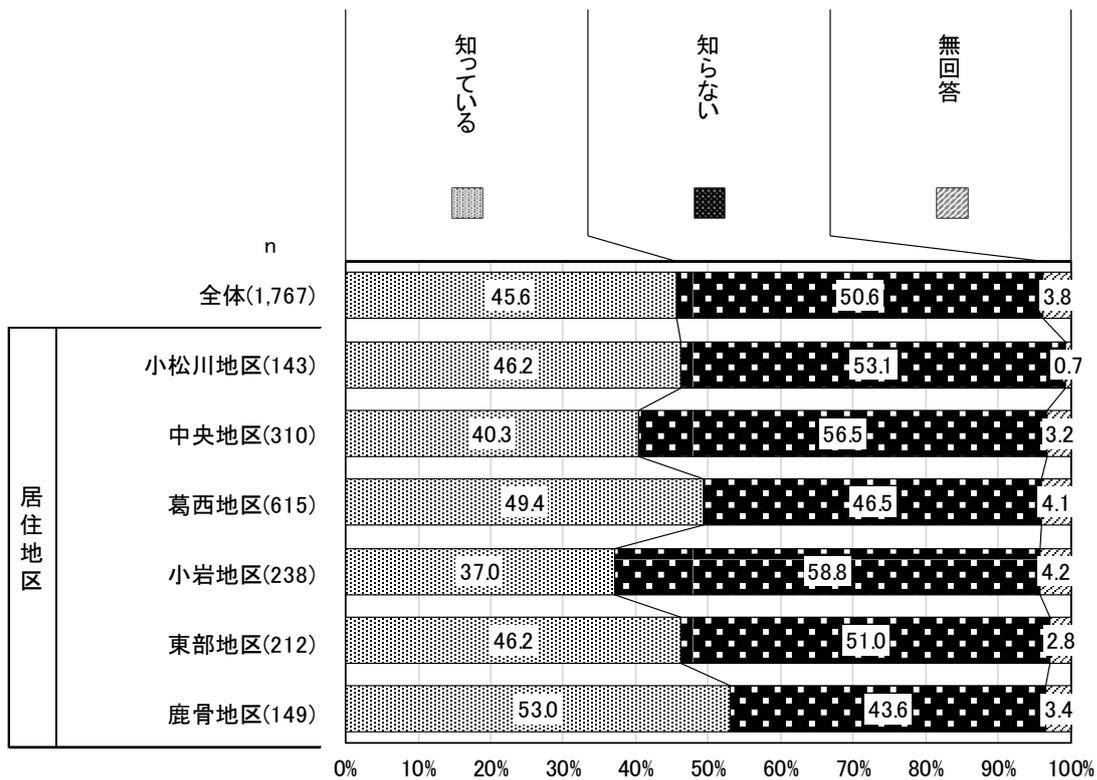
＜図表 14-16＞⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／性・年齢別



【⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／居住地区別】

「知っている」は鹿骨地区(53.0%)のみが5割を超えて高くなっている。また、葛西地区と鹿骨地区は「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。(図表 14-17)

＜図表 14-17＞⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／居住地区別

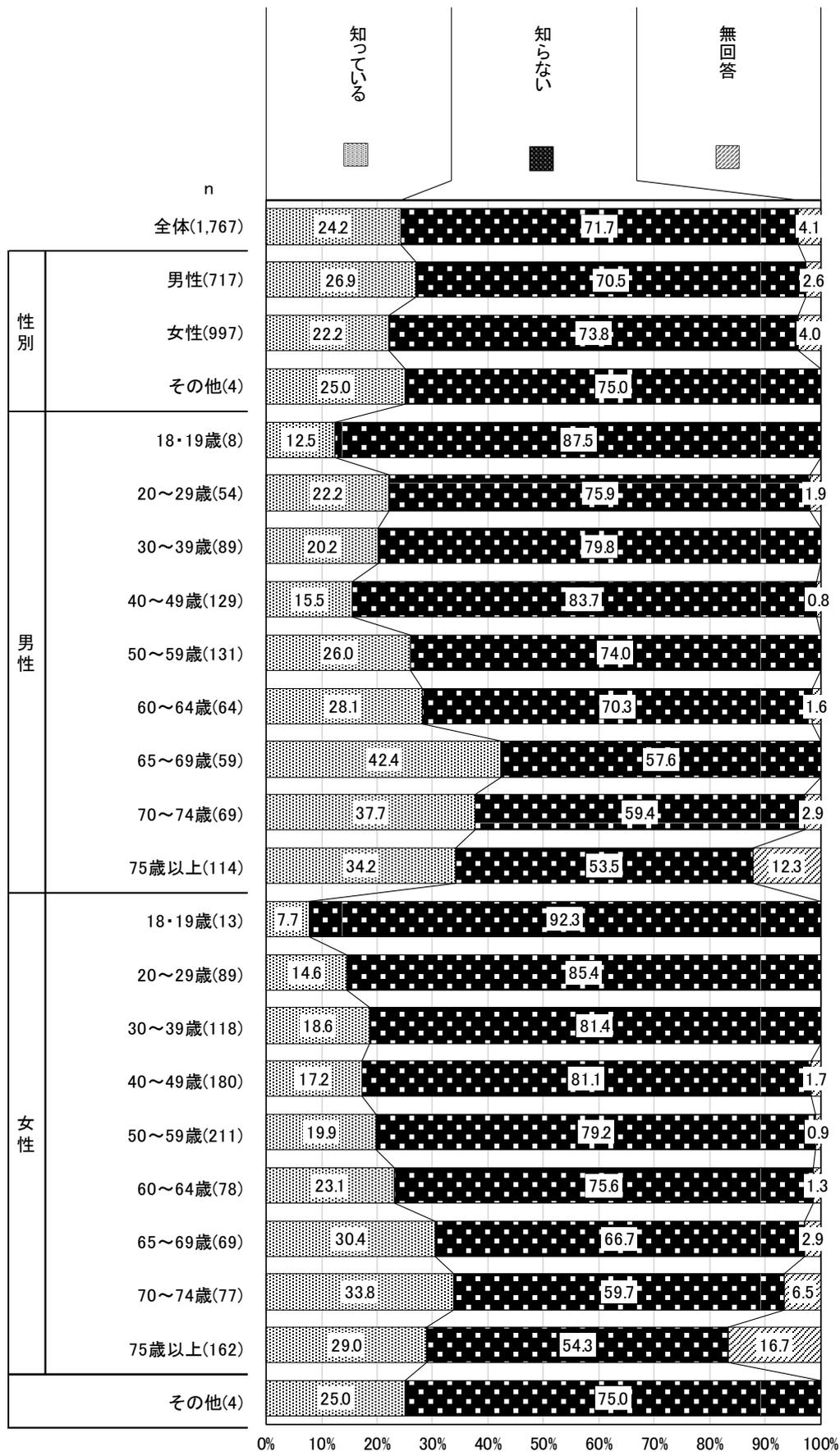


【⑨ 道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、良好な住環境を整える土地区画整理事業を区内の約1/3で実施している。／性・年齢別】

「知っている」は男性が26.9%と、女性(22.2%)を4.7ポイント上回っている。また、男性-65～69歳(42.4%)のみ4割を超えて高くなっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「知らない」が「知っている」を上回っている。(図表14-18)

＜図表 14-18＞⑨ 道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、良好な住環境を整える土地区画整理事業を区内の約1/3で実施している。／性・年齢別

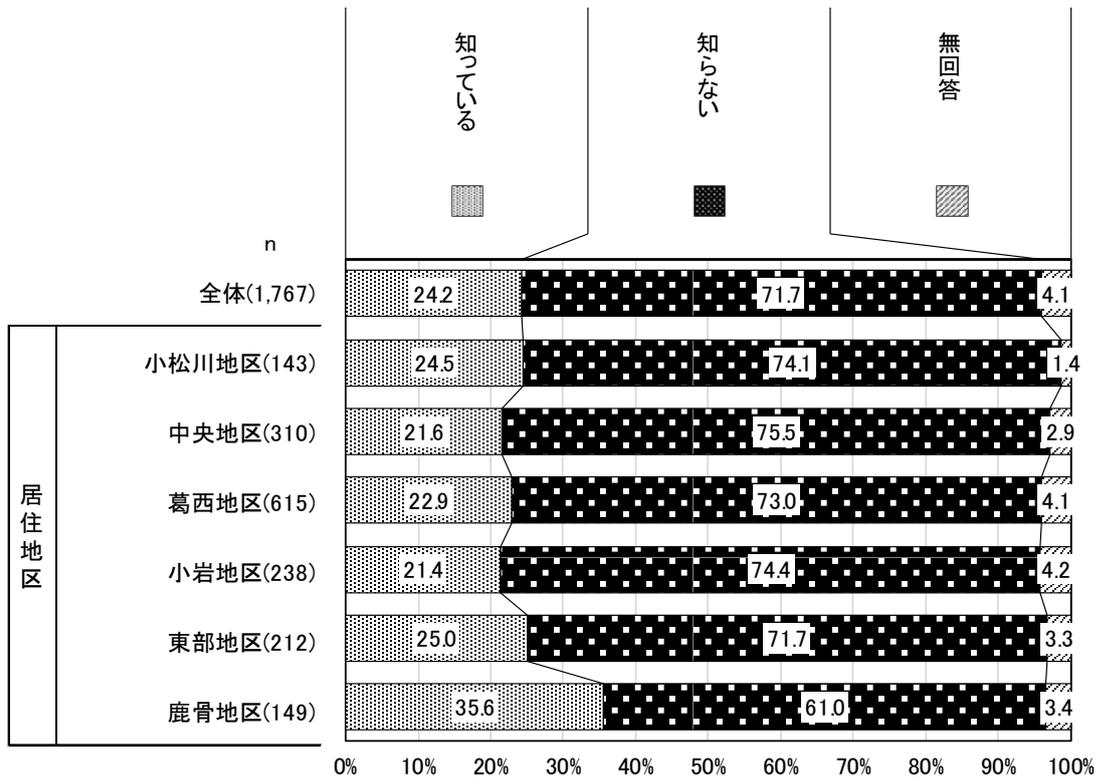


【⑨ 道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、良好な住環境を整える土地区画整理事業を区内の約1/3で実施している。／居住地区別】

「知っている」は鹿骨地区(35.6%)のみが3割を超えて高くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-19)

＜図表 14-19＞⑨ 道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、良好な住環境を整える土地区画整理事業を区内の約1/3で実施している。／居住地区別

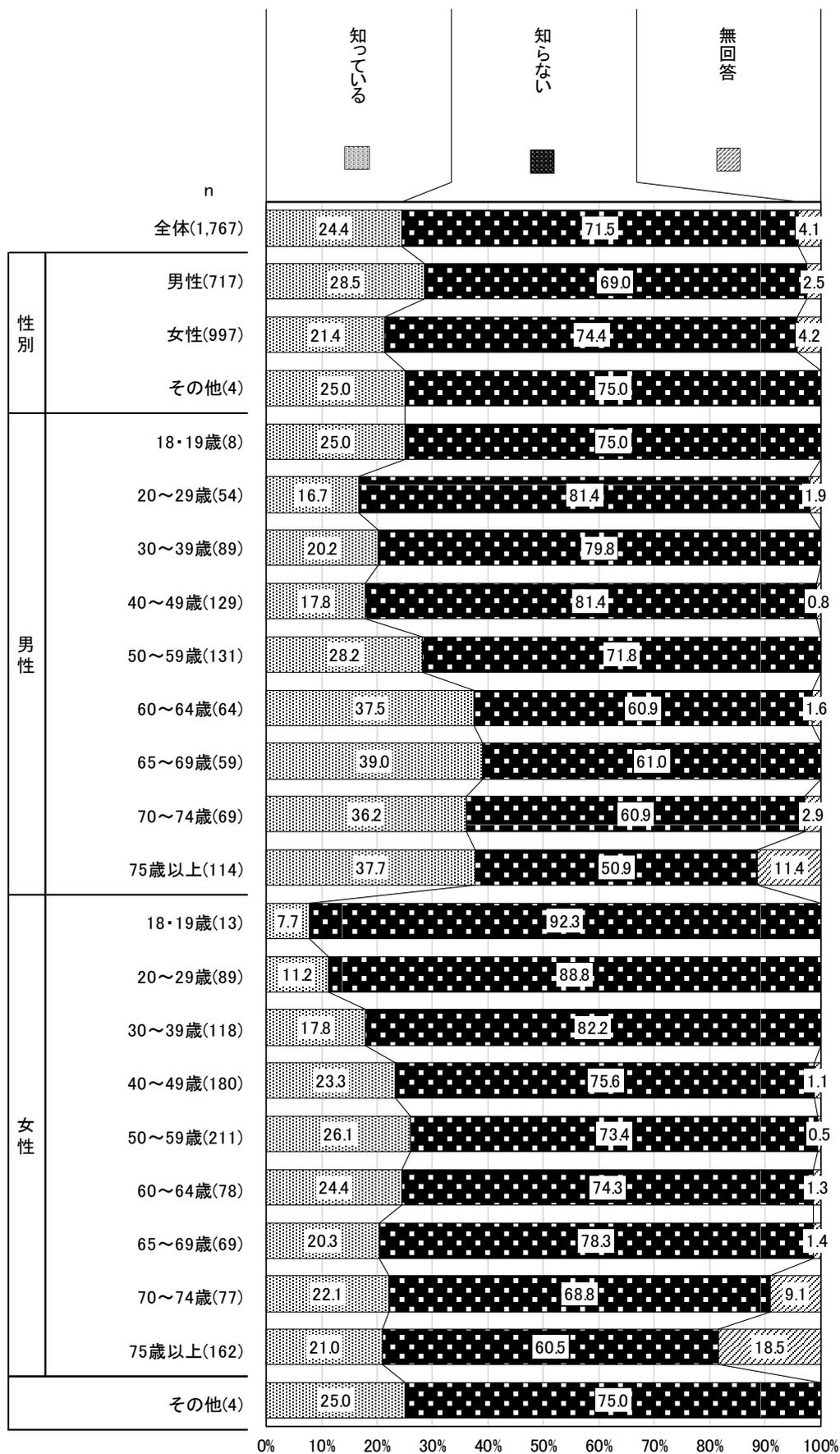


【⑩ 渋滞の解消や災害時の避難路、緊急自動車(消防車、救急車など)の走行路となる都市計画道路の整備をしている。／性・年齢別】

「知っている」は男性が 28.5%と、女性(21.4%)を 7.1 ポイント上回っている。また、男性は 60～64 歳以上で3割台を超えて高くなっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-20)

＜図表 14-20＞⑩ 渋滞の解消や災害時の避難路、緊急自動車(消防車、救急車など)の走行路となる都市計画道路の整備をしている。／性・年齢別

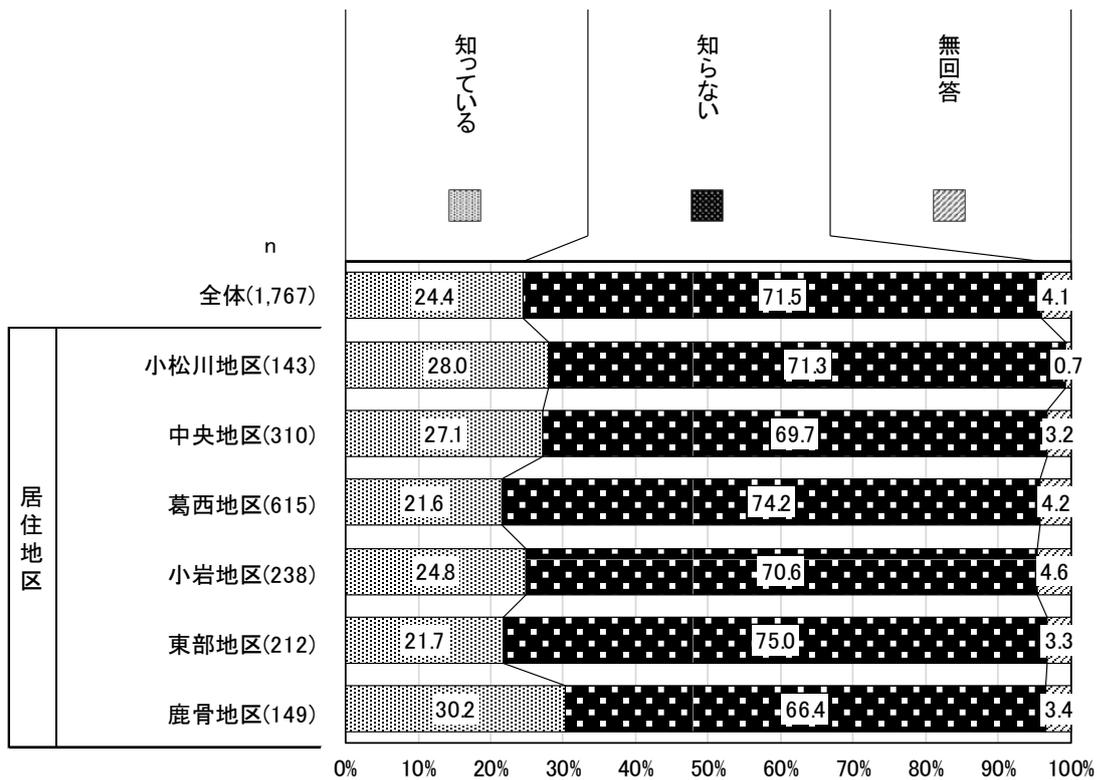


【⑩ 渋滞の解消や災害時の避難路、緊急自動車(消防車、救急車など)の走行路となる都市計画道路の整備をしている。／居住地区別】

「知っている」は鹿骨地区(30.2%)のみが3割を超えて高くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-21)

＜図表 14-21＞⑩ 渋滞の解消や災害時の避難路、緊急自動車(消防車、救急車など)の走行路となる都市計画道路の整備をしている。／居住地区別

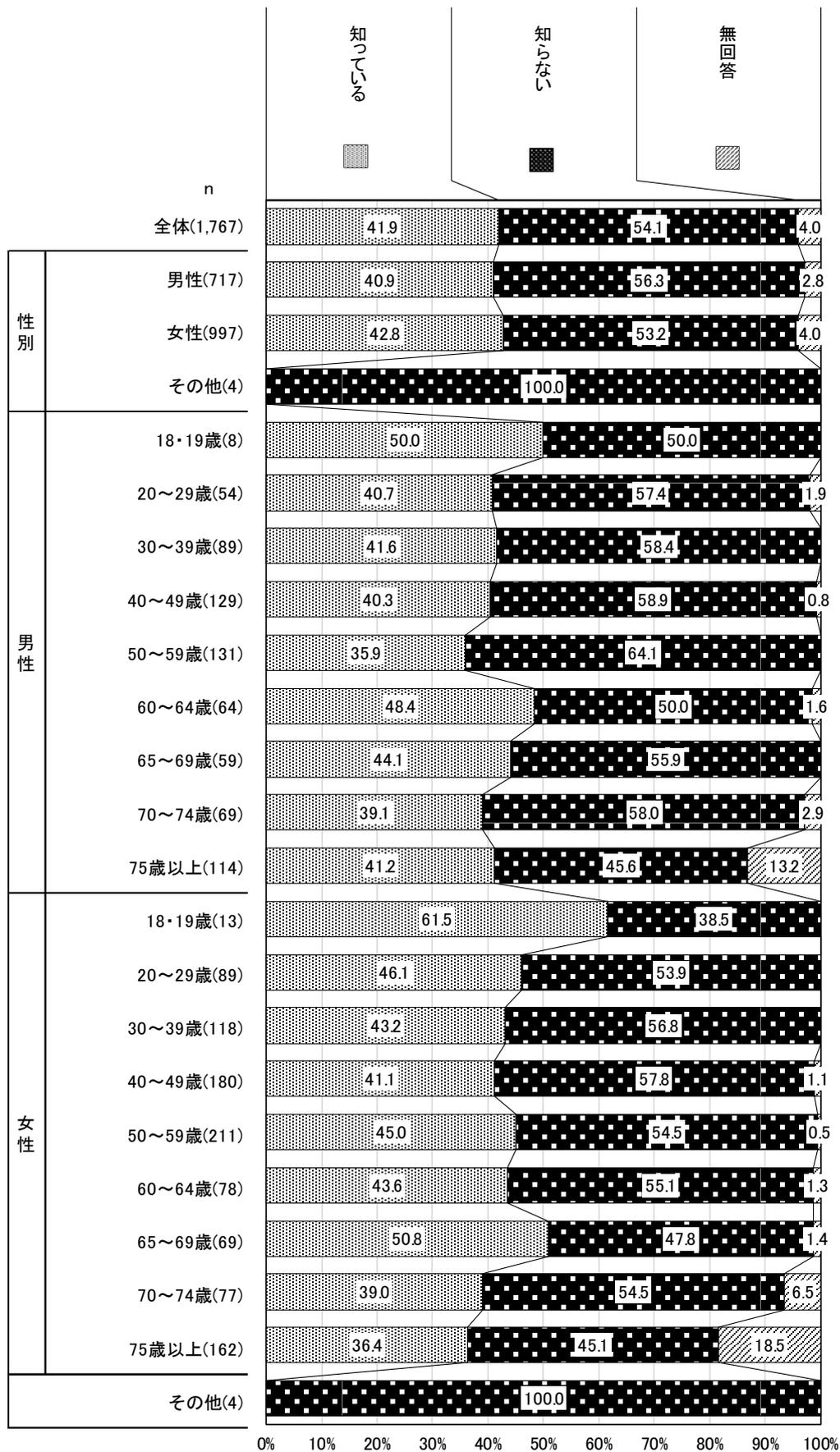


【⑪ 小中学校や保育園、区民館などのすべての公共施設は十分な耐震性を備えている。／性・年齢別】

「知らない」は男性が 56.3%と、女性(53.2%)を 3.1 ポイント上回っている。

女性-65～69 歳は「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。(図表 14-22)

＜図表 14-22＞⑪ 小中学校や保育園、区民館などのすべての公共施設は十分な耐震性を備えている。／性・年齢別

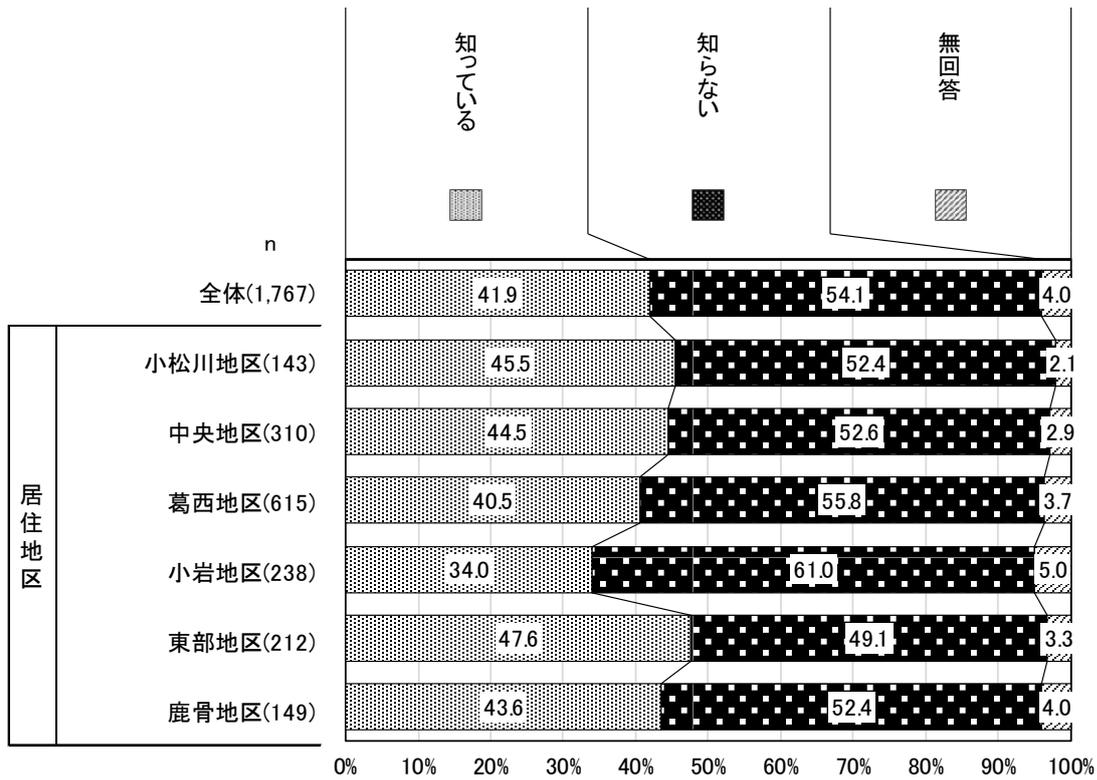


【⑪ 小中学校や保育園、区民館などのすべての公共施設は十分な耐震性を備えている。／居住地区別】

「知っている」は小岩地区(34.0%)のみが3割台と低くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-23)

<図表 14-23> ⑪ 小中学校や保育園、区民館などのすべての公共施設は十分な耐震性を備えている。／居住地区別

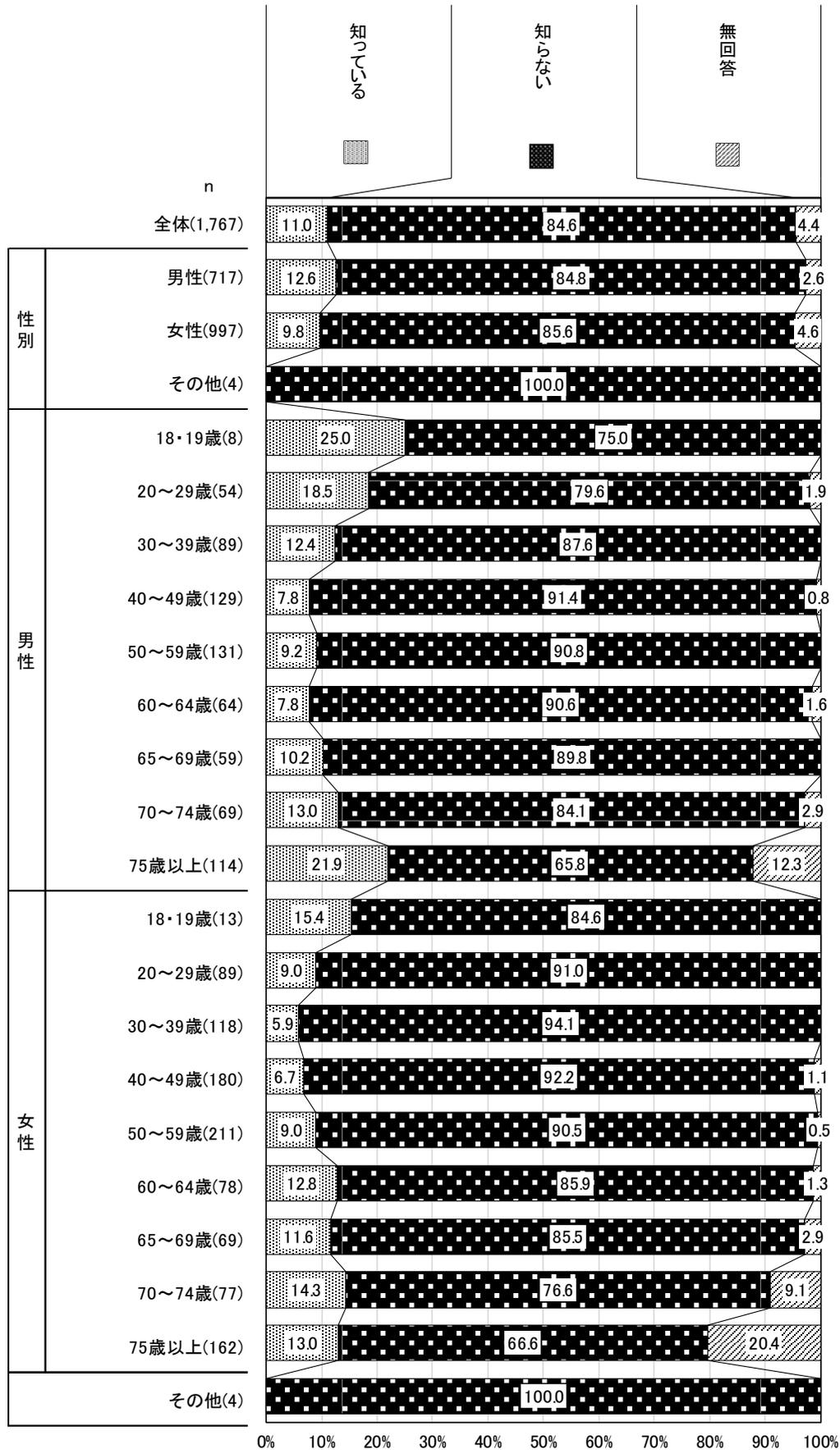


【⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は23区で1位となっている。／性・年齢別】

「知っている」は男性が12.6%と、女性(9.8%)を2.8ポイント上回っている。また、男性は40～49歳から60～64歳で1割未満と低くなっている。女性は20～29歳から50～59歳で1割未満と低くなっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表14-24)

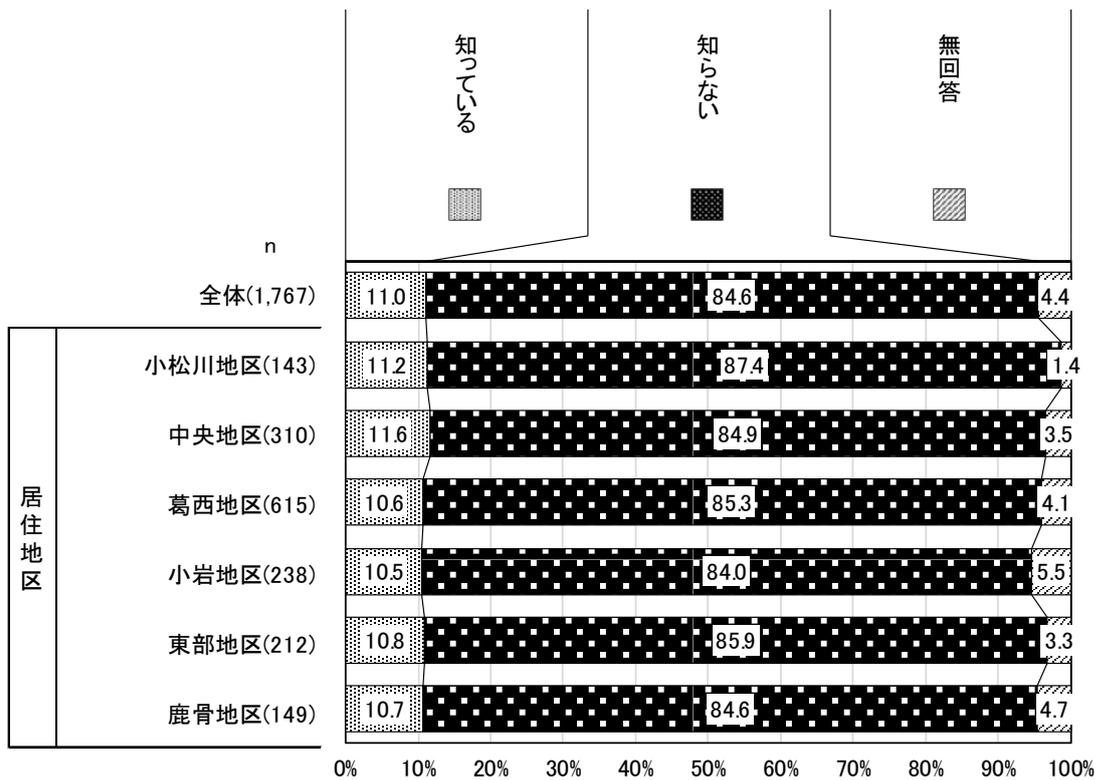
＜図表 14-24＞⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は23区で1位となっている。／性・年齢別



【⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は23区で1位となっている。／居住地区別】

全ての居住地区で「知っている」が1割台、「知らない」が8割台となっており、「知らない」が「知っている」を上回っている。(図表 14-25)

＜図表 14-25＞⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は23区で1位となっている。／居住地区別

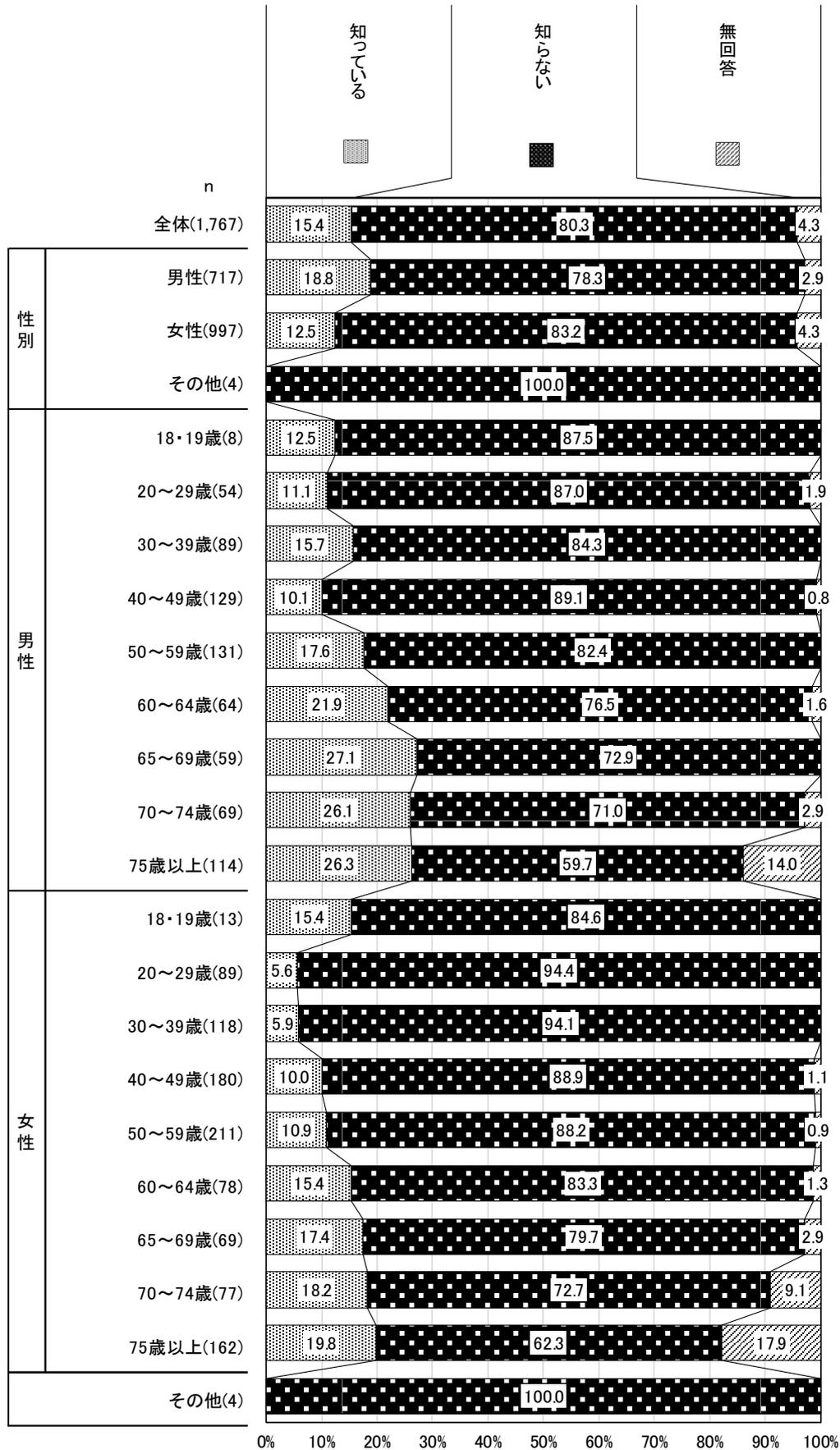


【⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。／性・年齢別】

「知っている」は男性が 18.8%と、女性(12.5%)を 6.3 ポイント上回っている。また、男性-60～64 歳以上で 2割を超えて高くなっている。一方、女性-20～29 歳(5.6%)と女性-30～39 歳(5.9%)は1割未満と低くなっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-26)

＜図表 14-26＞⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。／性・年齢別

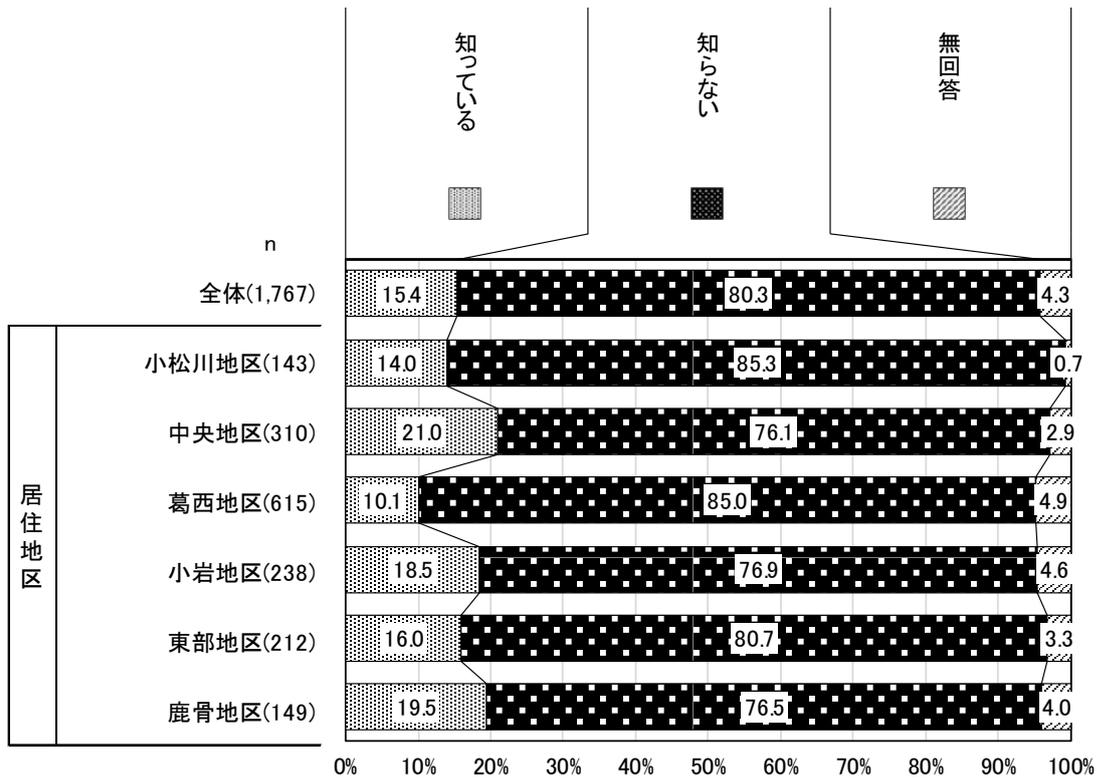


【⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。／居住地区別】

「知っている」は中央地区(21.0%)のみが2割を超えて高くなっている。

全ての地区で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。(図表 14-27)

＜図表 14-27＞⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。／居住地区別



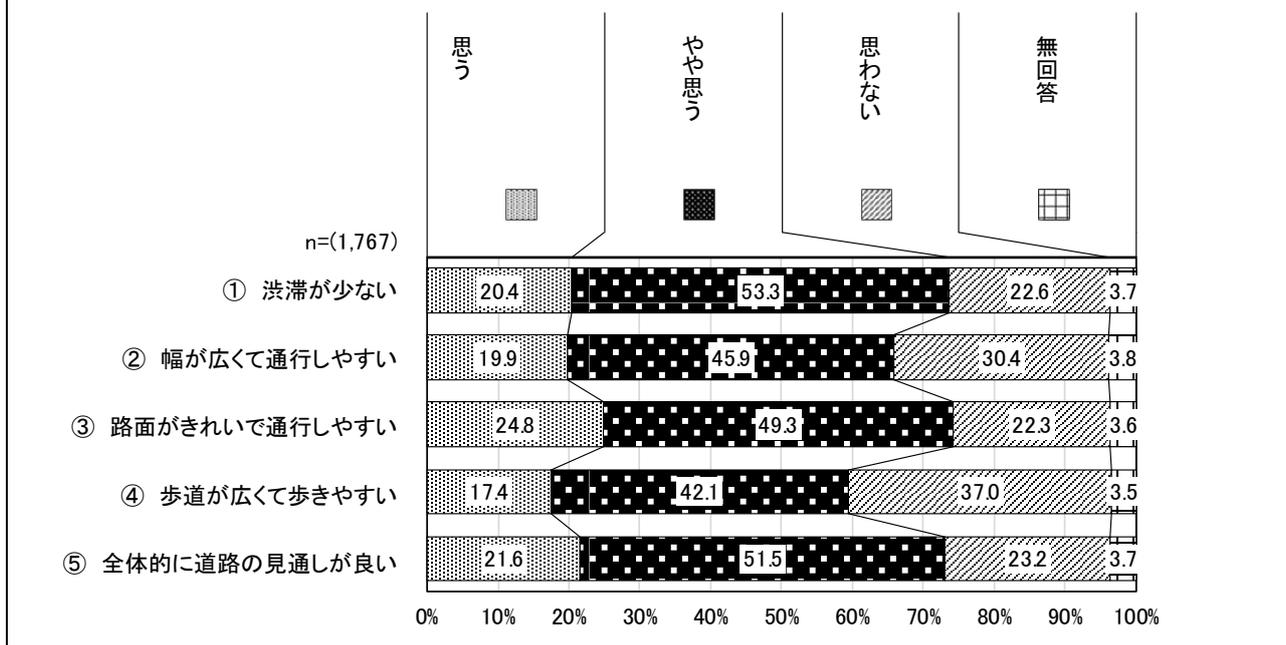
15. 道路について

(1) 区内の道路への印象

◇【① 渋滞が少ない】、【③ 路面がきれいで通行しやすい】、【⑤ 全体的に道路の見通しが良い】の「思う」と「やや思う」の合計が7割台。

問27 区内の都市計画道路は整備率が79%となり、移動しやすい道路のネットワークが整ってきています。あなたは、区内の道路について、どのような印象がありますか。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表 15-1> 区内の道路への印象



「思う」は【③ 路面がきれいで通行しやすい】(24.8%)、【⑤ 全体的に道路の見通しが良い】(21.6%)、【① 渋滞が少ない】(20.4%)の順に高くなっている。

「思わない」は【④ 歩道が広くて歩きやすい】(37.0%)、【② 幅が広くて通行しやすい】(30.4%)が3割を超えて高くなっている。

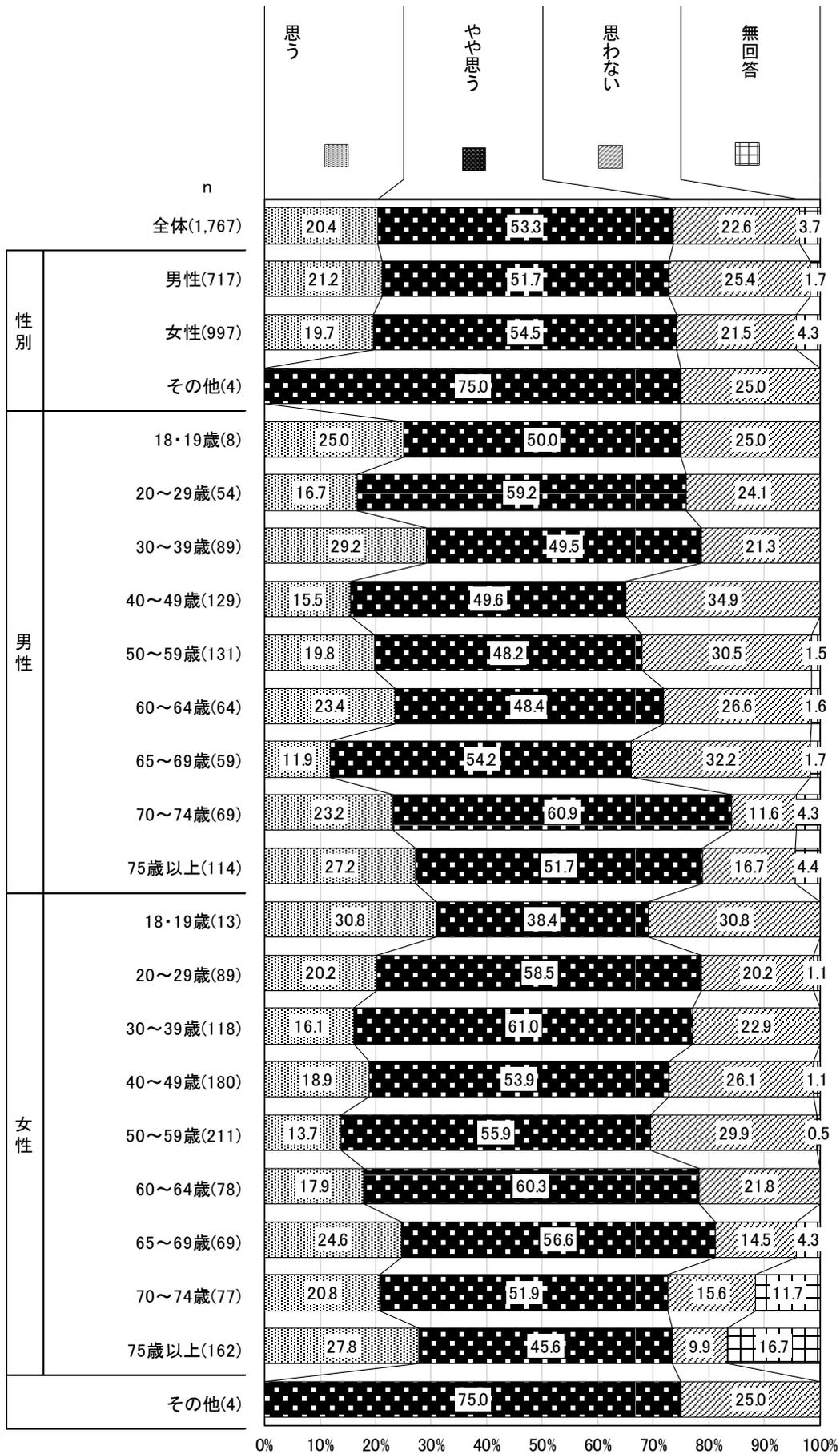
【③ 路面がきれいで通行しやすい】のみ「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-1)

【① 渋滞が少ない】／性・年齢別

「思わない」は男性が25.4%と、女性(21.5%)を3.9ポイント上回っている。

男性は、30～39歳と70～74歳以上で「思う」が「思わない」を上回っている。女性は、65～69歳以上で「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-2)

<図表 15-2>① 渋滞が少ない／性・年齢別

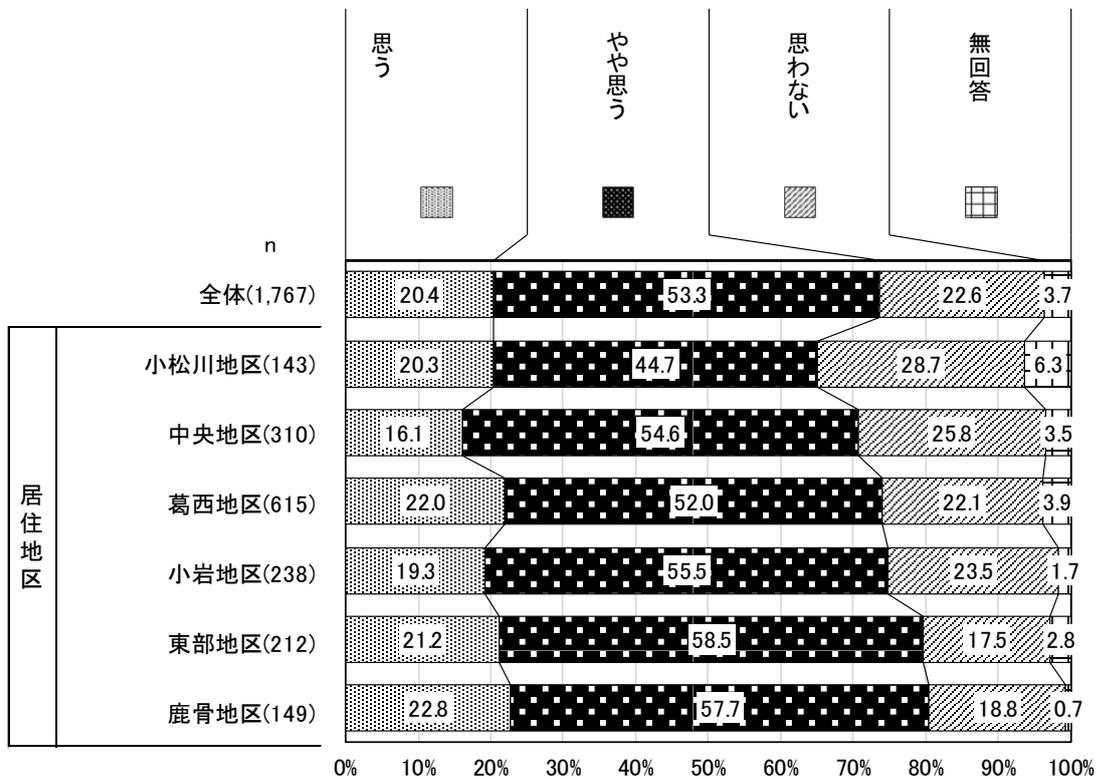


【① 渋滞が少ない／居住地区別】

「思わない」は小松川地区で28.7%と最も高くなっている。

東部地区と鹿骨地区で「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-3)

<図表 15-3>① 渋滞が少ない／居住地区別

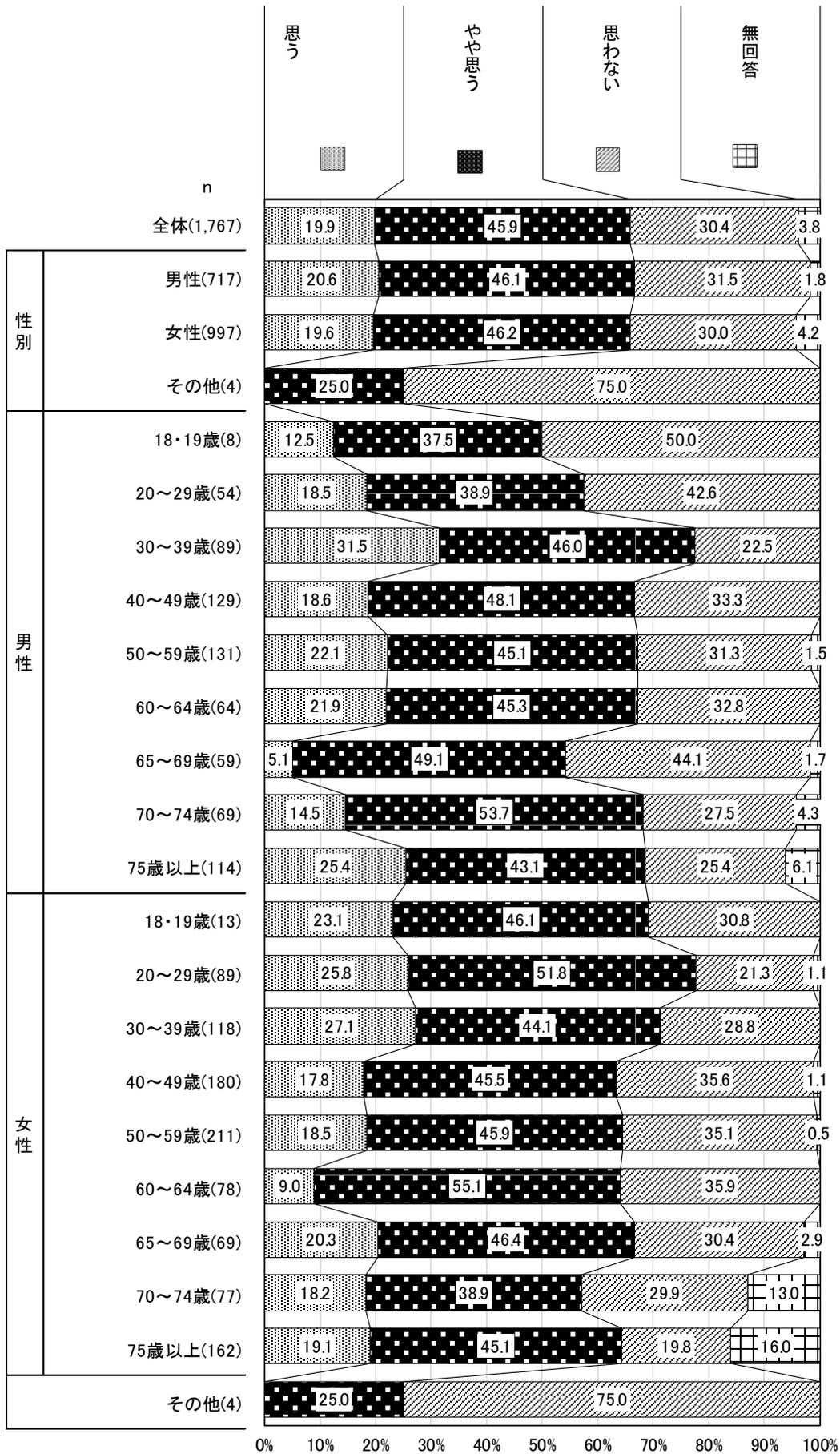


【② 幅が広くて通行しやすい／性・年齢別】

「思わない」は男性が31.5%と、女性(30.0%)を1.5ポイント上回っている。

男性は、30～39歳のみ「思う」が「思わない」を上回っている。女性は、20～29歳で「思う」が「思わない」を上回っている。(図表15-4)

<図表 15-4>② 幅が広くて通行しやすい／性・年齢別

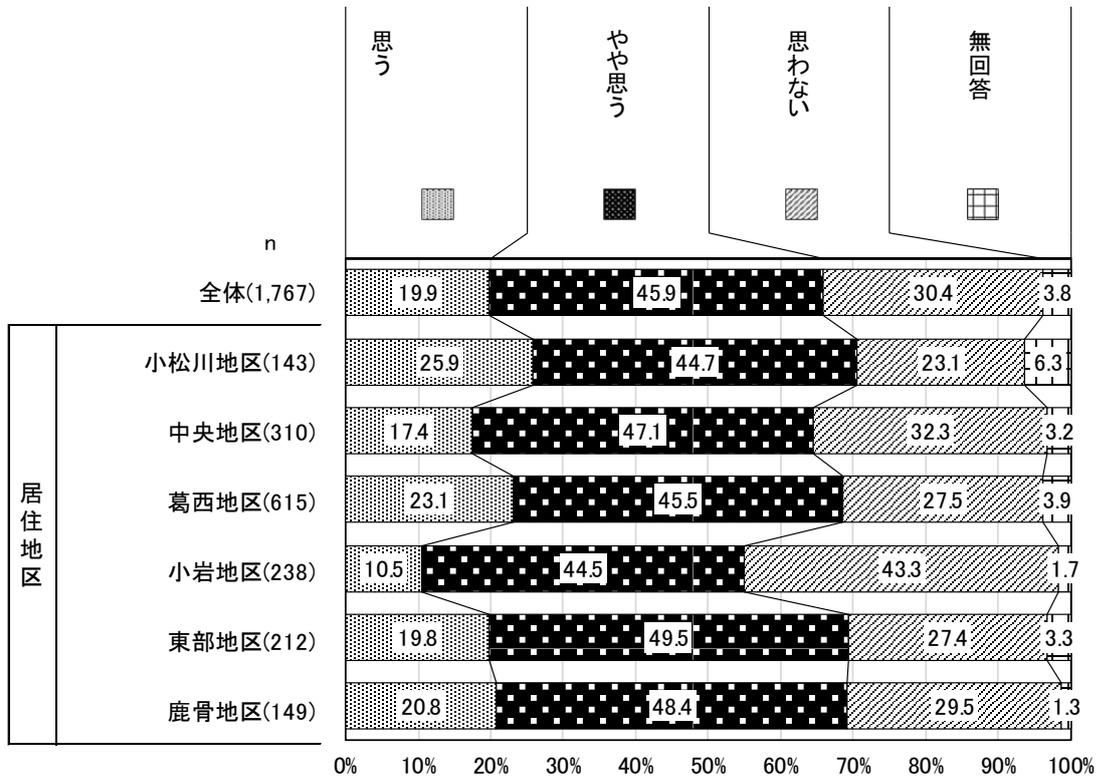


【② 幅が広くて通行しやすい／居住地区別】

「思わない」は小岩地区(43.3%)のみ4割を超えて高くなっている。

小松川地区のみ「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-5)

<図表 15-5>② 幅が広くて通行しやすい／居住地区別

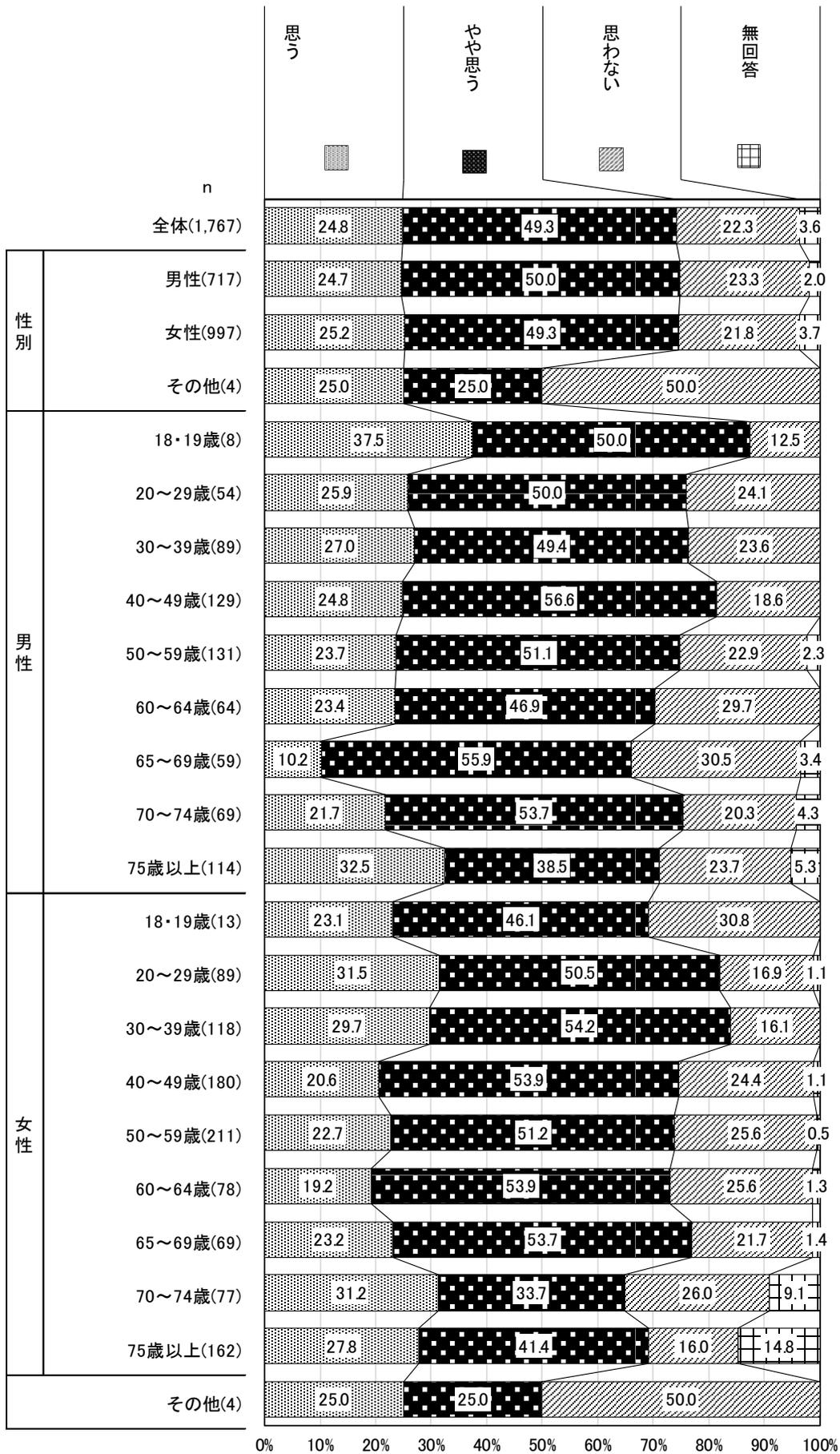


【③ 路面がきれいで通行しやすい／性・年齢別】

「思わない」は男性が 23.3%と、女性(21.8%)を 1.5 ポイント上回っている。

男性は、60～64 歳から 65～69 歳を除いて「思う」が「思わない」を上回っている。女性は、20～29 歳から 30～39 歳と 65～69 歳以上で「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15－6)

<図表 15-6>③ 路面がきれいである／通行しやすい／性・年齢別

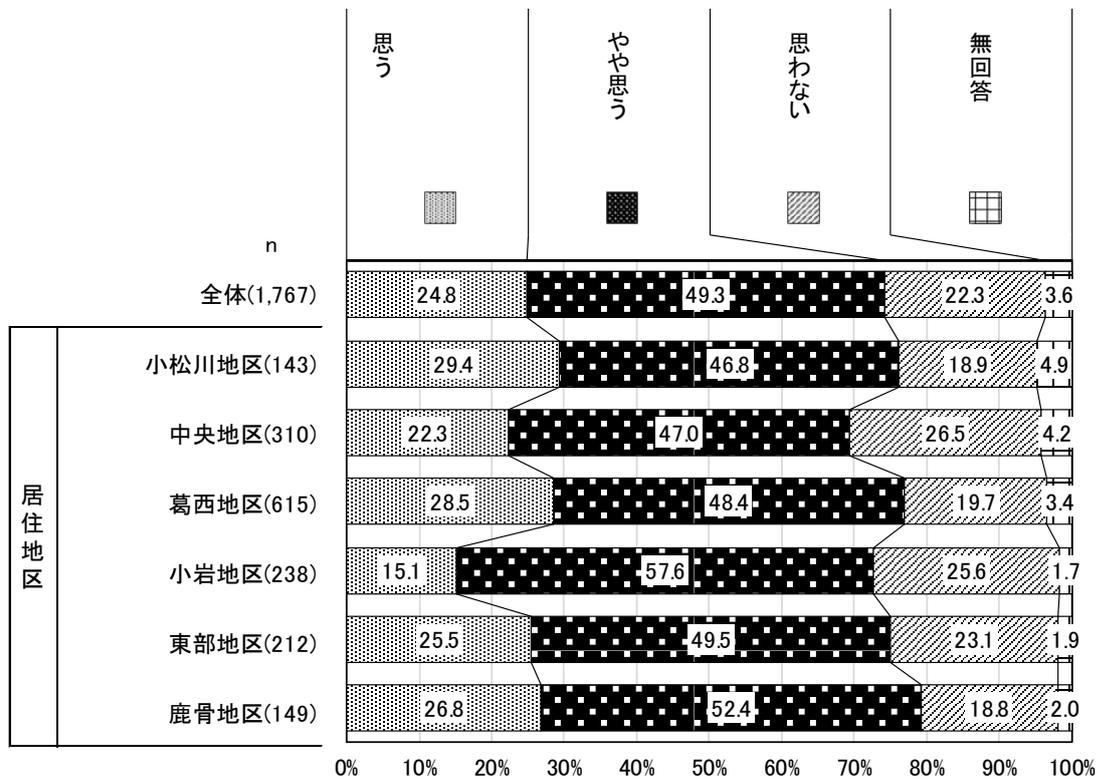


【③ 路面がきれいで通行しやすい／居住地区別】

「思う」は小岩地区(15.1%)のみが1割台と低くなっている。

中央地区と小岩地区を除いて「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-7)

<図表 15-7>③ 路面がきれいで通行しやすい／居住地区別

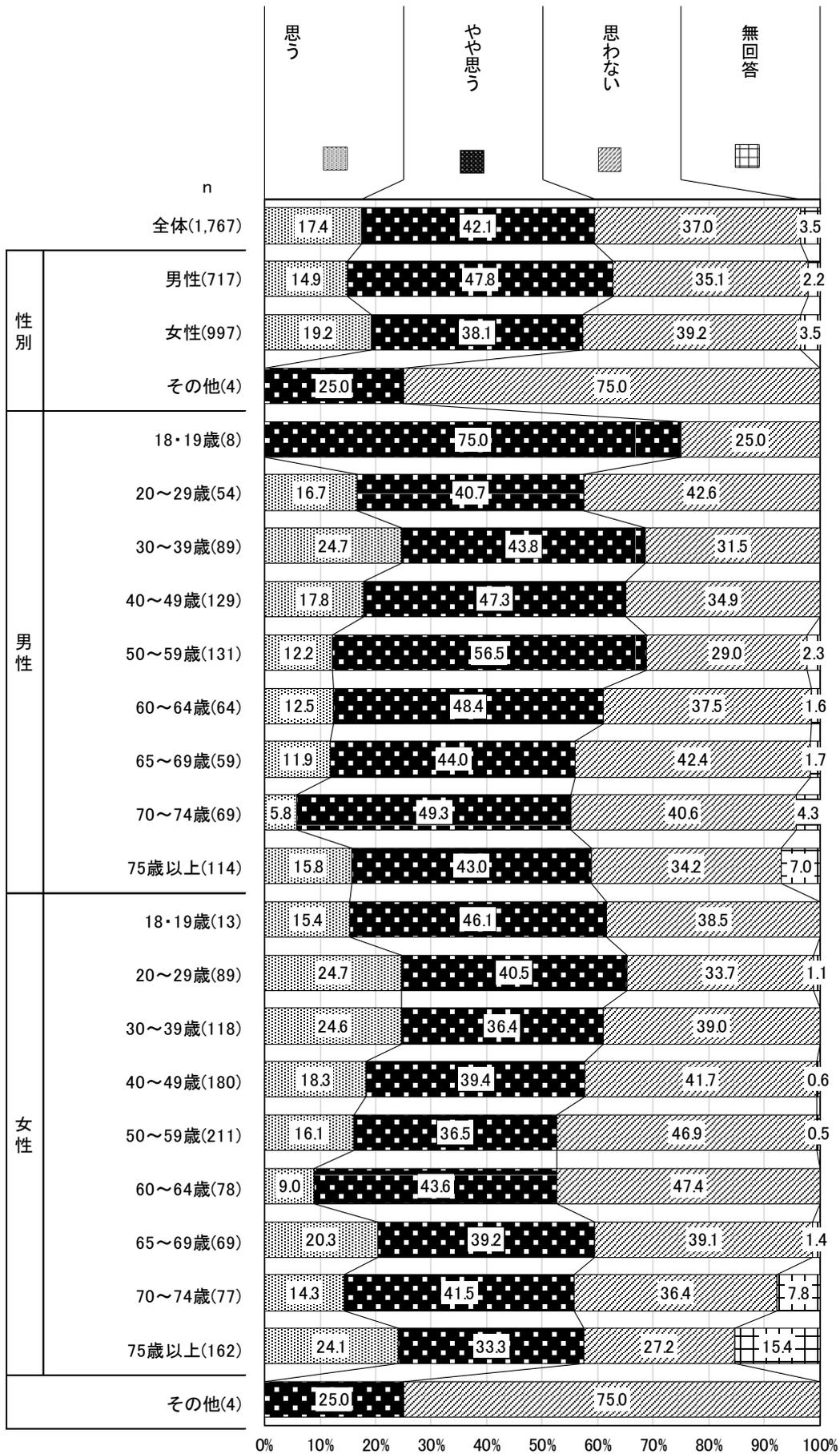


【④ 歩道が広くて歩きやすい／性・年齢別】

「思う」は女性が 19.2%と、男性(14.9%)を 4.3 ポイント上回っている。また、男性-70～74 歳(5.8%)と女性-60～64 歳(9.0%)で1割未満と低くなっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「思わない」が「思う」を上回っている。(図表 15-8)

<図表 15-8>④ 歩道が広くて歩きやすい／性・年齢別

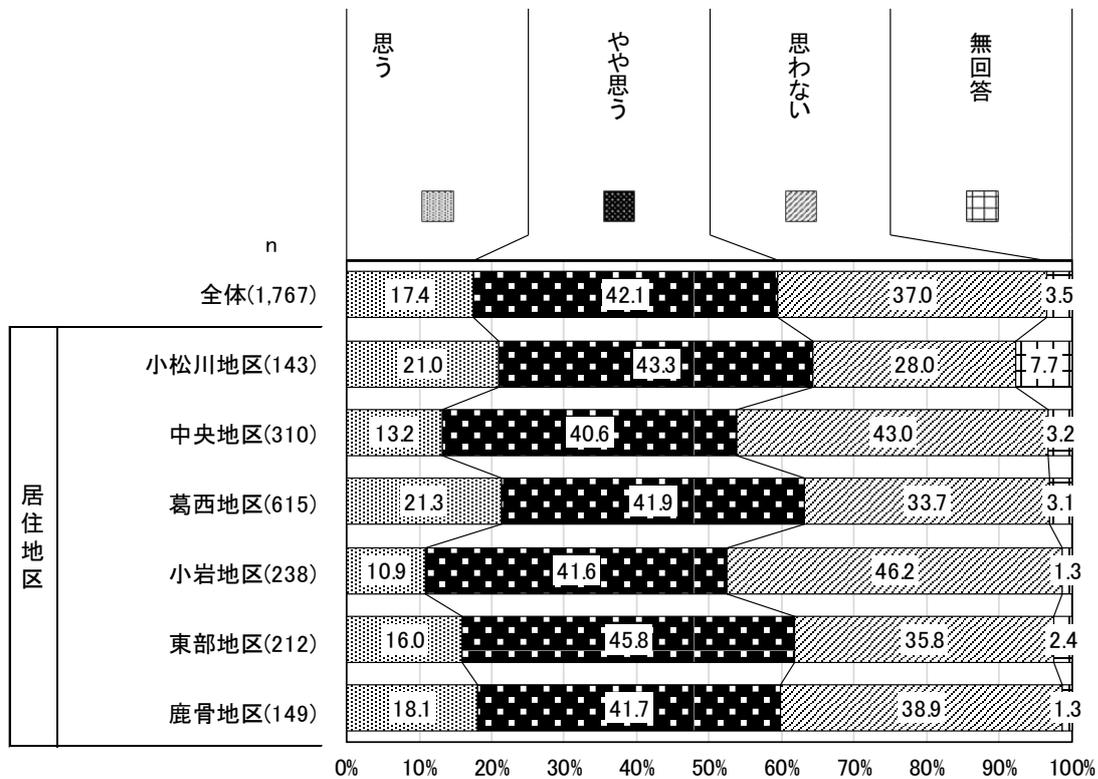


【④ 歩道が広くて歩きやすい／居住地区別】

「思わない」は中央地区(43.0%)と小岩地区(46.2%)で4割を超えて高くなっている。

全ての地区で「思わない」が「思う」を上回っている。(図表 15-9)

<図表 15-9>④ 歩道が広くて歩きやすい／居住地区別

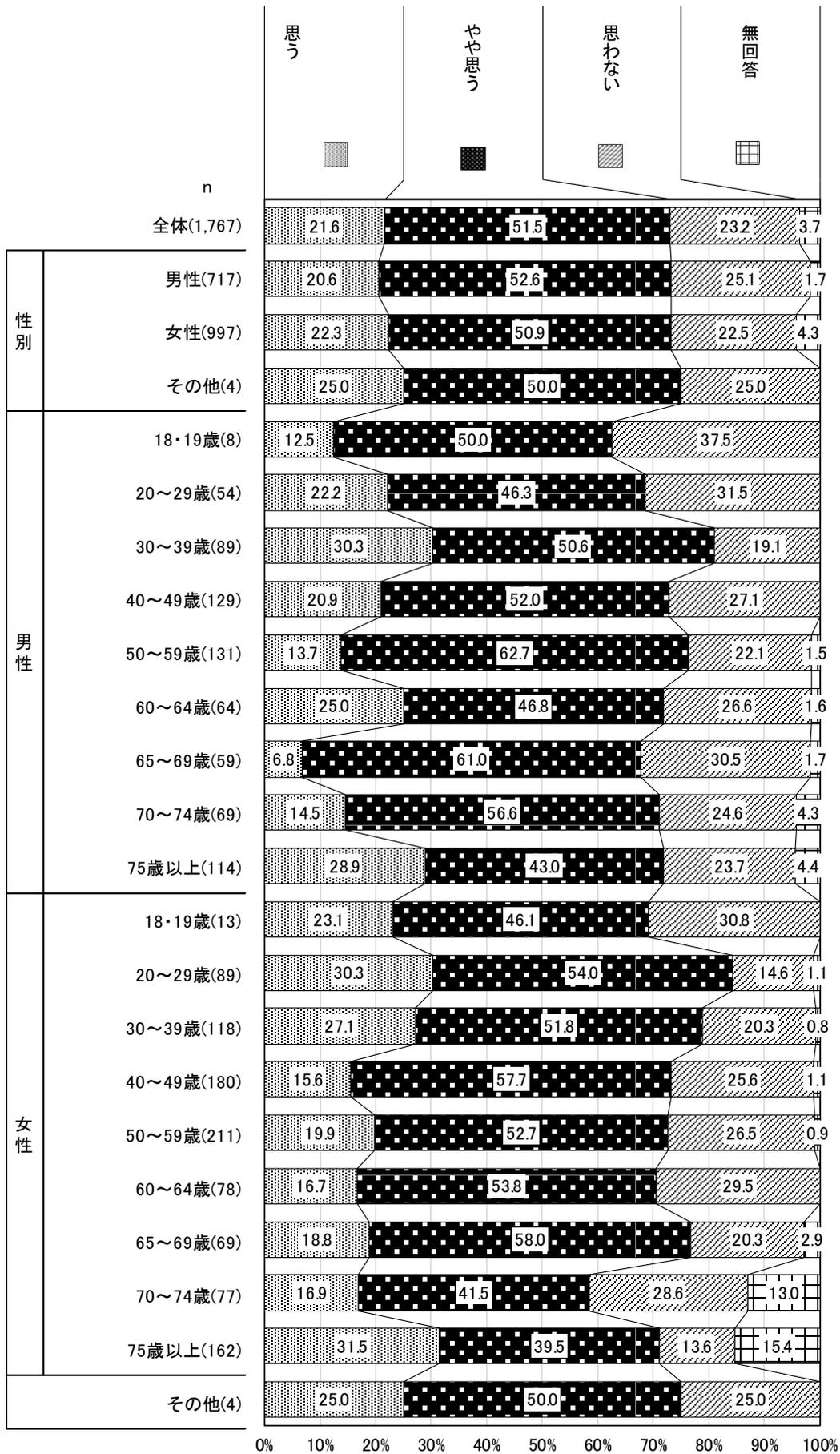


【⑤ 全体的に道路の見通しが良い／性・年齢別】

「思わない」は男性が 25.1%と、女性(22.5%)を 2.6 ポイント上回っている。

男性は、30～39 歳と 75 歳以上で「思う」が「思わない」を上回っている。女性は、20～29 歳と 30～39 歳と 75 歳以上で「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-10)

<図表 15-10>⑤ 全体的に道路の見通しが良い／性・年齢別

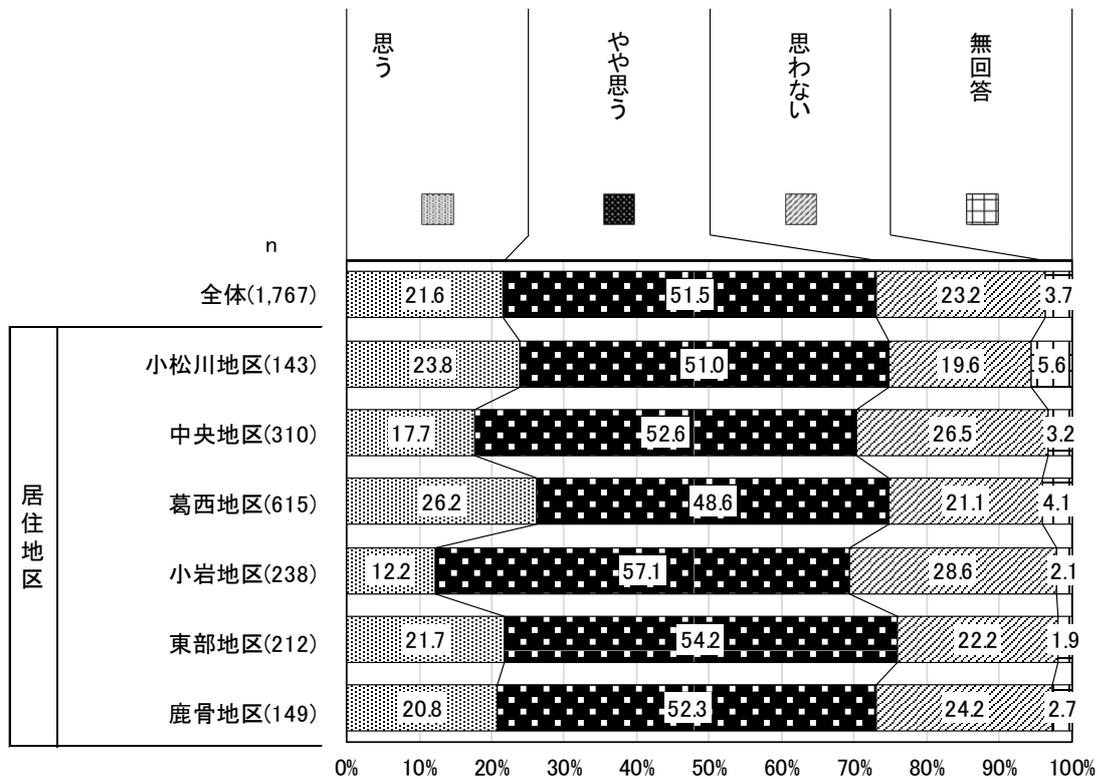


【⑤ 全体的に道路の見通しが良い／居住地区別】

「思う」は中央地区(17.7%)と小岩地区(12.2%)で1割台と低くなっている。

小松川地区と葛西地区で「思う」が「思わない」を上回っている。(図表 15-11)

<図表 15-11>⑤ 全体的に道路の見通しが良い／居住地区別

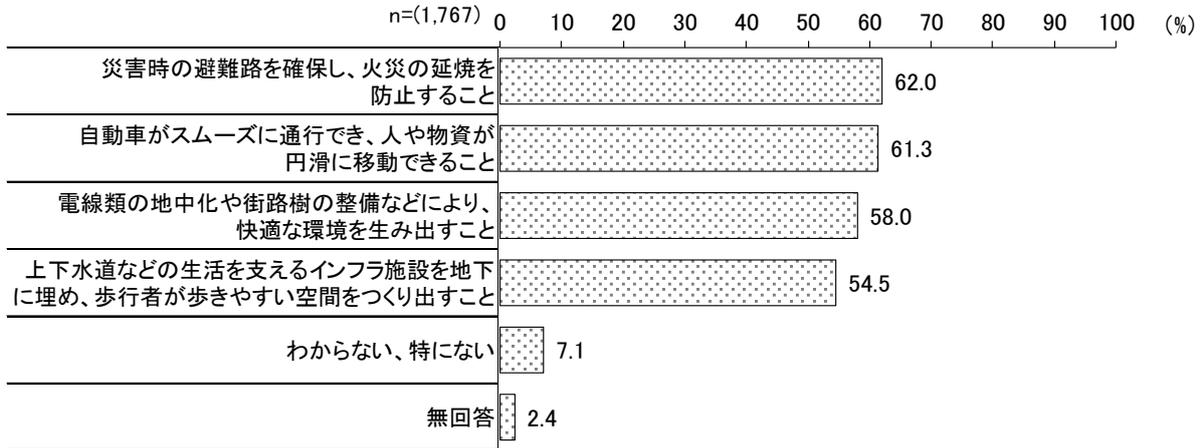


(2) 都市計画道路の機能と役割の中で重要だと思うこと

◇「災害時の避難路を確保し、火災の延焼を防止すること」が62.0%と高い。

問28 区内に整備された都市計画道路の様々な機能と役割の中で、何が重要だと思いますか。

<図表 15-12> 都市計画道路の機能と役割の中で重要だと思うこと



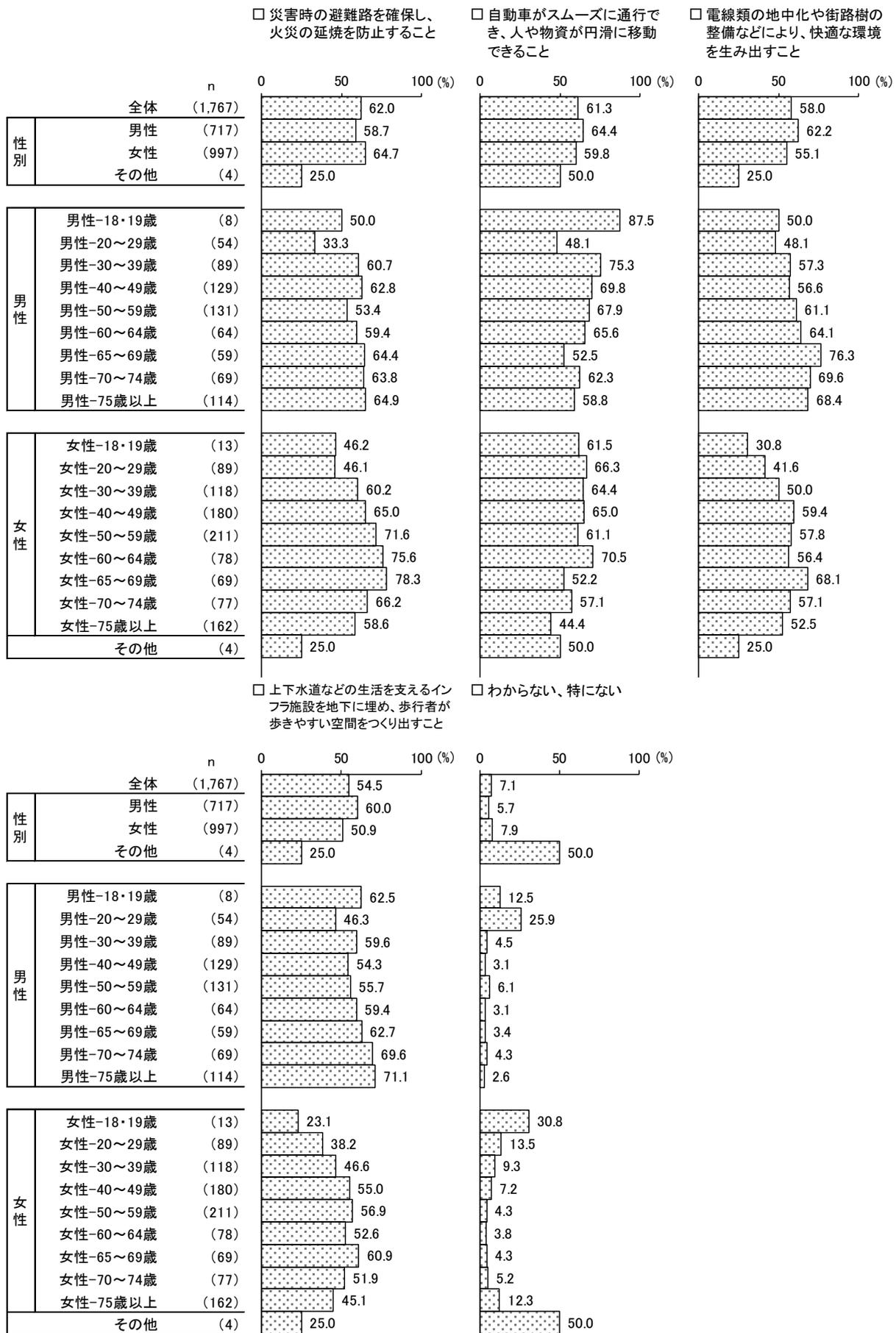
「災害時の避難路を確保し、火災の延焼を防止すること」が 62.0%、「自動車がスムーズに通行でき、人や物資が円滑に移動できること」が61.3%、「電線類の地中化や街路樹の整備などにより、快適な環境を生み出すこと」が 58.0%、「上下水道などの生活を支えるインフラ施設を地下に埋め、歩行者が歩きやすい空間をつくり出すこと」が 54.5%となっている。一方、「わからない、特になし」が 7.1%となっている。(図表 15-12)

【性・年齢別】

「上下水道などの生活を支えるインフラ施設を地下に埋め、歩行者が歩きやすい空間をつくり出すこと」は男性が 60.0%と、女性(50.9%)を 9.1 ポイント上回っている。また、男性-75 歳以上(71.1%)のみが7割を超えて高くなっている。

「災害時の避難路を確保し、火災の延焼を防止すること」は女性-50～59 歳から女性-65～69 歳で7割を超えて高くなっている。(図表 15-13)

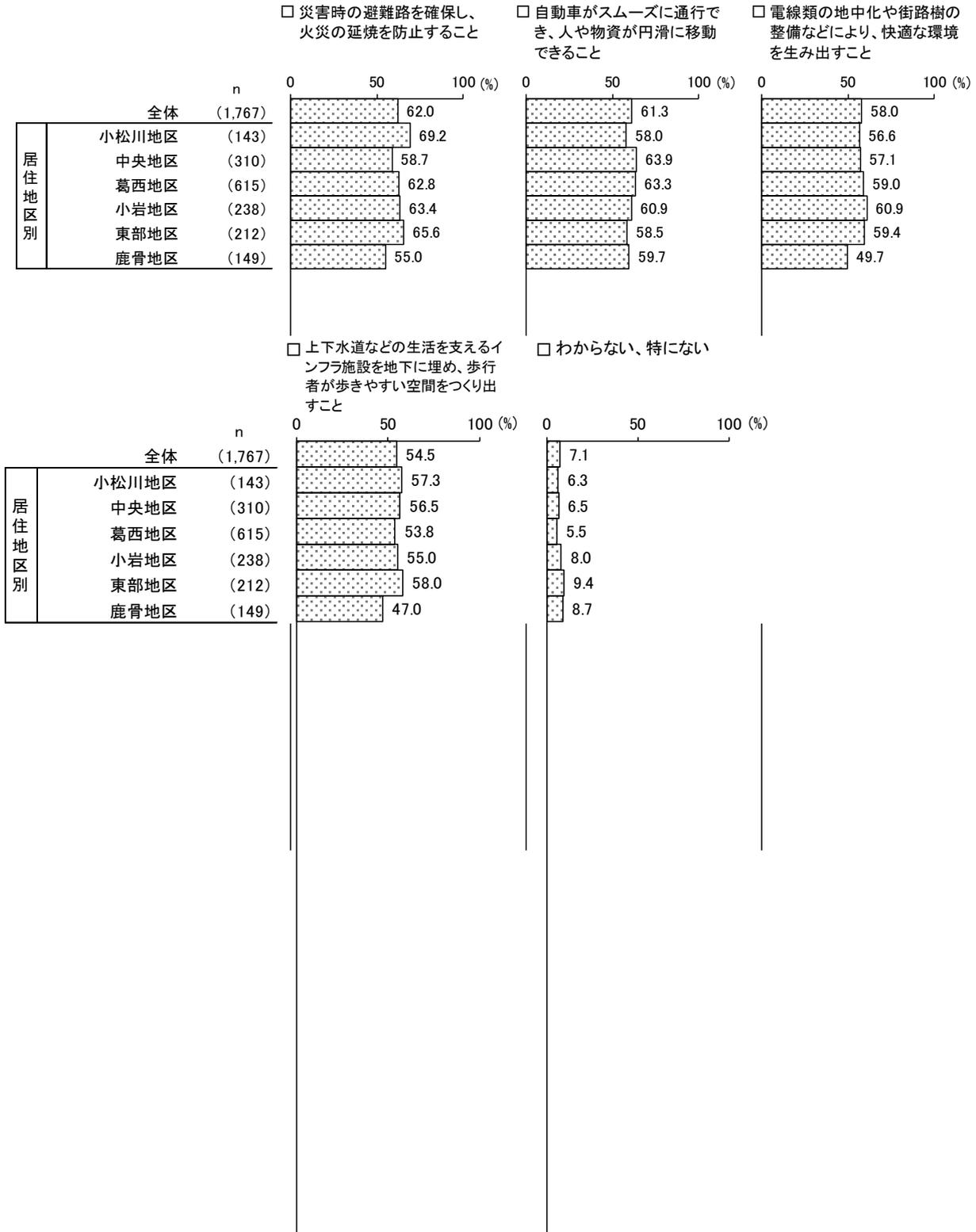
＜図表 15-13＞都市計画道路の機能と役割の中で重要だと思うこと／性・年齢別



【居住地区別】

鹿骨地区のみ「電線類の地中化や街路樹の整備などにより、快適な環境を生み出すこと」(49.7%)と「上下水道などの生活を支えるインフラ施設を地下に埋め、歩行者が歩きやすい空間をつくり出すこと」(47.0%)が4割台と低くなっている。(図表 15-14)

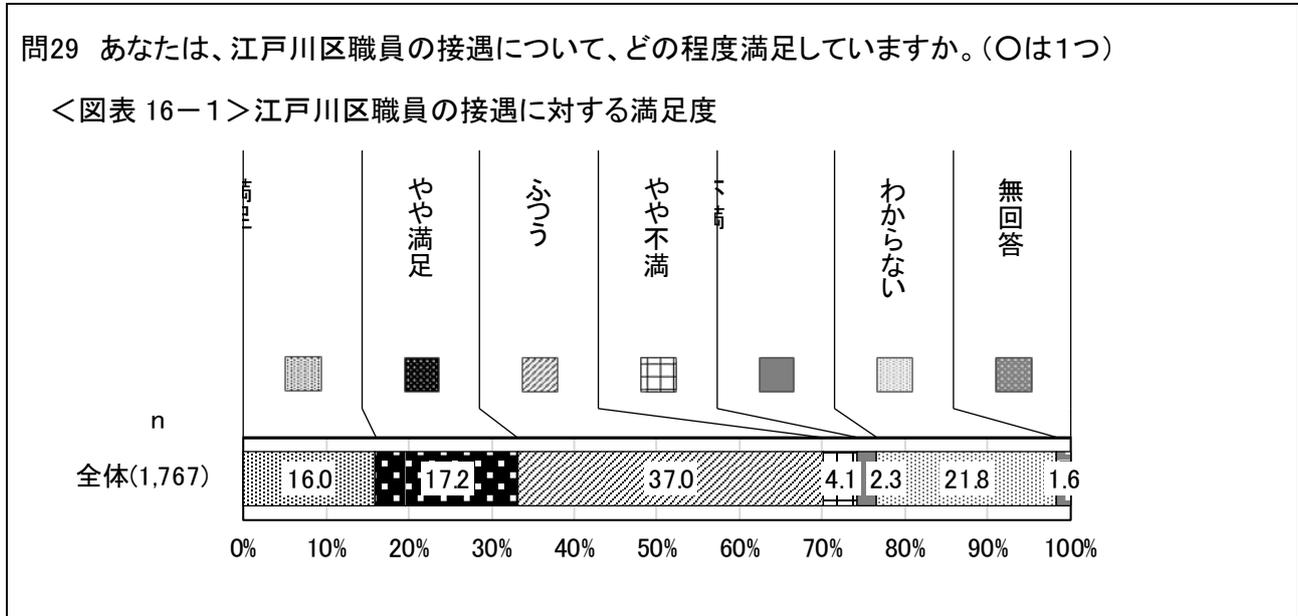
＜図表 15-14＞都市計画道路の機能と役割の中で重要だと思うこと／居住地区別



16. 江戸川区職員の接遇について

(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度

◇「ふつう」が37.0%を占める。

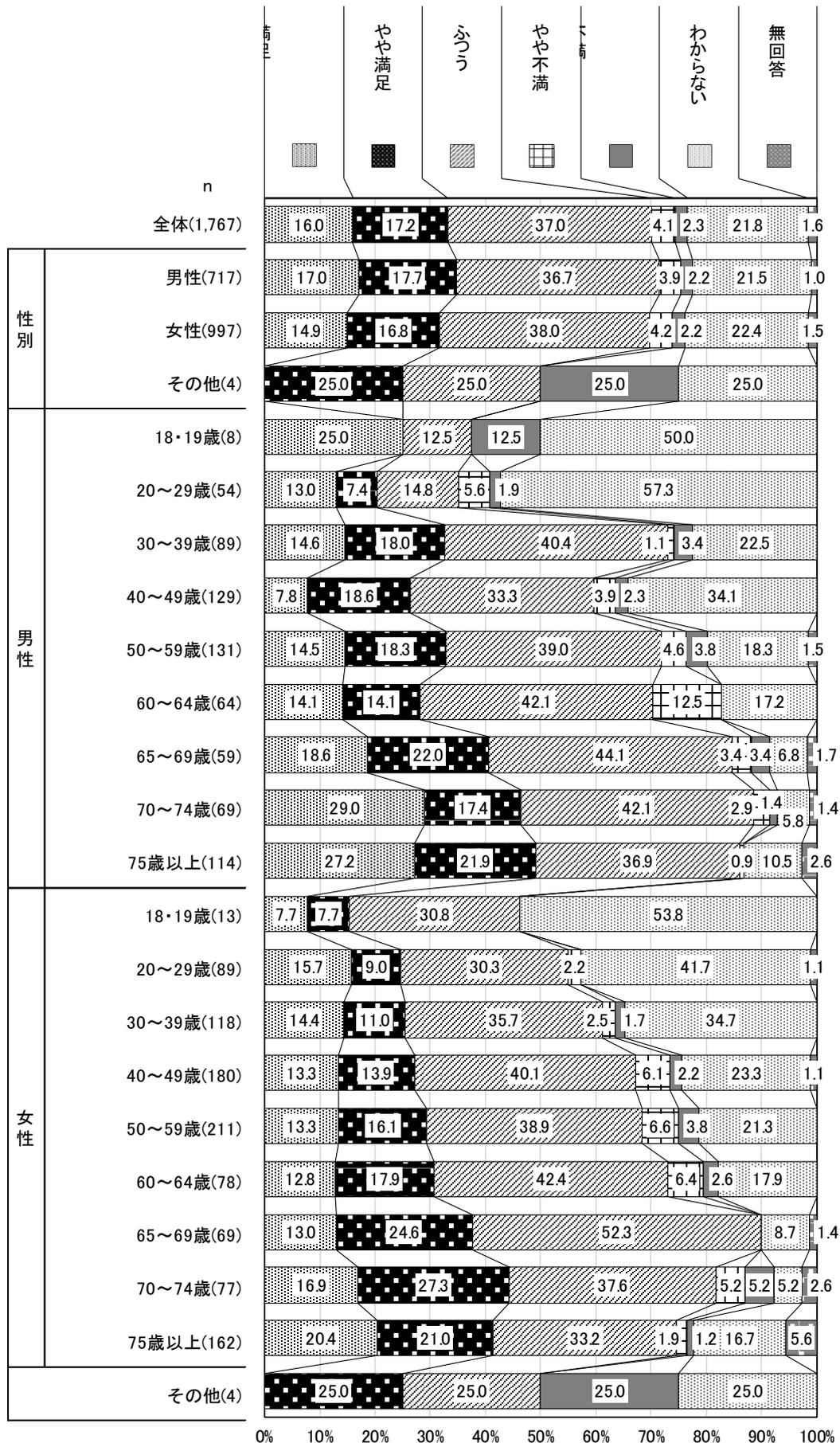


「ふつう」が37.0%と最も高く、次いで「やや満足」が17.2%、「満足」が16.0%、「やや不満」が4.1%となっている。一方、「わからない」が21.8%となっている。(図表 16-1)

【性・年齢別】

「満足」は男性が17.0%と、女性(14.9%)を2.1ポイント上回っている。また、男性-70～74歳(29.0%)と男性-75歳以上(27.2%)と女性-75歳以上(20.4%)と2割を超えて高くなっている。(図表 16-2)

<図表 16-2>江戸川区職員の接遇に対する満足度／性・年齢別



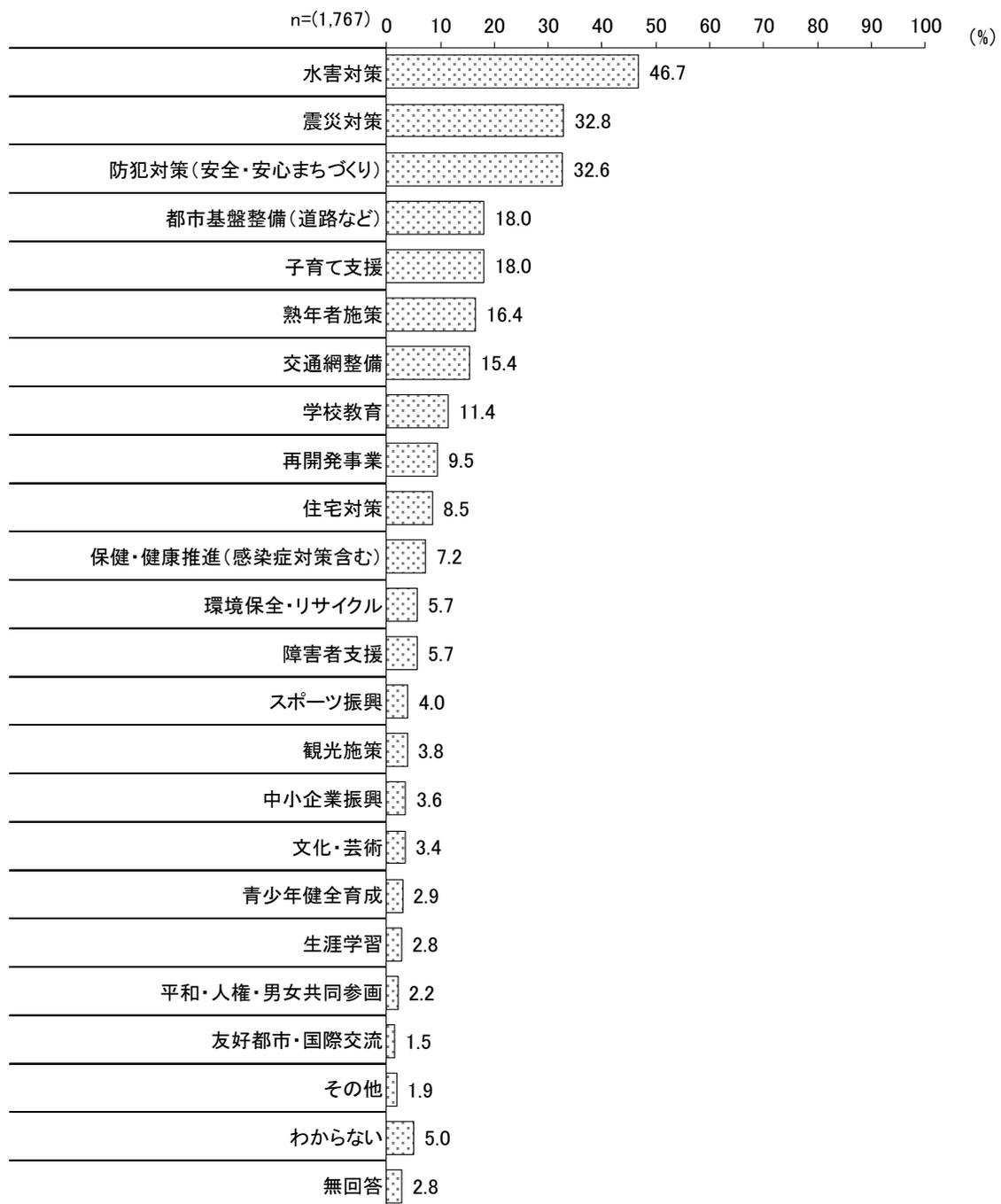
17. 区政への要望について

(1) 今後推進してほしい施策

◇「水害対策」が46.7%と高い。

問30 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

<図表 17-1> 今後推進してほしい施策



「水害対策」が46.7%と最も高く、次いで「震災対策」(32.8%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(32.6%)が3割を超えて高くなっている。(図表 17-1)

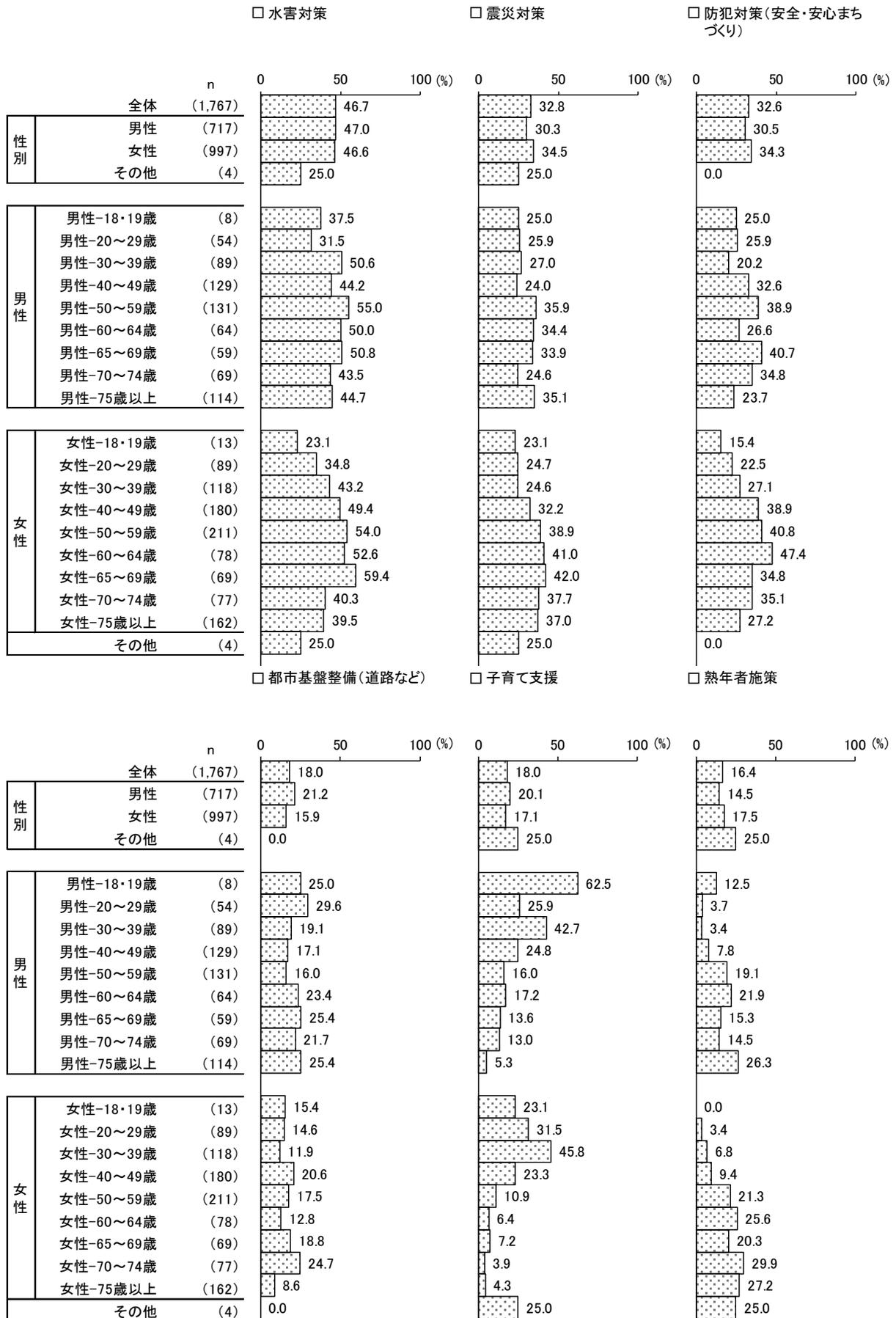
【性・年齢別】

「都市基盤整備(道路など)」は男性が21.2%と、女性(15.9%)を5.3ポイント上回っている。

「子育て支援」は男性・女性ともに30～39歳が4割を超えて高くなっている。

「熟年者施策」は男性・女性ともに20～29歳から40～49歳で1割未満と低くなっている。(図表 17-2)

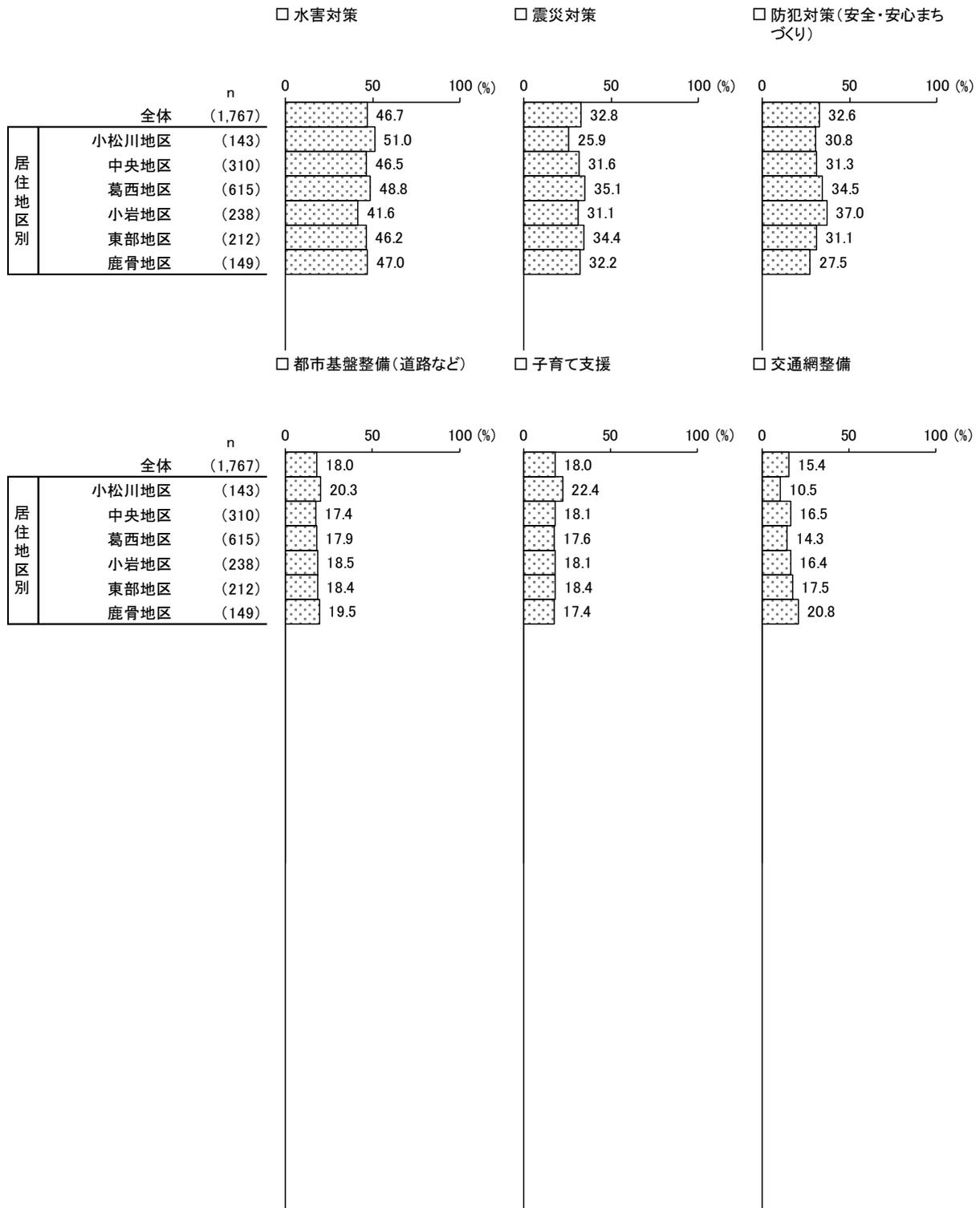
<図表 17-2> 今後推進してほしい施策(上位6項目)／性・年齢別



【居住地区別】

「水害対策」は小松川地区(51.0%)のみが5割を超えて高くなっている。一方、「震災対策」は小松川地区(25.9%)のみが2割台と低くなっている。(図表 17-3)

＜図表 17-3＞今後推進してほしい施策(上位6項目)／居住地区別



【時系列比較】

令和3年と比較すると、1位～3位に変化はない。1位の「水害対策」は 7.4 ポイント、2位の「震災対策」は 6.0 ポイントそれぞれ減少している。一方、3位の「防犯対策(安全・安心まちづくり)」は 0.6 ポイント増加している。(図表 17-4)

<図表 17-4> 今後推進してほしい施策／時系列比較

	1位	2位	3位	4位	5位
令和4年	水害対策 46.7%	震災対策 32.8%	防犯対策(安全・安心まちづくり) 32.6%	都市基盤整備(道路など)・子育て支援 (注)18.0%	
令和3年	水害対策 54.1%	震災対策 38.8%	防犯対策(安全・安心まちづくり) 32.0%	交通網整備 17.0%	都市基盤整備(道路など) 16.9%
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策(安全・安心まちづくり) 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策(安全・安心まちづくり) 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策(安全・安心まちづくり) 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策(安全・安心まちづくり) 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策(安全・安心まちづくり) 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策(安全・安心まちづくり) 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策(安全・安心まちづくり) 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

(注) 令和4年は「都市基盤整備(道路など)」「子育て支援」が同率4位となっている。

※平成18年「防災対策」(3位)→平成20年「災害対策」(2位)→平成22年から「震災対策」と「水害対策」に分割。

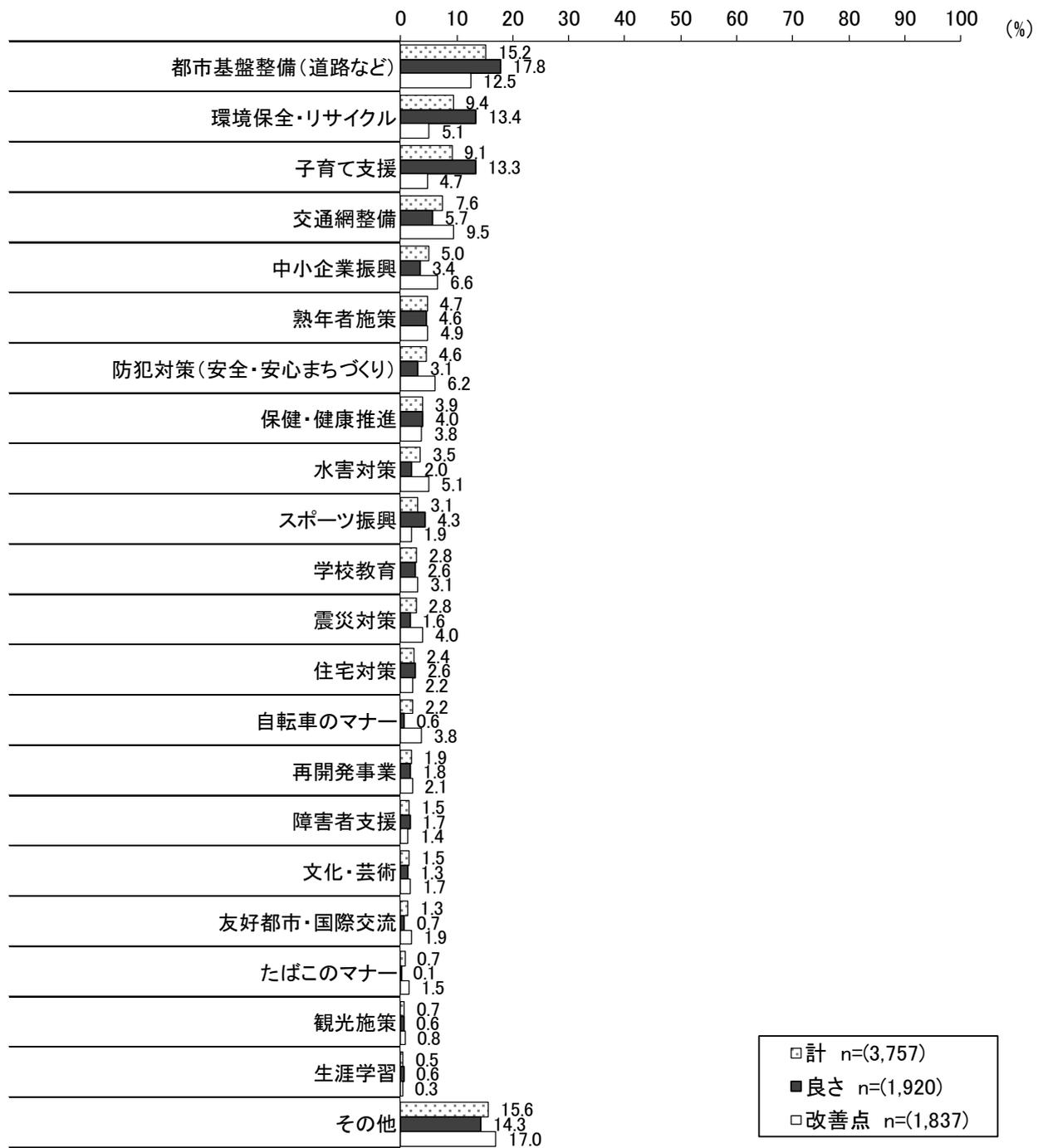
※平成18～20年は「子育て対策」→平成22年から「子育て支援」に変更。

18. 自由記述

(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと

問31 あなたが、江戸川区で暮らしている中で、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 18-1> 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと



(注) 構成比は総件数に対する比率。「改善点」は「改善してほしいこと」を省略する形で表記している。

江戸川区の「良さ」または「改善してほしいこと」について、自由回答形式で求めた。

江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「都市基盤整備(道路など)」(15.2%)、「環境保全・リサイクル」(9.4%)、「子育て支援」(9.1%)の順に高くなっている。

「良さ」では、「都市基盤整備(道路など)」(17.8%)、「環境保全・リサイクル」(13.4%)、「子育て支援」(13.3%)の順に高くなっている。

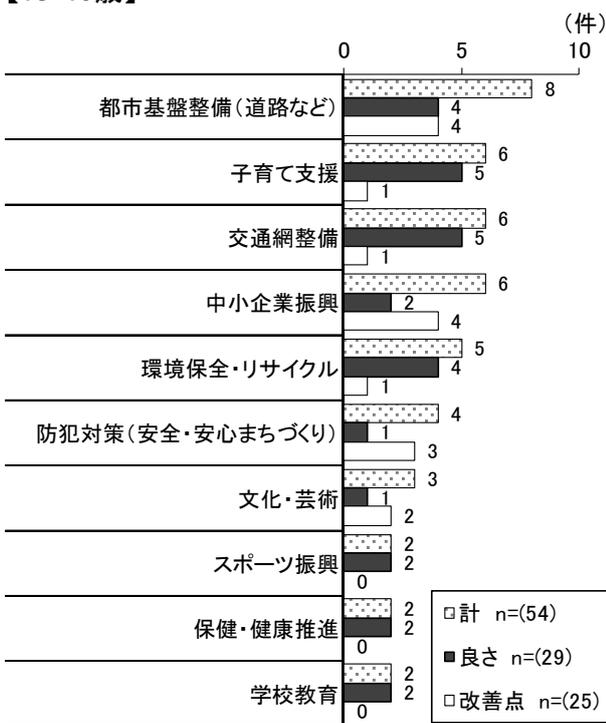
「改善してほしいこと」では、「都市基盤整備(道路など)」(12.5%)、「交通網整備」(9.5%)、「中小企業振興」(6.6%)の順に高くなっている。(図表 18-1)

【年齢別】

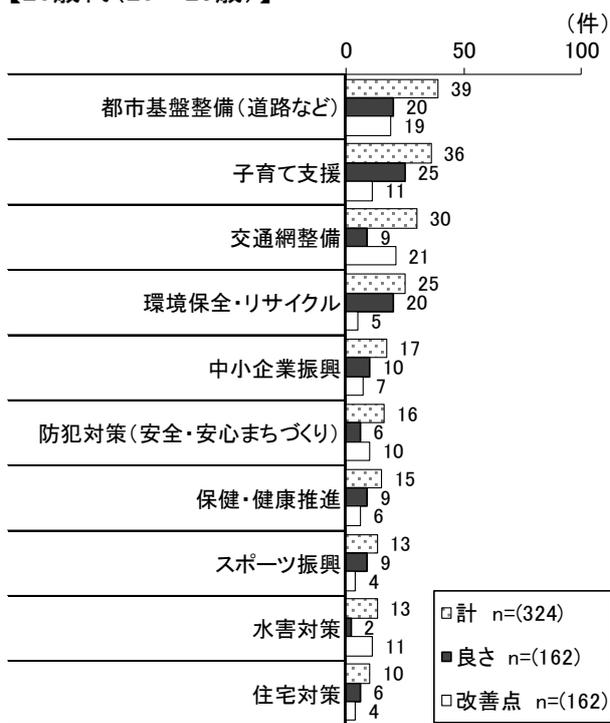
「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、いずれの年代も「都市基盤整備(道路など)」が最も高くなっている。2番目に高くなっているのは、18・19歳から40歳代が「子育て支援」、50歳代が「交通網整備」、60歳～64歳から70歳～74歳が「環境保全・リサイクル」、75歳以上が「熟年者施策」となった。(図表 18-2)

<図表 18-2>江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと／年齢別(上位10項目)

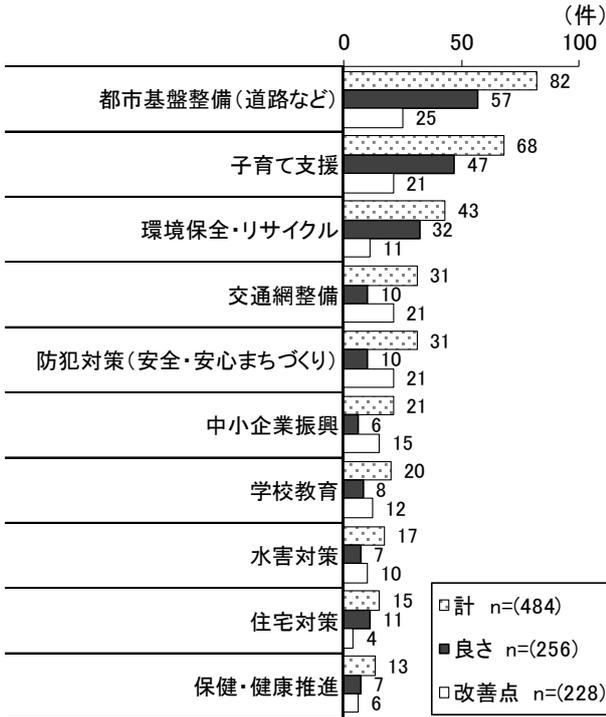
【18・19歳】



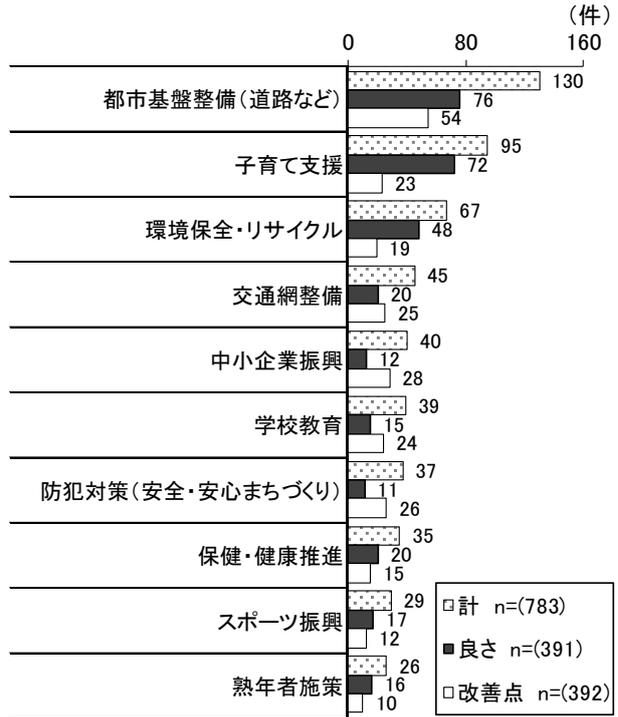
【20歳代(20～29歳)】



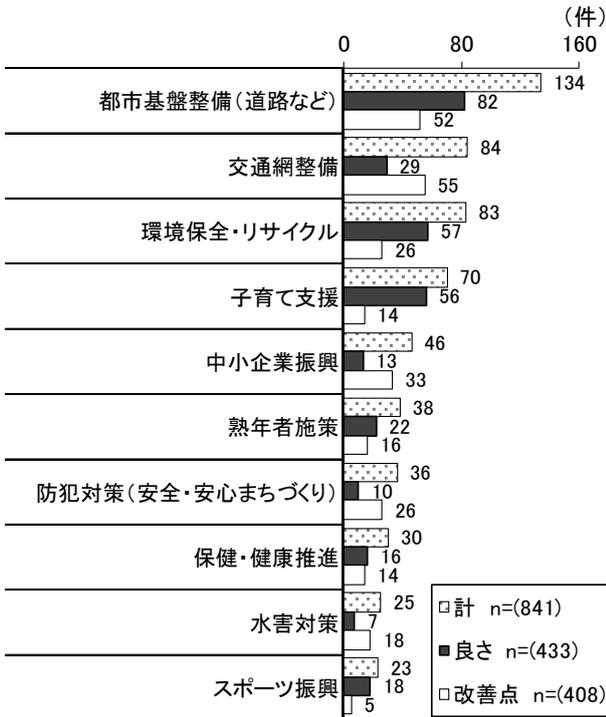
【30歳代(30～39歳)】



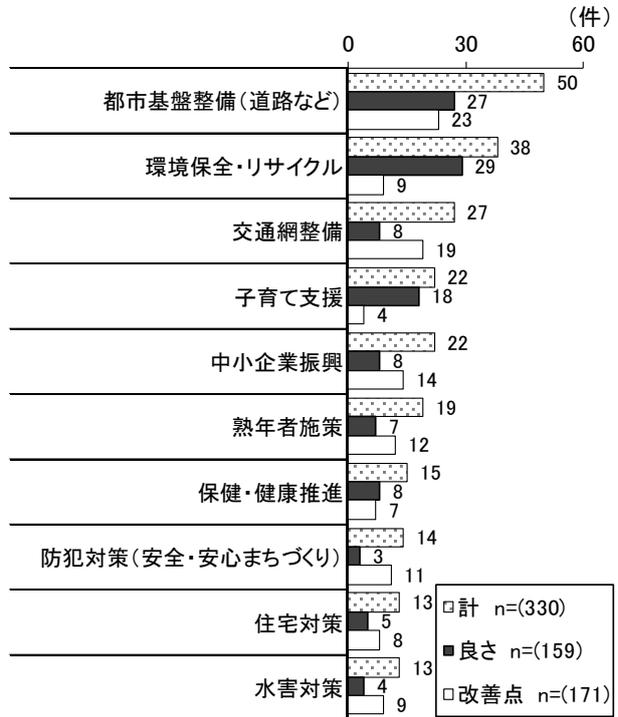
【40歳代(40～49歳)】



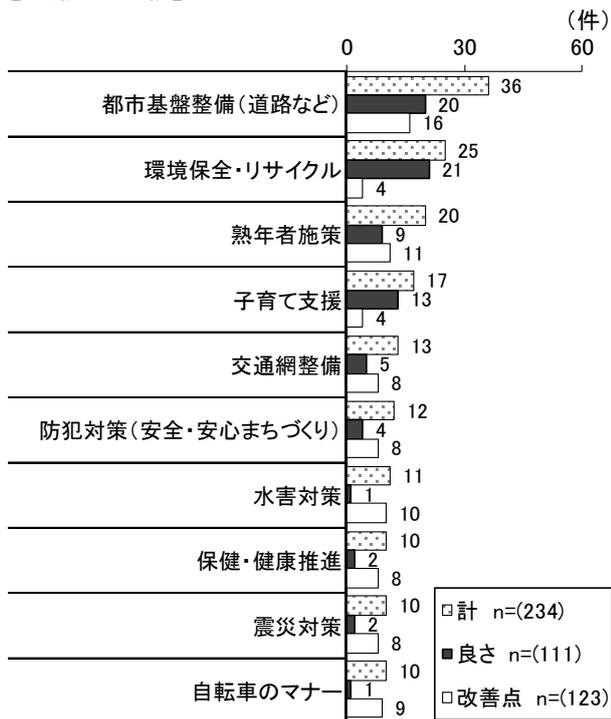
【50歳代(50～59歳)】



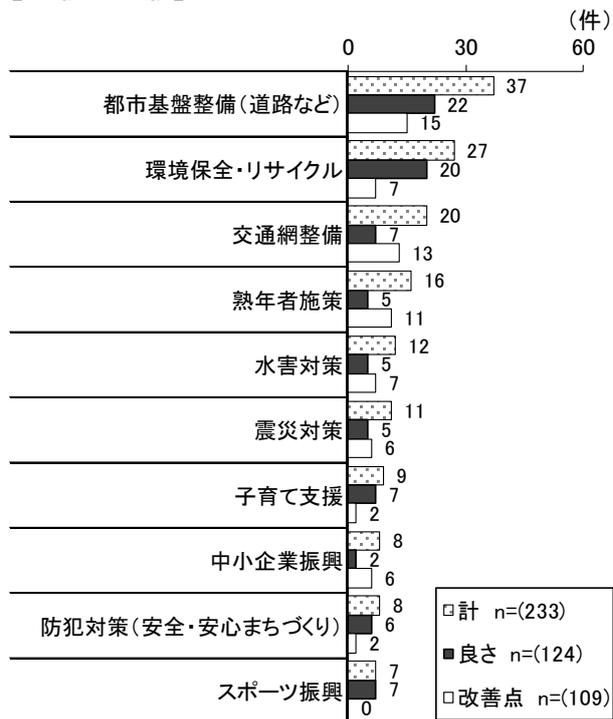
【60歳～64歳】



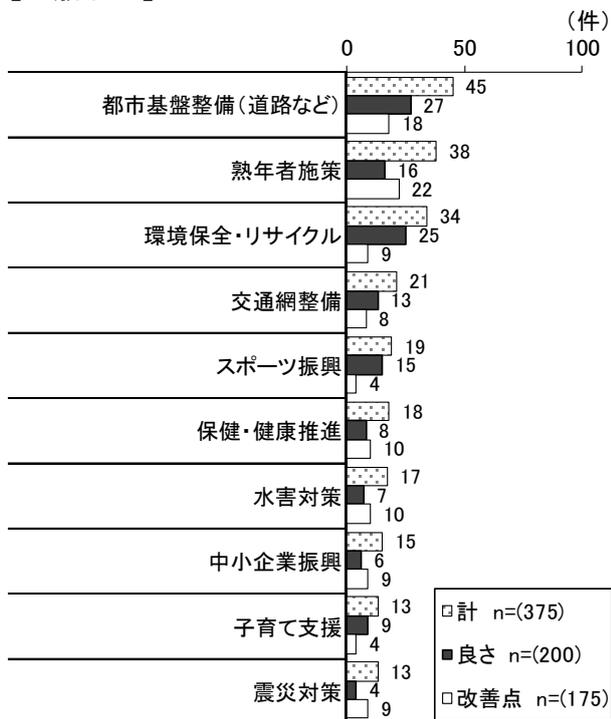
【65歳～69歳】



【70歳～74歳】



【75歳以上】



具体的な意見について、項目ごとに代表的なものを抜粋して掲載する。

都市基盤整備（道路など）

【江戸川区の良さ】

- 水のある公園が充実している。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 設置されている公園にトイレがあるのがうれしい。(男性 65～69 歳、東部地区)
- 駅から離れると区画が広いので、空間が広く感じられることもある。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 道路が広い。(男性 50～59 歳、中央地区)
- 歩道が広く歩きやすいところが多い。公園が多い。(男性 30～39 歳、葛西地区)
- 街路灯が多くて夜が明るい。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 道路整備が行き届いているイメージ。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 全般的に街の整備が行き届いていること。(男性 40～49 歳、東部地区)
- 公園が多く休みの日に過ごしやすい場所が多くて良い。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 江戸川の河原が良く整備されていて、ポニーランド、野球場などで活用されている。(男性 75 歳以上、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 旧江戸川周辺の道や土手の道が、夜になると暗すぎて自転車走行が危ない。特に土手の道などは道の両側に蛍光ラインがあると良い。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 近所をウォーキングしているが、歩道にひびが入っている所があり、歩きづらい所がある。また、雨が降ると、車道が水浸しで車を気を付けながら歩く必要がある。(旧江戸川の終点近く)(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 駅の地下駐輪場の件で、電動自転車の置く場所が少なすぎる。葛西駅を利用しているが、毎回いつぱいで停める所が無く困っているので、電動自転車置き場を増やしてほしいです。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 道路が狭い所が多い。路面が老化した所が多くて歩きにくい。(女性 20～29 歳、中央地区)
- 街灯が少なく、少々不安がありつつ歩くことがあるので、歩道の街灯を増やしていただくとありがたいです。(女性 30～39 歳、鹿骨地区)
- バスを降りた時の歩道の高さ、降りづらい。(女性 70～74 歳、東部地区)
- 自転車専用道路と自動車専用道路が線だけでとても危ないので、ガードレール等つくってほしい。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 歩道が狭いところがある。道路に鏡を設置してほしいところが何箇所もある。見通しが悪い。(女性 20～29 歳、中央地区)
- 自転車置き場を増やしてほしいです。(女性 18・19 歳、鹿骨地区)

環境保全・リサイクル

【江戸川区の良さ】

- 緑がたくさんある。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 自然が多く四季の花々が咲き、季節を感じられます。また、自然と触れ合える場所もたくさんあります。(男性 65～69 歳、東部地区)
- 三方を海や川に囲まれウォーキングができること。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- 近くに緑道があり、日中のウォーキングをしながら、四季を感じることができます。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 緑が豊かで散歩できる場所が近所にある。(女性 65～69 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 公園、緑道、河川敷等の雑草刈り取りをもう少し頻繁に行えたら、景観がだいぶ変わると思うのですが。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- ここ数年、川の水が高くなっているように感じるが、川底をさらうなど、工夫が必要なのはと心配。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- カラスが多い。ごみを荒らされて困る。早朝からカラスに起こされる。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 公園のカラス問題。定期的に管理してほしい。カラスの巣ができてから撤去するのではなく、巣を作るような環境をあらかじめ無くすこと。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 船堀駅前の広い歩道いっぱいの鳩をなんとかしてほしい。数も多く、糞だらけで気持ち悪くて歩きたくない。(男性 60～64 歳、葛西地区)
- ごみの捨て方のマナーが悪い。ごみ収集日の午前中から出されているため、それを狙ってカラスがごみを荒らす。非常に景観を乱します。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- ごみ出しのとき燃えないごみや粗大ごみを簡単に処理できるようにしてほしい。(男性 50～59 歳、鹿骨地区)

子育て支援

【江戸川区の良さ】

- 新生児に 1 年間の補助は助かりました。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 下町気質の人が多く、親しみやすく子育てなどしやすい。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 子育て支援(助成金)が手厚い。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 子どもが喜びそうな設備が場所によってはあるので良いんだと思います。子育てに対する支援も住み始めてまだ少しですが徐々に実感しています。(女性 30～39 歳、小松川地区)
- 子育て世代に特化した政策が多いこと。ファミリー層が多く住んでいること。(女性 20～29 歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- 少子化対策。子供を産む人数を増やす政策の実施。2人、3人と産んで育てる家庭への大幅な援助を。(男性 65～69 歳、中央地区)

- 一人親の助成について色々な状況があるのに、一定の条件で判断されているので改善して考慮してほしい。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 子育てがしやすいように、保育士や学童クラブの充実。職員の充実化をしてほしい。(男性 30～39 歳、中央地区)
- 保育園に入園できるまでが大変。保育ママも18時までできなかった。保育園の建物は古いものが多く、園庭ももう少し広いと良いと思う。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 0才児保育が必要。以前、江東区で0歳児保育者をしていた時、子どもの発達の大切さ、その時の親の大切さ(悩みで泣いていた)がよく分かり、江戸川区でも0歳児保育をしてほしいです。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 乳児期だけでなく、小中高まで幅広く金銭面で支援してほしい。江戸川区に住み続けたいと思うような対策があると心強い。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 土曜日、日曜日でも仕事がある人のために、休日祝日も預けることができる施設が必要。(男性 20～29 歳、小松川地区)

交通網整備

【江戸川区の良さ】

- 交通の便が良く、生活しやすい。(男性 30～39 歳、葛西地区)
- バスの運行が充実している。(女性 75 歳以上、東部地区)
- 大きな病院はなくても、毎月の通院にはバスも電車も便がよく助かってます。(女性 75 歳以上、東部地区)
- 徒歩圏内になんでも揃っているので住みやすい。都心へも出やすい。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 公共交通網は頑張っていると思う。電車は東西にしかないが、その分バス路線が南北にあり、だいたいどこにでも行ける。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 都心に近いため、交通の便が良い。空港へのアクセスが良い。(女性 40～49 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 幹線道路沿いに住んでいるが、バスの便が良くない。区だけでは解決しないとは理解しているが、1時間に1本とか。日中まるで運行していないのは非常に不便である。将来、自転車が使用できなくなる時(外出等)が不安だ。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 区内の縦の移動手段に、バスだけでなく、電車もあるといいなと思う。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 江戸川区内の巡回バスがあるとうれしいです。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 駅を増やしてほしい。単身者や熟年の方々のためにも、公共交通機関を充実させてほしいです。(女性 40～49 歳、鹿骨地区)

中小企業振興

【江戸川区の良さ】

- 産業振興に力を入れているところ。(男性 75 歳以上、東部地区)
- 普段の買い物が便利。(男性 65～69 歳、東部地区)
- スーパー等が充実しており、住みやすい。(男性 30～39 歳、中央地区)
- 大規模なスーパーだけでなく、昔ながらの小規模な商店なども残っていて、買い物がしやすい。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 東京なのに東京らしくない雰囲気江戸川区の良さであり、住みやすさに繋がっていると感じます。コンビニ前の駐車場の広さは 23 区で随一であり、駐車場もまずまずあるのも良いです。スーパーやドラッグストア、コンビニも適度にあり、困ることはありません。生活がしやすいという特徴を今後も強化してもらいたいです。(男性 50～59 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 「区内共通商品券まつり」:住んでいる近くに利用できる店がなく(年々減少している)、実地するのであれば、区民全体が利用できるようにしてほしい。また、商品券の購入ももっと買いやすいシステムにしてほしい。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 商店街が過疎化になり、不便を感じています。跡継ぎが無く、開いた所に中国の方が多くなり、人の流れが変わって来るのが不安です。(女性 75 歳以上、小松川地区)
- 年寄りになると、買い物が大変。近くに小さくてもスーパーが欲しい。歩いて行けるように。(男性 70～74 歳、鹿骨地区)
- 日用品を買いに行く所が多い所と全く無い所がある。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 飲食店、娯楽施設(ゲームセンター、ボウリング場等)の拡充。(男性 30～39 歳、葛西地区)
- 近くに大型スーパーがありません。年を取るとなかなか遠くに行けないので、あったらいいと思います。(女性 65～69 歳、小岩地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- 熟年者施設を低額で利用できること。(女性 75 歳以上、小松川地区)
- 地域包括センターに高齢の母の事を相談に行った時に、訪問診療の先生を紹介していただき、具合が悪くなった時はベットやおむつの手配をすぐに手配していただき、本当に心強かったです。(女性 65～69 歳、小松川地区)
- 熟年者サービスが充実している。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 高齢者に関する相談場所が設けられていること。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 介護補助が良い。(女性 50～59 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 高齢者の孤立化を実感している。地域の繋がりが無く、セーフティーネットも無い。(女性 50～59 歳、中央地区)

- 熟年者への経済的支援、サービス、介護施設を充実させてほしい。(女性 60～64 歳、中央地区)
- 要介護者がいる家庭が増えてきている中、相談しやすい環境が少ない。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 介護が必要な人、特に老老介護で大変な人々に、行政がもっと手厚く手を差し伸べてほしい。区の安価な施設を増やし、手軽に入居できるようにしてほしい。何年も待つことが無くなるように訪問を受けたくない人もいるから。自分自身が安心できるように。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 介護保険料が高い。(女性 65～69 歳、葛西地区)

防犯対策（安全・安心まちづくり）

【江戸川区の良さ】

- 防犯対策を強化し、子どもたちが住みやすい街になってきている。(男性 40～49 歳、小松川地区)
- 治安が良い。夜遅くても一人で歩ける。(女性 70～74 歳、中央地区)
- なごみの家などでのなんでも相談や地域とのネットワークづくり、無料のサークル活動等は、とても良い施策だと思います。また、詐欺防止対策の取り組みや住民が安心して住める対策など、区や警察などからのアナウンスや広告なども良いと思ってます。今後も安心して住めるまちづくりを期待します。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- のんびりした街、老後安心して過ごせそうな町、そこが良いところだと思います。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 警官のパトロールが多い。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 大きな犯罪が少ない。(男性 20～29 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 不審者情報が多々あったり、ホームレスの方が多くイメージです。支援か何かできる環境があれば、私たちももっと住みやすくなるのになと思います。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 治安が悪いので防犯対策をしてほしい。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 自転車の盗難等、治安が以前より悪化してるところ。(男性 40～49 歳、小松川地区)
- 夜間には若者が集まっていることが多く、安心して出歩けない。(男性 40～49 歳、東部地区)

保健・健康推進

【江戸川区の良さ】

- 健・検診が充実している。(女性 60～64 歳、小松川地区)
- コロナ接種券の到着が早い。(女性 75 歳以上、東部地区)
- コロナ禍で運動不足になり、ウォーキングを始めました。篠田堀や江戸川の土手は、ウォーキングコースがあり、安全で歩きやすい。このような場所が他にもたくさんあるので、健康推進に力を入れているところ。(女性 50～59 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 病院(発熱外来)に電話がなかなかつながらないこと。休日等に連絡がとれないと困る。高齢者や子どもが高熱だと家族の付き添いが必要になるから、すぐに病院に行けない。(女性 60～64 歳、小岩地区)
- 総合病院の誘致。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 大きな医療機関が近隣になく、緊急時に不安がある。医療体制の整備をさらに進めてほしい。(女性 30～39 歳、小岩地区)

水害対策

【江戸川区の良さ】

- 土手をスーパー堤防にするなど水災害に対して対策をしてくれていることが大変うれしいです。(女性 50～59 歳、小松川地区)
- この調査資料で江戸川区が災害(特に水害)に強い安全なまちづくりをしていることを知りました。もっと周知されるといいなと思いました。自分でも情報を得る様にしたいです。

【改善してほしいこと】

- 水害対策と区民への周知、区民の意識づけ。(女性 20～29 歳、鹿骨地区)
- 江戸川区は川が近いので水害が心配です。川の氾濫があった時、それから逃れられるような建物とかあったらいいですね。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 海拔 0 メートル地帯が多いので、治水対策を強化してほしい。(男性 60～64 歳、葛西地区)
- 荒川の水害リスクを確実に低減できるようにお取り計らいいただくと助かります。(女性 30～39 歳、葛西地区)

スポーツ振興

【江戸川区の良さ】

- スポーツ施設が多い。(女性 20～29 歳、中央地区)
- スポーツ施設が充実している。子どもたちの未来に向けて、可能性が広がる。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 江戸川河川敷沿いを散歩しているとすごく気分が良いです。(女性 30～39 歳、-)
- ゆっくりした時間が流れている。夕方の新中川は老若男女が散歩やジョギングをしていて爽やか。(女性 20～29 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- プールガーデンは夏の子どもの楽しみであった。今後、そのような施設をつくってほしい。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 北篠崎にスポーツクラブがほしい。(女性 75 歳以上、鹿骨地区)
- 家から市民プールまで距離がある。より運動できる施設が増えると助かる。(男性 30～39 歳、鹿骨地区)

- バasketゴールを増やしてほしい。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 公共の運動施設が、あまり充実していない。トレーニングマシンの種類が少ない。(男性 60～64 歳、小岩地区)

学校教育

【江戸川区の良さ】

- 学校教育の充実。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 子どもが多く、児童に関することが充実している。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 中学生以下の子育てに力を入れている。(給食費などの補助助成)(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 学校の耐震化や空調設備の導入など、子ども世代向きの政策へのフットワークの軽さはありがたいと思います。(男性 30～39 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 特別支援学級を全ての小学校に設置してほしい。(女性 30～39 歳、小岩地区)
- いじめ防止のための取り組み。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 仕事を持つ保護者も多い中、PTA活動もスリム化していくことを検討して欲しいです。(女性 40～49 歳、鹿骨地区)
- 近隣公立小中学校のどこにも図書司書がないことに驚きました。予算の都合なら数校掛け持ちでも配置できないものでしょうか。学校給食の無料化。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 教育水準が低いことが懸念されます。高い教育水準を求めたいです。(女性 50～59 歳、中央地区)

震災対策

【江戸川区の良さ】

- 今までの質問で、自分の認知度が低いことに気が付いた。防災にしても積極的に訓練や説明会に参加して勉強したいと思う。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 土手をスーパー堤防にするなど水災害に対して対策をしてくれてることが大変うれしいです。(女性 50～59 歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- 災害防災に関することをもっと分かりやすく、区民の目に届くようにアピールしていただくと安心すると思います。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 災害時の避難場所。どこも大勢でいっぱいになるので、例えば、障害者の方の場所等、考えてほしい。一般の住民と同じにはできない部分があるため、地下施設をたくさんつくってほしい。警報が鳴っても逃げる場所がない。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 非常時の際、区がどのくらい、水、食糧、医薬品等を備蓄しているのか私は存じ上げません。区の広報にて、広く知られるようにしていただくと幸いです。(男性 50～59 歳、中央地区)
- 防災無線の内容が聞き取れない。(女性 75 歳以上、中央地区)

- 大雨の時に学校に避難した際、犬を連れていたことから嫌な顔をされた。すでに人がいっぱいだったと聞きました。災害対策として避難を促すのであれば考えてほしいところです。(女性 50～59 歳、中央地区)

住宅対策

【江戸川区の良さ】

- 静かで暮らしやすい。(男性 30～39 歳、中央地区)
- ゆったりと住環境がある。(男性 30～39 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 公営の賃貸住宅をつくってほしい。(男性 20～29 歳、鹿骨地区)
- 都心で働く人向けの居住地にちょうど良い立地なのに、高齢者が住まう住宅の多さや住宅価格の高さで働き盛りの人が住宅を手に入れにくいこと。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 住宅街にある空き家。ボロボロで危険を感じる。更地や売却・買取はできないか。(男性 50～59 歳、小岩地区)
- 道路沿い住宅の騒音対策。(女性 50～59 歳、東部地区)

自転車のマナー

【江戸川区の良さ】

- 洪水対策により、土手を強化工事して、道幅も広がっているため、自転車と歩行者の接触の危険性が少なくなっているのが良い。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 10 年前に居住して来た時、最初に感じたことは駅周辺の放置自転車のほとんど見当たらないことであつた。現在も保たれており誇って良いと思う。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 土地が他市町村より比較的平坦なため、自転車生活に便利な街と思う。実際に自転車を利用して街を往来している人も多いと思う。(女性 40～49 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 自転車を利用している人が多い中、自転車道が狭く、危なくて仕方ないです。自転車の通行、マナーが悪い人が多い。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 自転車の路上駐車が多く、駅前等でも通行の妨げとなっているところが多々あるのを改善してほしい。(男性 20～29 歳、鹿骨地区)
- 自転車レーンが活用されておらず、歩道を走る自転車が多い。歩行者がいても速度を落とさない。接触しそうになっても無言でそのまま走り去る等、マナーの悪さが目立つ。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 駅近くでの放置自転車や歩道の暴走、ながら運転など自転車のマナーが悪い方が目立つので、取り締まりをしてほしい。子どもが巻き込まれるのではとヒヤヒヤすることが多く心配。(女性 40～49 歳、葛西地区)

再開発事業

【江戸川区の良さ】

- 区画整理があちこちで整っていて、火災などで消防車が通れるようになった。(女性 50～59 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 船堀駅周辺の建物整備。(再開発事業)(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 小岩駅周辺の再開発を進めてほしい。京成小岩駅のロータリーも進めてほしい。(男性 30～39 歳、小岩地区)
- 平井駅北側の再開発の進みが遅い。(女性 50～59 歳、小松川地区)
- 開発事業をもっとしっかりやってもらいたい。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 古い建物を新しくしていってもらいたい。(男性 30～39 歳、葛西地区)

障害者支援

【江戸川区の良さ】

- 住民が多く、各々が自分らしく暮らしているところ。障害者にも親切である。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 右手足にマヒがあり、シルバーカーで近所の公園を1人で自分のペースで散歩ができる環境があります。(男性 75 歳以上、鹿骨地区)
- 福祉や熟年者に対して、充実していてとても良いです。車椅子を借りたいと相談したら、すぐに対応して下さって、良かったです。(女性 75 歳以上、東部地区)
- 高齢者や障害者に寛容な空気感がある。(女性 40～49 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 大型施設の障害者トイレに大人がオムツを替えられるベッドの設置を義務化してほしい。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 障害者利用の短期入所施設が少ない。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- ベビーカーや車イスの方が場所を選ばずにトイレを使用できる所が増えれば良いなと思います。(女性 20～29 歳、中央地区)
- 障害児への配慮がない。特に私立保育園は入れてもらえる所が皆無でした。放課後等デイサービスが少なすぎて入れる所が限られている。障害児に対しての通所施設が圧倒的に少ない。(女性 40～49 歳、葛西地区)

文化・芸術

【江戸川区の良さ】

- 図書館が充実していてうれしい。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 外国の方々が増え、文化的にも豊か、子育てしやすい環境。(男性 50～59 歳、中央地区)

- 江戸川区は区営の文化・スポーツ施設が多様でたくさんあると思います。また、コミュニティ会館やセンターの配置も良く、身近に感じます。(男性 70～74 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- 図書館といった施設が駅近くにあってほしい。区役所や手続きを行う施設等も、アクセスしやすい場にあってほしい。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 図書館などの文化施設が古い。区の建物を改築する。(男性 18・19 歳、小松川地区)
- サークル活動等の活動する場所が少なく、場所確保が難しい。図書館が少ない。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 小松川図書館は町の奥にあります。利用はしやすすくないので、さくらホールに図書館を設置しておけば、周囲の利用者は増えると思います。(男性 30～39 歳、小松川地区)

友好都市・国際交流

【江戸川区の良さ】

- 海外の方が暮らしやすそうにしていたり、日本人とのトラブルも少なそう。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 若者、老人、外国人など色々な人を見かける多様性。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 色々な世界の国々の人たちと共存、生活ができています。(男性 65～69 歳、小松川地区)
- インドの方が多くいると感じます。なにか仲良くなれるきっかけがあったらいいなと思っています。(女性 30～39 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 思ったよりインド人が多くてびっくりしましたが、日本語ができない方が多い。江戸川区に住む外国人同士、外国人と日本人との交流の場は多く設けてほしい。外国人が日本語を勉強できる機会を多く設けてほしい。(男性 50～59 歳、小松川地区)

たばこのマナー

【改善してほしいこと】

- 夜に公園でたばこを吸い、お酒を飲む人がごみを放置していくのが、すごく悲しいです。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 路上喫煙が多いことが気になります。(女性 30～39 歳、-)
- 歩きたばこ、ポイ捨ての禁止、さらに受動喫煙防止重点区域に関する規定がありますが、認知度が低いと感じられ、残念ながら裏道など行き合うことがしばしばあります。啓発活動の継続をお願いします。(女性 65～69 歳、鹿骨地区)

観光施策

【江戸川区の良さ】

- 動物公園やポニーランドなど身近で自然や動物と触れ合う事ができる。子供が元気。篠崎グラウンドや水辺のスポーツガーデン等、スポーツに親しむための施設が安価で利用できる。(女性 50～59 歳、鹿骨地区)
- 行船公園、無料動物園、新川遊歩道、さくら並木が、とてもすばらしい。(男性 70～74 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- もう少し若者が魅力を感じるようなおしゃれさがほしい。東京の端っこで便利だが、下町としても少しおしゃれなスポットがあるといいと思う。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 有料でもいいので土手なのでキャンプ(火が使える)ができる場所をつくってほしい。(男性 40～49 歳、鹿骨地区)
- 大型の温水プール施設や温浴施設など娯楽施設が臨海部にあれば多くの人を集められる。(男性 50～59 歳、東部地区)

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- くすのきカルチャーセンターの教室に通って楽しく過ごしております。江戸川区で良かったです。(女性 65～69 歳、中央地区)
- くすのきカルチャー教室や人生大学が、高齢者に楽しみや健康を与えてくれる。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 長い間の仕事から解放され、自分の居場所や生活設計する中で江戸川人生大学や、カルチャー、様々なボランティア等で、たくさんの仲間やすばらしい出会いの場所があったことは、今、この歳に元気でいられることに感謝しています。(女性 70～74 歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- 江戸川区は全国的にみて、文化施設が少ないように見受けられる。特に生涯学習機関である、博物館施設をぜひつくり、江戸川区の歴史がよく理解できるようにすべきである。郷土愛も育まれることだろう。(男性 75 歳以上、小岩地区)
- くすのきカルチャーの内容を、もう少し考えてほしい。(女性 70～74 歳、葛西地区)

その他

【江戸川区の良さ】

- 着実に様々な施策を実行しているところ。財政のやりくりも上手。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 職員の方には良くしてもらってます。(男性 75 歳以上、葛西地区)

- 今まで一度も「いやだな」と思ったことがありません。痒い所に手が届く「区」だと思っています。(女性 70~74 歳、小松川地区)
- 役所の方が相談をよく聞いてくださる。(女性 60~64 歳、小松川地区)
- 行政と地域が良いコミュニケーションがとれている。(男性 50~59 歳、中央地区)
- 選挙の期日前投票がショッピングセンターで気軽にできるのは便利です。(女性 50~59 歳、葛西地区)
- 庶民的で暮らしやすい。(男性 50~59 歳、小岩地区)
- 活気が感じられて江戸川区の良さと思います。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 区民まつりや地域まつりが多く開催されている。(男性 30~39 歳、中央地区)
- ここ最近中止になっていますが、江戸川花火大会や江戸川区民まつりなどのイベントが盛大に行われるところ。(女性 40~49 歳、鹿骨地区)
- いい意味での下町らしさが残っており、人情を感じるふれあいがあることがある。(女性 50~59 歳、葛西地区)
- 馴染みやすい街なイメージ。(女性 40~49 歳、葛西地区)
- どこへ行っても適度な人口密度。人混みのストレスがない。(男性 40~49 歳、鹿骨地区)
- 昔ながらの街並み。(男性 20~29 歳、鹿骨地区)
- 高い建物が少ないので、空が広いと感じられる。(女性 40~49 歳、鹿骨地区)
- 家賃が安い(女性 20~29 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 区役所内が暗く感じました。明るくなってほしいです。(女性 65~69 歳、小岩地区)
- ボランティアで支援活動をしている中で区の施設利用を柔軟な対応をしてほしい。フードバンクでの場所確保に苦勞しています。せめて場所くらいは区が用意するのが当たり前と思う。(女性 70~74 歳、小松川地区)
- IT 化の推進。区役所等へ行かなくてもスマホ、PC で 24 時間 365 日対応できるような施策。(男性 30~39 歳、葛西地区)
- 防災やお知らせのスピーカーによる案内の音がいつも割れていて、何を話しているのか分からない。「こちらは…です。…しています。お気を付けください。」のように大切なところが聞こえないので注意できない。(男性 20~29 歳、東部地区)
- 区政に興味がない人にも、区の行っている支援などが分かるような広報活動をして、必要な人に必要な支援ができるようにしてほしい。(男性 40~49 歳、小松川地区)
- 地域のお祭り、盆踊り、路店など、昔の昭和通り、駅前通り等の縁日を復活させてほしいです。(男性 70~74 歳、小岩地区)
- コミュニティ会館等の集会所での無線 LAN の整備。(女性 70~74 歳、葛西地区)
- 共生と豊かさをテーマに様々なことに取り組んでほしい。(男性 40~49 歳、小松川地区)
- 羽田新ルートで、航空機の騒音が気になる。(男性 65~69 歳、葛西地区)
- バイクや車などの騒音対策。(男性 50~59 歳、中央地区)

IV 調査票

第 35 回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆さまには、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび江戸川区では、「第 35 回 江戸川区民世論調査」を実施いたします。この調査は、区民の皆さまが日頃から感じていることや区政に対してお持ちのご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施するものです。調査の実施にあたり、区内にお住まいの満 18 歳以上の方 4000 人を無作為に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託する「株式会社 ^{よんなな}47 ブランディング」が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月

江戸川区長 齊 藤 猛

あなたのインターネット回答用の
ID とパスワード

ID :
パスワード :

※ID は半角英数で 11 文字、パスワードは半角英数で 8 文字です。

インターネット回答用
二次元コード



インターネット回答用 URL : <https://mr6.jp/orca/BD52685801/A/edogawa2022>

－ 回答に当たってのお願い －

- 封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をしてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては一部の方にのみ回答していただく場合があります。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果は全て統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 【令和4年11月13日(日)】までにご回答ください。

－ 郵送での回答 －

- 調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

－ インターネットでの回答 －

- パソコン・スマートフォンなどで、表紙の回答専用ページにアクセスしてご回答ください。
スマートフォンからは、二次元コードよりアクセスいただけます。
- 回答専用ページから、表紙の ID・パスワードを入力してログインをしてください。
- 通信料はご利用者様の負担となります。

<p>【調査受託事業者・お問い合わせ先（回答方法）】</p> <p>株式会社 ^{よんなな}47ブランディング 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-5-3 エルグビル 8F 電話：03-6388-6640 (受付時間：平日 10:00～17:00)</p>	<p>【調査主体・お問い合わせ先（調査内容）】</p> <p>江戸川区 SDGs 推進部広報課区政案内係 〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1 電話：03-5662-6168（直通） (受付時間：平日 8:30～17:00)</p>
--	--

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(〇は1つ) <n=1,767>

1	1年未満	2.9%	4	11~20年	15.1
2	1~5年	9.6	5	21~30年	15.3
3	6~10年	8.1	6	31年以上	48.5

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ) <n=1,767>

1	ずっと住み続けたい	47.4%	3	区外に転出したい	3.2
2	当分の間は住み続けたい	39.5	4	わからない	9.3

問3 あなたは、江戸川区に愛着や親しみを感じますか。(〇は1つ) <n=1,767>

1	感じている	55.8%	3	あまり感じていない	8.1
2	やや感じている	33.8	4	感じていない	1.8

【江戸川区の現況について】

問4 ①~⑩の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。

(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,767> (%)

項目	評価						わからない
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
① 買い物の便		35.4	25.4	24.4	10.2	3.6	0.2
② 交通の便		29.7	23.1	24.1	15.6	6.8	0.1
③ 道路・歩道の整備		20.4	24.7	35.5	13.4	4.8	0.5
④ 公園・水辺の整備		34.3	31.6	25.5	3.7	2.0	2.0
⑤ 緑化の推進		31.7	31.1	30.0	3.4	1.1	1.9
⑥ 街の景観		15.4	23.2	45.8	10.2	3.4	0.8
⑦ 街のバリアフリー		9.0	14.4	45.1	18.2	5.7	6.5
⑧ ごみの収集		28.5	25.9	35.4	5.9	3.1	0.6
⑨ リサイクルの推進		15.1	19.8	50.0	6.2	1.5	6.5
⑩ 地域の治安・安全性		12.2	20.0	41.6	16.6	7.1	1.7

項目	評価					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
⑪ 災害への備え	6.3	16.1	42.9	16.9	6.9	9.1
⑫ 近所づきあい	8.8	11.0	61.7	7.4	3.0	7.1
⑬ 文化施設の充実度	11.6	20.2	47.4	8.7	2.4	8.2
⑭ スポーツ施設の充実度	12.1	19.7	43.3	10.1	2.8	10.1
⑮ 熟年者の生活環境	7.9	15.2	44.2	9.0	3.7	19.0
⑯ 子育て環境	13.6	27.7	33.2	4.0	1.6	17.5
⑰ 健康相談・健康診査	13.7	24.3	44.2	4.9	1.8	9.7
⑱ 病院・診療所の充実度	14.7	26.4	38.7	11.9	4.5	2.7

問5 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(○は1つ)

<n=1,767>

1 満足	17.4%	4 やや不満	7.8
2 やや満足	43.6	5 不満	1.0
3 ふつう	29.1		

【江戸川区のイメージについて】

問6 あなたが思う江戸川区のイメージを教えてください(キーワード、単語)。記入欄にお書きください。(3つまで)

記入欄

①

記入欄

②

記入欄

③

【江戸川区のお勧めスポットについて】

問7 あなたが思う区内のお勧めスポットを教えてください。記入欄にお書きください。(3つまで)

記入欄
①

記入欄
②

記入欄
③

【広報と情報化について】

問8 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段（媒体）で入手していますか。

(〇はいくつでも)

<n=1,767>

1	広報誌（広報えどがわ）	56.0%	15	区気象情報システム	2.8
2	くらしの便利帳	23.0	16	区の広報板（ポスター）	10.6
3	区公式ホームページ	30.6	17	J:COM江戸川	7.7
4	区公式ツイッター	4.4	18	東京 MX テレビ	2.1
5	区公式フェイスブックページ	1.1	19	FM えどがわ	2.5
6	区公式インスタグラム	0.8	20	テレビ、ラジオ	9.2
7	区公式LINE	1.6	21	区公式ホームページ以外のWebサ イト	2.7
8	えどがわメールニュース	3.1	22	町内・自治会回覧などの資料	23.5
9	広報ビデオ（えどがわ区民ニュー ス）	5.0	23	チラシ、パンフレット	10.5
10	公式YouTubeチャンネル（インタ ーネット動画配信）	1.0	24	新聞、雑誌	12.1
11	Yahoo!くらし	3.3	25	コミュニティペーパー	6.0
12	スマートニュース（江戸川区チャ ンネル）	3.2	26	友人、知人に聞く	21.4
13	江戸川区防災アプリ	3.6	27	その他（ ）	2.6
14	江戸川区防災ポータル	0.7	28	情報を得る手段がない	1.1
			29	特に情報を入手していない	11.3

問9 あなたは、インターネットを利用していますか。利用するときは何を使いますか。

(〇はいくつでも)

<n=1,767>

インターネットを利用している方		インターネットを利用していない方	
1	スマートフォン・タブレット 75.6%	5	今後は利用したい 3.3
2	フィーチャーフォン（携帯電話） 5.2	6	今後もしない 12.1
3	パソコン 42.8		
4	その他（ ） 0.5		

【SDGsについて】

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年に国連サミットで採択された国際目標です。目標年度は2030年度。17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない」という理念の下、経済・社会・環境のバランスを取りながら、全ての人が平和で豊かに暮らせる世界を目指す取り組みです。



江戸川区は、身近で簡単な行動を「SDGs えどがわ10の行動」としてまとめ、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。

問10 あなたは、「SDGs」（または「SDGs えどがわ10の行動」）を知っていますか。(〇は1つ)

<n=1,767>

1	名前も内容も知っている 42.5%	3	まったく知らない 20.4
2	名前は聞いたことがあるが内容は知らない 35.4		

問 11 江戸川区は以下のとおり「SDGs えどがわ 10 の行動」(下記1～10)を定めていますが、ご自身の生活の中で現在取り組んでいる行動をお答えください。(〇はいくつでも) <n=1,767>

1	食品ロスを防ぐため、必要な量だけ買っている	68.6%
2	健康的な食事をし、運動を心がけ、十分な睡眠をとっている	44.8
3	家事や育児、介護に家族みんなで参加している	21.1
4	電気も水も大切に使っている	65.3
5	最新の科学や技術に興味を持ち、活用している	11.1
6	一人ひとりの多様性への理解を深め、交流の機会を増やしている	13.9
7	世代を超えて地域のイベントや防災訓練に参加し、絆を深めている	5.1
8	とにかくりサイクルをしている	34.9
9	みどりを大切にし、プラごみを減らして豊かな自然を守っている	31.1
10	川や海に囲まれた江戸川区の歴史や文化、環境を学んでいる	8.0
11	上記以外の行動をしている ()	1.9
12	何もしていない	7.0

【スポーツについて】

運動にはからだと心に良い影響を及ぼす効果があり、運動機能が低下すると、健康上の問題や日常生活に支障が生じます。

国が実施している「スポーツの実施状況等に関する世論調査（令和3年度）」によると、成人の週1日以上以上の運動・スポーツ実施率は56.4%となります。全ての年代層で前年度を下回っており、特に20代～50代の働く世代が引き続き低い傾向となっています。

問12 この1年間に実施した運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも) <n=1,767>

1	ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）	72.5%	17	アイススケート	0.9
2	体操	17.4	18	ローラースケート、スケートボード	0.5
3	エアロビクス、ヨガ、バレエ、ピラティス	6.8	19	野球	1.8
4	キャッチボール	2.9	20	サッカー、フットサル	2.4
5	アクアエクササイズ、水中ウォーキング	2.1	21	テニス、ソフトテニス	2.5
6	ランニング（ジョギング）	11.2	22	卓球（ラージボール含む）	3.0
7	トレーニング	12.3	23	バレーボール、ビーチバレー、ソフトバレーボール	1.5
8	ボウリング	4.3	24	柔道、剣道、空手、相撲、合気道	0.8
9	ダンス	3.9	25	ソフトボール	0.5
10	自転車（BMX含む）、サイクリング	24.4	26	陸上競技、マラソン、駅伝	0.7
11	ゴルフ	6.3	27	水泳	4.3
12	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング	3.4	28	弓道、アーチェリー	0.3
13	スキー、スノーボード	3.3	29	ラグビー、アメリカンフットボール	0.2
14	釣り	4.0	30	バスケットボール	1.5
15	登山、トレッキング、トレイルランニング、ロッククライミング	3.7	31	バドミントン	2.9
16	ボート、カヌー	0.8	32	パラスポーツ（ボッチャ、ゴールボール、車いすバスケットボール等）	0.2
			33	運動やスポーツは行っていない	11.5

問13 この1年間に運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。

(それぞれ○は1つつ)

<n=1,767> (%)

種類	実施頻度						
	週に3日以上 (年151日以上)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3か月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	運動やスポーツを実施していない
① この1年間に運動やスポーツを実施した日数	21.6	14.1	14.4	14.5	6.3	5.1	18.8
② この1年間に運動やスポーツを実施した日数のうち、汗をかく運動を30分以上実施した日数	11.6	11.1	13.5	12.7	8.3	10.3	23.3

問14 問13-①で「4」～「7」(週に1日未満)と答えた方にお尋ねします。

この1年間に、運動やスポーツを実施した頻度が週に1日に満たなかったのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

<n=792>

1 仕事や家事が忙しいから	50.8%	8 お金がかかるから	14.1
2 育児が忙しいから	11.2	9 運動・スポーツが好きではないから	13.0
3 体が弱いから	4.3	10 機会がなかったから	22.5
4 年をとったから	22.3	11 病気やケガをしているから	11.2
5 身近に場所や施設がないから	11.0	12 面倒だから	20.2
6 仲間がいないから	10.9	13 特に理由はない	7.1
7 指導者がいないから	2.5		

【睡眠について】

睡眠には、心身の疲労を回復する働きがあり、睡眠時間の不足や睡眠の質が悪化すると、健康上の問題や日常生活に支障が生じます。

国が実施している国民健康・栄養調査（令和元年）によると、1日の平均睡眠時間は6時間以上7時間未満の方の割合が最も高くなっています。また、睡眠の確保の妨げとなる点について、男女ともに20歳代では「就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること」、30～40歳代男性では「仕事」、30歳代女性では「育児」と回答した方の割合が最も高くなっています。

問 15 ここ1か月間のあなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(〇は1つ) <n=1,767>

1	5時間未満	10.2%	4	7時間以上8時間未満	18.3
2	5時間以上6時間未満	30.4	5	8時間以上9時間未満	4.2
3	6時間以上7時間未満	31.0	6	9時間以上	0.8

問 16 あなたの睡眠時間の確保の妨げとなっていることは何ですか。(〇はいくつでも) <n=1,767>

1	仕事	25.7%	6	通勤・通学の所要時間	7.2
2	家事	17.5	7	睡眠環境（音・照明など）	5.4
3	育児	9.5	8	就寝前に携帯電話、メール、ゲームなどに熱中すること	15.9
4	介護	2.8	9	その他（ ）	7.6
5	健康状態	12.9	10	特に困っていない	34.4

問 17 睡眠の質についてお尋ねします。あなたはこの1か月間に次のようなことが週3回以上ありましたか。(〇はいくつでも) <n=1,767>

1	寝付き（布団に入ってから寝るまでに要する時間）にいつもより時間がかかった	19.0%
2	夜中、睡眠途中で目が覚めて困った	32.0
3	起きようとする時刻よりも早く目が覚め、それ以上眠れなかった	21.1
4	睡眠時間が足りなかった	24.7
5	睡眠全体の質に満足できなかった	26.8
6	日中、眠気を感じた	39.0
7	上記のようなことはなかった	22.8

【キャッシュレス化の推進について】

国はキャッシュレス決済比率を2025年までに40%程度とすることを目標にしています。利便性に加え、コロナ禍の中、新しい生活様式のひとつとして、非接触で買い物ができるキャッシュレス決済に対する意識も高まりつつあります。そこで、キャッシュレス決済の利用状況をお伺いします。

問18 日常品の買い物であなたは、キャッシュレス決済をどのくらいの頻度で利用していますか。キャッシュレス決済の種類ごとにお答えください。(それぞれ○は1つずつ) <n=1,767> (%)

種類	利用頻度	頻繁に利用している	ときどき利用している	利用していない
① クレジットカード		38.6	32.5	24.3
② カード式電子マネー【交通系】 (Suica、PASMOなど)		38.7	37.5	17.7
③ カード式電子マネー【交通系以外】 (WAON、nanacoなど)		17.8	23.2	50.1
④ 二次元コード／バーコード決済 (PayPay、楽天ペイなど)		26.5	16.8	47.8

※「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。

※「WAON」は、イオン株式会社の登録商標です。

※「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※「PayPay」は、Zホールディングス株式会社の登録商標です。

※「楽天ペイ」は、楽天グループ株式会社の登録商標です。

問19 問18のいずれかで「3」と答えた方にお尋ねします。

「3」を選択した理由は何ですか。(○はいくつでも)

<n=1,243>

1 セキュリティに不安がある	20.9%	4 設定に手間がかかる	22.7
2 利用できる店舗が少ない	6.6	5 現金が使いなれている	39.5
3 利用方法がわからない	20.8	6 その他 ()	24.5

【区内共通商品券まつりについて】

問 20 あなたは、区内共通商品券まつりを利用したことがありますか。(○は1つ) <n=1,767>

1	毎年利用している	3.5%	3	利用したことはない	74.1
2	利用したことがある	21.5			

問 21 問 20 で「2」または「3」と答えた方にお尋ねします。

商品券まつりを利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも) <n=1,689>

1	知らなかったから	43.0%	3	商品券を販売所に買いに行くのが大変だか	41.3
2	利用したい店舗がないから	24.3		ら(並びたくないから、時間がないから)	3.2

【民生委員・児童委員について】

民生委員・児童委員は、地域の推薦を受け、厚生労働大臣から委嘱された特別職の地方公務員です。身近な相談役として、悩みや問題を抱えている人の相談に応じ、必要な援助を行っています。また、福祉事務所や児童相談所等の行政機関や社会福祉協議会への協力活動を通じて、地域の福祉向上に努めています。

問 22 あなたは、民生委員・児童委員について、どのくらいご存じですか。(○は1つ) <n=1,767>

1	自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていて、 どんな活動をしているか知っている	6.8%
2	自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っているが、 どんな活動をしているのかは知らない	7.0
3	自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員は知らないが、 どんな活動をしているのか知っている	19.6
4	民生委員・児童委員という名称は知っているが、どんな活動をしているのかは知らない	33.2
5	まったく知らない	32.1

問 23 あなたは、民生委員・児童委員と接する機会がありましたか。(〇はいくつでも) <n=1,767>

1	介護や在宅福祉サービス等、熟年者や障害者に関する相談をした	3.1%
2	子育てや教育等、子どもに関する相談をした	1.6
3	生活保護や生活福祉資金貸付、日常的な生活の支援等、生活に関する相談をした	1.6
4	調査や安否確認、歳末激励金配布等による民生委員・児童委員の訪問を受けた	2.9
5	会議またはイベント等で会った	2.3
6	その他 ()	3.2
7	まったく接する機会はなかった	83.9

【障害者理解について】

本区では、障害のある人もない人も、誰もが自分らしく暮らしていく共生社会を目指しています。しかしながら、社会生活における様々な場面で、障害による差別や社会的障壁等により不利益な扱いを受けたり、配慮が足りず、地域で安心して生活していくことができない状況も見られます。

問 24 地域社会の中に障害のある人への差別・偏見があると思いますか。ある場合はどのような場面で感じましたか。(〇はいくつでも) <n=1,767>

1	幼稚園、保育園、学校	12.1%	5	レストラン等飲食店	7.6
2	職場等	9.0	6	商店(食料品店、衣料品店など)	5.0
3	バス、電車などの公共交通機関	20.3	7	その他 ()	3.1
4	区立施設(図書館、文化・スポーツ施設、宿泊施設等)	2.8	8	特に感じない	62.0

【人権について】

問 25 日本における人権課題について、あなたの関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

<n=1,767>

1	女性	30.6%	11	性自認(自分の性についての認識。生物学的な性と心の性が一致しない場合があること)	14.8
2	子ども	27.8	12	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)	15.3
3	高齢者	32.5	13	刑を終えて出所した人	9.2
4	障害者	33.8	14	路上生活者(ホームレス)	16.8
5	同和問題(部落差別)	7.4	15	インターネットによる人権侵害	29.1
6	アイヌの人々	6.4	16	北朝鮮当局によって拉致された被害者など	21.2
7	外国人	16.3	17	人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)	9.4
8	エイズ患者・HIV感染者	5.1	18	災害に伴う人権問題	13.0
9	ハンセン病患者・回復者など	4.9	19	その他 ()	1.5
10	犯罪被害者やその家族	14.0	20	特にない	19.4

【災害に強い安全安心なまちづくりについて】

三方を川や海に囲まれ、陸域のおよそ7割がゼロメートル地帯である江戸川区。台風などにより幾度となく水の被害を受けており、昭和22年のカスリーン台風や昭和24年のキティ台風では甚大な被害となりました。

また、首都直下型の大地震など今後発生が予想されていますが、大規模な災害から区民のみなさんの生命や財産、まちを守るために、国や東京都とともに区では様々な取り組みを行っています。

問26 あなたは、災害に強い安全安心なまちづくりについて、以下の取り組みを知っていますか。

(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,767> (%)

取り組み	認知度	
	知っている	知らない
① 洪水からまちを守るため、放水路の開削を行った。 (現在の荒川や新中川など)	42.6	53.9
② 葛西沖の埋め立て開発を進めるにあたり、葛西臨海公園を高台にすることで「防潮堤」の役割を持たせた。	30.8	65.4
③ 下水道の整備により、台風や大雨で1時間あたり50mmの降雨があっても浸水しないまちとなった。	33.7	62.6
④ 下水道の整備により、排水路の役割を終えた水路の一部を水とみどり豊かな親水公園、親水緑道として整備した。	48.4	48.2
⑤ 雨水を汲み上げて河川へと放流するポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負荷を減少させる雨水貯留施設を多く整備している。	27.5	68.5
⑥ 国や東京都と協力して、高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。 ※高規格堤防は、堤防の高さの約30倍の幅を持つ強固な堤防。	56.2	40.0
⑦ 国や東京都とともに「高台まちづくり」を進めている。 ※高規格堤防の上面を活用したまちづくり 中・高層建物に避難スペースを設置するまちづくり 水没しない高さの高台公園を中心としたまちづくり	21.3	74.6
⑧ 火災などの災害時に一時集合場所となる公園を数多く整備し、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。	45.6	50.6
⑨ 道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、良好な住環境を整える土地区画整理事業を区内の約1/3で実施している。	24.2	71.7

取り組み	認知度	
	知っている	知らない
⑩ 渋滞の解消や災害時の避難路、緊急自動車（消防車、救急車など）の走行路となる都市計画道路の整備をしている。	24.4	71.5
⑪ 小中学校や保育園、区民館などのすべての公共施設は十分な耐震性を備えている。	41.9	54.1
⑫ 耐震改修工事費の助成を行うなど耐震化を積極的に促進することで、97%の住宅は十分な耐震性を備えており、耐震化率は23区で1位となっている。	11.0	84.6
⑬ 災害時の安全な避難や物資輸送を支え、道路ネットワークの要となる橋を、災害に強いものに架け替えを行っている。新中川では6か所が完了している。	15.4	80.3

※ “えどがわ区民ニュース” ウェブサイトや “江戸川区 YouTube 公式チャンネル” にて、「災害に強い安全・安心なまちづくり」をご覧ください。また、その他にも多くの人気番組を公開していますのでどうぞご覧ください。

「江戸川区YouTube公式チャンネル
(災害に強い安全・安心なまちづくり)」



【道路について】

問 27 区内の都市計画道路は整備率が79%となり、移動しやすい道路のネットワークが整ってきています。あなたは、区内の道路について、どのような印象がありますか。(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,767> (%)

項目	印象		
	思う	やや思う	思わない
① 渋滞が少ない	20.4	53.3	22.6
② 幅が広くて通行しやすい	19.9	45.9	30.4
③ 路面がきれいで通行しやすい	24.8	49.3	22.3
④ 歩道が広くて歩きやすい	17.4	42.1	37.0
⑤ 全体的に道路の見通しが良い	21.6	51.5	23.2

問 28 区内に整備された都市計画道路の様々な機能と役割の中で、何が重要だと思いますか。

(○はいくつでも)

<n=1,767>

1	自動車がスムーズに通行でき、人や物資が円滑に移動できること	61.3%
2	上下水道などの生活を支えるインフラ施設を地下に埋め、歩行者が歩きやすい空間をつくり出すこと	54.5
3	災害時の避難路を確保し、火災の延焼を防止すること	62.0
4	電線類の地中化や街路樹の整備などにより、快適な環境を生み出すこと	58.0
5	わからない、特になし	7.1

【江戸川区職員の接遇について】

問 29 あなたは、江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(○は1つ) <n=1,767>

1	満足	16.0%	4	やや不満	4.1
2	やや満足	17.2	5	不満	2.3
3	ふつう	37.0	6	わからない	21.8

【区政への要望について】

問 30 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。

(○は3つまで)

<n=1,767>

1	都市基盤整備（道路など）	18.0%	13	青少年健全育成	2.9
2	再開発事業	9.5	14	生涯学習	2.8
3	交通網整備	15.4	15	文化・芸術	3.4
4	住宅対策	8.5	16	スポーツ振興	4.0
5	震災対策	32.8	17	保健・健康推進（感染症対策含む）	7.2
6	水害対策	46.7	18	中小企業振興	3.6
7	防犯対策（安全・安心まちづくり）	32.6	19	観光施策	3.8
			20	友好都市・国際交流	1.5
8	環境保全・リサイクル	5.7	21	平和・人権・男女共同参画	2.2
9	熟年者施策	16.4	22	その他（ ）	1.9
10	障害者支援	5.7	23	わからない	5.0
11	子育て支援	18.0			
12	学校教育	11.4			

問 31 あなたが、江戸川区で暮らしている中で、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるの、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

【良さ】

【改善してほしい点】

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。(○は1つ) <n=1,767>

1	男性	40.6%	3	その他	0.2
2	女性	56.4			

F 2 あなたのご年齢をお知らせください。(○は1つ) <n=1,767>

1	18・19 歳	1.2%	6	60～64 歳	8.1
2	20～29 歳	8.2	7	65～69 歳	7.2
3	30～39 歳	11.7	8	70～74 歳	8.3
4	40～49 歳	17.5	9	75 歳以上	15.7
5	50～59 歳	19.4			

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(○は1つ) <n=1,767>

1	自営業者	7.9%	5	家事専業	10.4
2	家族従業 (家事手伝い)	1.0	6	学生	3.3
3	勤め (フルタイム)	37.9	7	無職	18.0
4	勤め (パートタイム)	14.8	8	その他 ()	3.4

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数 (ご自身を含めて) をお知らせください。(○は1つ)

<n=1,767>

1	1 人	16.6%	5	5 人	5.6
2	2 人	28.8	6	6 人	1.6
3	3 人	24.7	7	7 人以上	0.4
4	4 人	19.4			

F4-1 F4で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」のいずれかと答えた方にお尋ねします。

同居者（本人以外）をお知らせください。（○はいくつでも）

<n=1,423>

1	小学校入学前のお子さん	11.6%	3	16～64歳の方	74.1
2	小・中学生	17.8	4	65歳以上の方	30.3

F5 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。（○は1つ）

<n=1,767>

1	持ち家（一戸建）	41.0%	6	公営の賃貸住宅	4.6
2	持ち家（共同住宅）	22.3	7	都市再生機構・公社などの賃貸住宅	2.8
3	持ち家（長屋建・その他）	0.1	8	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	2.0
4	民営の賃貸住宅（一戸建）	1.1	9	借間	1.5
5	民営の賃貸住宅（共同住宅）	21.2			

F6 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

町 名

(例)	中 央	1 丁目)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和5年3月発行

第35回江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区 SDGs 推進部広報課

東京都江戸川区中央1丁目4番1号

電話 03 (5662)6168〔直通〕

集計・分析 / 株式会社47ブランディング

東京都豊島区西池袋1丁目5番3号

エルグビル8階

電話 03 (5904)9015



ともに、生きる。

江戸川区